

和泉市
こども・子育て支援に関する
アンケート調査
調査結果報告書

目 次

I.調査の概要	1
II.調査結果(就学前児童)	3
1. こどもとご家族の状況について	3
2. こどもの保護者の就労状況について	8
3. 母親の妊娠時の状況と希望のこども数について	15
4. こどもの育ちをめぐる環境について	19
5. こどもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
6. こどもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	50
7. 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	54
8. こどもの地域の子育て支援事業の利用状況等について	67
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	73
10. 仕事と子育ての両立支援について	82
11. こどもの生活状況について	93
12. 子育てに関する経済的なことについて	97
13. 子育てに対して感じることについて	102
14. 子育て環境や支援制度について	116
お子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についての意見	126
III. 調査結果(就学児童)	132
1. こどもとご家族の状況について	132
2. こどもの保護者の就労状況について	136
3. 仕事と子育ての両立支援について	142
4. こどもの放課後児童クラブ(学童保育)の利用について	144
5. 地域子ども・子育て支援事業について	158
6. こどもの育ちをめぐる環境について	167
7. こどもの生活状況について	169
8. 子育てに関する経済的なことについて	172
9. 子育てに対して感じることについて	176
10. こどもの権利について	190
11. 子育て環境や支援制度について	192
12. お子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についての意見	197

I.調査の概要

1. 調査目的

(仮称)和泉市子ども計画の策定に際して、「第2期和泉市子ども・子育て応援プラン」で定められている、市民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望を把握するため、市内に居住する就学前・就学児童の保護者を対象としてアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

就学前	生後6か月～令和6年4月小学校入学まで 平成29(2017)年4月2日生まれ～令和5年10月1日生まれ	3,000人
小学生	令和6年4月入学児童を除く 平成24(2012)年4月2日生まれ～平成29(2017)年4月1日生まれ	1,600人

3. 抽出方法

令和6年3月25日現在の住民基本台帳から無作為抽出

4. 調査期間

令和6年4月1日～19日

5. 調査方法

郵送による配布・回収とWEBで回答していただく方法を併用して実施

6. 回収結果

		就学前児童	小学生
配布数		3,000	1,600
有効回答数	郵送解答	953	490
	WEB 回答	445	314
	合計	1,398	804
回答率		46.6%	50.3%

【参考／前回調査】

	就学前児童	就学児童
配布数	3,000	1,600
有効回答数	1,571	842
有効回答率	52.4%	52.6%

7. クロス集計について

比較可能な項目については、前回調査(平成31年3月)との比較を行いました。

必要に応じて、以下のクロス集計を行い、比較検討しました。

- ① 家庭内の子育て分担による比較(「ほとんど母親が担っている」と「両親が平等に分担している」)
- ② 相談できる人の有無による比較

- ③ 世間話をする人の有無による比較
- ④ ひとり親家庭とひとり親家庭以外の比較
- ⑤ 何らかの障がいのある児童と障がいのない児童の比較
こどもの発達について何らかの指摘を受けたことがある場合と、何らかの障がい者手帳を所持している場合を何らかの障がいのある児童としました。
- ⑥ 母親の就労状況による比較(フルタイム、パート、無職)
- ⑦ 多子世帯(こどもが3人以上)と多子世帯以外(こどもが3人未満)の比較

8. 数値等の基本的な取扱いについて

- ・ 回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分数(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各合計の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・ 文中、グラフの中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化する場合があります。
- ・ 単純集計及びクロス集計等を分析する際、有効回答数が10未満の選択肢は、分析から除外しています。

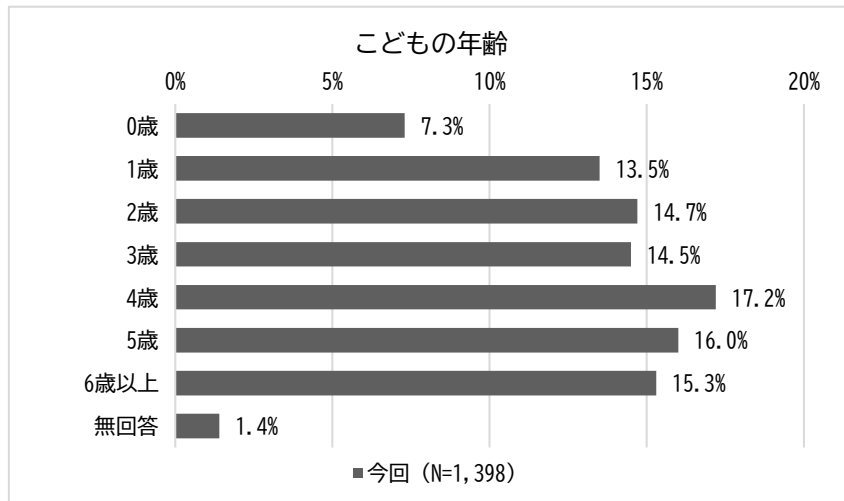
Ⅱ.調査結果(就学前児童)

1. こどもとご家族の状況について

あて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。

問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

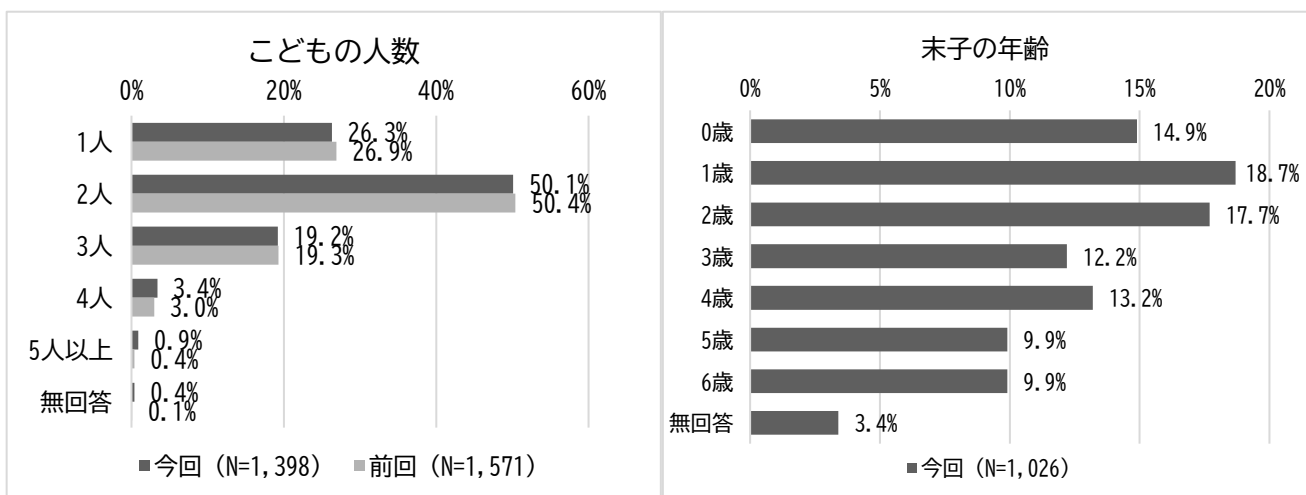
「4歳」が17.2%と最も多く、次いで「5歳」が16.0%、「6歳以上」が15.3%となっています。



問2 お子さんの人数は何人ですか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

こどもの人数は「2人」が50.1%で最も多く、次いで「1人」が26.3%、「3人」が19.2%となっています。前回との比較ではほとんど変化が見られません。

末子の年齢は「1歳」が18.7%と最も多く、次いで「2歳」が17.7%、「0歳」が14.9%となっています。

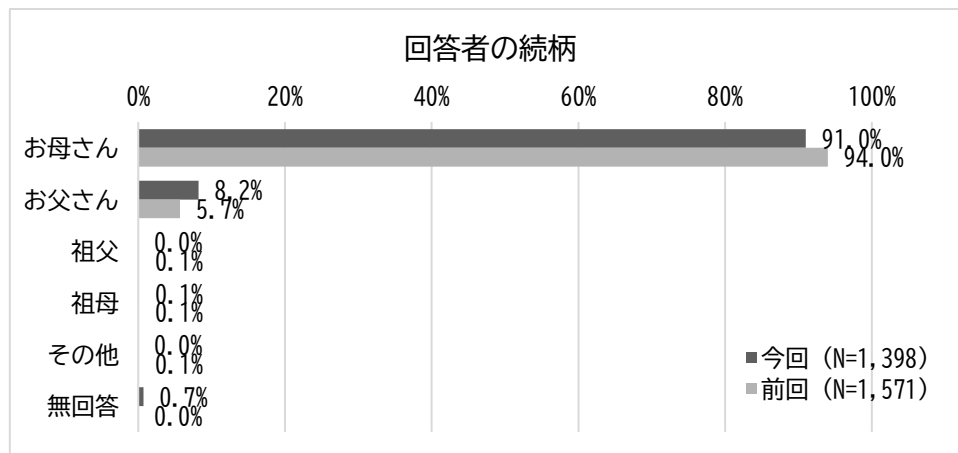


問3 あて名のお子さんから見て、この調査にご回答いただく方はどなたですか。

(1つだけ○)

回答者は「お母さん」が91.0%と最も多く、次いで「お父さん」が8.2%となっています。

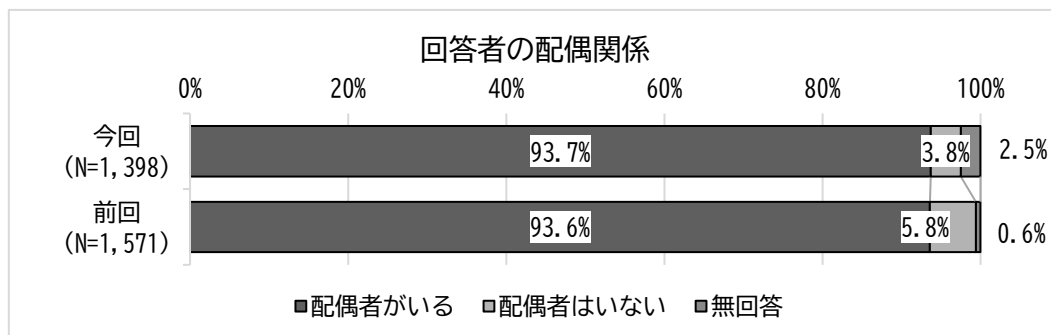
前回と比較すると、「お父さん」は2.5ポイント増加し、「お母さん」は2.5ポイント減少しています。



問4 この調査にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つだけ○)

「配偶者がいる」が93.7%、「配偶者はいない」が3.8%となっています。

前回との比較では、ほとんど変化が見られません。

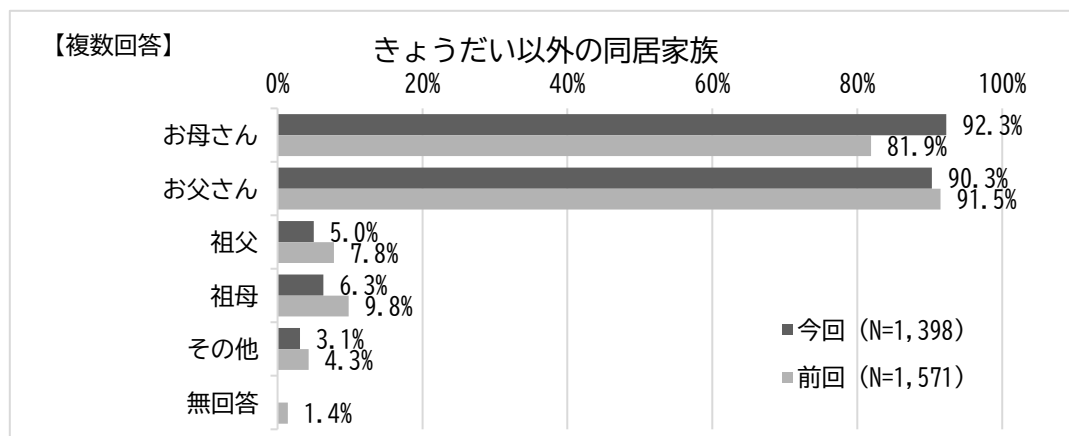


問5 あて名のお子さんから見て、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

「お母さん」が92.3%と最も多く、次いで「お父さん」が90.3%となっています。

前回との比較では、ほとんど変化がありません。



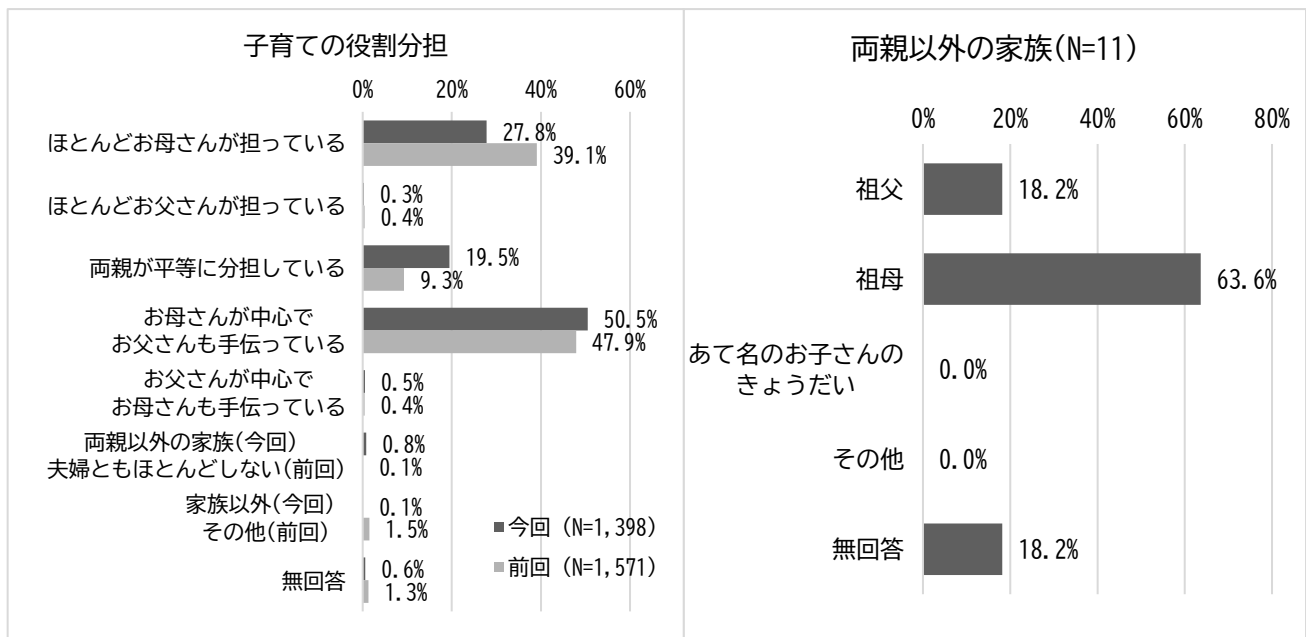
問6 あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。

「6.両親以外の家族」を選択する場合は、() 内の該当するものに○をしてください。「その他」「家族以外」の場合は、具体的にお答えください。(1つだけ○)

「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」が50.5%と最も多く、次いで「ほとんどお母さんが担っている」が27.8%、「両親が平等に分担している」が19.5%となっています。

前回と比較すると、「両親が平等に分担している」が10.2ポイント増加し、「ほとんどお母さんが担っている」が11.3ポイント減少しており、父親の子育て参加が増加しています。

「両親以外の家族」は、「祖母」が63.6%と最も多く、次いで「祖父」が18.2%となっています。



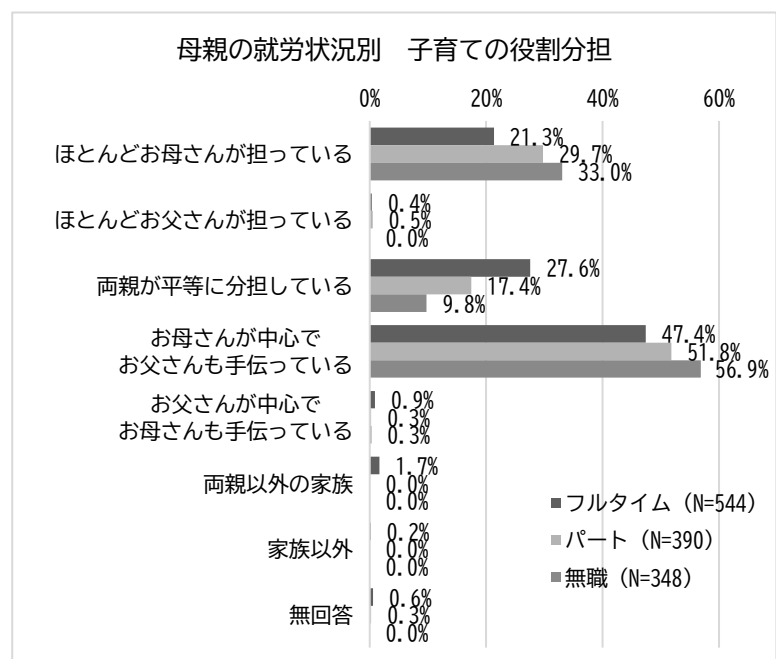
母親の就労状況別 子育ての役割分担

母親の就労状況別に子育ての役割分担を見ると、「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」は「無職」が6.9%で最も多く、次いで「パート」「フルタイム」の順になっています。

「ほとんどお母さんが担っている」も同様に「無職」が33.%で最も多く、次いで「パート」「フルタイム」の順になっています。

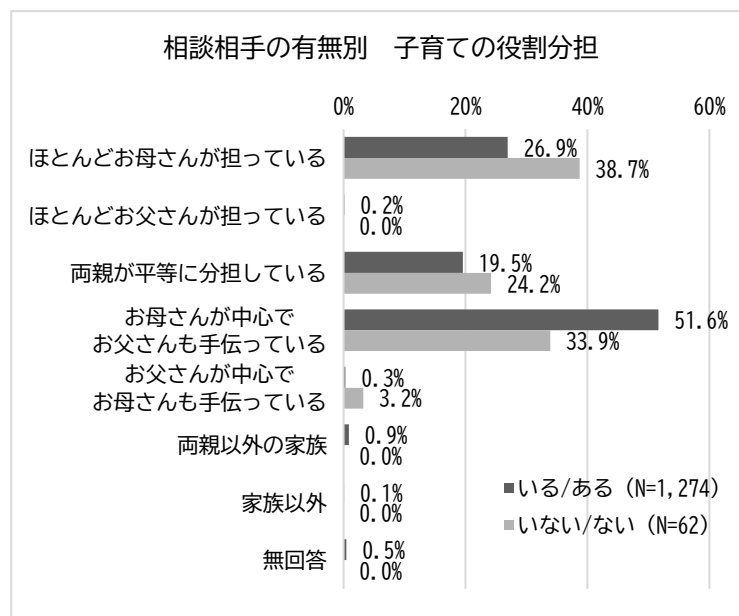
「両親が平等に分担している」は逆に「フルタイム」が27.6%で最も多く、次いで「パート」「無職」の順になっています。

家庭内における子育ての役割分担は母親の就労状況に左右されているものと思われます。



相談相手の有無別 子育ての役割分担

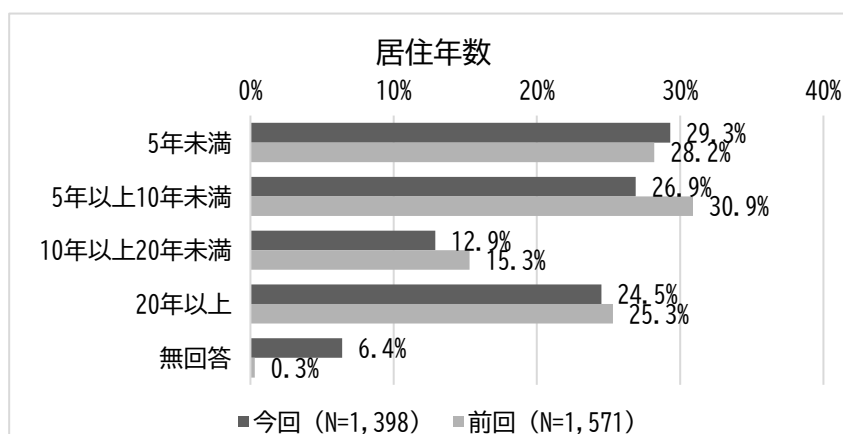
相談相手の有無別に子育ての役割分担を見ると、相談相手が「いる/ある」は、「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」が51.6%で最も多く、「いない/ない」は「ほとんどお母さんが担っている」が38.7%で最も多くなっており、相談相手もなく、子育てに孤軍奮闘している母親の姿が見てとれます。



問7 あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。(1つだけ○)

「5年未満」が29.3%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が26.9%、「20年以上」が24.5%となっています。

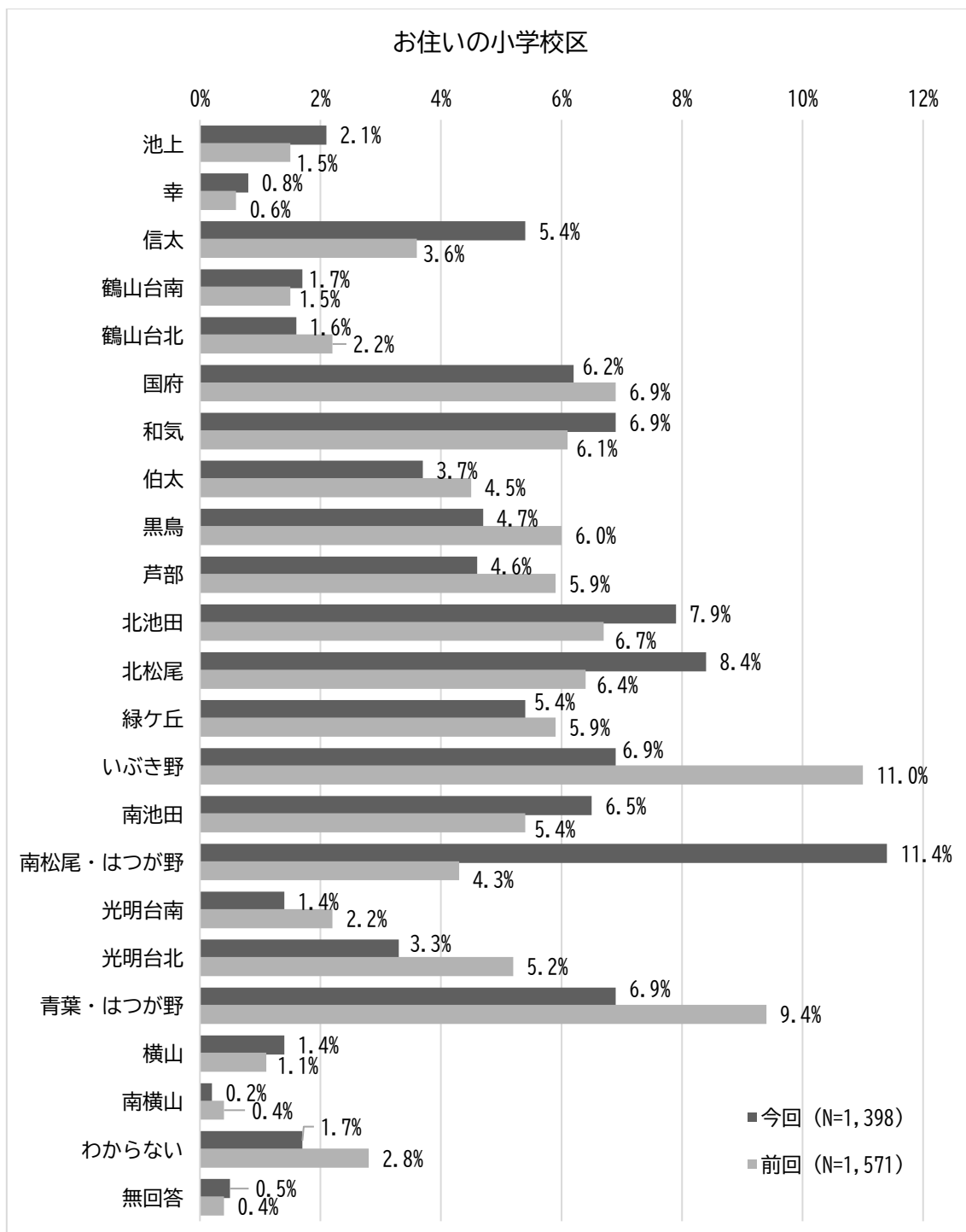
前回と比較すると、「無回答」が6.1ポイント増加し、「5年以上10年未満」が4.0ポイント、「10年以上20年未満」が2.4ポイント減少しています。



問8 お住いの小学校区はどこですか。わからない場合は「22. わからない」に町名をご記入ください。
(1つだけ○)

「南松尾・はつが野」が11.4%と最も多く、次いで「北松尾」が8.4%となっています。

前回と比較すると、「南松尾・はつが野」が7.1ポイント増加し、「いぶき野」が4.1ポイント減少しています。



2. こどもの保護者の就労状況について

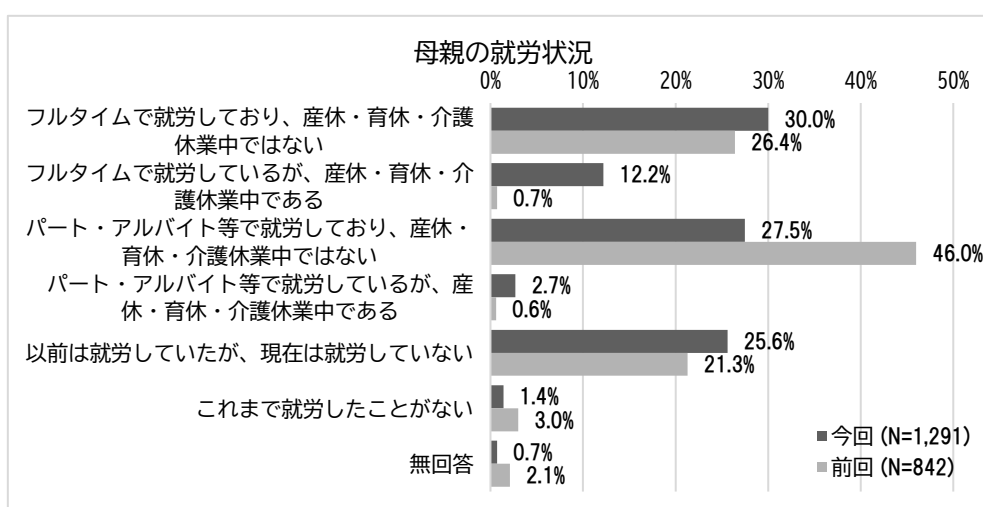
あて名のお子さんのお母さん、お父さんの就労状況についておうかがいします。

問9 お母さん、お父さんの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をおうかがいします。お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。(1つだけ○)

(1)母親

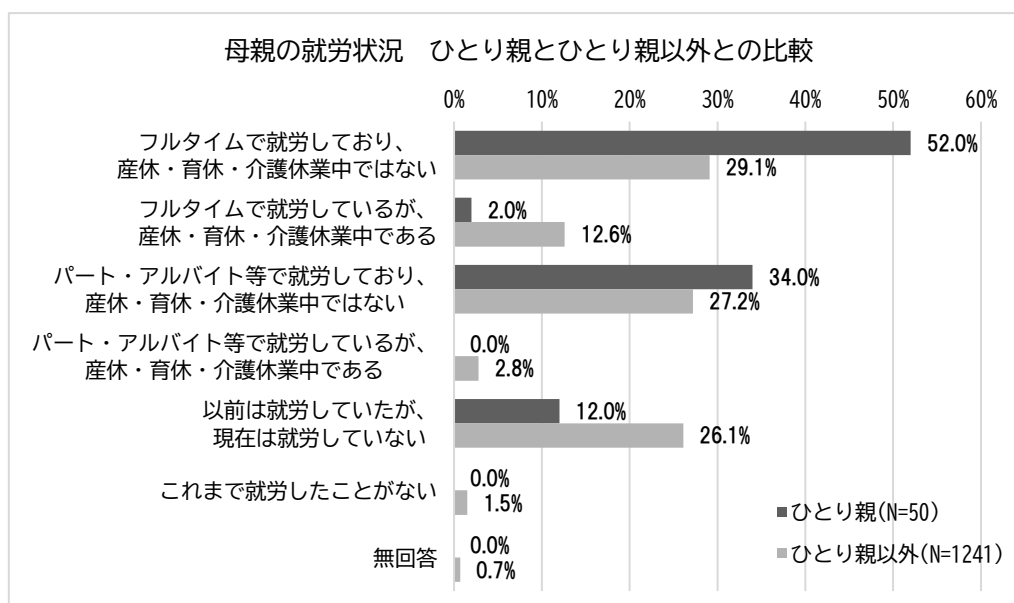
「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.6%となっています。

前回と比較すると「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.5ポイント減少しています。



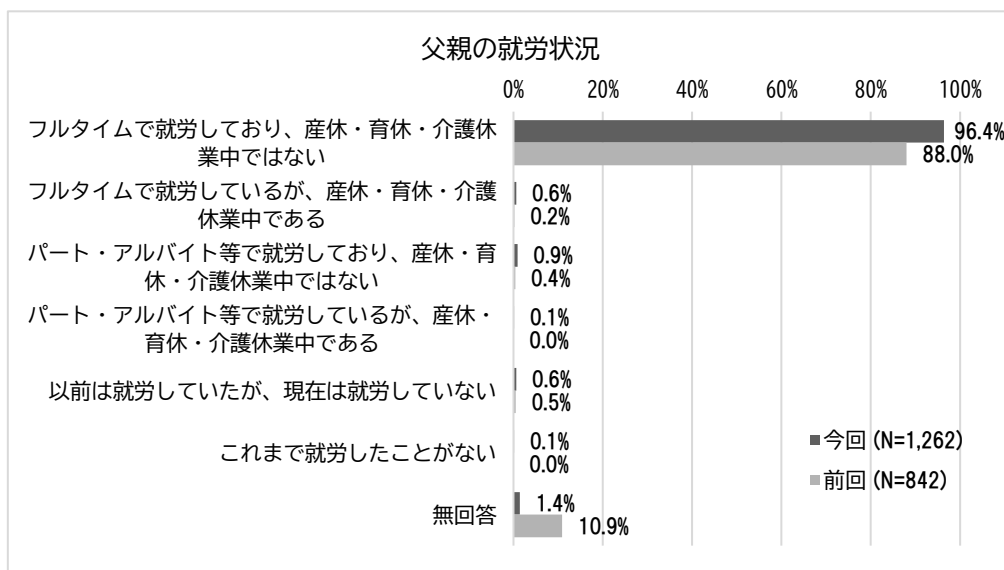
母親の就労状況をひとり親とひとり親以外で比較すると、ひとり親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が52.0%と、ひとり親以外に比べ、22.9ポイント上回っています。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」は、ひとり親が12.0%で、ひとり親以外に比べ14.1ポイント下回っています。



(2)父親

父親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.4%と最も多くなっており、前回と比較して8.4ポイント増加しています。



問 10 問 9 で「1～4」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。

就労日数・時間等(休業中の方は、休業に入る前の状況)をお答えください。時間は24時間制でお答えください。

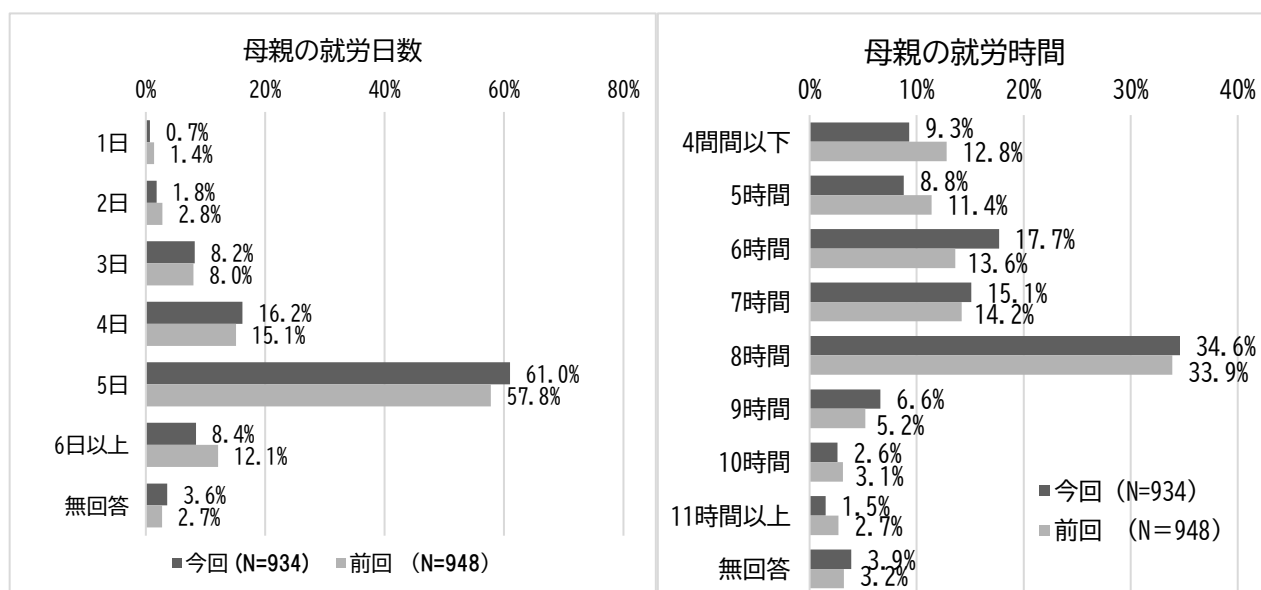
(1)母親

母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が61.0%と最も多く、次いで「4日」が16.2%、「3日」が8.2%となっています。

前回と比較すると、「5日」が3.2ポイント増加し、「6日以上」が3.7ポイント減少しています。

母親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が34.6%と最も多く、次いで「6時間」が17.1%、「7時間」が15.1%となっています。

前回と比較すると、「6時間」が4.1ポイント増加し、「4時間以下」が3.5ポイント減少しています。

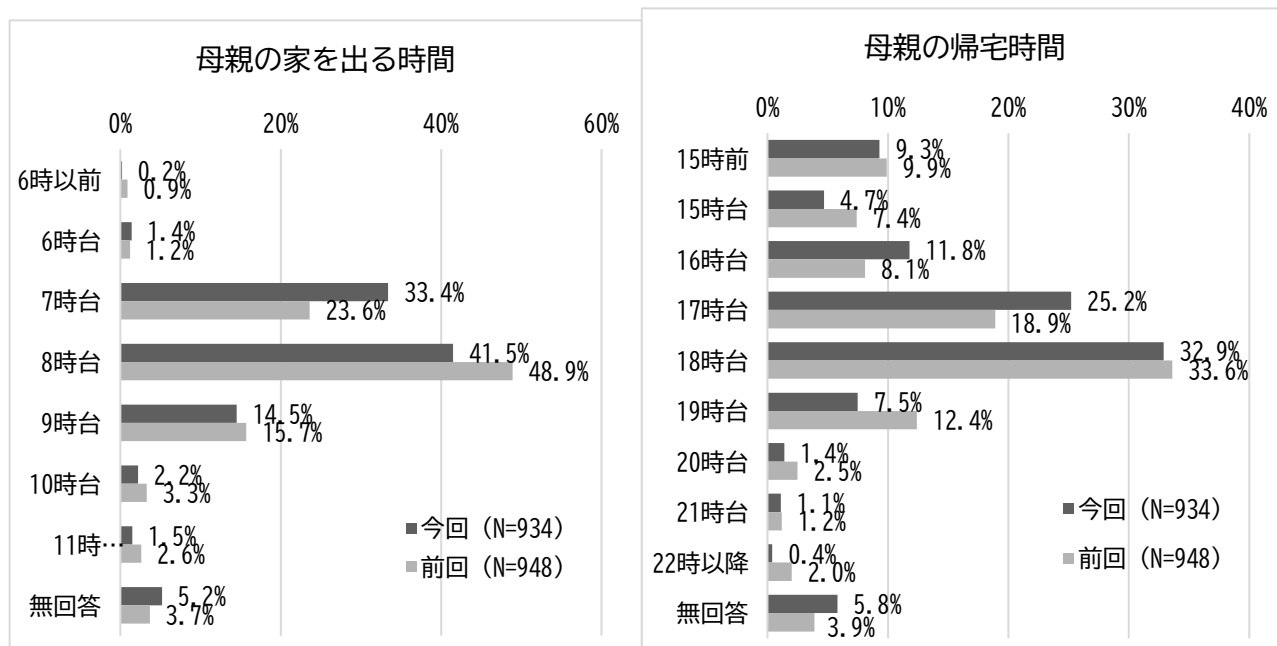


母親の家を出る時間は、「8時台」が 41.5%と最も多く、次いで「7時台」が 33.4%、「9時台」が 14.5%となっています。

前回と比較すると、「7時台」が 9.8 ポイント増加し、「8時台」が 7.4 ポイント減少しています。

母親の帰宅時間は、「18 時台」が 32.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 25.2%、「16 時台」が 11.8%となっています。

前回と比較すると、「16 時台」が3.7ポイント、「17 時台」が6.3ポイント増加し、「19 時台」が4.9ポイント減少しています。



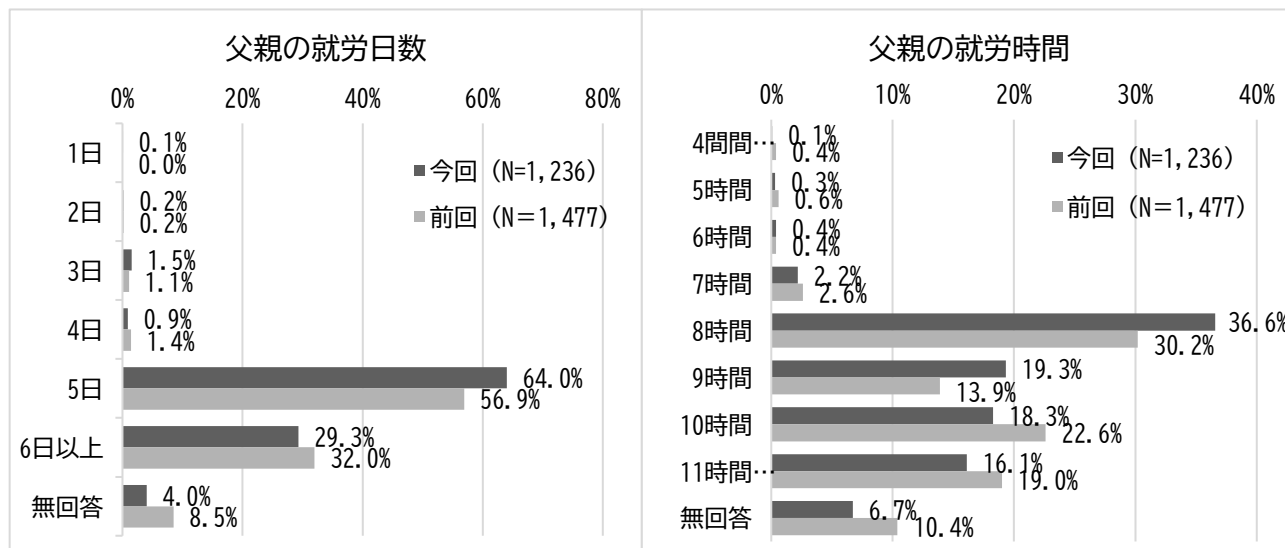
(2)父親

父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が 64.0%と最も多く、次いで「6日以上」が 29.3%となっています。

前回と比較すると、「5日」が 7.1 ポイント増加し、「6日以上」が 2.7 ポイント減少しています。

父親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が 36.6%と最も多く、次いで「9時間」が 19.3%、「10 時間」が 18.3%となっています。

前回と比較すると、「8時間」が6.4ポイント、「9時間」が5.4ポイント増加し、「10 時間」が4.3ポイント減少しています。

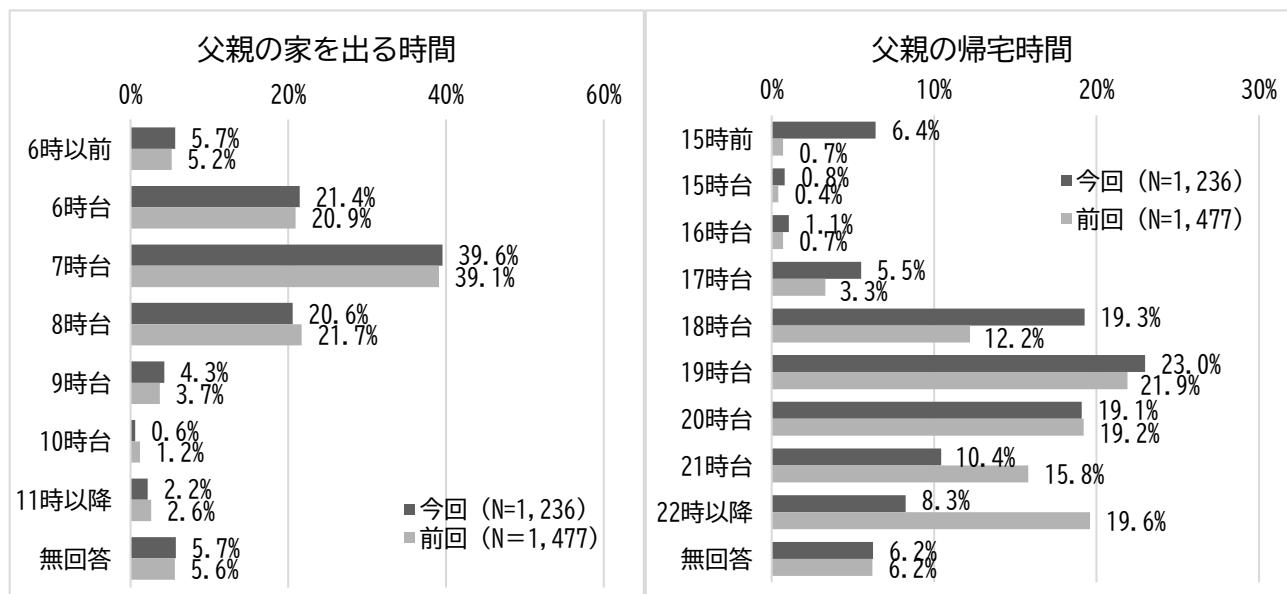


父親の家を出る時間は、「7時台」が 39.6%と最も多く、次いで「6時台」が 21.4%、「8時台」が 20.6%となっています。

前回と比較すると、ほとんど変化が見られません。

父親の帰宅時間は、「19 時台」が 23.0%と最も多く、次いで「18 時台」が 19.3%、「20 時台」が 19.1%となっています。

前回と比較すると、「15 時前」が 5.7 ポイント、「18 時台」が 7.1 ポイント増加し、「21 時台」が 5.4 ポイント、「22 時以降」が 11.3 ポイント減少しています。



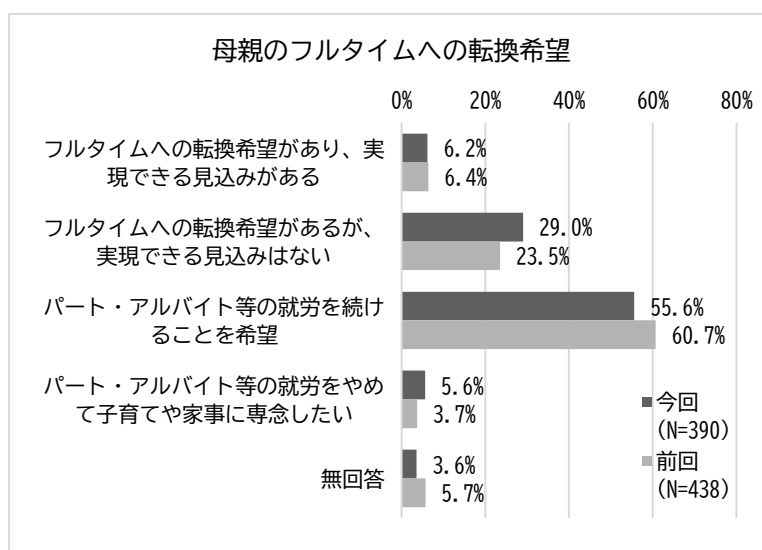
問 11 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけたパート・アルバイトで仕事をお持ちの方(休業中の方も含む)におうかがいします。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つだけ○)

(1)母親

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 55.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 29.0%となっています。

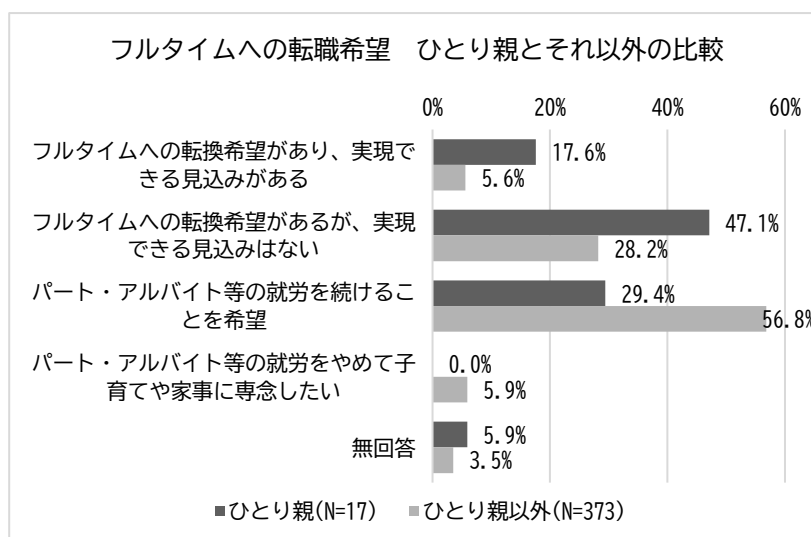
前回と比較すると、「フルタイムの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 5.5 ポイント増加し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 5.1 ポイント減少しています。



ひとり親とそれ以外の比較

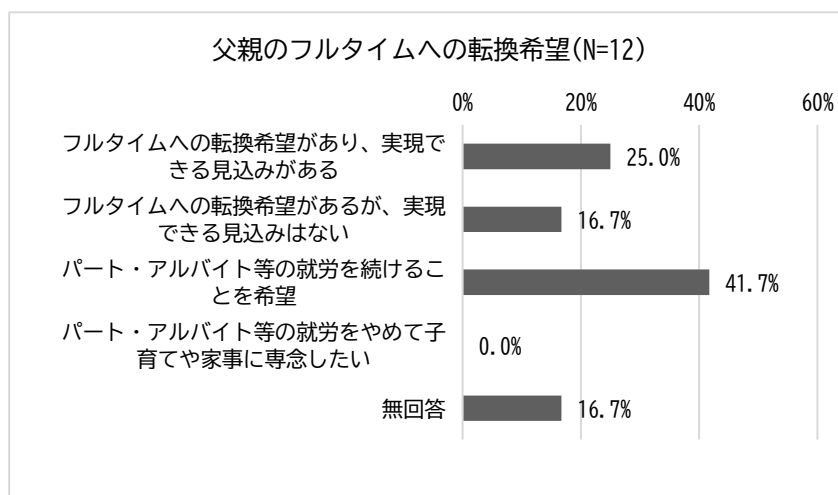
母親のフルタイムへの転換希望をひとり親とひとり親以外で比較すると、ひとり親は「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が 47.1%と最も多く、ひとり親以外の 28.2%に比べ、18.9 ポイント上回っています。

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は、ひとり親が 29.4%となっており、ひとり親以外の 56.8%比べ、27.4 ポイント下回っています。



(2)父親

父親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 41.7%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 25.0%となっています。



問 12 問 9 で「5.」または「6.」に○をつけた仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。また、枠内に具体的な数字を入れてください。(1つだけ○)

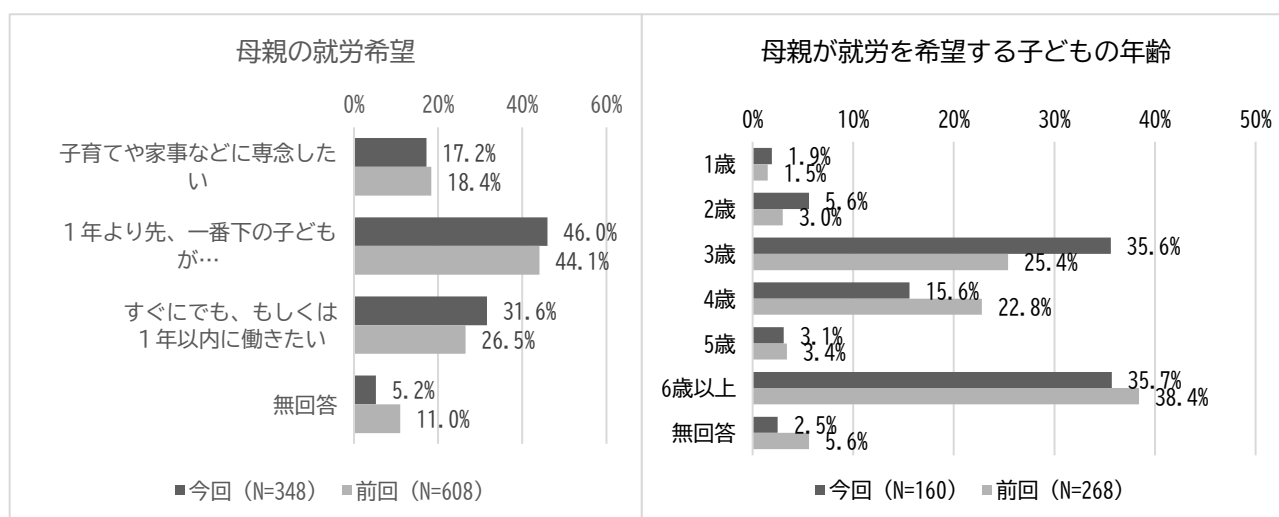
(1)母親

母親の就労希望は「1 年より先、一番下のこどもが一定年齢になったころに就労したい」が 46.0%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 31.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない)」が 17.2%となっています。

前回と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が5.1ポイント増加しています。

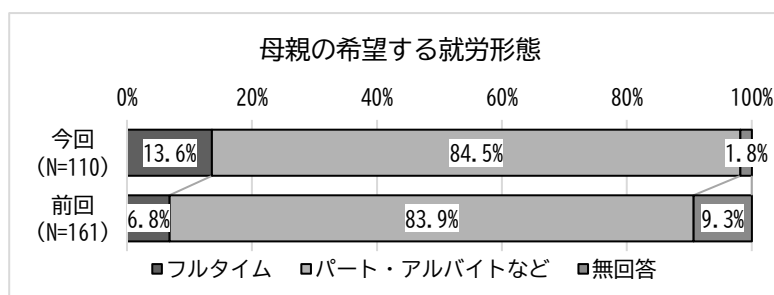
母親が就労を希望するこどもの年齢、「6歳以上」が 35.7%と最も多く、次いで「3歳」が 35.6%、「4歳」が 15.6%となっています。

前回と比較すると、「3歳」が 10.2 ポイント増加し、「4歳」が 7.2 ポイント減少しています。



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ母親が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が 84.5%、「フルタイム」が 13.6%となっています。

前回と比較すると、「フルタイム」が 6.8ポイント増加しています。

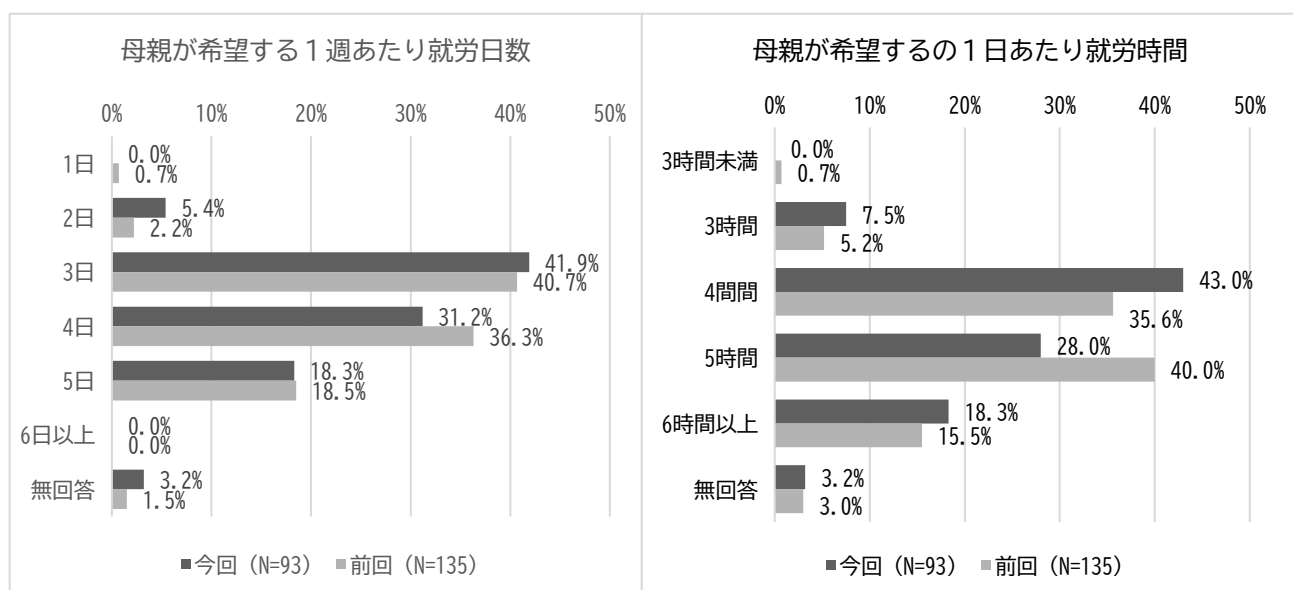


「パートタイム、アルバイト等」を選んだ母親が希望する1週あたり就労日数は、「3日」が41.9%と最も多く、次いで「4日」が31.2%、「5日」が18.3%となっています。

前回と比較すると、「2日」が 3.2ポイント増加し、「4日」が 5.1ポイント減少しています。

「パートタイム、アルバイト等」を選んだ母親が希望する1日あたりの就労時間は、「4時間」が 43.0%と最も多く、次いで「5時間」が28.0%、「6時間以上」が18.3%となっています。

前回と比較すると、「4時間」が 7.4ポイント増加し、「5時間」が 12.0ポイント減少しています。



(2)父親

現在、就労していない父親 8 件の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件、「1年より先、一番下のこどもが一定年齢になったころに就労したい」が 0 件、「子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない)」が3件、「子育てや家事などに専念したい」が1件となっています。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態は、「フルタイム」が2件、「パート・アルバイトなど」が 1 件となっています。

就労希望で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ父親の1週あたり就労日数は「4日」が1件、、1日あたり就労時間は「6時間以上」が1件となっています。

3. 母親の妊娠時の状況と希望のこども数について

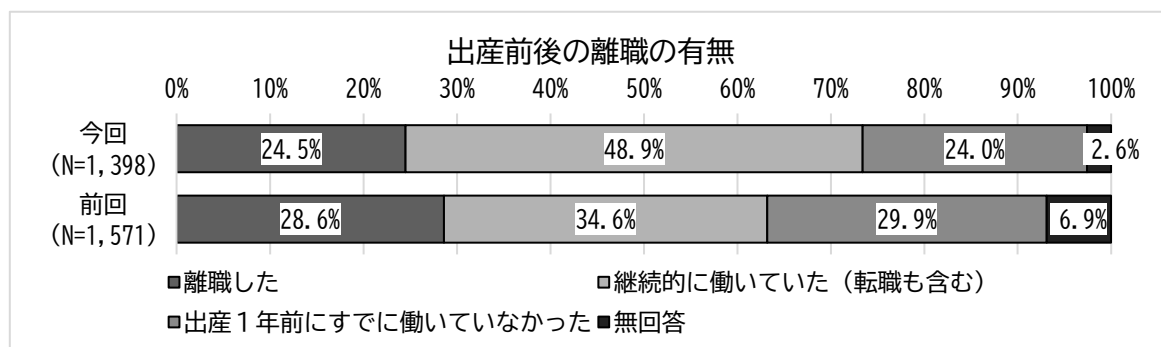
お母さんの妊娠時の状況と希望のこども数についておうかがいします。

問 13 あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。

(1つだけ○)

「継続的に働いていた(転職も含む)」が 48.9%と最も多く、次いで「離職した」が 24.5%、「出産1年前にすでに働いていなかった」が 24.0%となっています。

前回と比較すると、「継続的に働いていた(転職も含む)」が 14.3 ポイント増加しています。



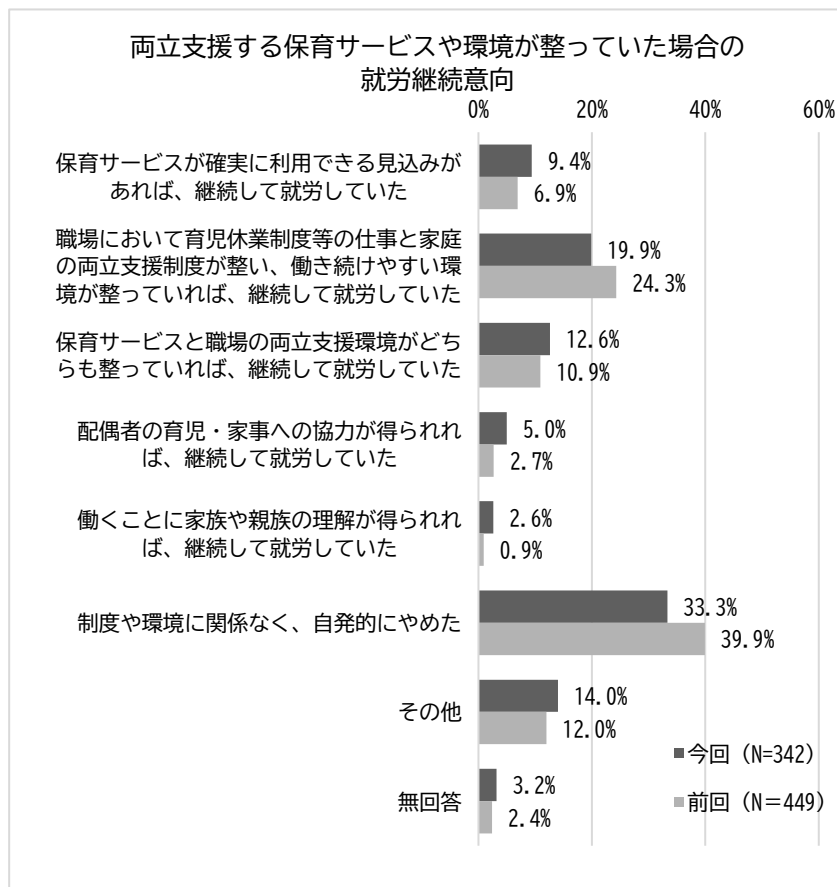
問 13-1 問 13 で「1. 離職した」に○をつけた方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

(1つだけ○)

「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」が 33.3%と最も多く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が 19.9%、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が 12.6%となっています。

前回と比較すると、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が 2.5 ポイント増加し、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が 4.4 ポイント減少しています。

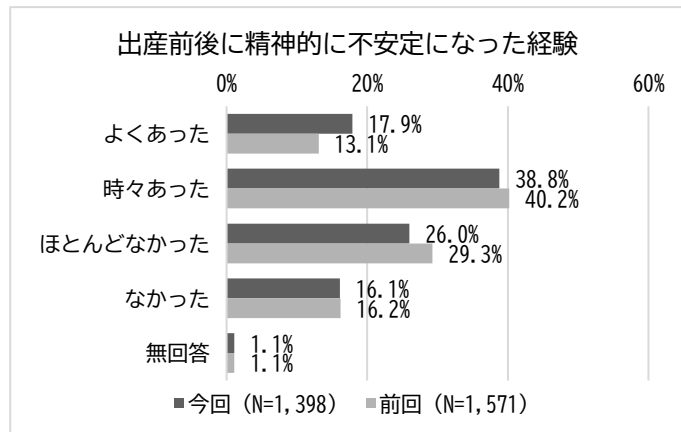


問 14 すべての方におうかがいします。

あて名のお子さんを妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったことはありますか。
(1つだけ○)

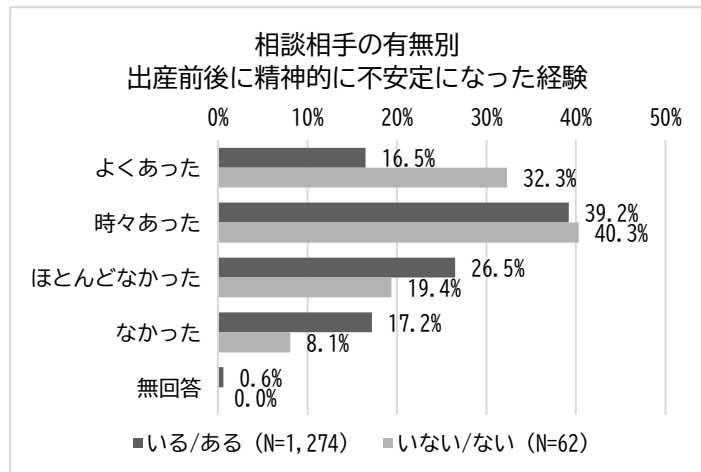
妊娠・出産で精神的に不安定になったことの有無については「時々あった」が 38.8%と最も多く、次いで「ほとんどなかった」が 26.0%、「よくあった」が 17.9%となっています。

前回と比較すると、「よくあった」が 4.8 ポイント増加しています。



相談相手の有無別 出産前後に精神的に不安定になった経験

相談相手の有無別に産前後に精神的に不安定になった経験を見ると、「よくあった」は相談相手が「いない/ない」が 32.3%で、「いる/ある」に比較して、15.8 ポイント多くなっています。



問 15 妊娠中や出産後にどのようなことに困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

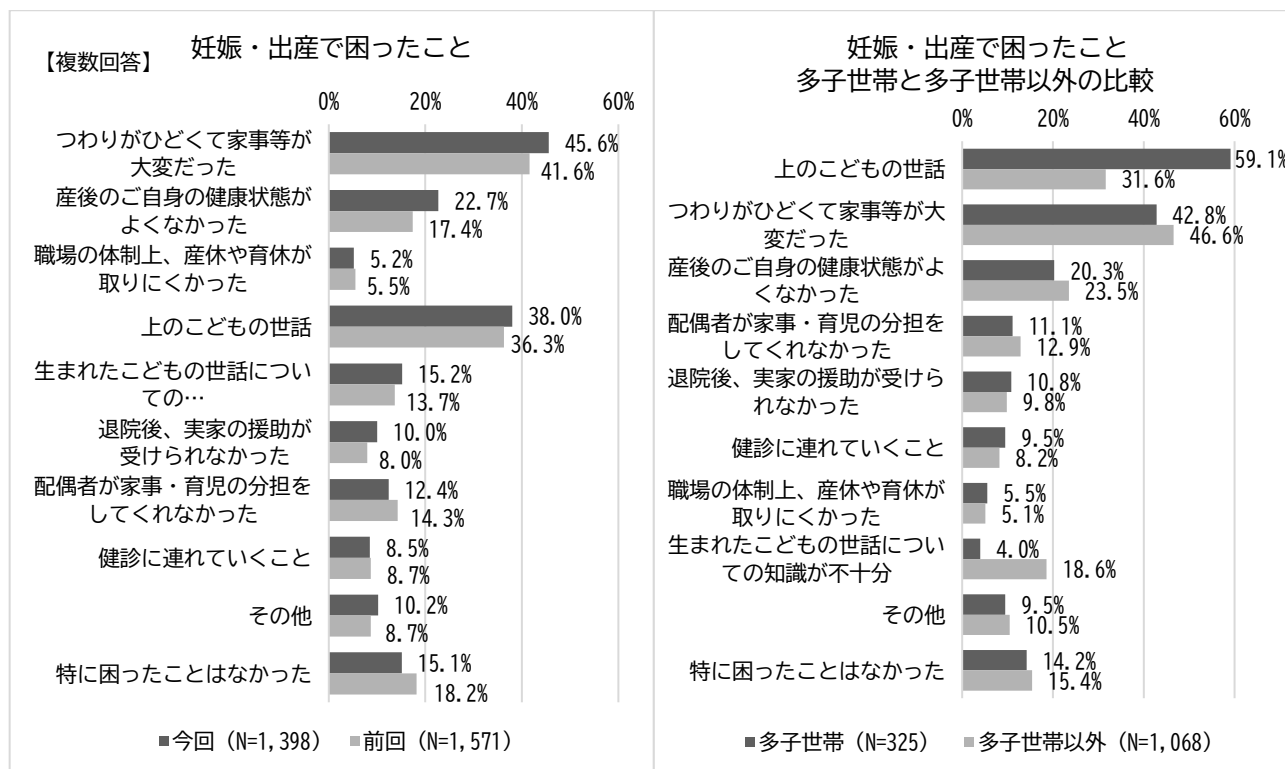
妊娠・出産で困ったことは、「つわりがひどくて家事等が大変だった」が 45.6%と最も多く、次いで「上のこどもの世話」が 38.0%、「産後のご自身の健康状態がよくなかった」が 22.7%となっています。

前回と比較すると、「産後のご自身の健康状態がよくなかった」が 5.3 ポイント増加しています。

多子世帯と多子世帯以外の比較

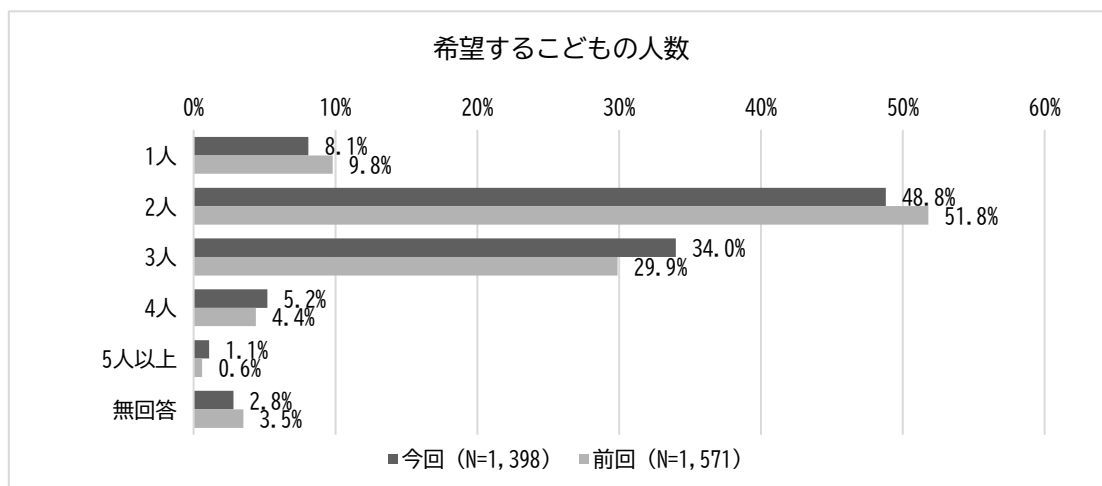
多子世帯では「上のこどもの世話」が 59.1%と最も多く次いで「つわりがひどくて家事等が大変だった」が 42.8%、「産後のご自身の健康状態がよくなかった」が 20.3%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「上のこどもの世話」が 27.5 ポイント上回り、「生まれたこどもの世話についての知識が不十分」が 14.6 ポイント下回っています。



問 16 現在のお子さんを含めて、最終的に希望されているお子さんの人数は何人ですか。

希望するこどもの人数は「2人」が48.8%と最も多く、次いで「3人」が34.0%となっています。
前回と比較すると、「3人」が4.1ポイント増加し、「2人」が3.0ポイント減少しています。



問 17 お子さんが3人以上、もしくは双子や三つ子の方におうかがいします。該当しない方は問 18 へお進みください。

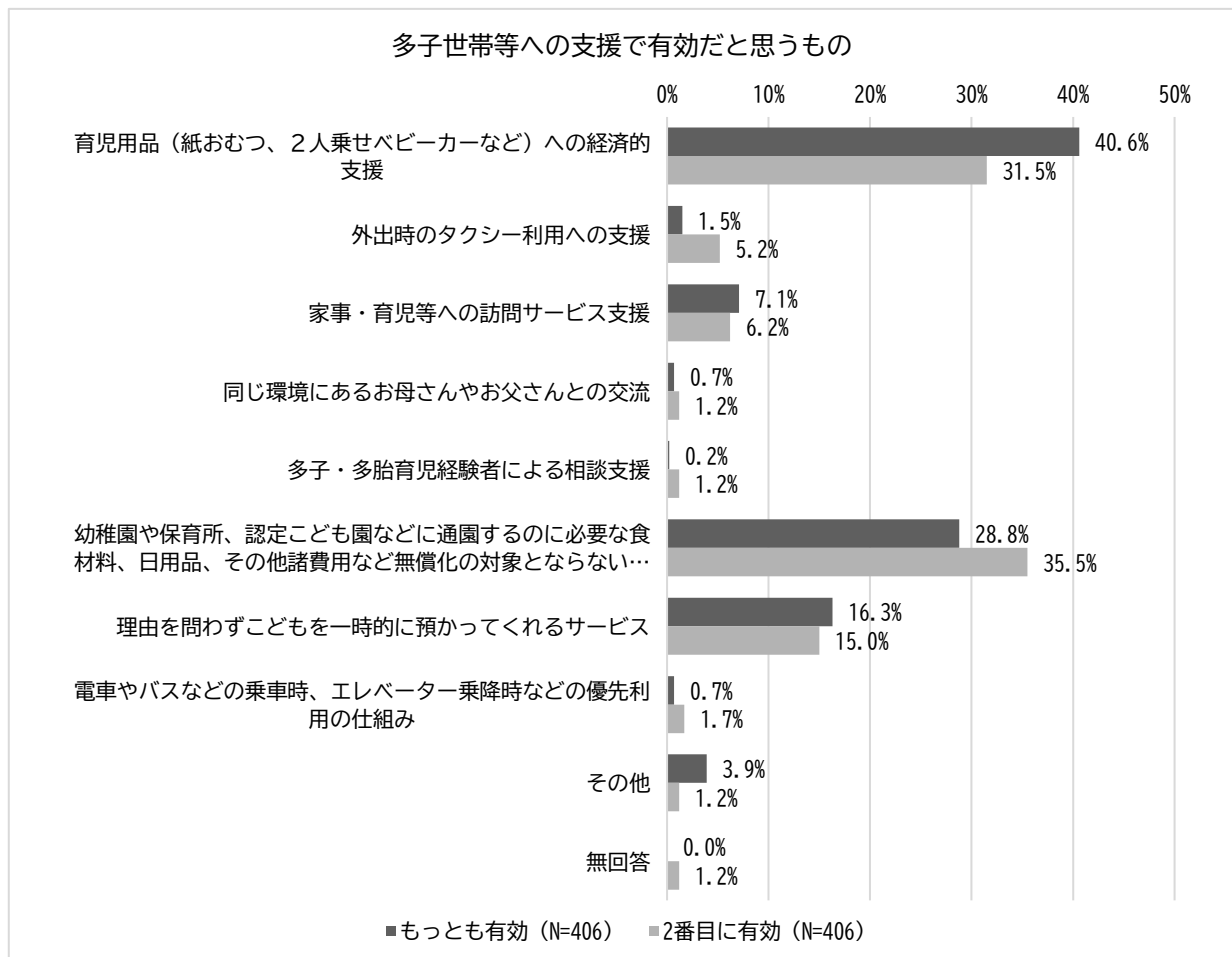
どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。最も有効と思われるもの、2番目に有効と思われるもの、それぞれに○をつけてください。

多子世帯等への支援で最も有効だと思うもの

「育児用品(紙おむつ、2人乗せベビーカーなど)への経済的支援」が40.6%と最も多く、次いで「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」が28.8%、「理由を問わずこどもを一時的に預かってくれるサービス」が16.3%となっています。

多子世帯等への支援で2番目に有効だと思うもの

「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」が35.5%と最も多く、「育児用品(紙おむつ、2人乗せベビーカーなど)への経済的支援」が31.5%、「理由を問わずこどもを一時的に預かってくれるサービス」が15.0%となっています。



4. こどもの育ちをめぐる環境について

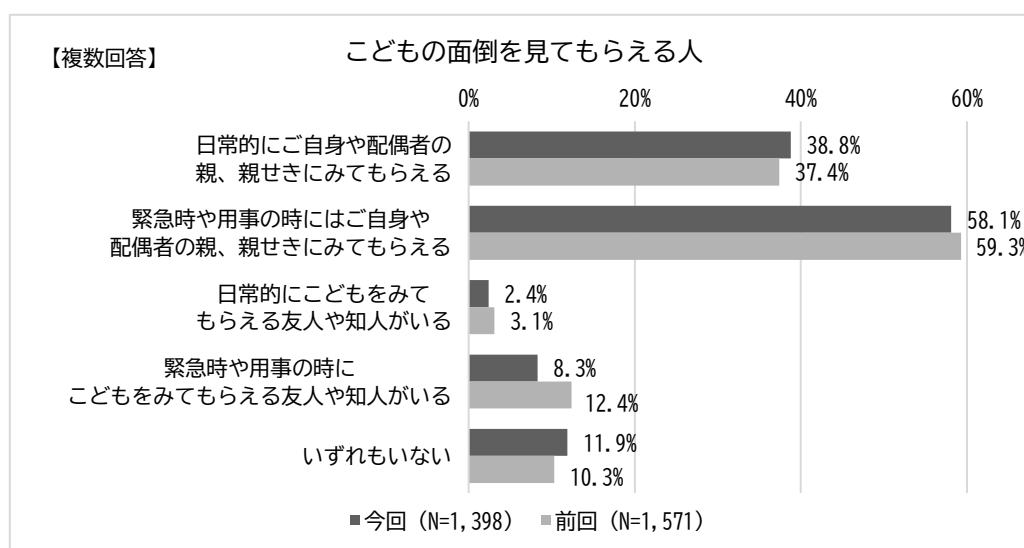
あて名のお子さんの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問 18 ふだん、あて名のお子さんの面倒を見てもらえる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

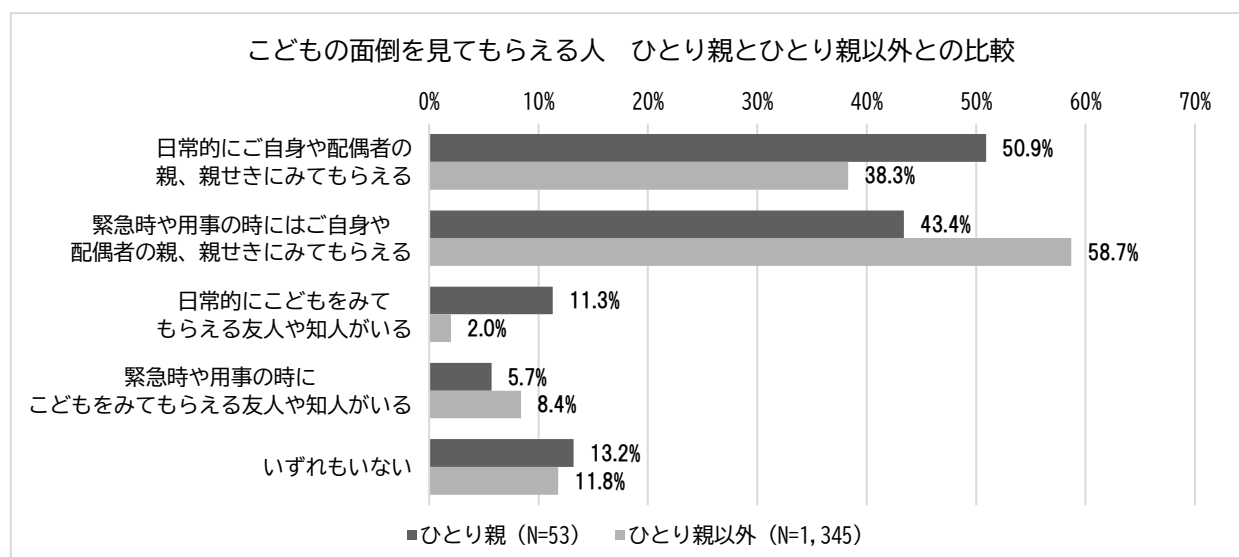
こどもの面倒を見てもらえる人は「緊急時や用事の時にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 58.1%と最も多く、次いで「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 38.8%、「いずれもない」が 11.9%となっています。

前回と比較すると、「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」「いずれもない」が増加し、「緊急時や用事の時にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」「日常にこどもをみてもらえる友人や知人がいる」「緊急時や用事の時にこどもをみてもらえる友人や知人がいる」が減少しています。



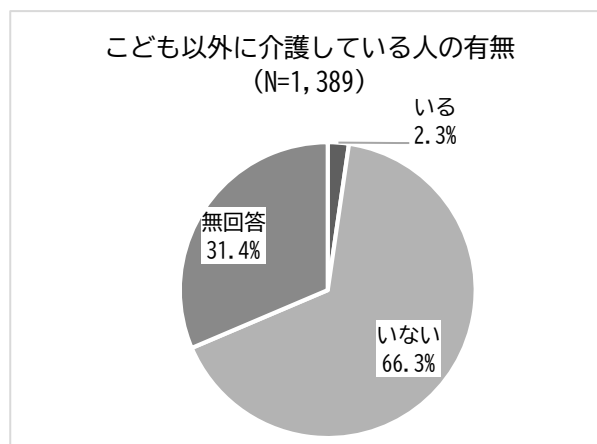
こどもの面倒を見てもらえる人をひとり親とひとり親以外で比較すると、「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」がひとり親では 50.9%と最も多く、ひとり親以外では 38.3%となっており、12.6 ポイントの差が出ています。

「緊急時や用事の時にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」がひとり親では 43.4%、ひとり親以外では 58.7%と最も多くなっており、15.3 ポイントの差が出ています。



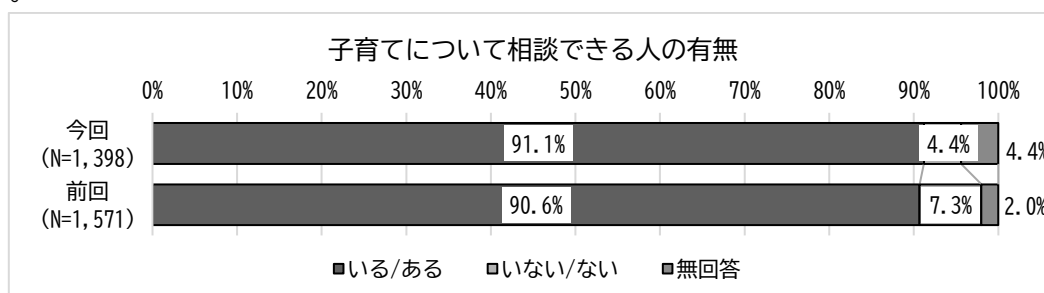
問 19 家族にあて名のお子さん以外であなたが介護している方はいますか(例:祖父母の介護等)。
(1つだけ○)

こども以外に介護している人は「いない」が 66.3%、
「いる」が 2.3%となっています。



問 20 子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てについて相談できる人については「いる／ある」が 91.1%、「いない／ない」が 4.4%となっています。
前回と比較すると、「いる／ある」が 0.5 ポイントとわずかに増加し、「いない／ない」割合が 2.9 ポイント減少しています。

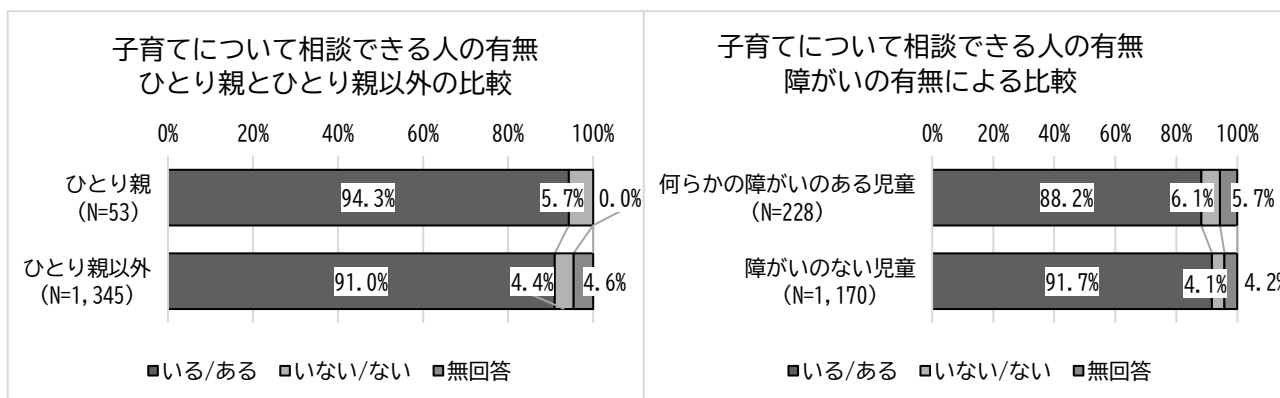


ひとり親とひとり親以外の比較

子育てについて相談できる人の有無をひとり親とひとり親以外で比較する、「ひとり親」は「いる/ある」が 94.3%で、「ひとり親以外」に比較して 3.3 ポイント多くなっています。

障がいの有無による比較

子育てについて相談できる人の有無を障がいの有無で比較する、「何らかの障がいのある児童」は「いる/ある」が 88.2%で、「障がいのない児童」に比較して 3.2 ポイント少なくなっています。

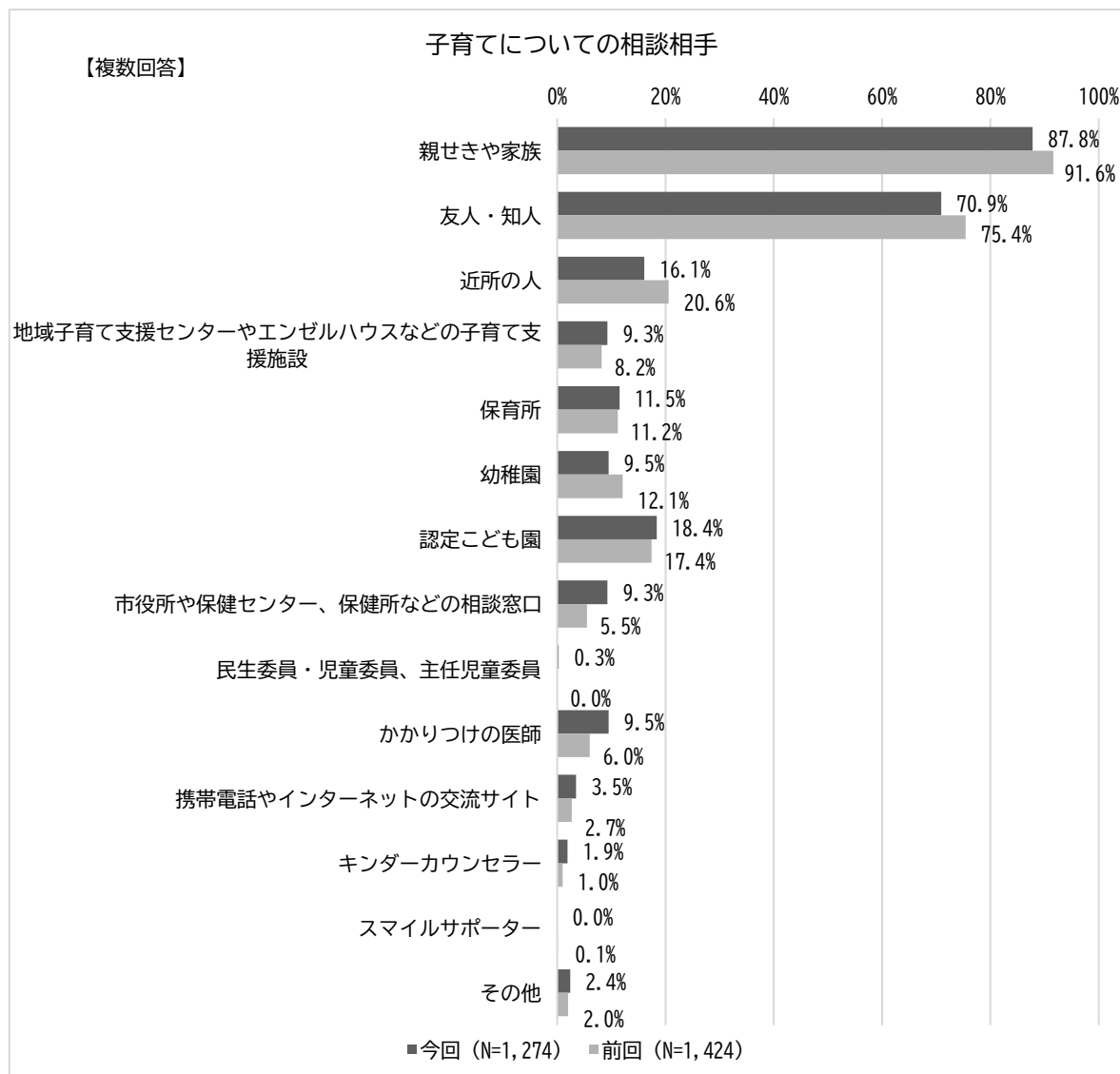


問 20-1 問 20 で「1. いる/ある」に○をつけた方におうかがいします。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

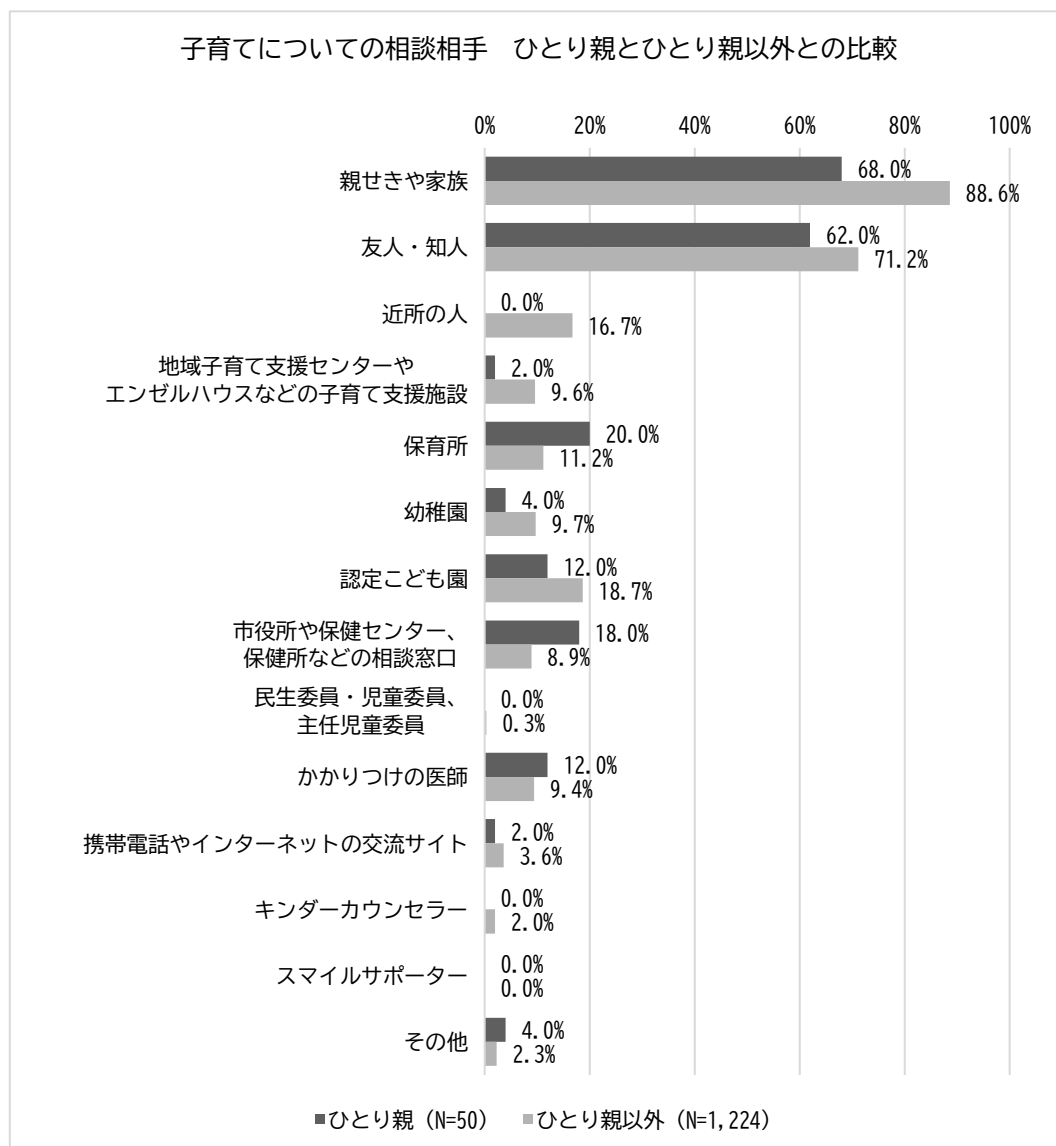
子育てについての相談相手は「親や家族」が 87.8%と最も多く、次いで「友人・知人」が 70.9%、「認定こども園」が18.4%となっています。

前回と比較すると、「市役所や保健センター、保健所などの相談窓口」が 3.8 ポイント、「かかりつけの医師」が 3.5 ポイントと、それぞれ増加し、「親せきや家族」が3.8 ポイント、「友人・知人」が4.5 ポイント減少しています。



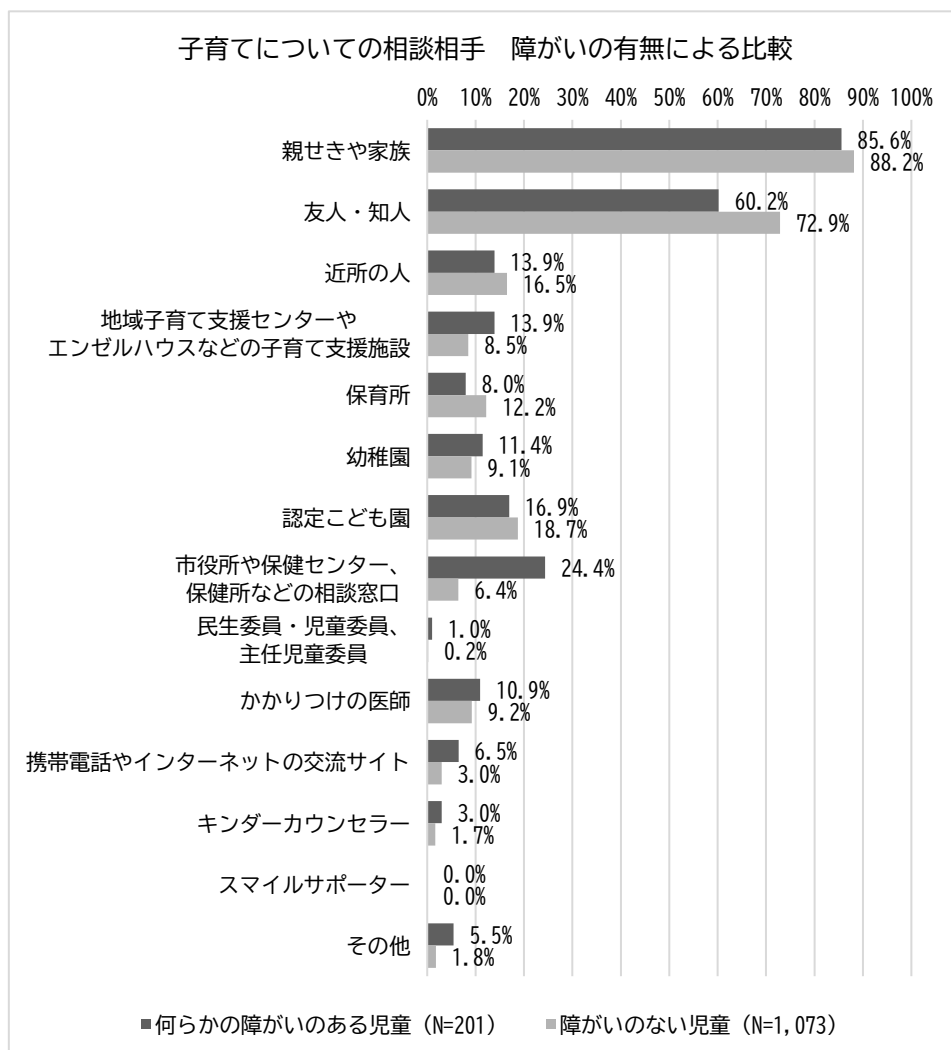
ひとり親とひとり親以外との比較

子育てについての相談相手をひとり親とひとり親以外で比較すると、ひとり親は「親せきや家族」が 68.0%でひとり親以外より 20.6 ポイント下回り、「友人・知人」が 62.0%でひとり親以外より 9.2 ポイント下回っています。



障がいの有無による比較

子育てについての相談相手を障がいの有無で比較すると、何らかの障がいのある児童は「友人・知人」が60.2%で、障がいのない児童より 12.7 ポイント下回り、「市役所や保健センター、保健所などの相談窓口」が24.4%で障がいのない児童より 18.0 ポイント上回っています。



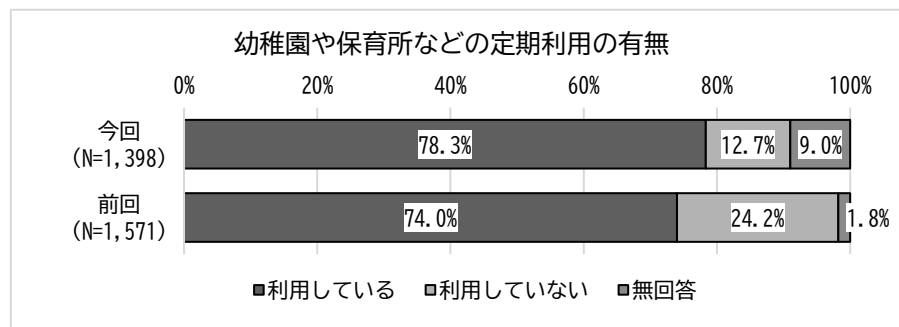
5. こどもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておうかがいします。

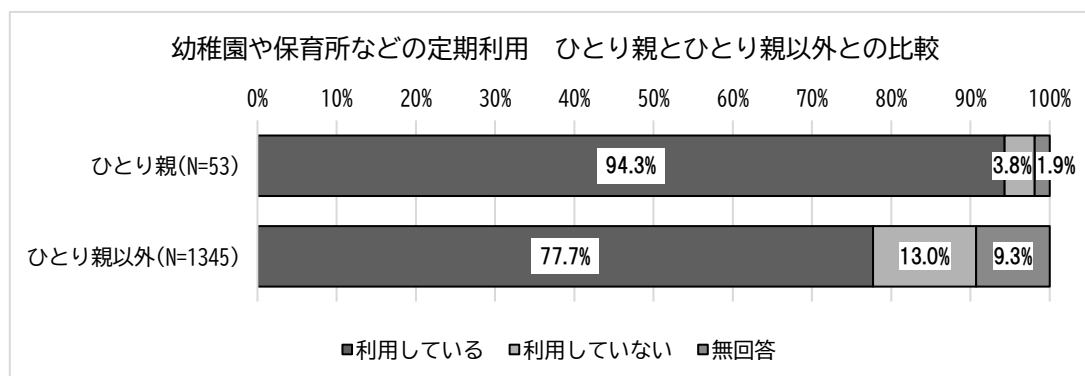
問 21 あて名のお子さんは現在、平日(月曜日から金曜日)に、幼稚園や保育所などのこどもを預かる施設やサービスを「定期的」に利用されていますか。(1 つだけ○)

「利用している」が 78.3%、「利用していない」が 12.7%となっています。

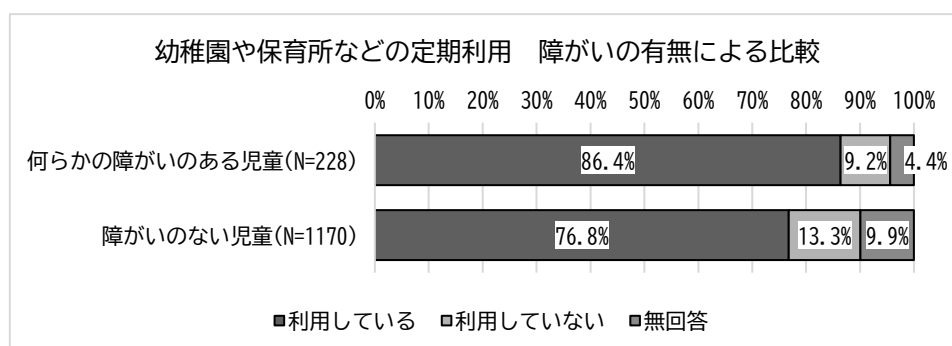
前回と比較すると「利用している」が 4.3 ポイント増加しています。



幼稚園や保育所などの定期利用をひとり親とひとり親以外で比較すると、「利用している」がひとり親では 94.3%と最も多く、ひとり親以外でも 77.7%と最も多くなっており、16.6 ポイントの差が出ています。



幼稚園や保育所などの定期利用を障がいの有無で比較すると、何らかの障がいがある児童は「利用している」が 86.4%で、障がいのない児童に比べ 9.7 ポイント上回っています。

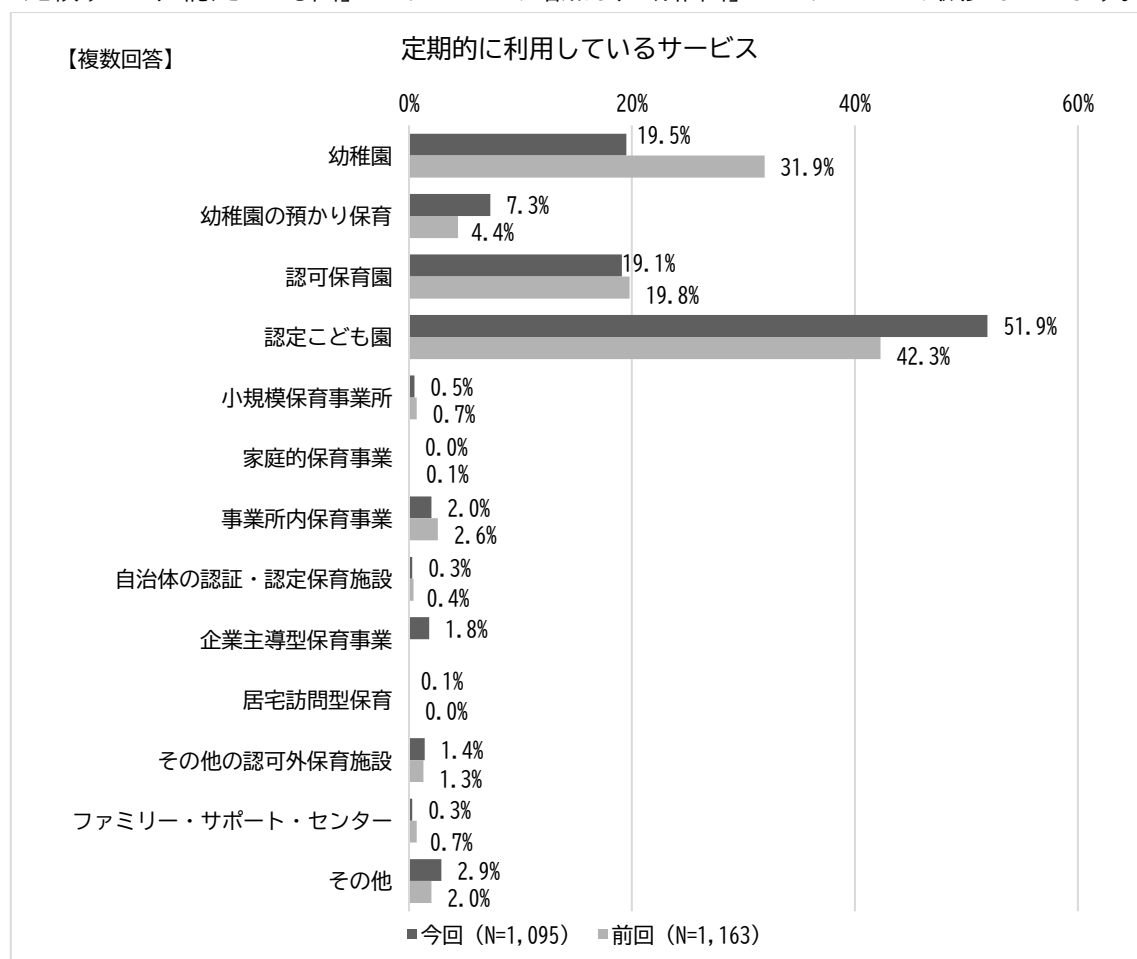


問 21-1 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用しているものをお答えください。

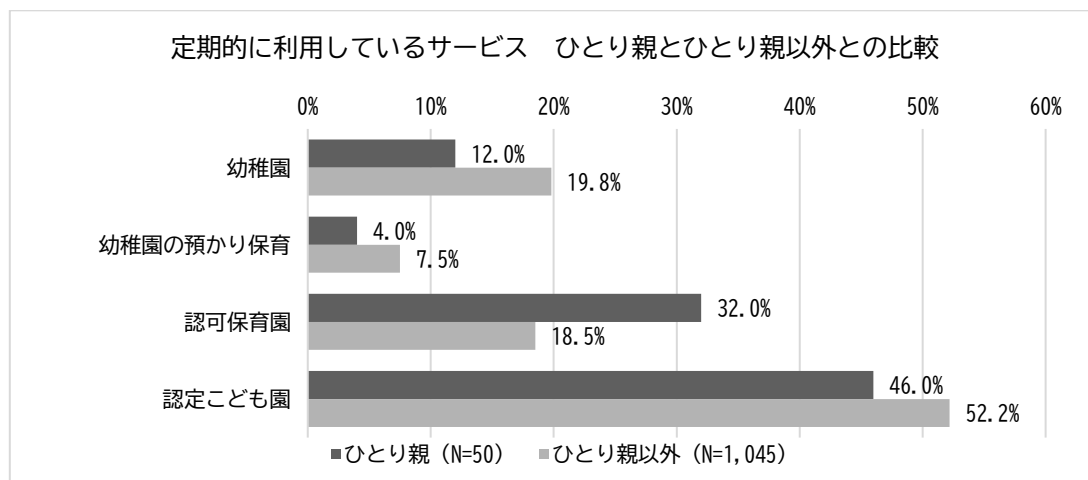
(あてはまるものすべてに○)

「認定こども園」が 51.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が 19.5%、「認可保育所」が 19.1%となっています。前回と比較すると、「認定こども園」が 9.6 ポイント増加し、「幼稚園」が 12.4 ポイント減少しています。



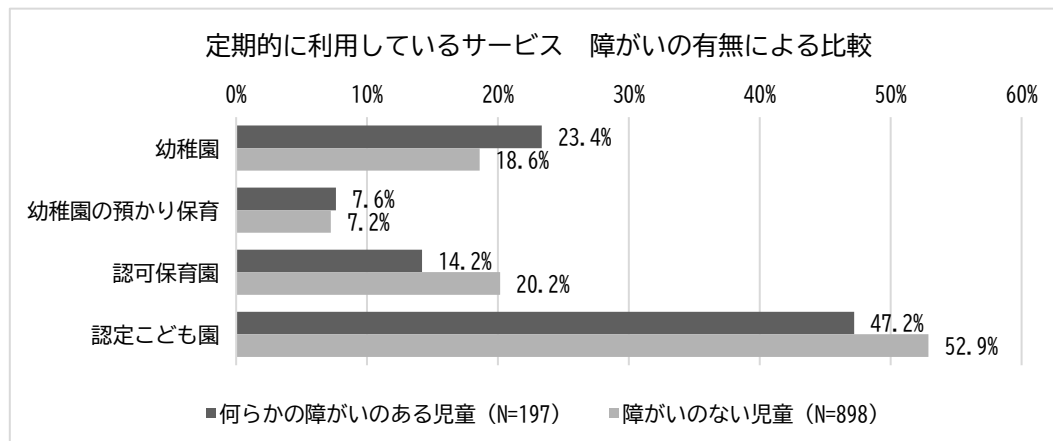
ひとり親とひとり親以外との比較

定期的に利用しているサービスをひとり親とひとり親以外で比較すると、「認可保育園」はひとり親が 32.0%で、ひとり親以外に比べ 13.5 ポイント上回り、「幼稚園」はひとり親が 12.0%で、ひとり親以外に比べ 7.8 ポイント、「認定こども園」はひとり親が 46.0%で、ひとり親以外に比べ 6.28 ポイント下回っています。



障がいの有無による比較

定期的に利用しているサービスを障がいの有無で比較すると、「幼稚園」は何らかの障がいがある児童が 23.4%で、障がいのない児童に比べ 4.8 ポイント上回り、「認可保育園」は何らかの障がいがある児童が 14.2%で、障がいのない児童に比べ 6.0 ポイント、「認定こども園」は何らかの障がいがある児童が 47.2%で、障がいのない児童に比べ 5.7 ポイント下回っています。



問 21-2 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

現在利用されている保育所や幼稚園などの施設はどこにありますか。

最も利用の多いものと 2 番目に利用の多いものの番号を記入の上、その施設の所在地や現在の利用状況、希望する利用時間等をご記入ください。

最も利用の多いもの

(1)幼稚園

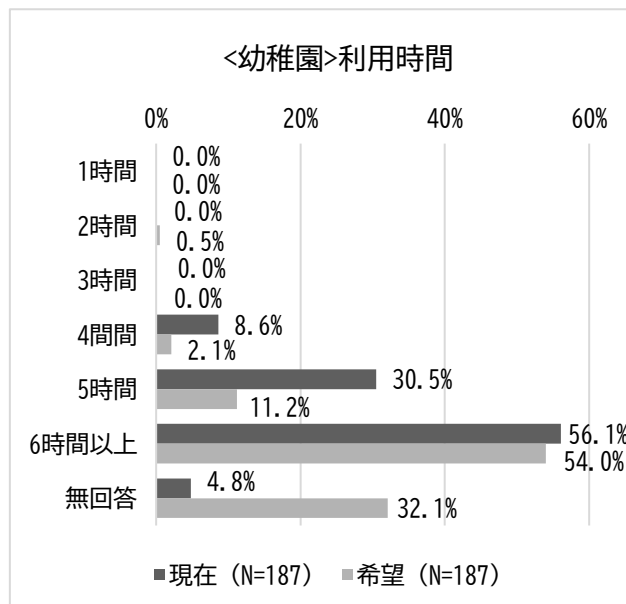
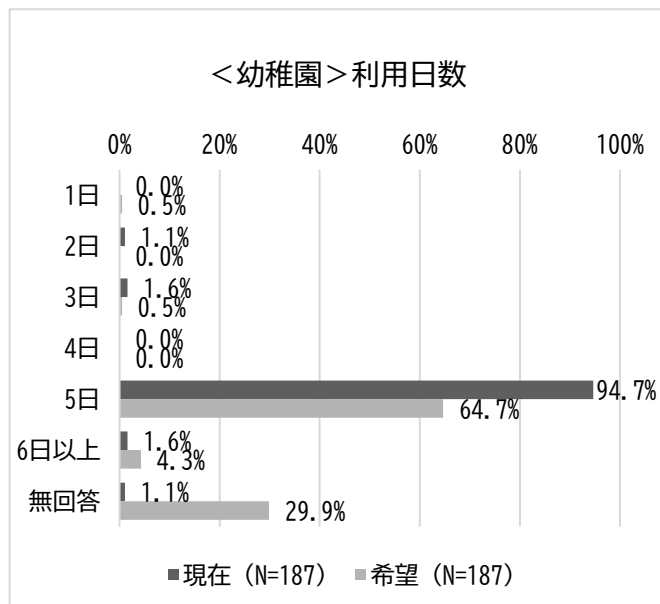
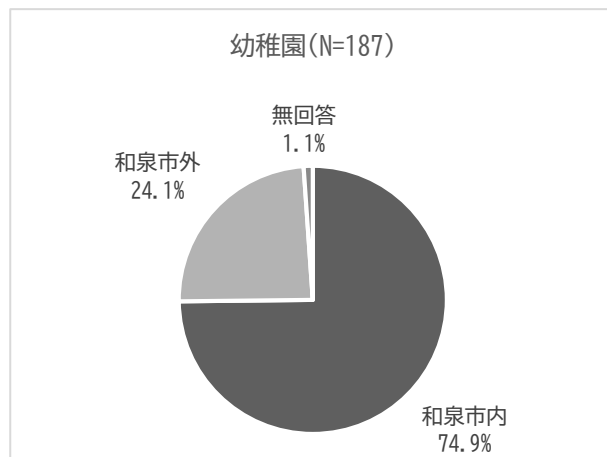
幼稚園の所在地は、「和泉市内」が 74.9%、「和泉市外」が 24.1%となっています。

利用日数

現在の利用日数は、幼稚園では「5日」が 94.7%と最も多く、希望では「5日」が 64.7%と最も多く、「無回答」が 29.9%となっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は、幼稚園では「6時間以上」が 56.1%と最も多く、希望は「6時間以上」が 54.0%で最も多く、「無回答」が 32.1%となっています。

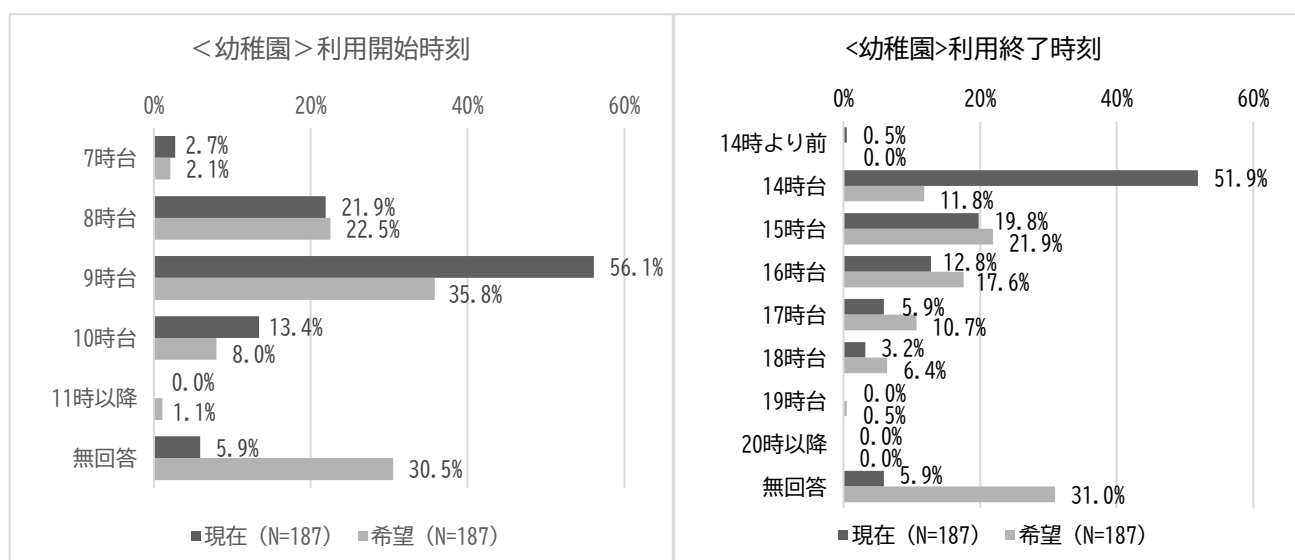


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、「9時台」が 56.1%と最も多くなっており、希望でも、現「9時台」が最も多くなっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は、幼稚園では「14 時台」が 51.9%と最も多く、希望では「15 時台」が 21.9%で最も多く、次いで「16 時台」が 17.6%、「無回答」は 31.0%となっています。

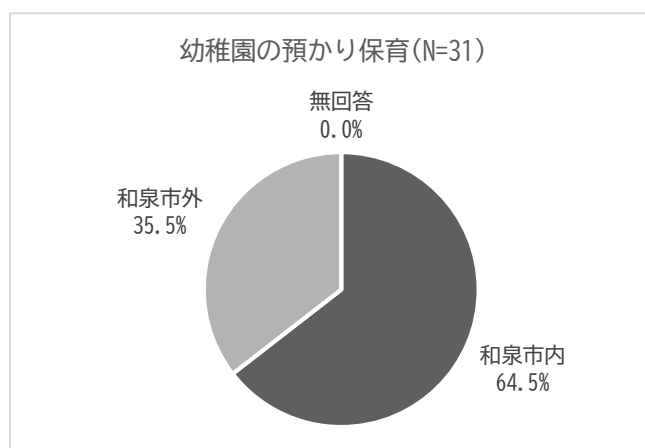


(2) 幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育の所在地は、「和泉市内」が64.5%、「和泉市外」が35.5%となっています。

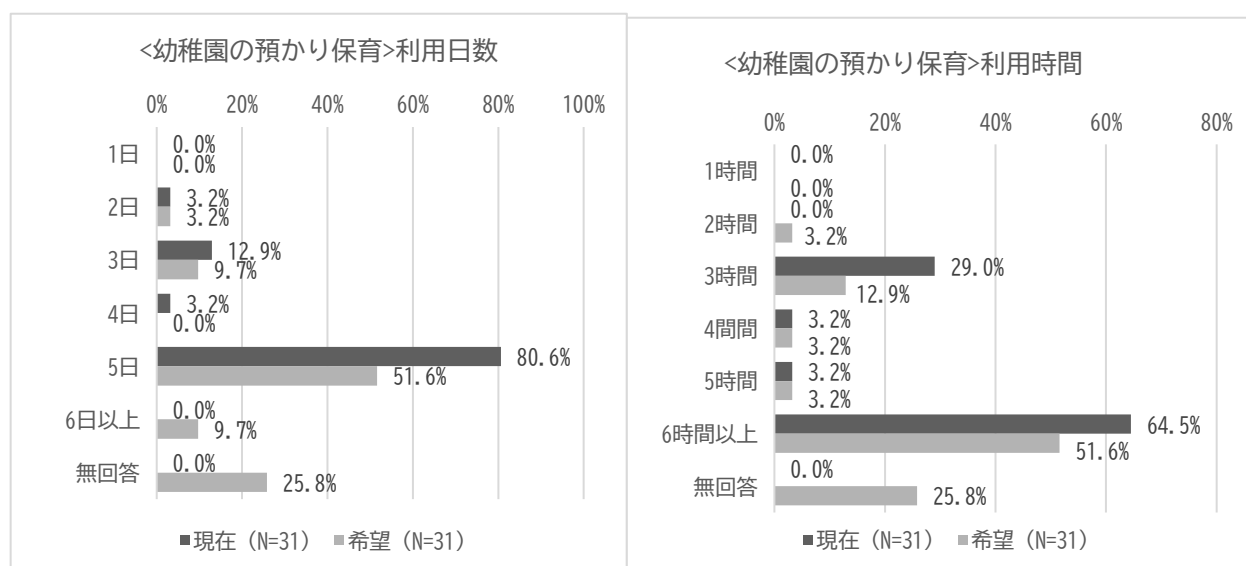
利用日数

現在の利用日数は「5日」が80.6%と最も多く、希望では「5日」が51.6%と最も多く、「無回答」が25.8%となっています。



1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が64.5%と最も多く、希望では「6時間以上」が51.6%と最も多く、「無回答」が25.8%となっています。

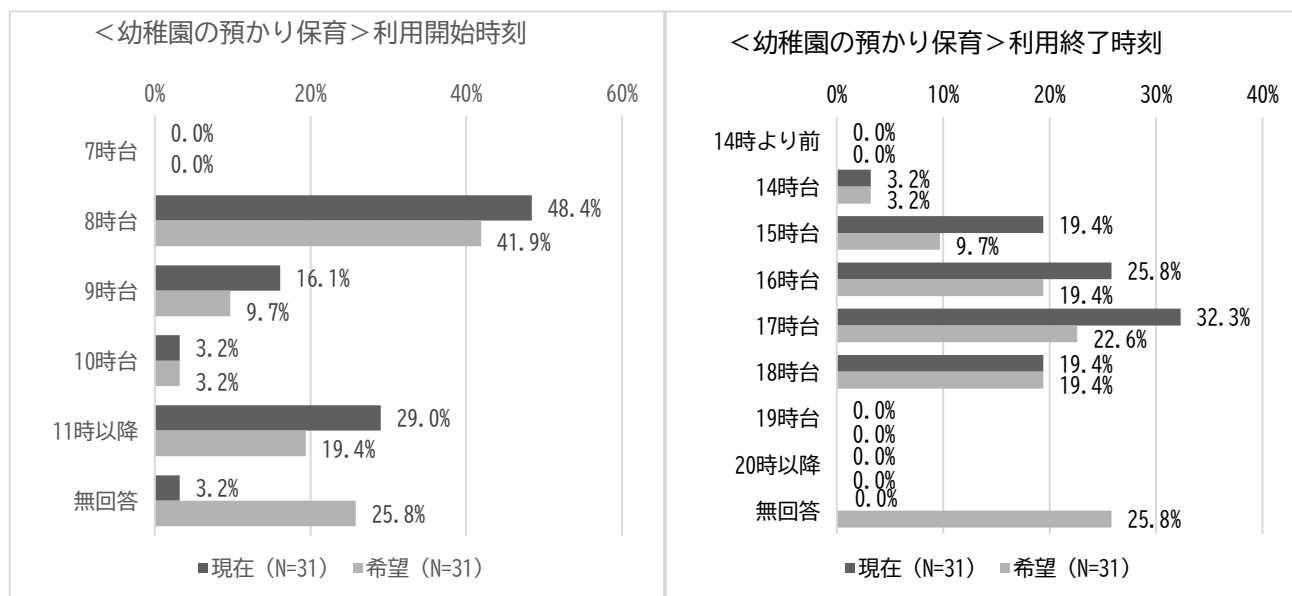


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は「8時台」が48.4%と最も多く、希望では「8時台」が最も多く、「無回答」が25.8%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「17 時台」が32.3%と最も多く、次いで「16 時台」が25.8%、希望では「17 時台」が最も多く、次いで「16 時台」「18 時台」が19.4%、「無回答」が25.8%となっています。

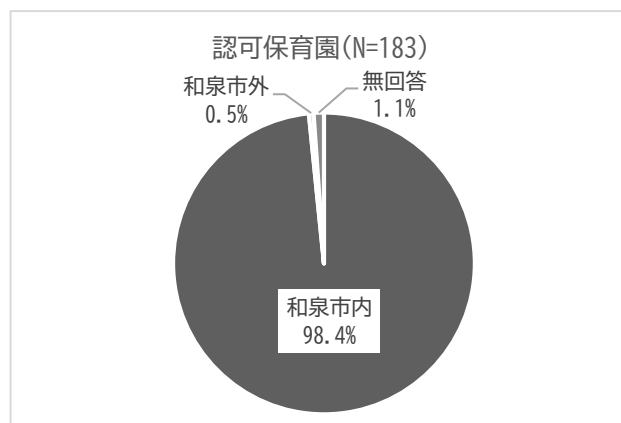


(3)認可保育園

認可保育園の所在地は、「和泉市内」が98.4%、「和泉市外」が0.5%となっています。

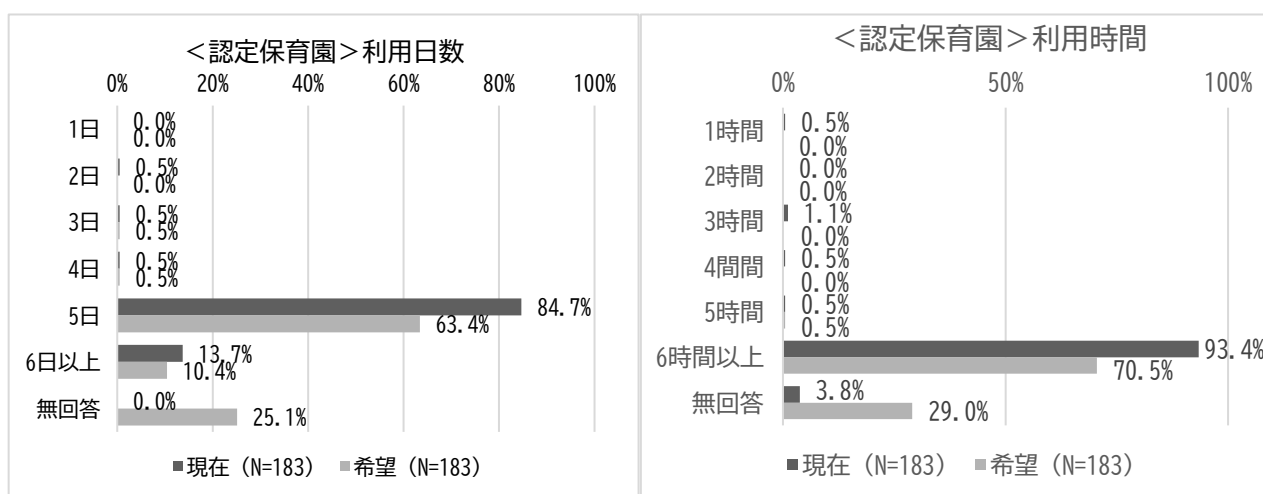
利用日数

現在の利用日数は「5日」が84.7%と最も多く、希望では「5日」が63.4%と最も多く、「無回答」が25.1%となっています。



1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が93.4%と最も多く、希望では「6時間以上」が70.5%と最も多く、「無回答」が29.0%となっています。

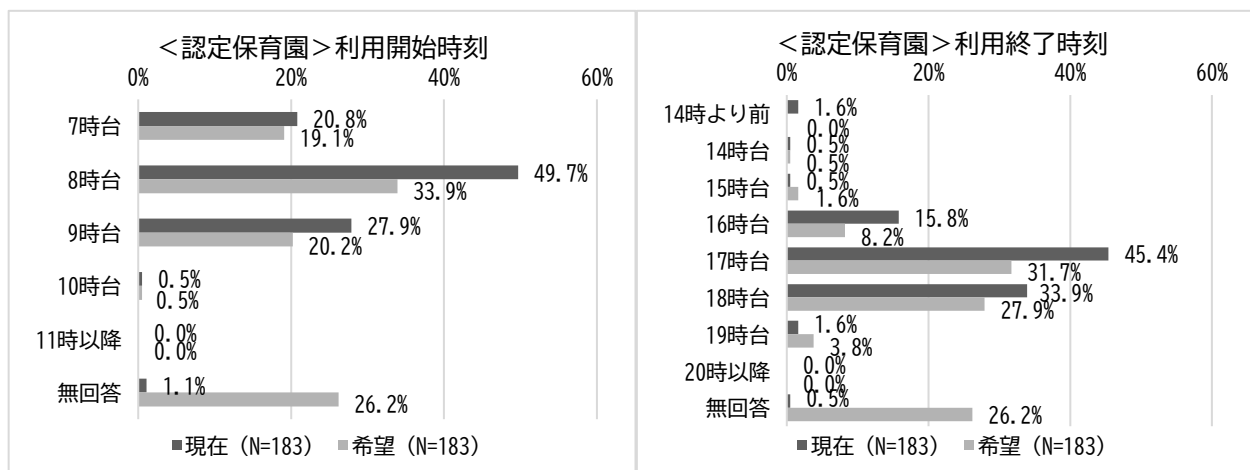


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、「8時台」が49.7%と最も多く、希望では「8時台」が33.9%で最も多く、「無回答」が26.2%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「17時台」が45.4%と最も多く、希望では「17時台」31.7%、次いで「18時台」が27.9%、「無回答」が26.2%となっています。



(4)認定こども園

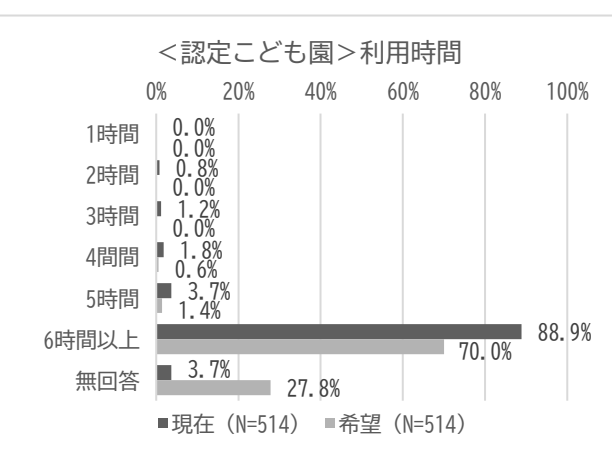
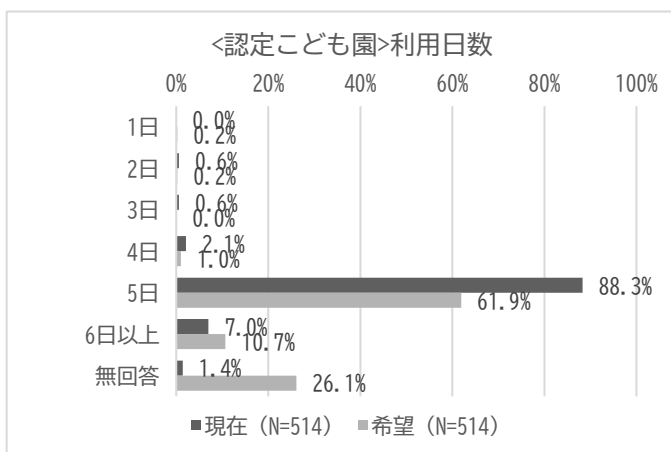
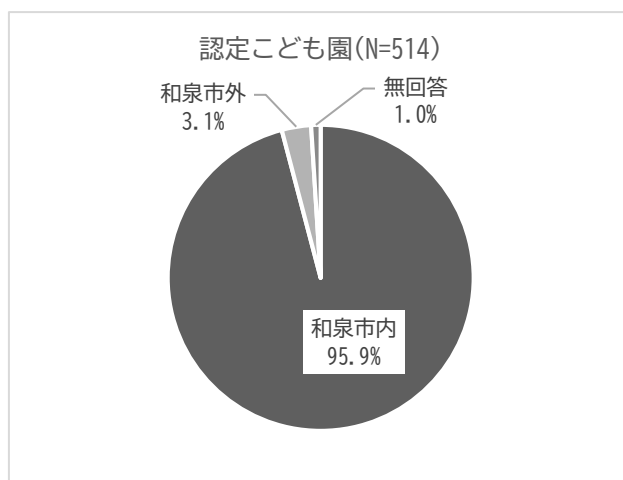
認定こども園の所在地は、「和泉市内」が 95.9%、「和泉市外」が 3.1%となっています。

利用日数

現在の利用日数は「5日」が 88.3%と最も多く、希望では「5日」61.9%と最も多く、「無回答」が 26.1%となっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が 88.9%と最も多く、希望では「6時間以上」が 70.0%と最も多く、「無回答」が 27.8%となっています。

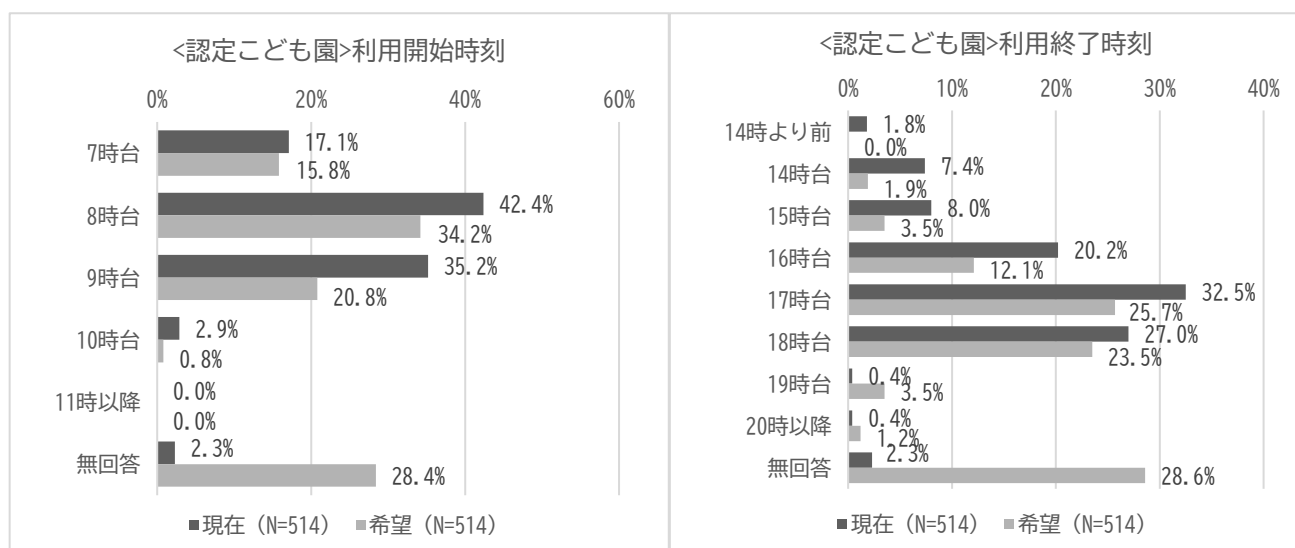


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、「8時台」が 42.4%と最も多く、希望では「8時台」が最も多く。「無回答」が 28.4%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「17 時台」が 32.5%と最も多く、次いで「18 時台」が 27.0%、希望では「17 時台」が 25.7%で最も多く、次いで「18 時台」が 23.5%、「無回答」は 28.6%となっています。



(5)小規模保育事業所

小規模保育事業所は5件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は5件となっています。

現在の利用日数は「5日」が4件、「2日」が1件、希望では「5日」が4件、「無回答」は1件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が4件、「2時間」が1件、希望では「5日」が4件、「無回答」が1件となっています。

現在の利用開始時刻は「9時台」が3件、「8時台」が2件、希望でも「9時台」が3件、「8時台」が2件となっています。

現在の利用終了時刻は「17時台」が2件、「14時より前」「16時台」「18時台」が1件、希望でも「17時台」が2件、「14時より前」「16時台」「18時台」が1件となっています。

(6)家庭的保育事業

「家庭的保育事業」は、有効回答はありません。

(7)事業所内保育事業

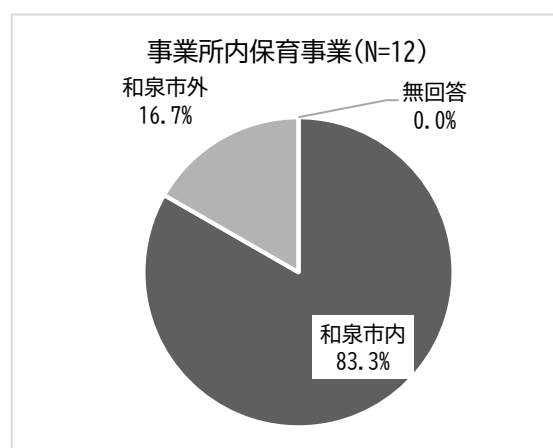
事業所内保育事業の所在地は、「和泉市内」が83.3%、「和泉市外」が16.7%となっています。

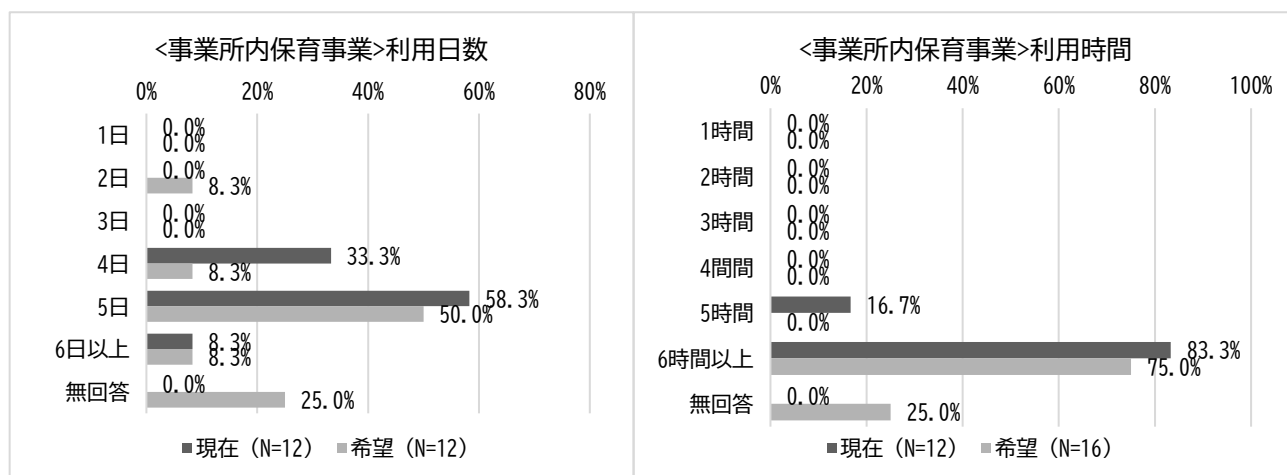
利用日数

現在の利用日数は「5日」が58.3%と最も多く、希望では「5日」が50.0%で最も多く、「無回答」は25.0%となっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が83.3%と最も多く、希望のでは「6時間以上」が75.0%でもっとも最も多く、「無回答」は25.0%となっています。



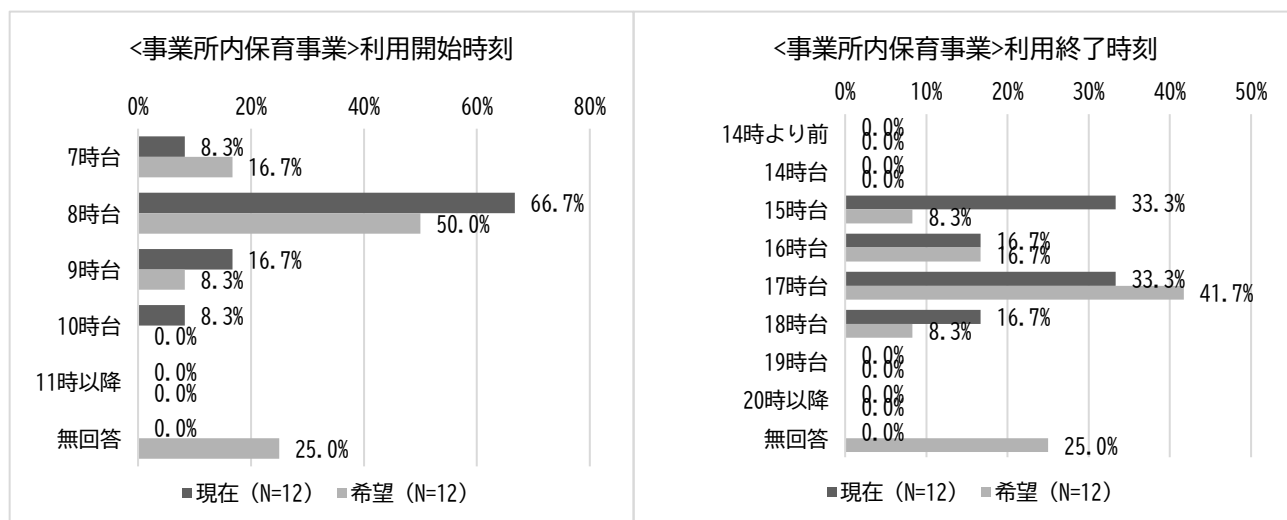


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、事業所内保育事業所では「8時台」が 66.7%と最も多く、希望では「8時台」が最も多く、「無回答」は 25.0%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は、事業所内保育事業所では「15 時台」「17 時台」が 33.3%と最も多く、希望では「17 時台」が 41.7%と最も多く、「無回答」は 25.0%となっています。



(8)自治体の認証・認定保育施設

自治体の認証・認定保育施設は 2 件で、そのうち所在地が「和泉市内」は2件となっています。

現在の利用日数は、「5日」「6日以上」が1件、希望でも「5日」「6日以上」が1件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が2件、希望でも「6時間以上」が2件となっています。

現在の利用開始時刻は、「7時台」「8時台」が1件、希望でも「7時台」「8時台」が1件となっています。

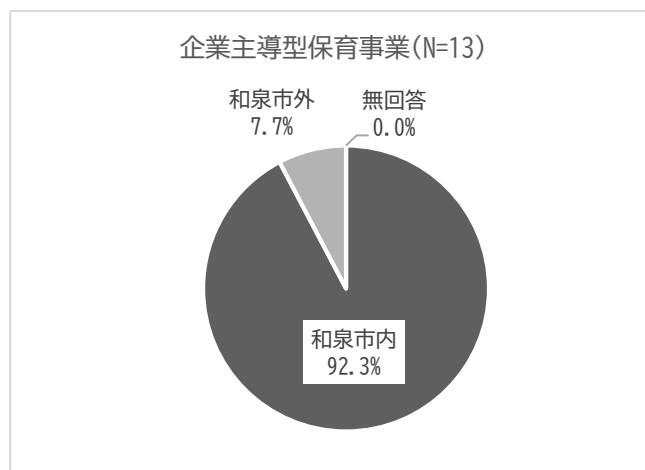
現在の利用終了時刻は、「18 時台」が2件、希望では「18 時台」「19 時台」が1件となっています。

(9)企業主導型保育事業

企業主導型保育事業の所在地は、「和泉市内」が92.3%、「和泉市外」が7.7%となっています。

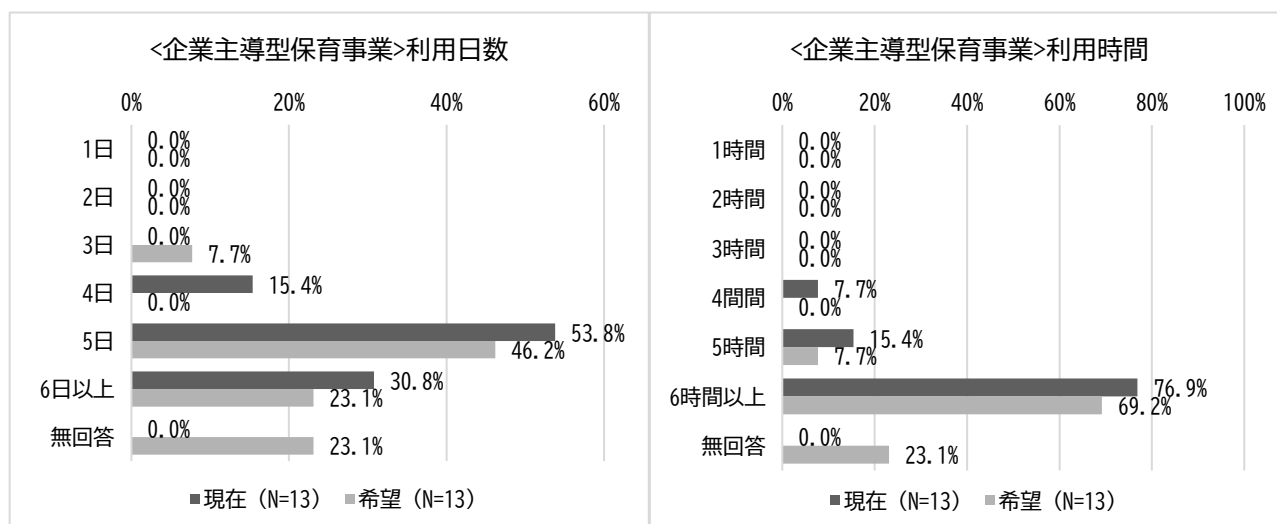
利用日数

現在の利用日数は、企業主導型保育事業では「5日」が53.8%と最も多く、希望では「5日」が46.2%で最も多く、「無回答」は23.1%となっています。



1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が76.9%と最も多く、希望では「6時間以上」が69.2%で最も多く、「無回答」は23.1%となっています。

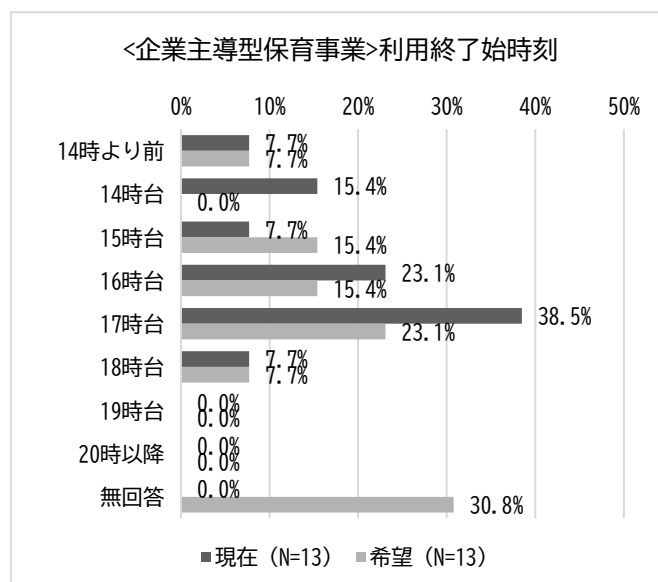
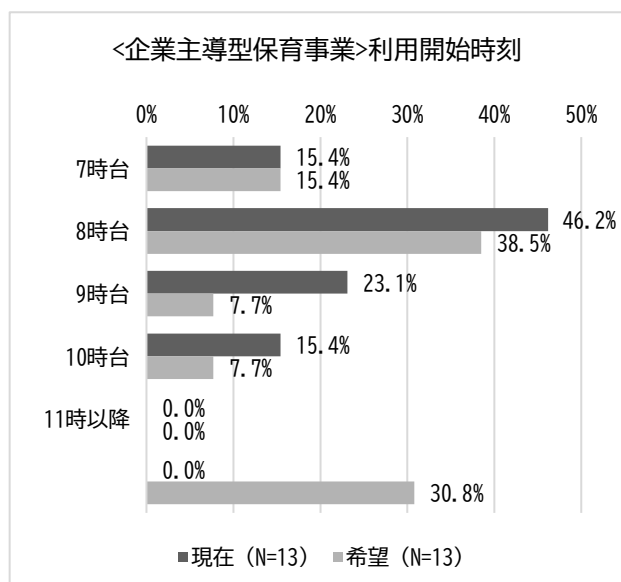


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、「8時台」が46.2%と最も多く、希望では「8時台」が28.5%で最も多く、「無回答」は30.8%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は、「17時台」が38.5%と最も多く、希望では「17時台」23.1%で最も多く、「無回答」は30.8%となっています。



(10) 居宅訪問型保育

「居宅訪問型保育」は、有効回答はありません。

(11)その他の認可外保育施設

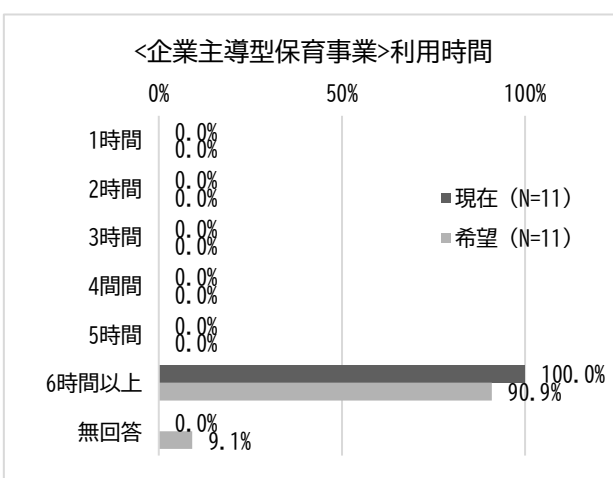
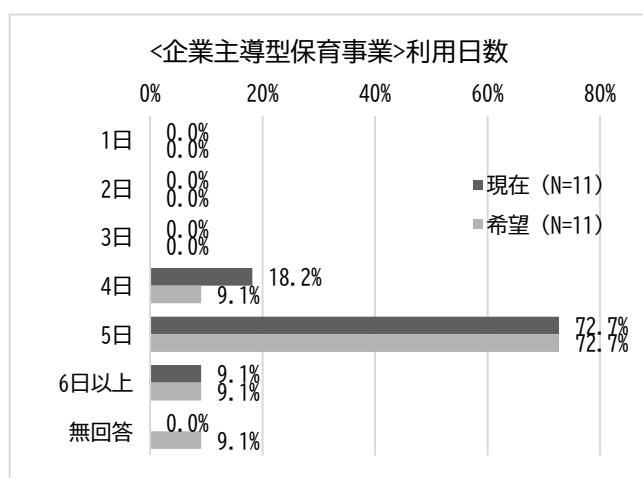
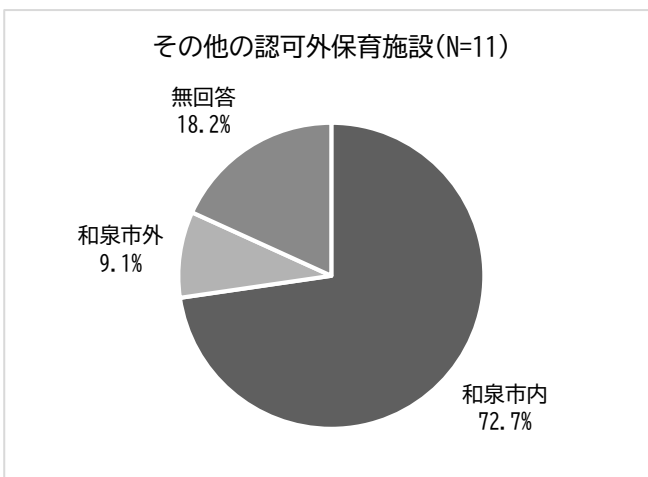
その他の認可外保育施設の所在地は、「和泉市内」が72.7%、「和泉市外」が9.1%となっています。

利用日数

現在の利用日数は、「5日」が72.7%と最も多く、希望では「5日」72.7%で最も多く、「無回答」は9.1%となっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が100.0%と最も多く、希望では「6時間以上」が90.9%で最も多く、「無回答」は9.1%となっています。

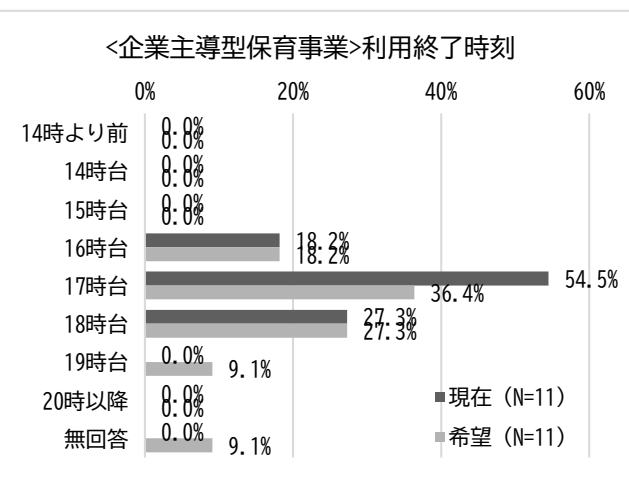
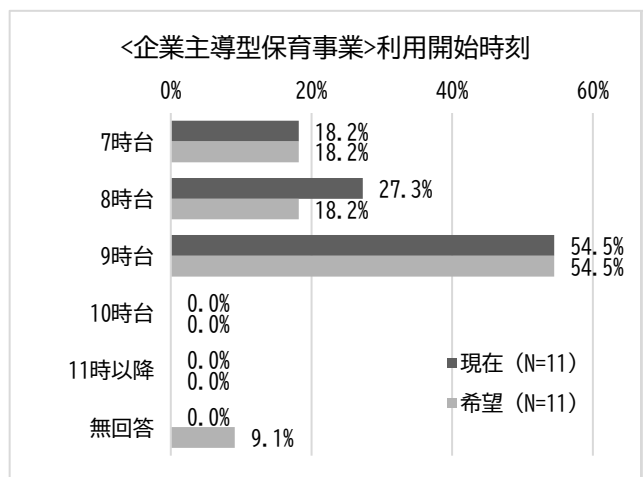


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は「9時台」が54.5%と最も多く、希望では「9時台」が54.5%で最も多く、「無回答」は9.1%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「17時台」が54.5%と最も多く、希望では「17時台」が36.4%で最も多く、「無回答」は9.1%となっています。



(12)ファミリー・サポート・センター

「ファミリー・サポート・センター」は、有効回答はありません。

(13)その他

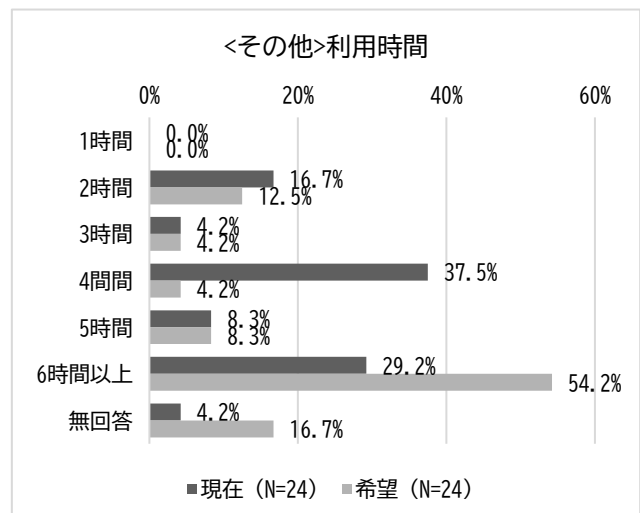
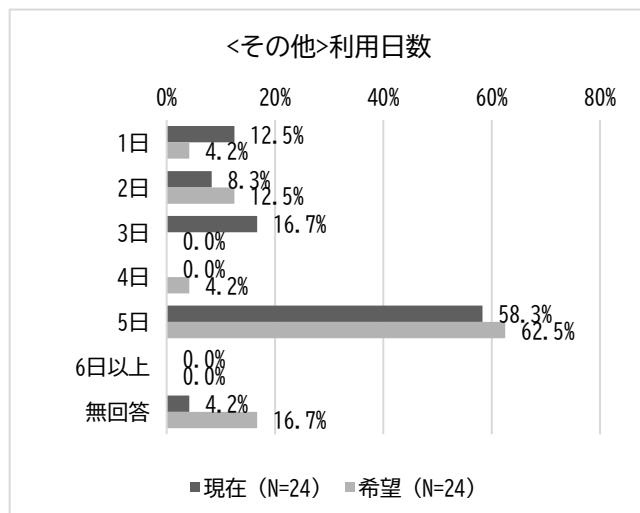
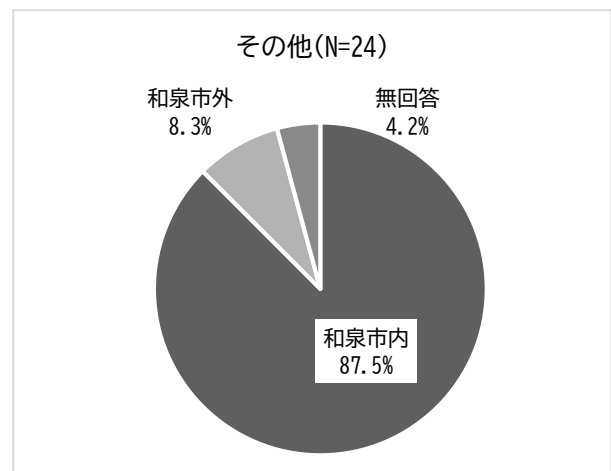
その他の所在地は、「和泉市内」が 87.5%、「和泉市外」が 8.3%となっています。

利用日数

現在の利用日数は「5日」が 58.3%と最も多く、希望では「5日」が 62.5%で最も多く、「無回答」は 16.7%となっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は、「4時間」が 37.5%と最も多く、希望では「6時間以上」が 54.2%と最も多くなっています。

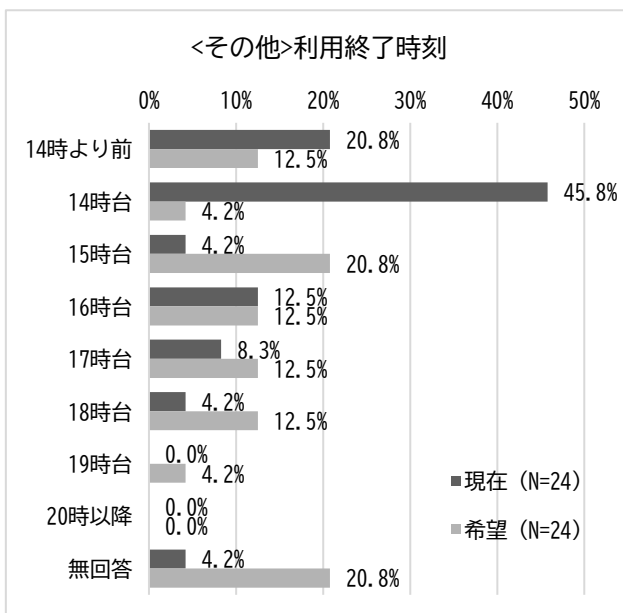
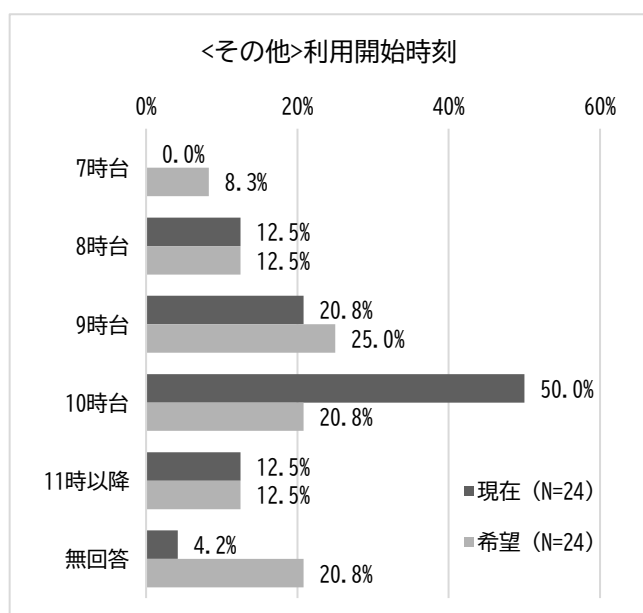


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は「10 時台」が 50.0%と最も多く、希望では「9時台」が 25.0%で最も多く、次いで「10 時台」が 20.8%、「無回答」は 20.8%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「14 時」が 45.8%と最も多く、希望では「15 時台」が 20.8%で最も多く、次いで「14 時より前」「16 時台」「17 時台」「18 時台」が 12.5%、「無回答」は 20.8%となっています。



2 番目に利用の多いもの

(1)幼稚園

幼稚園は 4 件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は4件となっています。

現在の利用日数は、「3日」が1件、「5日」が3件となっており、希望でも「3日」が1件、「5日」が3件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が4件となっており、希望でも「6時間以上」が4件となっています。

現在の利用開始時刻は、「7時台」「8時台」が1件、「9時台」が2件となっており、希望では「7時台」「9時台」が1件、「8時台」が2件となっています。

現在の利用終了時刻は、「16 時台」が2件、「17時台」「18時台」が1件となっており、希望では「17 時台」が1件、「18時台」が3件となっています。

(2)幼稚園の預かり保育

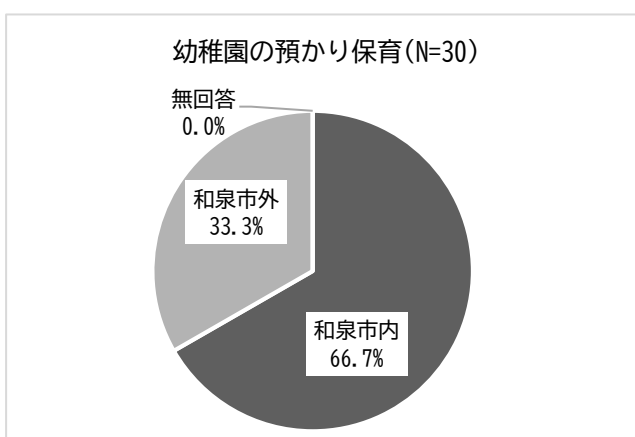
幼稚園の預かり保育の所在地は、「和泉市内」が 66.7%、「和泉市外」が 33.3%となっています。

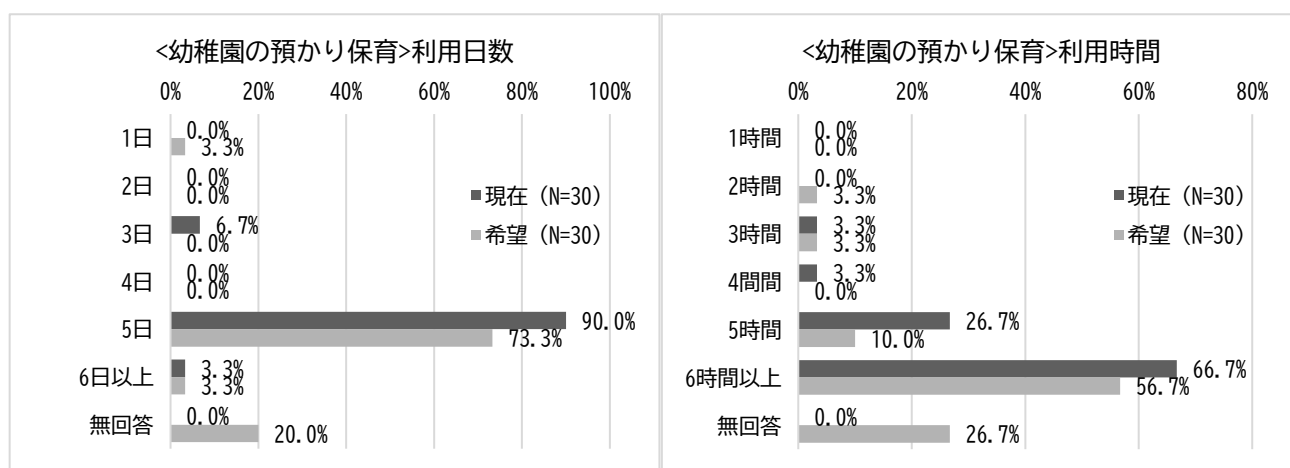
利用日数

現在の利用日数は「5日」が 90.0%と最も多く、希望では「5日」が 73.3%で最も多く、「無回答」は 20.0%になっています。

1日あたり利用時間

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が 66.7%と最も多く、希望では「6時間以上」が 50.7%で最も多く、「無回答」は 26.7%になっています。



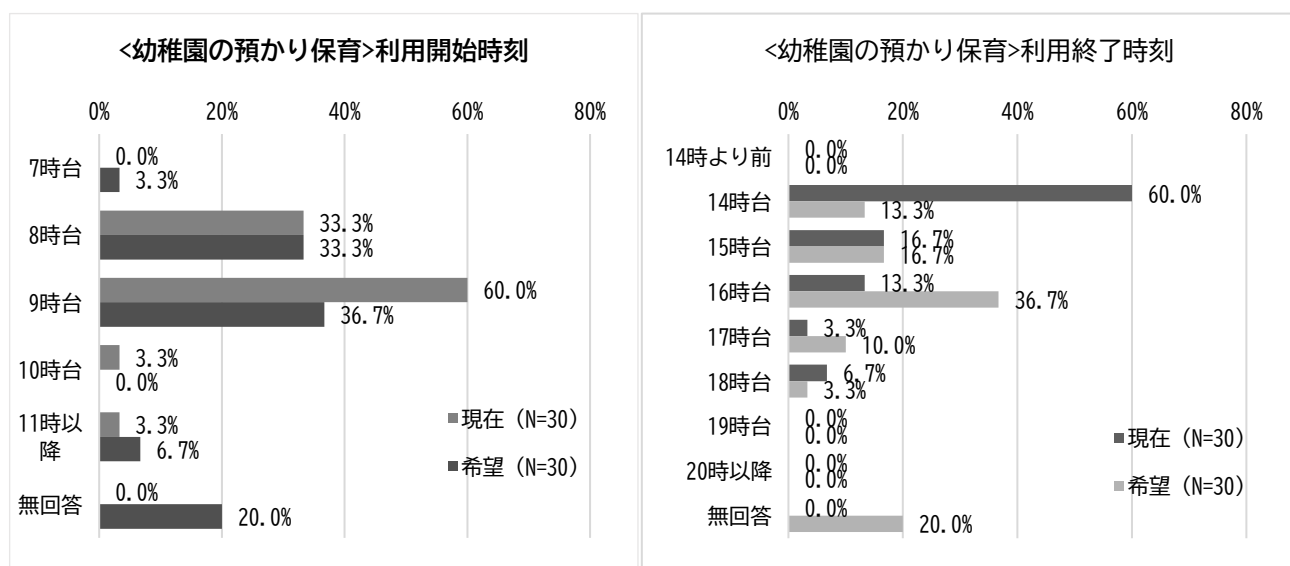


利用開始時刻

現在の利用開始時刻は、「9時台」が 60.0%と最も多く、希望では「9時台」が 56.7%で最も多く、「無回答」は 26.7%となっています。

利用終了時刻

現在の利用終了時刻は「14 時台」が 60.0%と最も多く、希望では「16 時台」が 36.7%と最も多く、「無回答」は 20.0%となっています。



(3) 認定保育園

認定保育園は 7 件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は 6 件、「和泉市外」は 1 件でした。

現在の利用日数は「5日」が 6 件と最も多く、希望では「5日」が 5 件となっています。

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が 7 件と最も多く、希望では「6時間以上」は 6 件となっています。

現在の利用開始時刻は「9時台」が 4 件と最も多く、希望でも「9時台」は 4 件となっています。

現在の利用終了時刻は「17 時台」が 6 件と最も多く、希望では「17 時台」は最 4 件となっています。

(4) 認定こども園

認定こども園は 4 件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は 4 件となっています。

現在の利用日数は、「3日」が 1 件、「5日」が 3 件となっており、希望では「4日」が 1 件、「5日」が 3 件となってい

ます。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が4件となっており、希望でも「6時間以上」が4件となっています。

現在の利用開始時刻は、「7時台」「9時台」が1件、「8時台」が2件となっており、希望でも「7時台」「9時台」が1件、「8時台」が2件となっています。

現在の利用終了時刻は、「16 時台」「20 時以降」が1件、「18時台」が2件となっており、希望でも「16 時台」「20 時以降」が1件、「18時台」が2件となっています。

(5)小規模保育事業所

小規模保育事業所は1件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は1件となっています。

現在の利用日数は、「5日」が1件、希望でも「5日」が1件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「4時間」が1件、希望でも「4時間」が1件となっています。

現在の利用開始時刻は、「9時台」が1件、希望でも「9時台」が1件となっています。

現在の利用終了時刻は、「14時より前」が1件、希望でも「14 時台」が1件となっています。

(6)家庭的保育事業

「家庭的保育事業」は、有効回答はありません。

(7)事業所内保育事業所

事業所内保育事業所は7件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は7件でした。

現在の利用日数は、事業所内保育事業では「5日」が5件で最も多く、希望でも「5日」が5件となっています。

現在の1日あたり利用時間は「6時間以上」が5件と最も多く、希望でも「6時間以上」は5件となっています。

現在の利用開始時刻は、「8時台」が4件と最も多く、希望でも「8時台」が4件となっています。

現在の利用終了時刻は、「14 時台」が3件と最も多く、希望では「18 時台」が4件と最も多くなっています。

(8)自治体の認証・認定保育施設

「自治体の認証・認定保育施設」は、有効回答はありません。

(9)企業主導型保育事業

企業主導型保育事業は5件でした。そのうち、所在地が「和泉市内」は5件となっています。

現在の利用日数は「5日」が5件、希望でも「5日」が5件となっています。

現在の1日あたり利用時間は「4時間」が2件、「6時間以上」が3件、希望では「4時間」が1件、「6時間以上」が3件となっています。

現在の利用開始時刻は「8時台」が3件、「10 時台」「11 時以降」が1件、希望でも「8時台」が3件、「10時台」「11時以降」が1件となっています。

現在の利用終了時刻は、「14 時台」「17 時台」が1件、「16 時台」が3件、希望では「17 時台」「18 時台」が1件、「16 時台」が3件となっています。

(10)居宅訪問型保育

「居宅訪問型保育」は、有効回答はありません。

(11)その他の認可外保育施設

その他の認可外保育施設は 2 件で、所在地が「和泉市内」は2件となっています。

現在の利用日数は、「5日」が2件、希望でも「6日以上」が2件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「5時間」が2件、希望でも「5時間」が2件となっています。

現在の利用開始時刻は、「8時台」「9時台」が1件、希望では「8時台」が2件となっています。

現在の利用終了時刻は、「17 時台」が2件、希望では「17 時台」「18 時台」が1件となっています。

(12)ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターは 3 件、そのうち、所在地が「和泉市内」は3件となっています。

現在の利用日数は、「5日」が3件、希望でも「5日」が3件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が3件、希望でも「6時間以上」が3件となっています。

現在の利用開始時刻は、「7時台」が1件、「9時台」が2件、希望でも「7時台」が1件、「9時台」が2件となっています。

現在の利用終了時刻は、「18 時台」が1件、「17 時台」が2件、希望でも「18 時台」が1件、「17 時台」が2件となっています。

(13)その他

その他は 6 件、そのうち所在地が「和泉市内」は 6 件となっています。

現在の利用日数は、そ「5日」が 6 件、希望では「5日」が 6 件となっています。

現在の1日あたり利用時間は、「6時間以上」が 4 件、希望でも「6時間以上」が 4 件となっています。

現在の利用開始時刻は、「9時台」が 3 件、希望では「7時台」「9時台」が 2 件となっています。

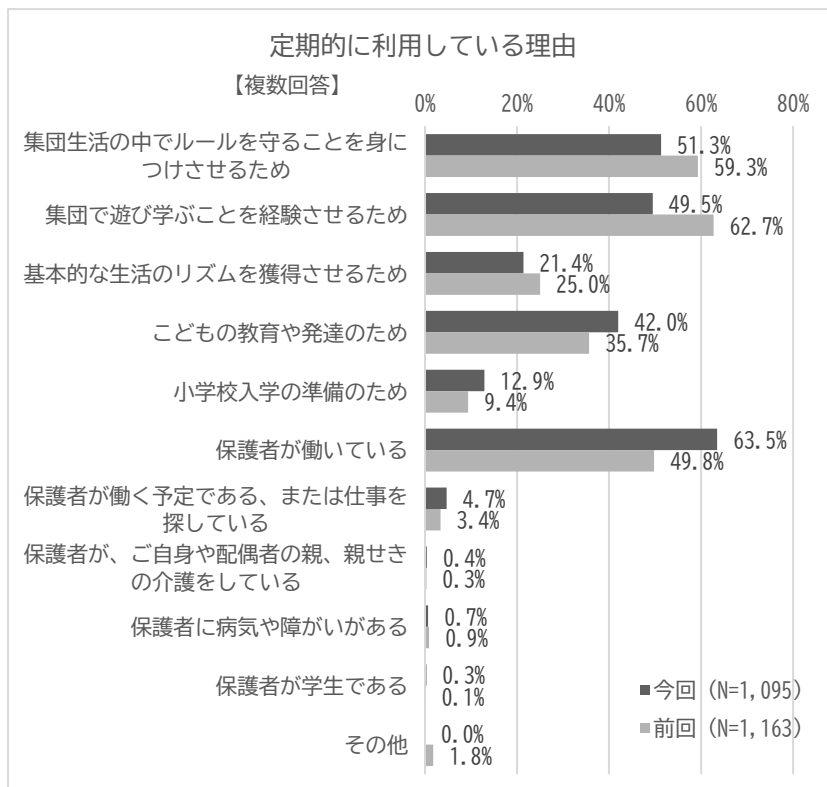
現在の利用終了時刻は、「14 時台」「18 時台」が 2 件、希望では「18 時台」が 2 件となっています。

問 21-3 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用しているのは、どのような理由ですか。(あてはまるもの3つまで○)

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している理由は「保護者が働いている」が63.5%と最も多く、次いで「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため」が51.3%、「集団で遊び、学ぶことを経験させるため」が49.5%となっています。

前回と比較すると、「保護者が働いている」が13.7ポイント、「こどもの教育や発達のため」が6.3ポイント増加し、「集団で遊び学ぶことを経験させるため」が13.2ポイント、「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため」が8.0ポイント減少しています。

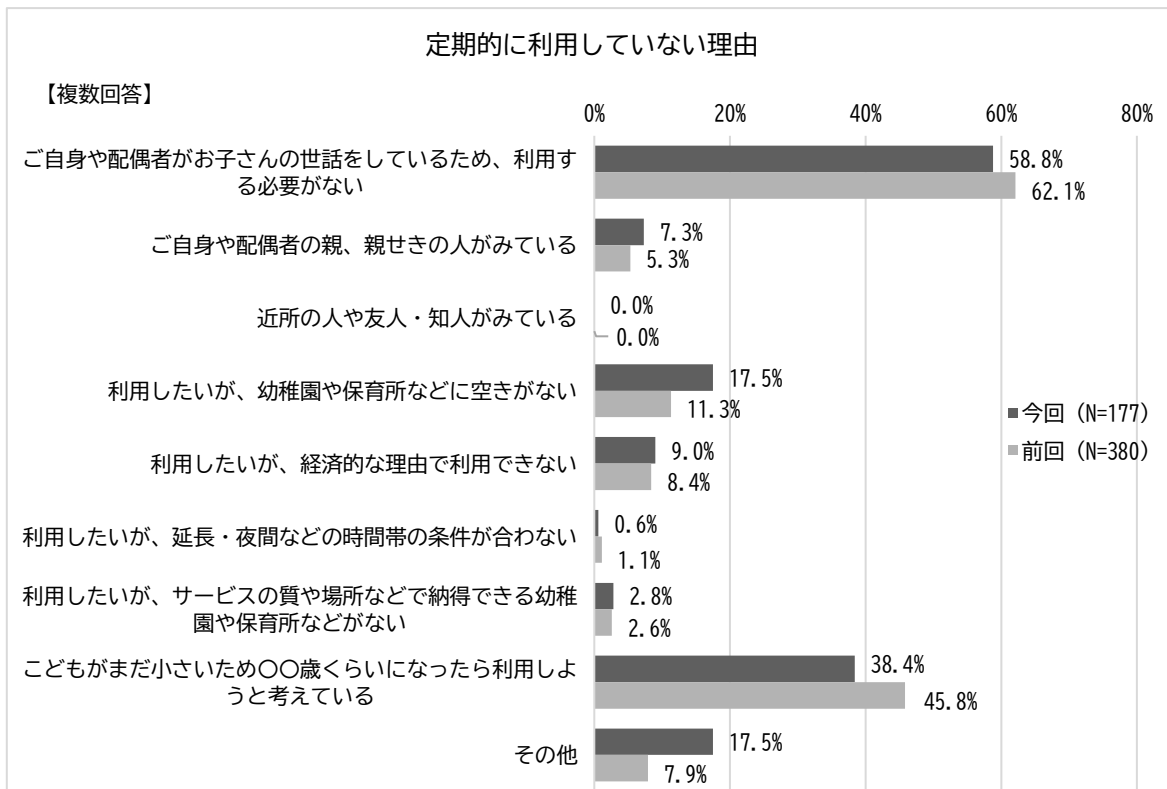


問 21-4 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していないのは、どのような理由ですか。(あてはまるもの3つまで○)

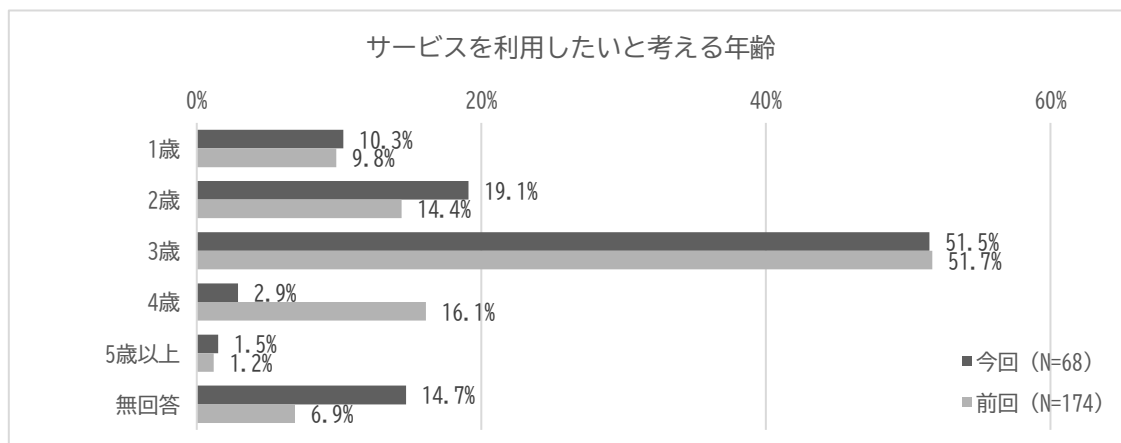
平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は「ご自身や配偶者がお子さんの世話をしているため、利用する必要がない」が 58.8%と最も多く、次いで「こどもがまだ小さいため」が 38.4%、「利用したいが幼稚園や保育所などに空きがない」が 17.5%となっています。

前回と比較すると、「利用したいが幼稚園や保育所などに空きがない」が 6.2 ポイント、「その他」が 9.6 ポイント増加し、「ご自身や配偶者がお子さんの世話をしているため、利用する必要がない」が 3.3 ポイント、「こどもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が 7.4 ポイント減少しています。



「8. こどもがまだ小さいため」を選んだ方の「〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」は、「3歳」が 51.5%と最も多く、次いで「歳」が 19.1%、「1歳」が 10.3%となっています。

前回と比較すると、「2歳」が 4.7 ポイント増加し、「4歳」が 13.2 ポイント減少しています。

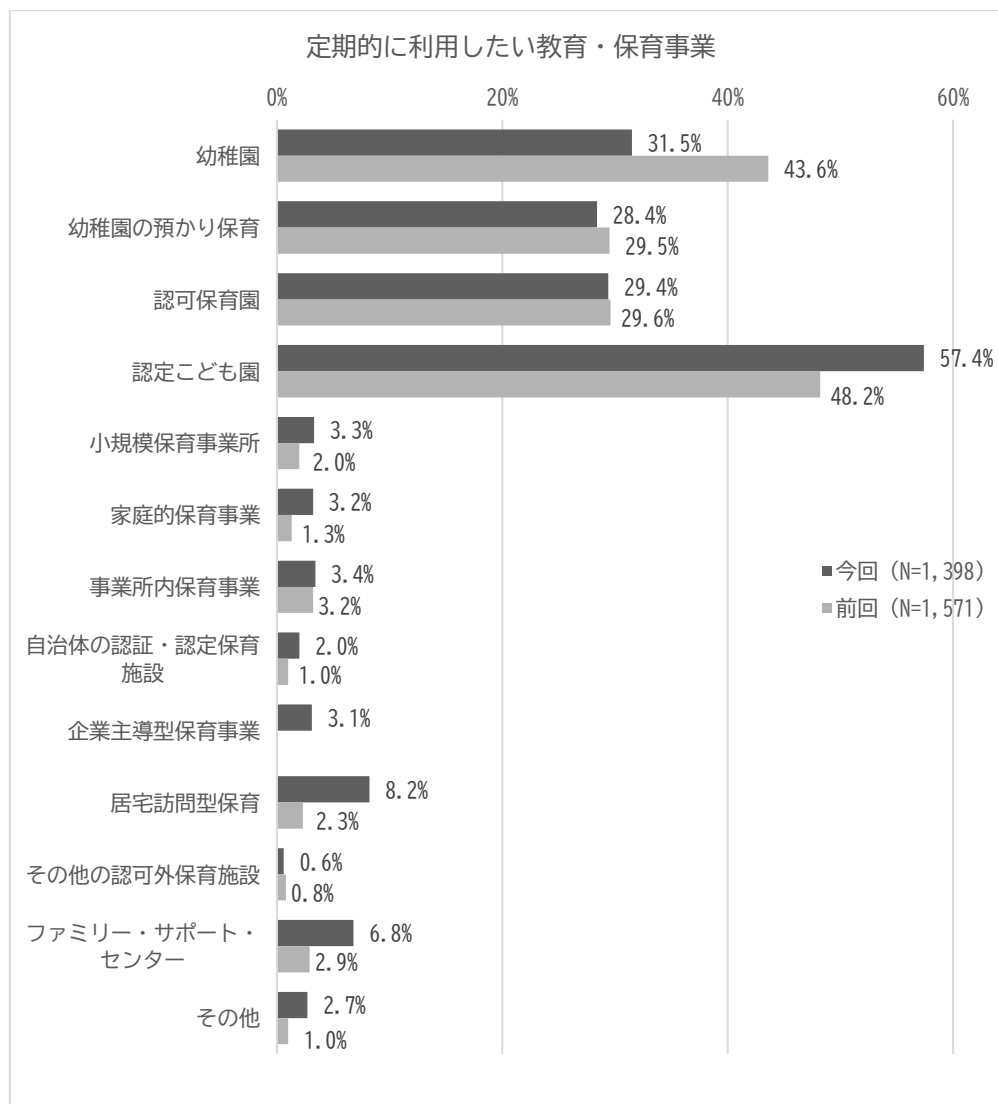


問 22. すべての方におうかがいします。

現在、幼稚園や保育園、認定こども園などを利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業は「認定こども園」が 57.4%と最も多く、次いで「幼稚園」が31.5%、「認可保育所」が29.5%となっています。

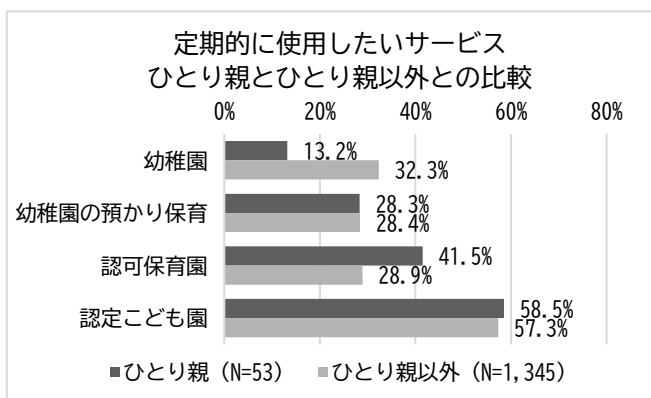
前回と比較すると、「認定こども園」が 9.2 ポイント増加し、「幼稚園」が 12.1 ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外の比較

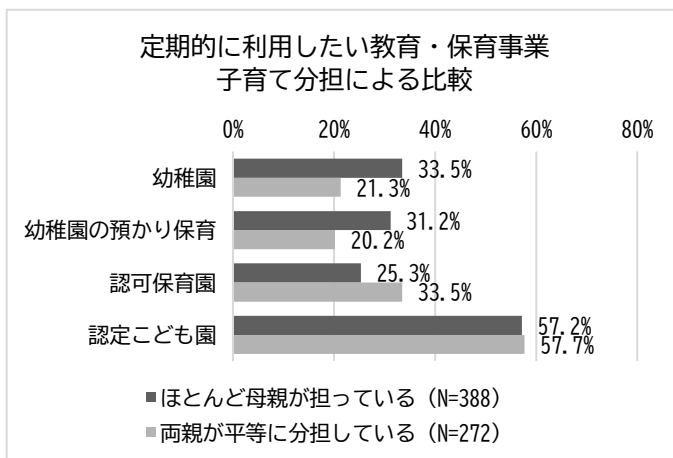
定期的に使用したいサービスをひとり親とひとり親以外で比較すると、どちらとも「認定こども園」が最も多くなっています。

「幼稚園」はひとり親が 13.2%、ひとり親以外が 32.3%と、ひとり親が 19.1 ポイント下回り、「認可保育園」はひとり親が 41.5%、ひとり親以外が 28.9%と、ひとり親が 12.6 ポイントの上回っています。



子育て分担による比較

定期的に利用したい教育・保育事業を子育て分担で比較すると、「ほとんど母親が担っている」は「両親が平等に分担している」よりニーズが高い傾向にあります。

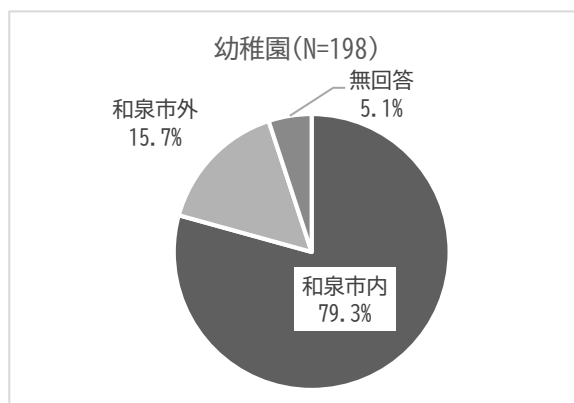


問 22-1 問 22 で○をつけた施設やサービスのうち、最も利用したいものと 2 番目に利用したいと思う施設やサービスの番号を記入の上、その場所についてお答えください。市外の場合は市町村名もご記入ください。

最も利用したいもの

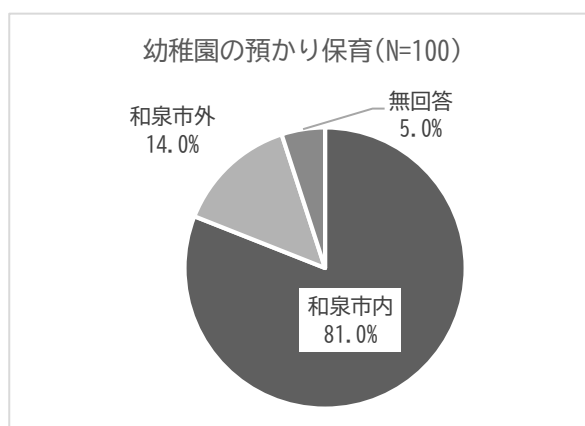
(1) 幼稚園

「和泉市内」が 79.3%、「和泉市外」が 15.7%となっています。



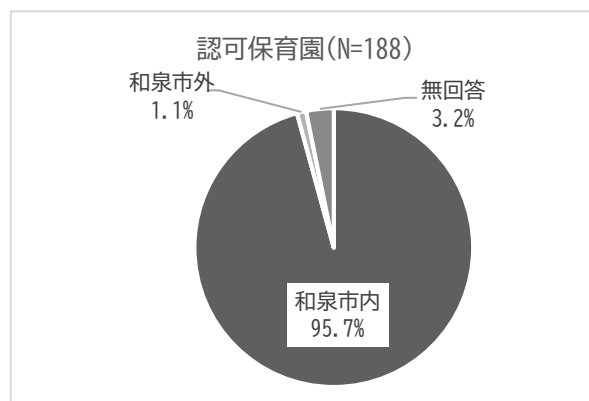
(2) 幼稚園の預かり保育

「和泉市内」が 81.0%、「和泉市外」が 14.0%となっています。



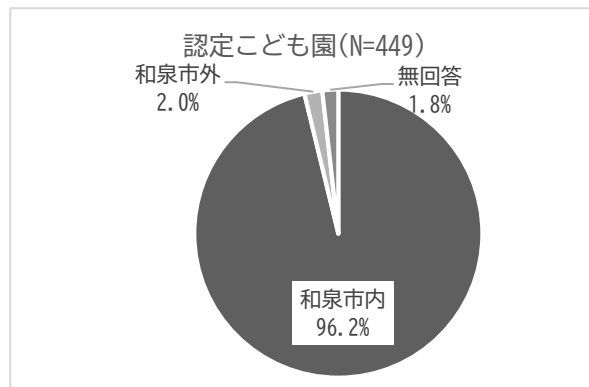
(3)認可保育園

「和泉市内」が 95.7%、「和泉市外」が 1.1%となっています。



(4)認定こども園

「和泉市内」が 96.2%、「和泉市外」が 2.0%となっています。



(5)小規模保育事業所

3 件のうち、「和泉市内」は 3 件となっています。

(6)家庭的保育事業

5 件のうち、「和泉市内」は 5 件となっています。

(7)事業所内保育事業

4 件のうち、「和泉市内」は 2 件、「和泉市外」は 2 件となっています。

(8)自治体の認証・認定保育施設

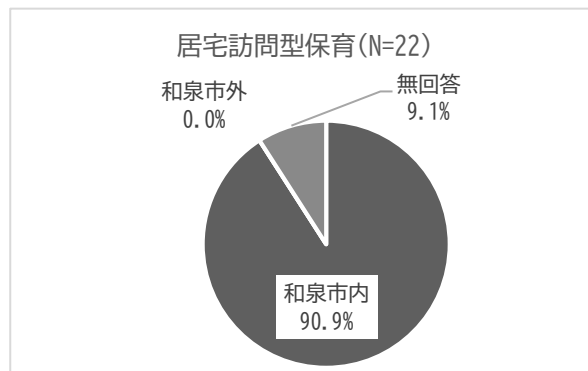
4 件のうち、「和泉市内」は 4 件となっています。

(9)企業主導型保育事業

4 件のうち、「和泉市内」は 4 件となっています。

(10)居宅訪問型保育

「和泉市内」が 90.9%となっています。

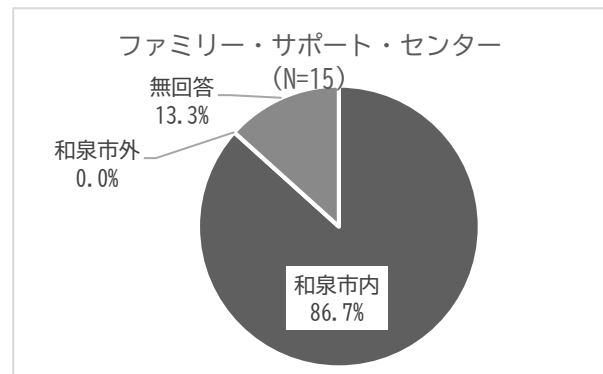


(11)その他の認可外保育施設

「その他の認可外保育施設」は、有効回答はありません。

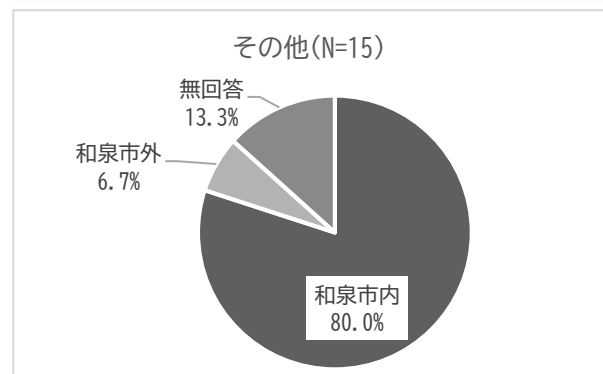
(12)ファミリー・サポート・センター

「和泉市内」が 86.7%となっています。



(13)その他

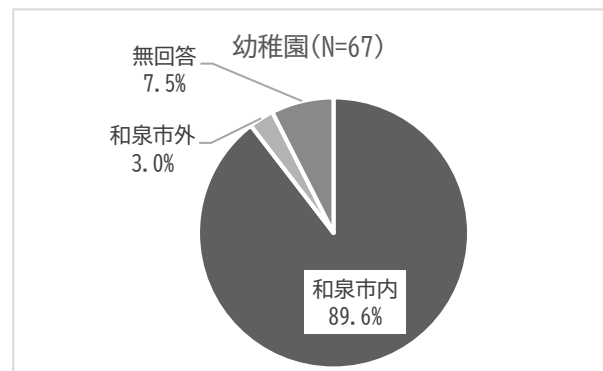
「和泉市内」が 80.0%、「和泉市外」が 6.7%となっています。



2 番目に利用したいと思うもの

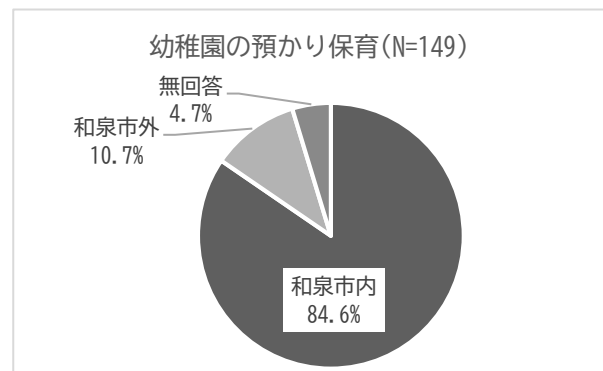
(1)幼稚園

「和泉市内」が 89.6%、「和泉市外」が 3.0%となっています。



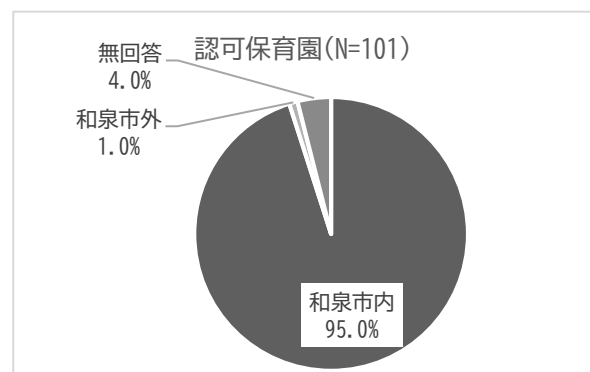
(2)幼稚園の預かり保育

「和泉市内」が 84.6%、「和泉市外」が 10.7%となっています。



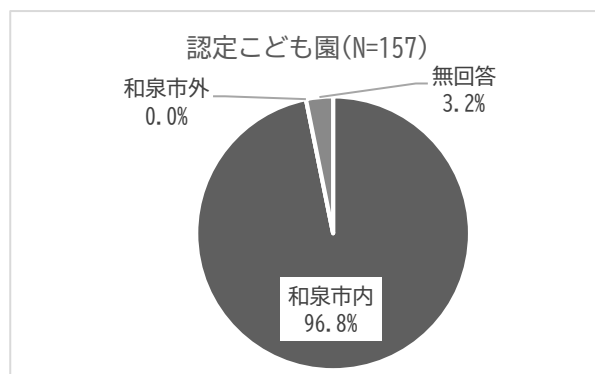
(3)認可保育園

「和泉市内」が 95.0%、「和泉市外」が 1.0%となっています。



(4)認定こども園

「和泉市内」が 96.8%となっています。

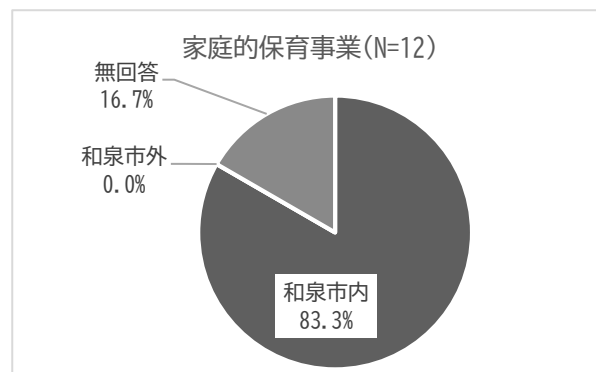


(5)小規模保育事業所

10 件のうち、「和泉市内」は 10 件となっています。

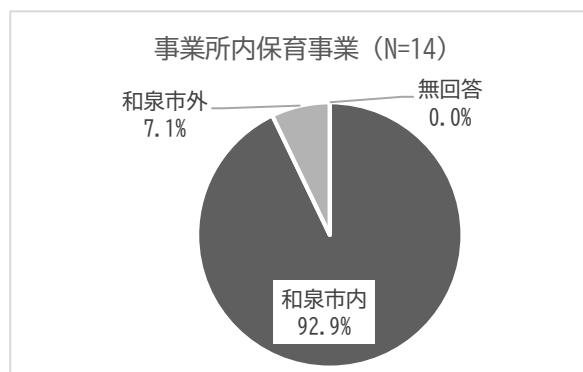
(6)家庭的保育事業

「和泉市内」が 83.3%となっています。



(7)事業所内保育事業

「和泉市内」が 92.9%、「和泉市外」が 7.1%となっています。

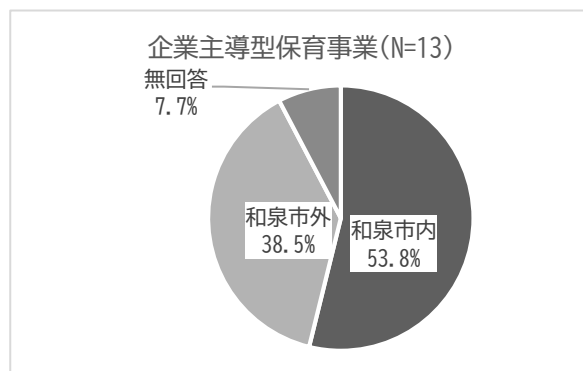


(8)自治体の認証・認定保育施設

1 件のうち、「和泉市内」は1件となっています。

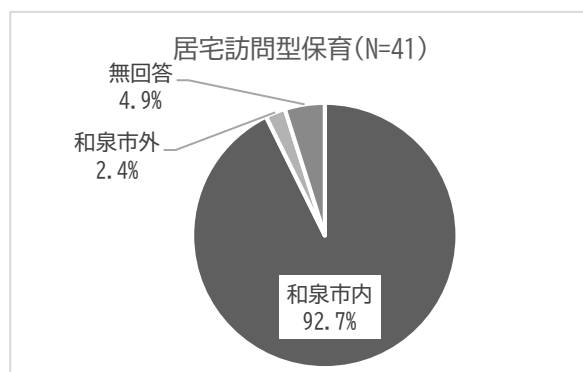
(9)企業主導型保育事業

「和泉市内」が 53.8%、「和泉市以外」の割合 38.5% となっています。



(10)居宅訪問型保育

「和泉市内」が 92.7%、「和泉市以外」が 2.4% となっています。

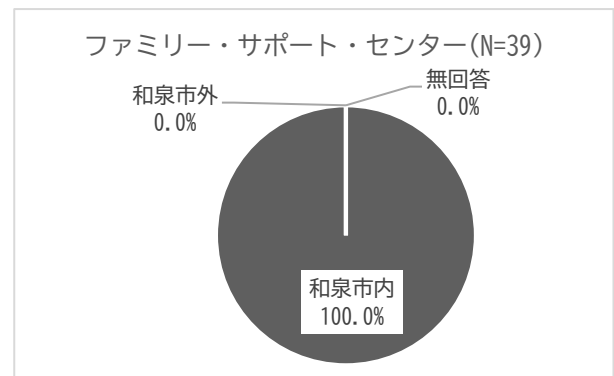


(11)その他の認可外保育施設

2 件のうち、「和泉市内」は2件となっています。

(12)ファミリー・サポート・センター

「和泉市内」が 100.0%となっています。



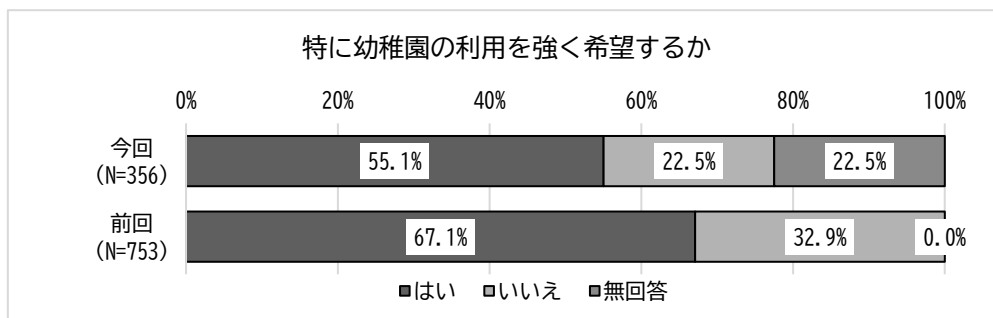
(13)その他

7 件のうち、「和泉市内」は 7 件となっています。

問 22-2 問 22 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～12」にも○をつけた方におうかがいします。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1 つだけ○)

特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が 55.1%、「いいえ」が 22.5%となっています。前回との比較では、「はい」が 12.0 ポイント減少しています。



6. こどもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

あて名のお子さんについて、幼稚園や保育所などの土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

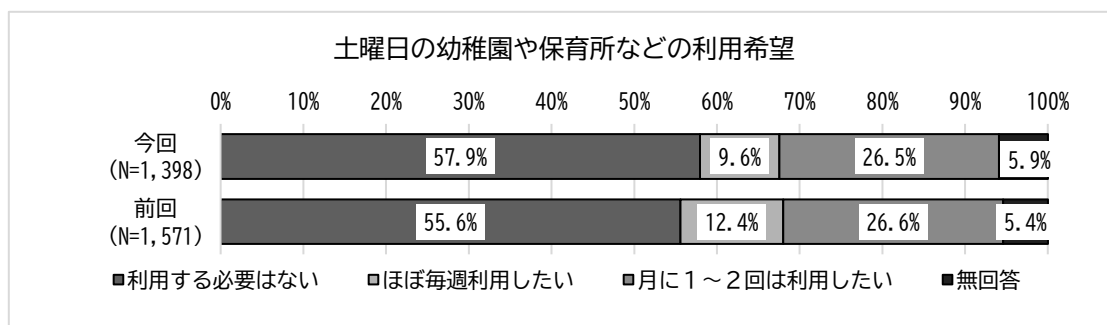
問 23. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

希望がある場合は利用したい時間帯を、24 間制(例:18時)で()内にご記入ください。

(1)土曜日

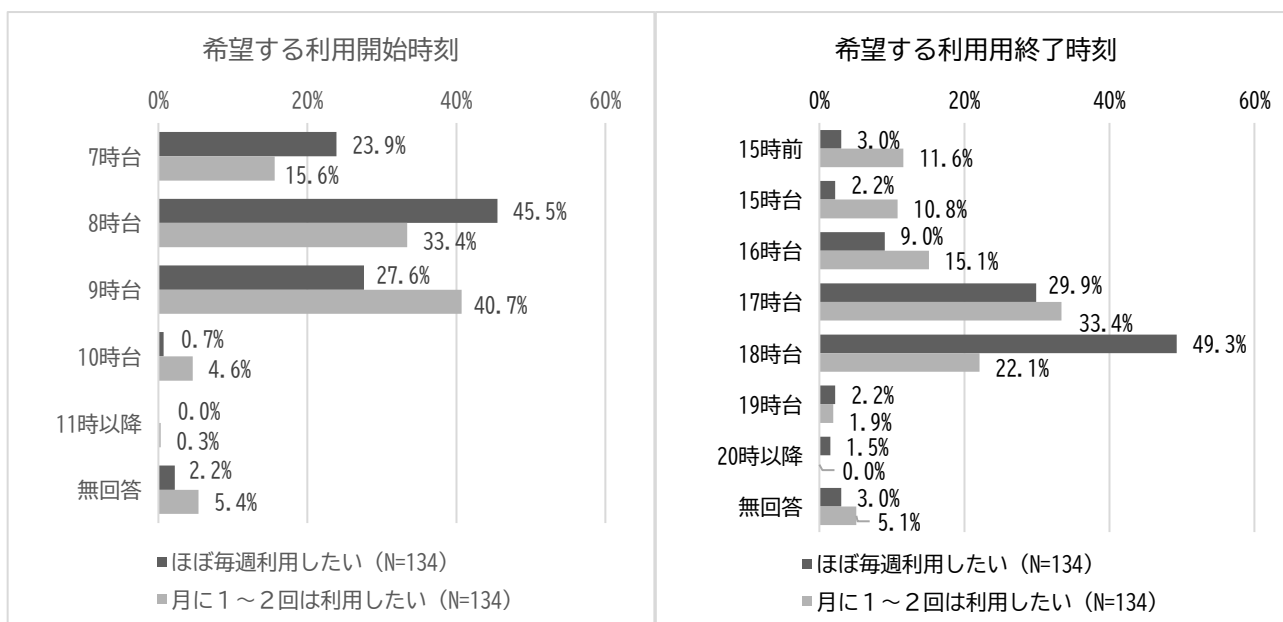
土曜日の幼稚園や保育所などの利用希望は「利用する必要はない」が 57.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 26.5%、「ほぼ毎週利用したい」が 9.6%となっています。

前回と比較すると、「ほぼ毎週利用したい」が 2.8 ポイント減少しています。



希望する利用開始時刻は「ほぼ毎週利用したい」では「8時台」が 45.5%と最も多く、次いで「9時台」が 27.6%、「7時台」が 23.9%、「月に1～2回は利用したい」では「9時台」が 40.7%と最も多く、次いで「8時台」が 33.4%となっています。

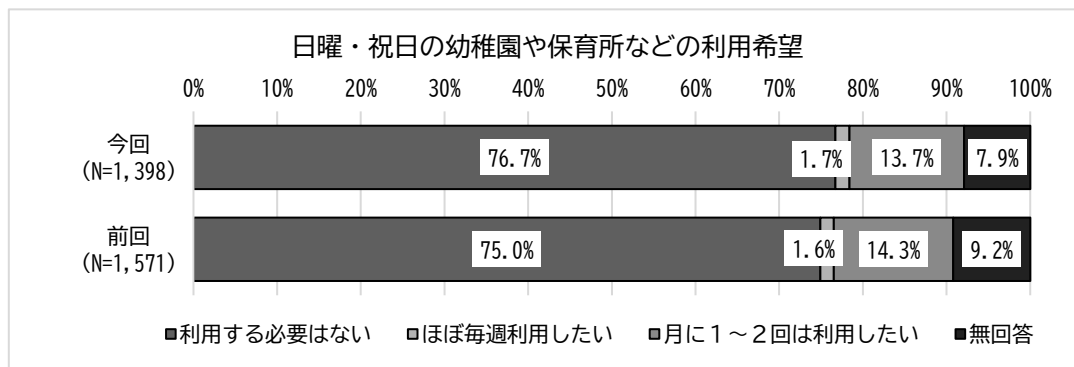
希望する利用終了時刻は「ほぼ毎週利用したい」では「18 時台」が 49.3%と最も多く、次いで「17 時台」が 29.9%、「16 時台」が 9.0%、「月に1～2回は利用したい」では「17 時台」が 33.4%と最も多く、次いで「18 時台」が 22.1%となっています。



(2)日曜・祝日

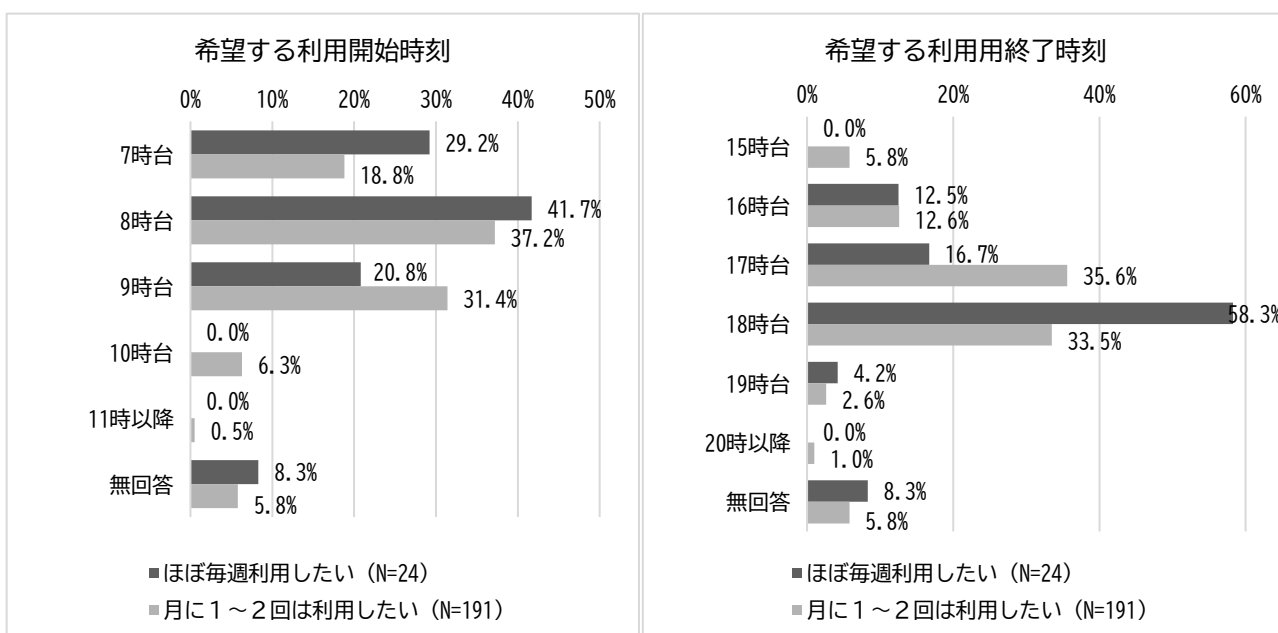
日曜・祝日の幼稚園や保育所などの利用希望は「利用する必要はない」が 76.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 13.7%となっています。

前回と比較すると、「利用する必要はない」が 1.7 ポイント増加し、「月に1～2回は利用したい」が 0.6 ポイントとわずかに減少しています。



希望する開始時刻は「ほぼ毎週利用したい」では「8時台」が 41.7%と最も多く、次いで「7時台」が 29.2%、「月に1～2回は利用したい」では「8時台」が 37.2%と最も多く、次いで「9時台」が 31.4%、「7時台」が 18.8%となっています。

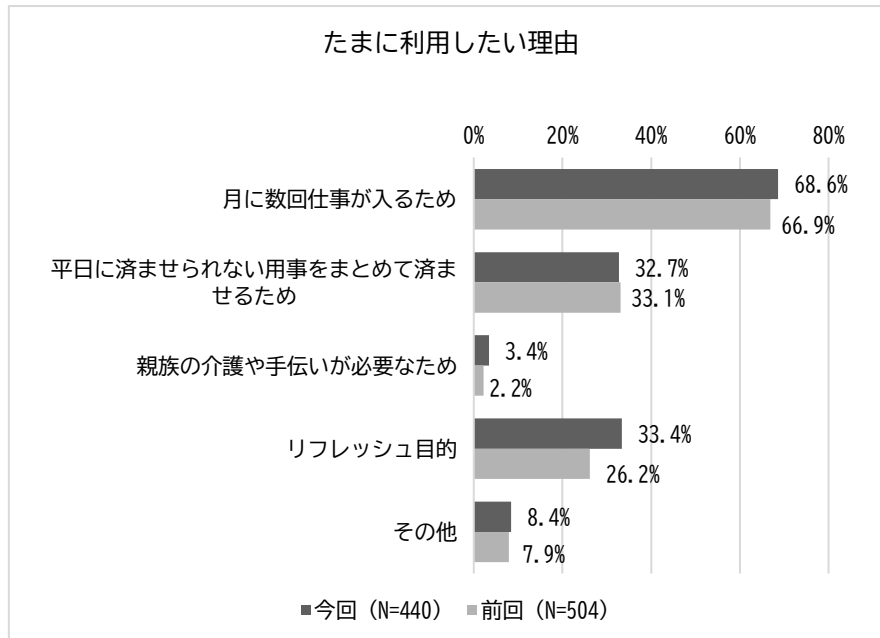
希望する終了時刻は「ほぼ毎週利用したい」は18時台が 58.3%と最も多く、次いで「17時台」が 16.7%、「16時台」が 12.5%、「月に1～2回は利用したい」では「17時台」が 35.6%と最も多く、次いで「18時台」が 33.5%、「16時台」が 12.6%となっています。



問 23-1 問 23 の(1)あるいは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

毎週ではなく、たまに利用したい理由は「月に数回仕事が入るため」が 66.9%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 33.1%、「リフレッシュ目的」が 26.2%となっています。

前回と比較すると、「リフレッシュ目的」が 7.2 ポイント増加しています。



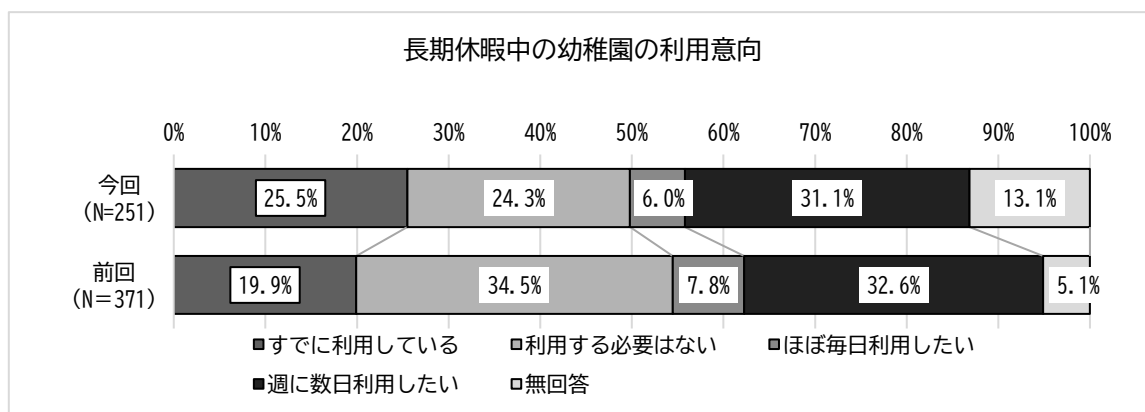
問 24. あて名のお子さんが現在、「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。

該当しない方は問 25 へお進みください。

夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24 間制(例:18 時)で()内にご記入ください。

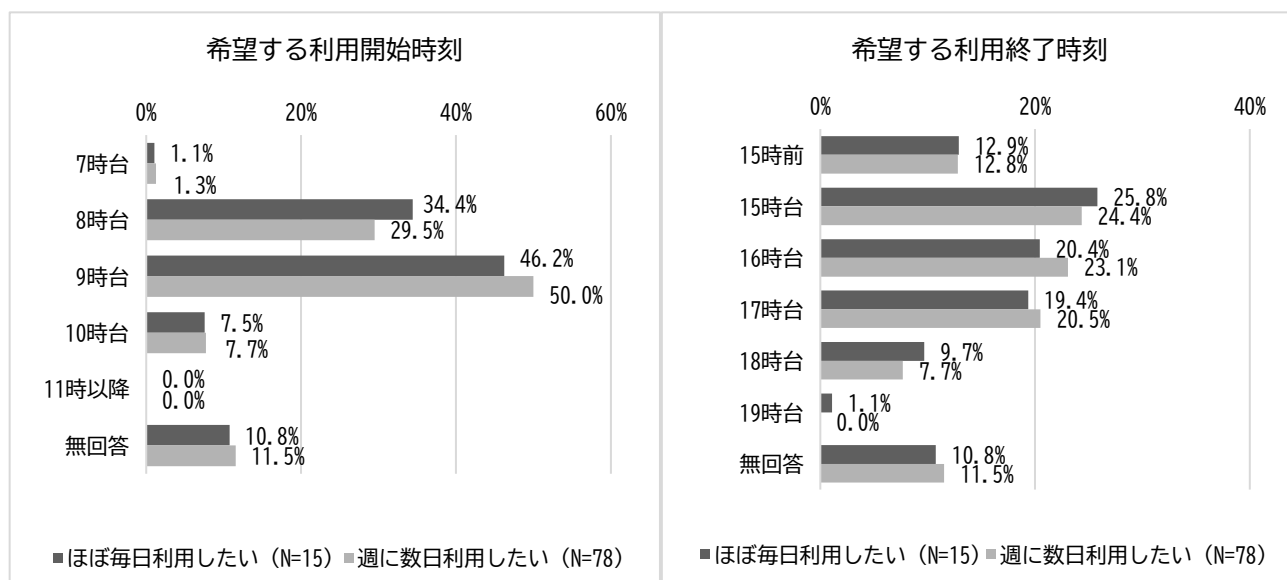
問 21-1 で「1.幼稚園」または「2.幼稚園の預かり保育」を選択した251件のうち、「夏休み・冬休みなどの長期休暇中の幼稚園の利用意向は「週に数日利用したい」が 31.1%と最も多く、次いで、「すでに利用している」が 25.5%、「利用する必要はない」が 24.3%となっています。

前回と比較すると、「すでに利用している」が 5.6 ポイント増加し、「利用する必要はない」10.2 ポイント減少しています。



希望する利用開始時刻は「ほぼ毎日利用したい」が「9時台」が 46.2%と最も多く、次いで「8時台」が 34.4%、「週に数日利用したい」では「9時台」が 50.0%と最も多く、次いで「8時台」が 29.5%となっています。

希望する利用終了時刻は「ほぼ毎日利用したい」が「15 時台」が 25.8%と最も多く、次いで「16 時台」が 20.4%、「17 時台」が 19.4%、「週に数日利用したい」では「15 時台」が 24.4%と最も多く、次いで「16 時台」が 23.1%、「17 時台」が 20.5%となっています。

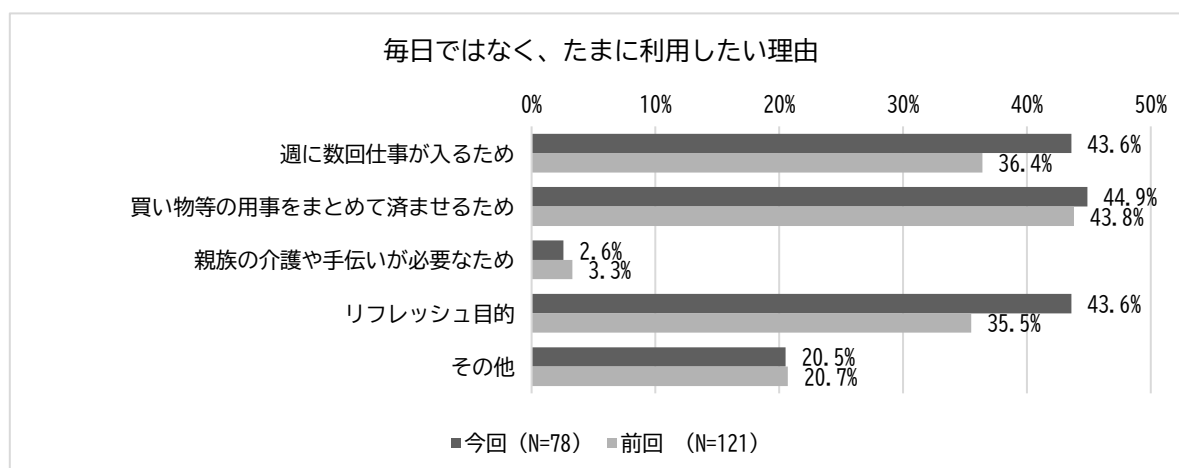


問 24-1 問 24 で、「4. 週に数日利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

毎日ではなく、たまに利用したい理由は「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 44.9%と最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」「リフレッシュ目的」が 43.6%となっています。

前回と比較すると、「週に数回仕事が入るため」が 7.2 ポイント、「リフレッシュ目的」が 8.1 ポイント増加しています。



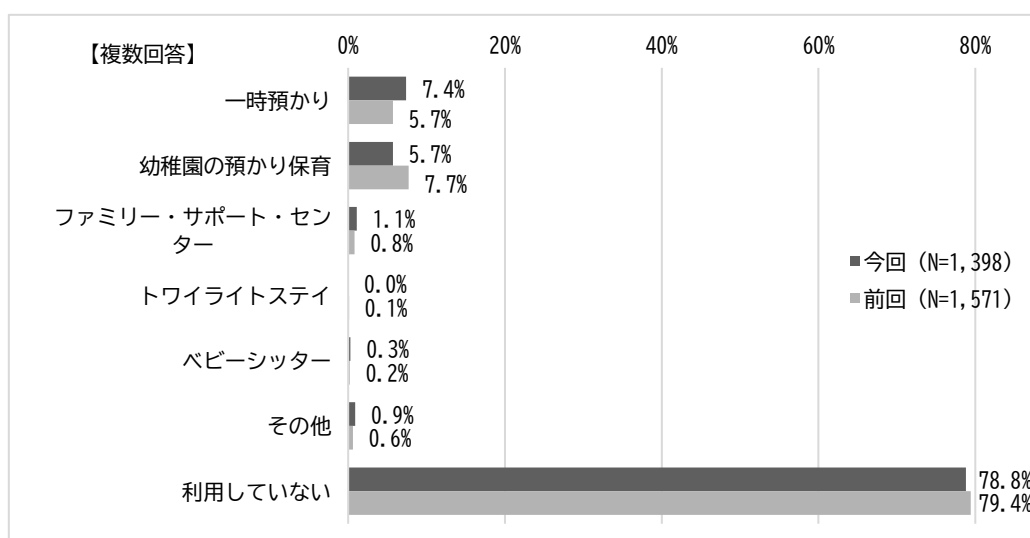
7. 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

あて名のお子さんの幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について
 おうかがいします。

問 25 あなたは、ご自身や配偶者の親の通院、不規則の仕事、リフレッシュなどを理由として、こどもを預かるサービスを不規則に利用しましたか(幼稚園や保育所などの定期的な利用やこどもが病気の時の保育施設などの利用は除きます)。
 利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

「利用していない」が 78.8%と最も多くなっています。

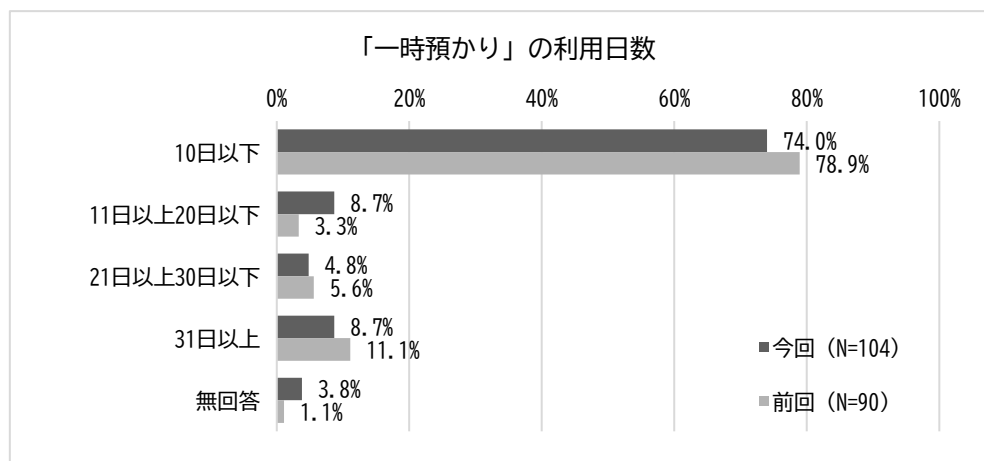
前回と比較すると、「一時預かり」が1.7 ポイント増加し、「幼稚園の預かり保育」が2.0 ポイント、「利用していない」が0.6 ポイントと、それぞれ減少しています。



「一時預かり」の利用日数

「10 日以下」が 74.0%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」「31 日以上」が 8.7%となっています。

前回と比較すると、「11 日以上 20 日以下」が 5.4 ポイント増加し、「10 日以下」が 4.9 ポイント減少しています。



「幼稚園の預かり保育」の利用日数

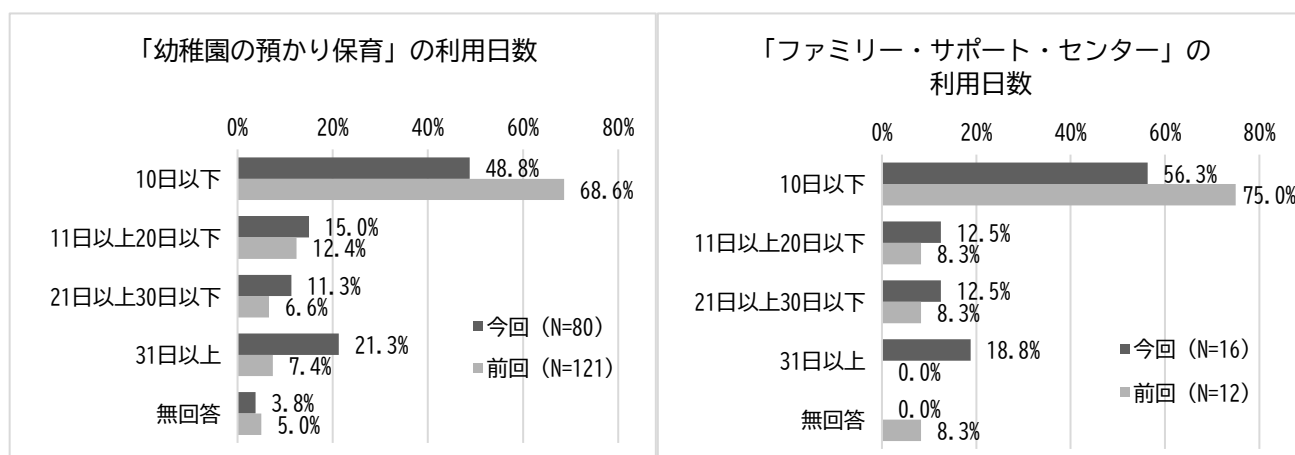
「10 日以下」が 48.8%と最も多く、次いで「31 日以上」が 21.3%、「11 日以上 20 日以下」が 15.0%となっています。

前回と比較すると、「21 日以上 30 日以下」が 4.7 ポイント、「31 日以上」が 13.9 ポイントと、それぞれ増加し、「10 日以下」が 19.8 ポイント減少しています。

「ファミリー・サポート・センター」の利用日数

「10 日以下」が 56.3%と最も多く、次いで「31 日以上」が 18.8%となっています。

前回と比較すると、「11 日以上 20 日以下」「21 日以上 30 日以下」がそれぞれ 4.2 ポイントずつ増加し、「10 日以下」が 18.7 ポイント減少しています。



「トワイライトステイ」の利用日数

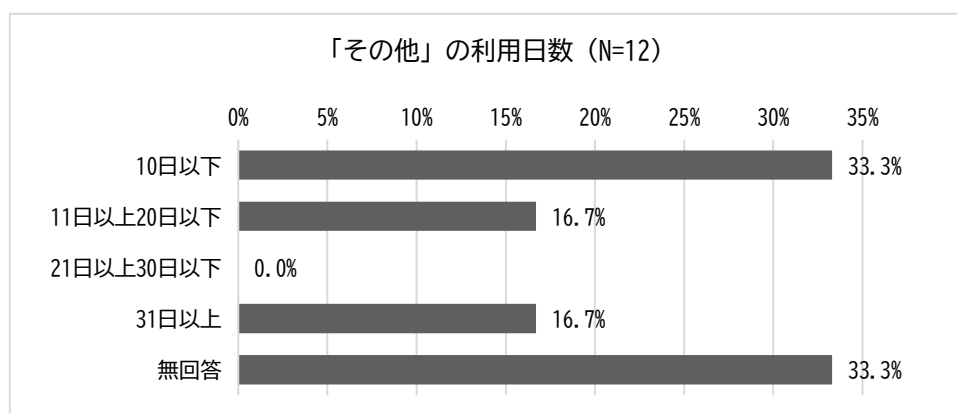
有効回答はありません。

「ベビーシッター」の利用日数

4 件のうち、利用日数が「10 日以下」は3件となっています。

「その他」の利用日数

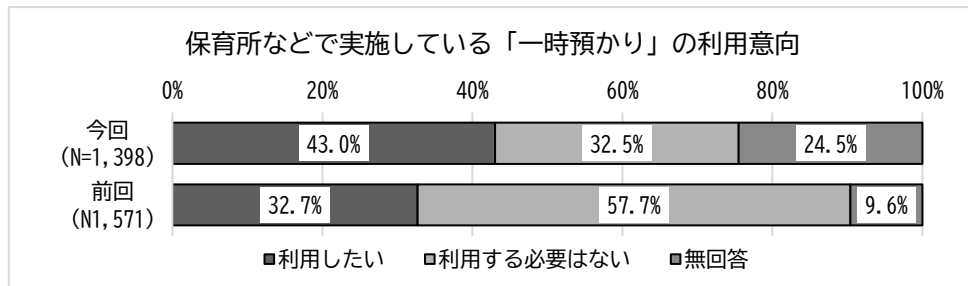
「10 日以下」が 33.3%と最も多く次いで「11 日以上 20 日以下」「31 日以上」が 16.7%となっています。



問 26 あなたは、ご自身や配偶者の通院、不規則な仕事、リフレッシュなどを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施している「一時預かり」を利用したいと思いますか。
利用希望の有無についてどちらかの番号に、利用理由について、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を()内に数字でご記入ください(利用したい日数の目的別の日数とその合計を枠内に数字でご記入ください)。

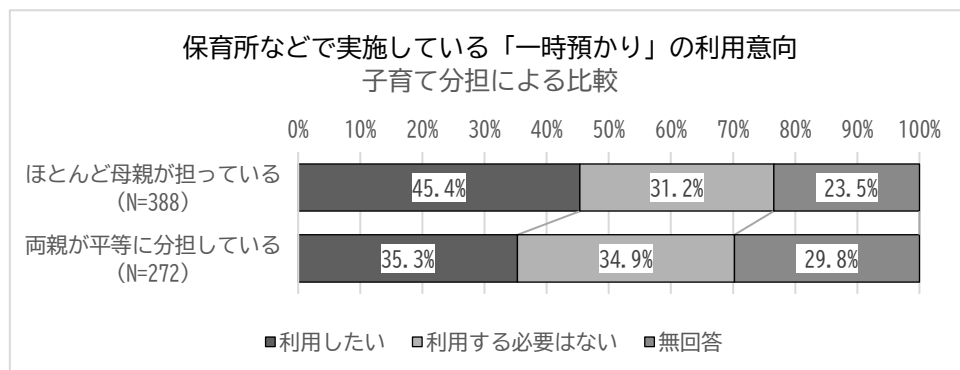
保育所などで実施している「一時預かり」の利用意向は「利用したい」が 43.0%、「利用する必要はない」が 32.5%となっています。

前回と比較すると、「利用したい」が10.3 ポイント増加し、「利用する必要はない」が 25.2 ポイント減少しています。



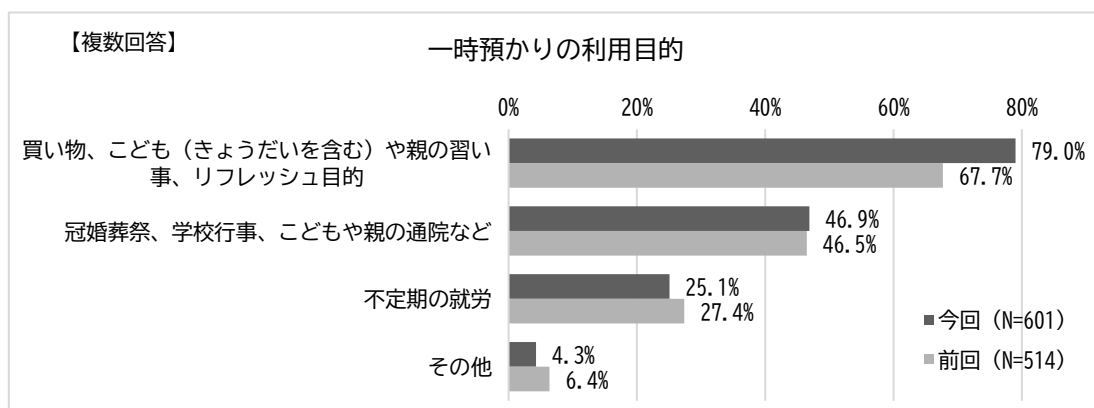
子育て分担による比較

「ほとんど母親が担っている」は「両親が平等に分担している」に比べ、一時預かりのニーズが高い傾向にあります。



一時預かりの利用目的

前回と比較すると、「買い物、こども(きょうだいを含む)や親の習い事、リフレッシュ目的」が 11.3 ポイント増加し、「不規則の就労」が 2.3 ポイント減少しています。

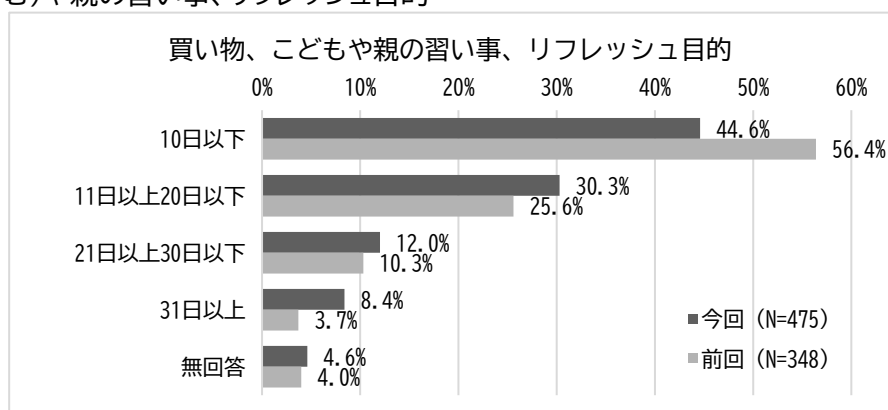


利用したい日数(年間)

ア 買い物、こども(きょうだいを含む)や親の習い事、リフレッシュ目的

「10 日以下」が 44.6%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 30.3%、「21日以上30日以下」が 12.0%となっています。

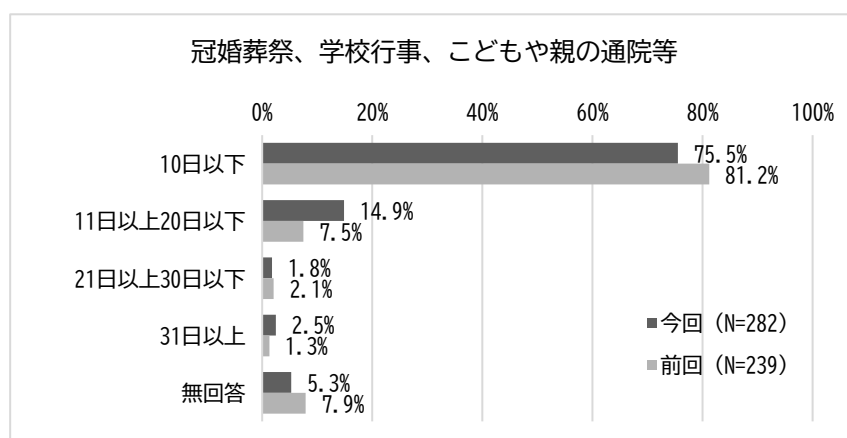
前回と比較すると、「11 日以上 20 日以下」が 4.7 ポイント増加し、「10 日以下」が 11.8 ポイント減少しています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等

「10 日以下」が 75.5%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 14.9%、「31日以上」が 2.5%となっています。

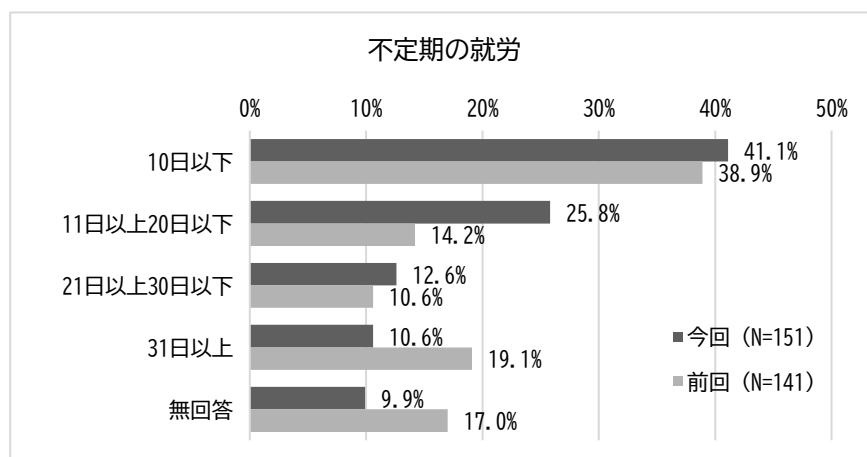
前回と比較すると、「11 日以上 20 日以下」が 7.4 ポイント増加し、「10 日以下」が 5.7 ポイント減少しています。



ウ 不定期の就労

「10 日以下」が 41.1%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 25.8%、「21日以上30日以下」が 12.6%となっています。

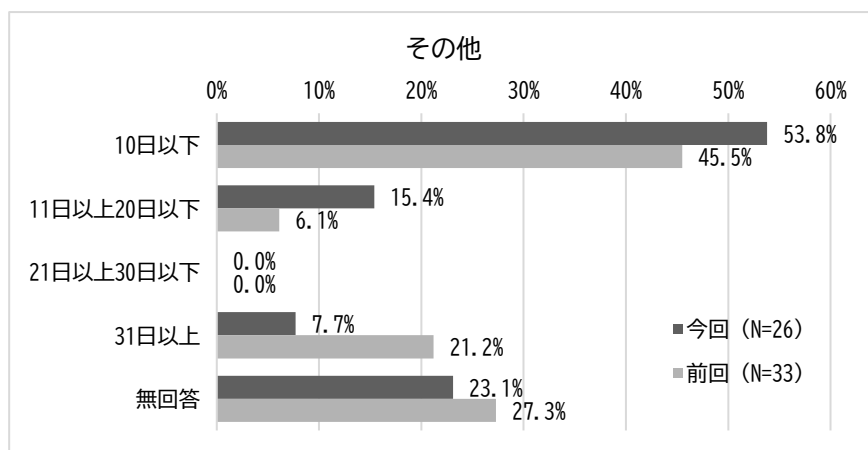
前回と比較すると、「10 日以下」が 2.2 ポイント、「11 日以上 20 日以下」が 11.0 ポイントと、それぞれ増加し、「21 日以上 30 日以下」が 2.0 ポイント、「31 日以上」が 8.5 ポイント減少しています。



エ その他

「10日以下」が 53.8%と最も多く、次いで「11日以上 20日以下」が 15.4%、「31日以上」が 7.7%となっています。

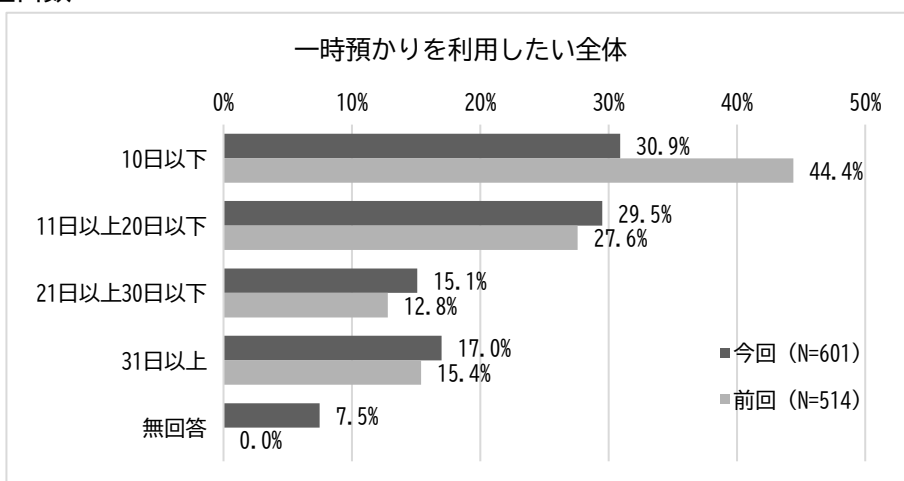
前回と比較すると、「10日以下」が 8.3 ポイント、「11日以上 20日以下」が 9.3 ポイントとそれぞれ増加し、「31日以上」が 13.5 ポイント減少しています。



一時預かりを利用したい全体の希望日数

一時預かりを利用したい全体の希望日数は、「10日以下」が 30.9%と最も多く、次いで「11日以上 20日以下」が 29.5%、「21日以上 30日以下」が 15.1%となっています。

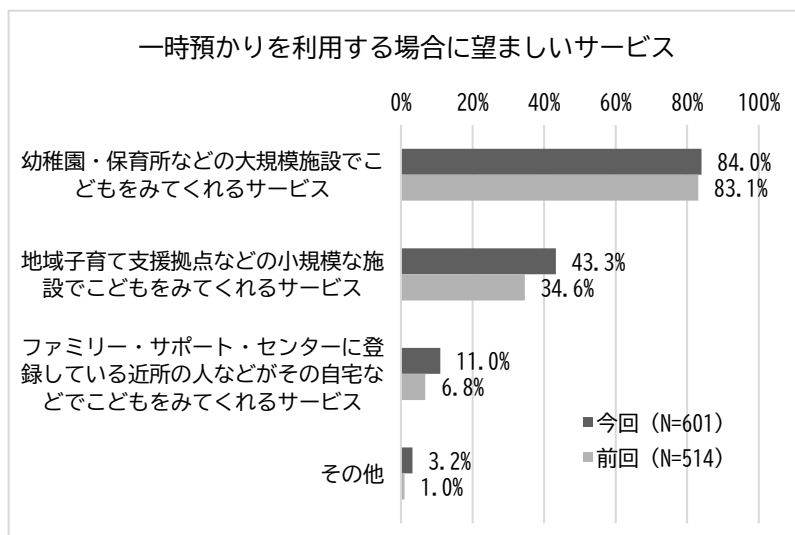
前回と比較すると、「21日以上 30日以下」が 2.3 ポイント、「31日以上」が 1.6 ポイントと、それぞれ増加し、「10日以下」が 13.5 ポイント、「11日以上 20日以下」が 1.9 ポイントと、それぞれ減少しています。



問 26-1 問 26 で「1. 利用したい」に○をつけた方におうかがいします。問 26 の理由でお子さんを預ける場合、次のどの子育て支援サービスが望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
なお、サービスの利用には、一定の利用料が発生します。

一時預かりを利用する場合に望ましいサービスは「幼稚園・保育所などの大規模施設でこどもをみてる」が 83.1%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点などの小規模な施設でこどもをみてるサービス」が 34.6%となっています。

前回と比較すると、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設でこどもをみてるサービス」が 8.7 ポイント増加しています。



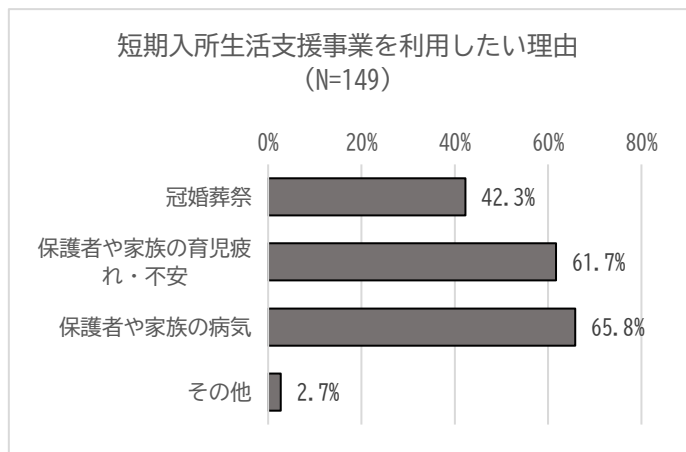
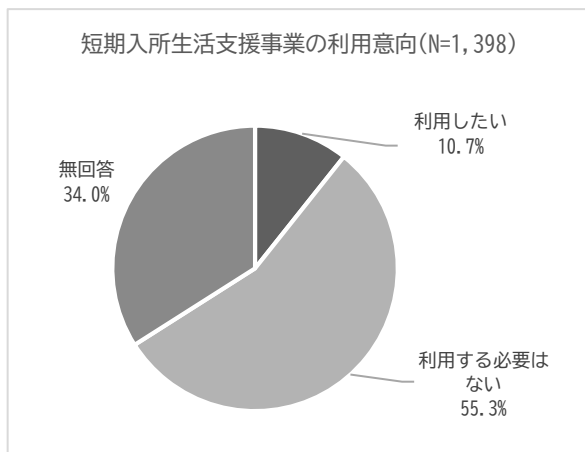
問 27 あなたは、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事を理由として、1年間に何泊ぐらい短期入所生活支援事業(ショートステイ)を利用したいと思いますか。

利用希望の有無についてどちらかの番号に、利用理由は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な泊数を()内に数字でご記入ください(利用したい目的別の日数と合計を数字でご記入ください)。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

短期入所生活支援事業の利用意向は「利用する必要はない」が 55.3%、「利用したい」が 10.7%となっています。

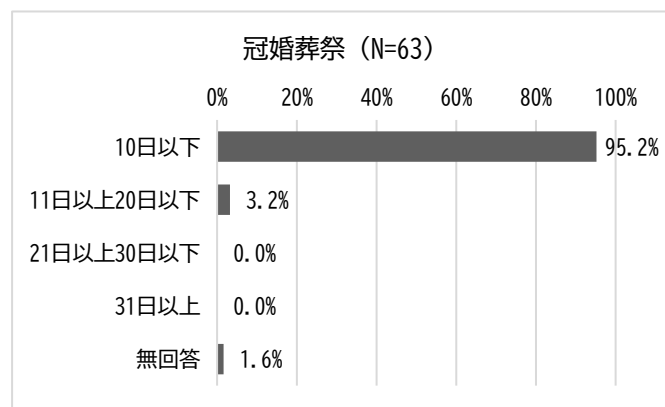
短期入所生活支援事業を利用したい理由は、「保護者や家族の病気」が 65.8%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 61.7%、「冠婚葬祭」が 42.3%となっています。



短期入所生活支援事業を利用したい日数

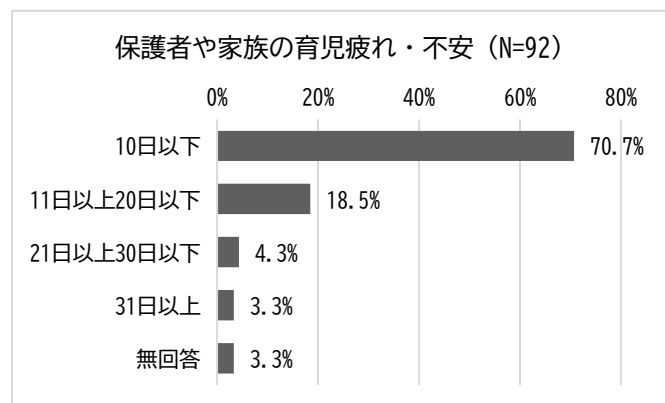
ア 冠婚葬祭

「10 日以下」が 95.2%と最も多くなっています。



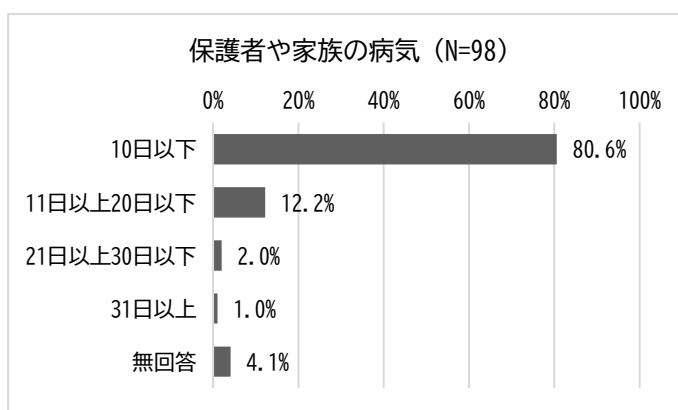
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安

「10 日以下」が 70.7%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 18.5%となっています。



ウ 保護者や家族の病気

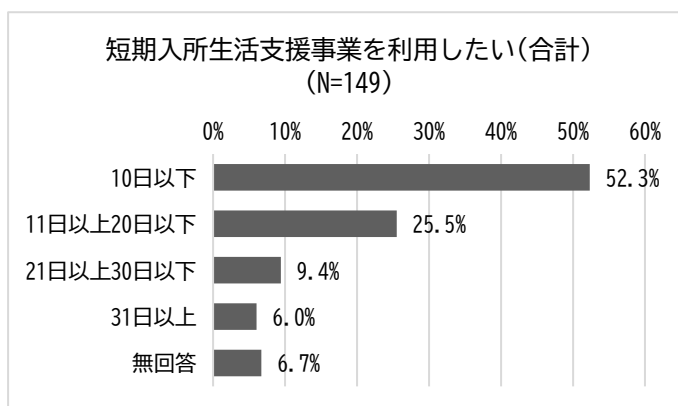
「10 日以下」が 80.6%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 12.2%となっています。



エ その他

4 件のうち、「10 日以下」が4件となっています。
短期入所生活支援事業を利用したい日数(合計)

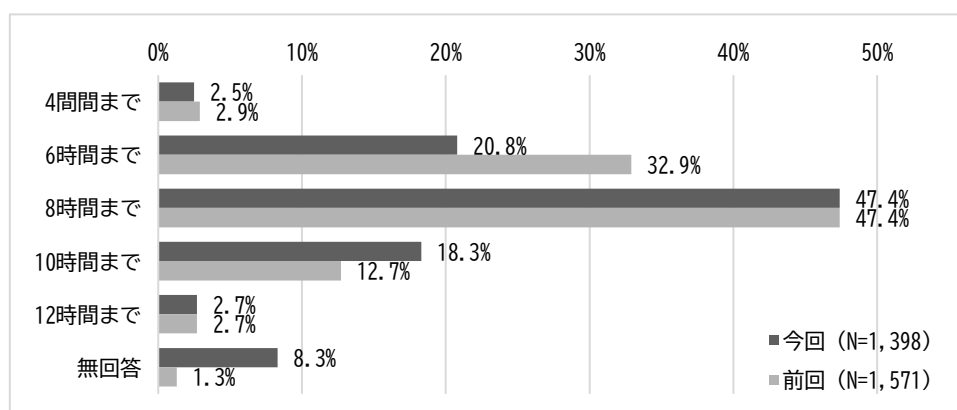
短期入所生活支援事業の利用を希望する合計日数は、「10 日以下」が 52.3%と最も多く、次いで「11 日以上20日以下」が 25.5%、「21 日以上 30 日以下」が 9.4%となっています。



問 28 お子さんを幼稚園や保育所などの施設に預ける場合、お子さんにとってどのくらいの時間が適切と考えられますか。(1つだけ○)

「8時間まで」が 47.4%と最も多く、次いで「6時間まで」が 20.8%、「10 時間まで」が 18.3%となっています。

前回と比較すると、「10 時間まで」が 5.6 ポイント増加し、「6時間まで」が 12.1 ポイント減少しています。

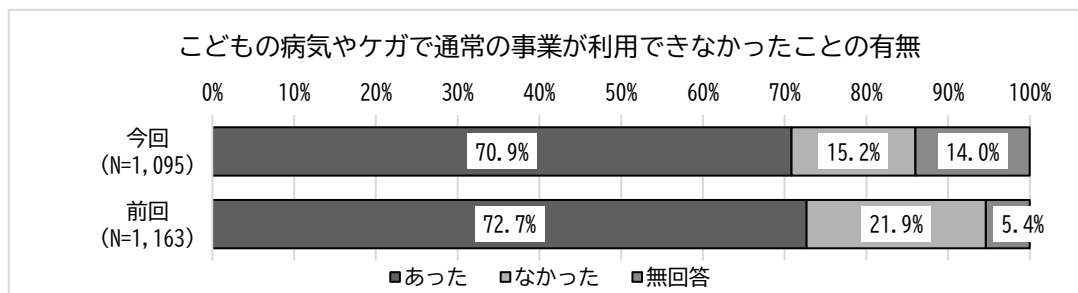


あて名のお子さんの病気の時の対応についておうかがいします。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 29 問 21 で平日の定期的な教育・保育の事業を「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1 つだけ○)

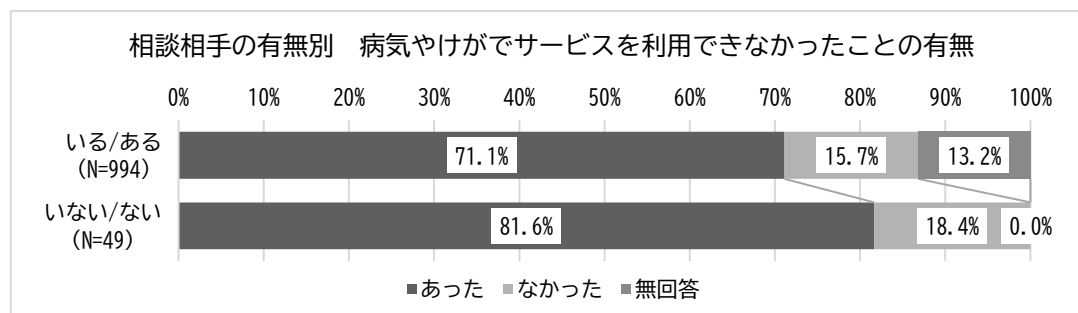
こどもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無は「あった」が 70.9%、「なかった」が 15.2%となっています。

前回と比較すると、「あった」が 1.8 ポイント、「なかった」が 6.7 ポイントと、それぞれ減少しています。



相談相手の有無別による比較

相談相手が「いない/ない」と回答した人は、病気やけがでサービスを利用できなかったことが「あった」が 81.6%で、「いる/ある」を 10.5 ポイント上回っています。



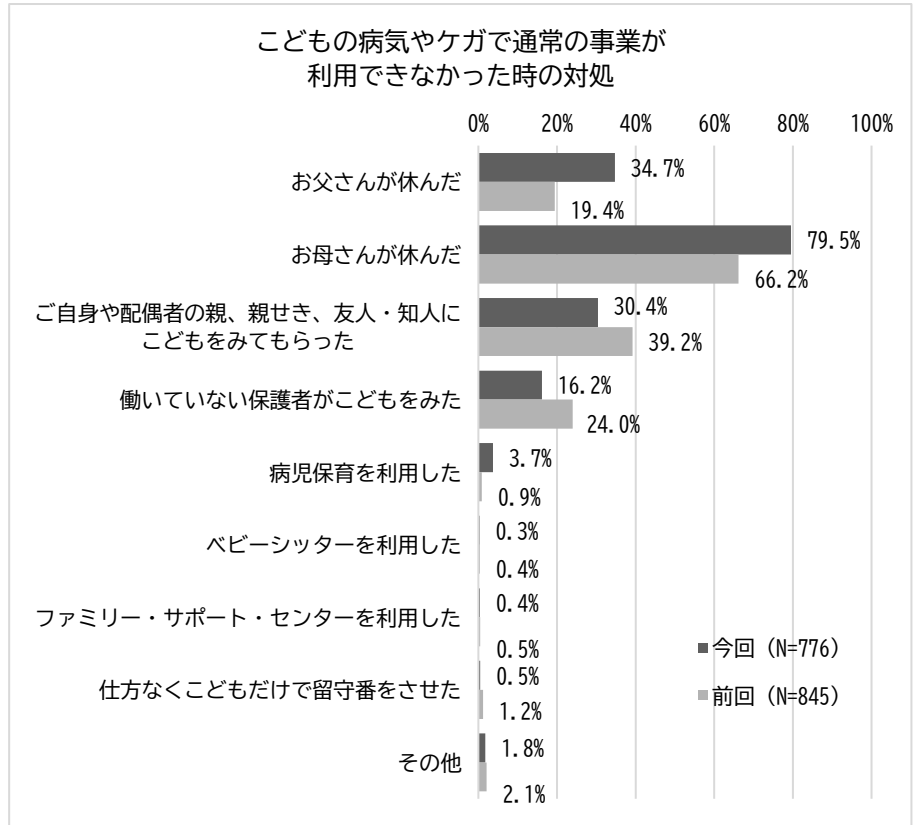
問 29-1 問 29 で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを休んだ場合、この1年間にどのような対処をされましたか。

あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

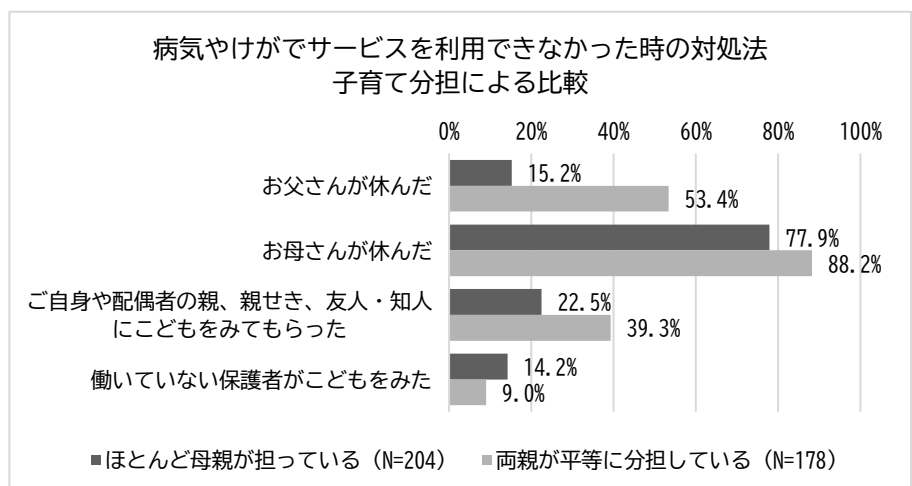
こどもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった時の対処は「お母さんが休んだ」が79.5%と最も多く、次いで「お父さんが休んだ」が34.7%、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にこどもをみてもらった」が30.4%となっています。

前回と比較すると、「お父さんが休んだ」が15.3ポイント、「お母さんが休んだ」が13.3ポイント増加し、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にこどもをみてもらった」が8.8ポイント、「働いていない保護者がこどもをみた」が7.8ポイント減少しています。



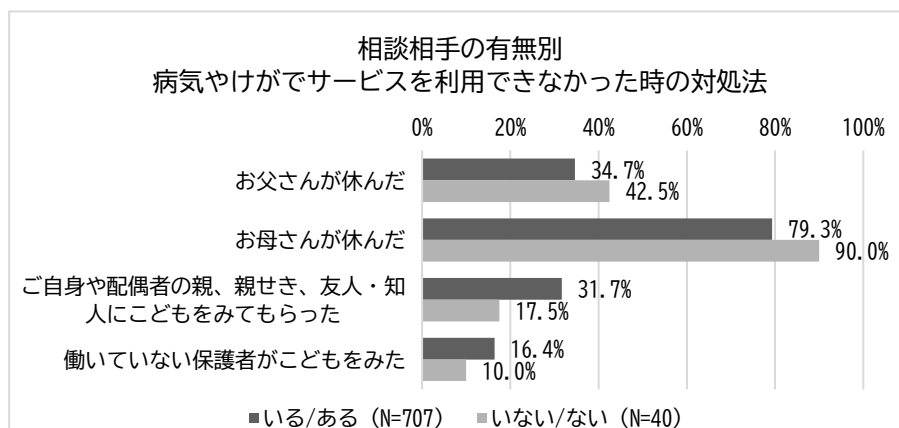
子育て分担による比較

「ほとんど母親が担っている」「両親が平等に分担している」共に、「お母さんが休んだ」が最も多くなっていますが、「両親が平等に分担している」は「ほとんど母親が担っている」に比べ、「お父さんが休んだ」が38.2ポイント、「お母さんが休んだ」が10.3ポイント、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にこどもをみてもらった」が16.8ポイント上回っています。



相談相手の有無別による比較

相談相手が「いない/ない」と回答した人は、「お母さんが休んだ」が 90.0%と、最も多く、「いる/ある」と比較して、「お母さんが休んだ」が 10.7 ポイント、「お父さんが休んだ」が 7.8 ポイント上回り、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった」が 14.2 ポイント下回っています。



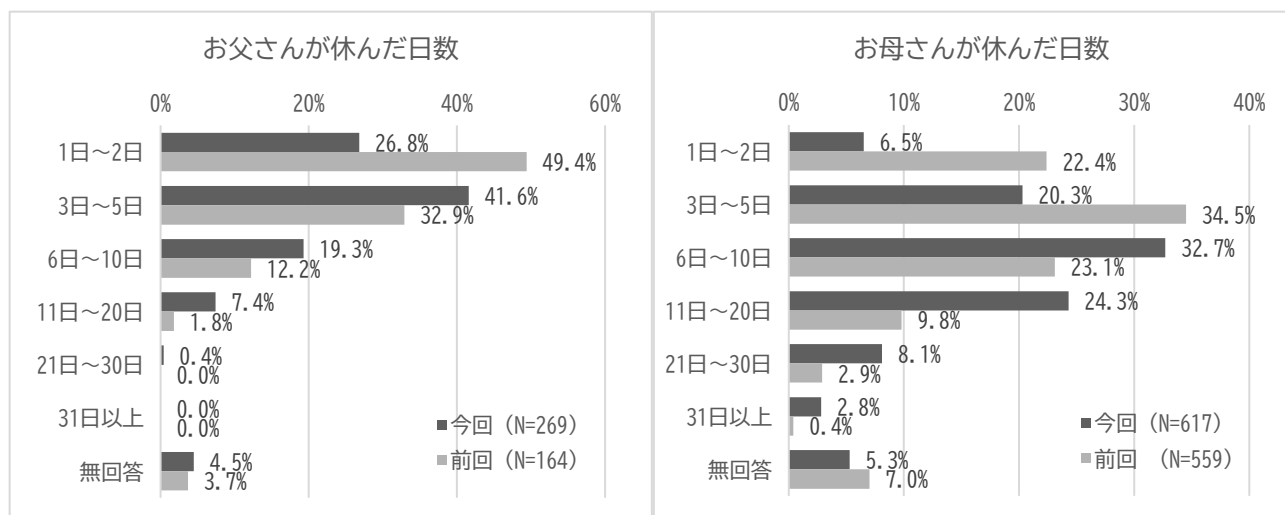
お父さんが休んだ日数

「3日～5日」が 41.6%と最も多く、次いで「1日～2日」が 26.8%、「6日～10日」が 19.3%となっています。前回と比較すると、「3日～5日」が 8.7 ポイント増加し、「1日～2日」が 22.6 ポイント減少しています。

お母さんが休んだ日数

「6日～10日」が 32.7%と最も多く、次いで「11日～20日」が 24.3%、「3日～5日」が 20.3%となっています。

前回と比較すると、「6日～10日」が 9.6 ポイント、「11日～20日」が 14.5 ポイント増加し、「1日～2日」が 15.9 ポイント、「3日～5日」が 14.2 ポイント減少しています。



自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった日数

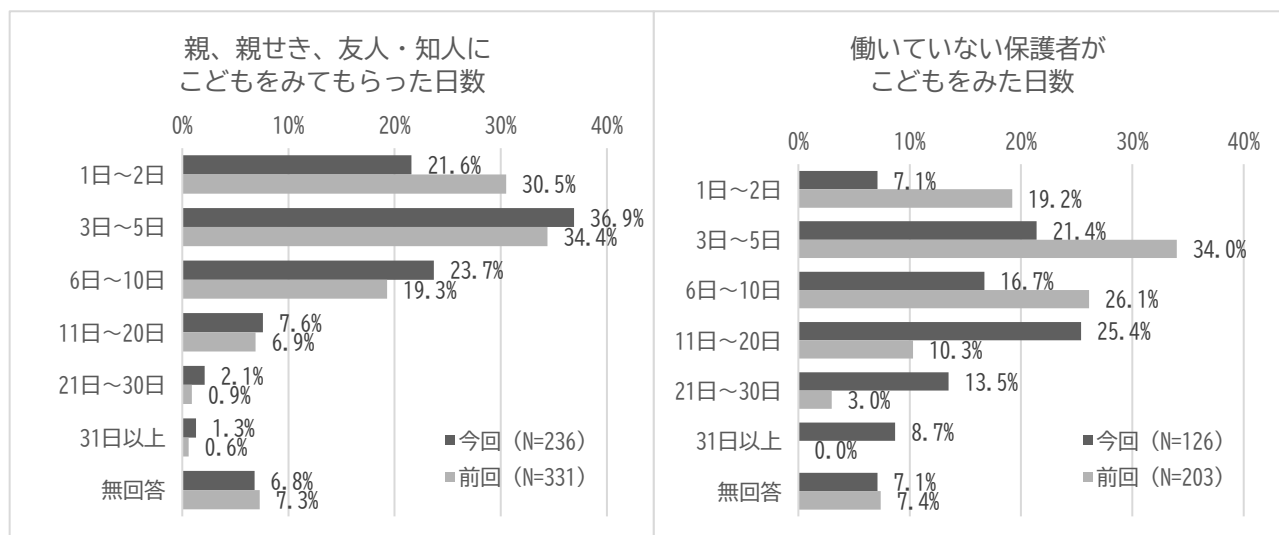
「3日～5日」が 36.9%と最も多く、次いで「6日～10日」が 23.7%、「1日～2日」が 21.6%となっています。前回と比較すると、「3日～5日」が 2.5 ポイント、「6日～10日」が 4.4 ポイント増加し、「1日～2日」が 8.9 ポイント減少しています。

働いていない保護者が子どもをみた日数

「11日～20日」が 25.4%と最も多く、次いで「3日～5日」が 21.4%、「6日～10日」が 16.7%となっています。

前回と比較すると、「11日～20日」が 15.1 ポイント、「21日～30日」が 10.5 ポイント増加し、「1日～2日」

が 12.1 ポイント、「3日～5日」が 12.6 ポイント減少しています。



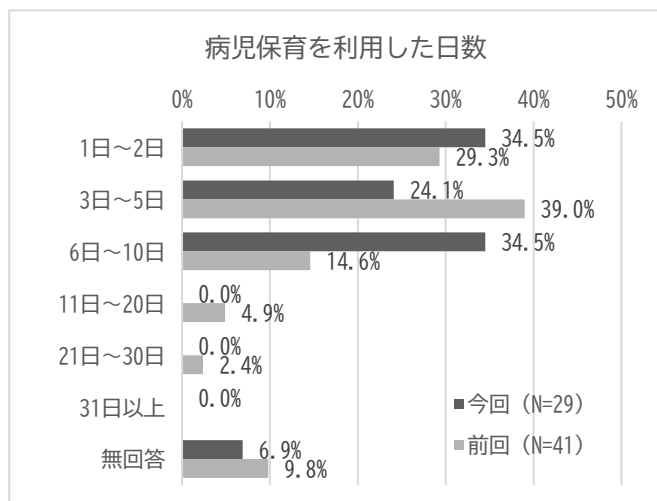
病児保育を利用した日数

「1日～2日」「6日～10 日」が 34.5%と最も多く、次いで「3日～5日」が 24.1%となっています。

前回と比較すると、「1日～2日」が 5.2 ポイント、「6日～10 日」が 19.9 ポイント増加し、「3日～5日」が 14.9 ポイント減少しています。

ベビーシッターを利用した日数

2 件のうち、「6日～10 日」が1件、「無回答」が1 件となっています。



ファミリー・サポート・センターを利用した日数

3 件のうち、「1日～2日」が2件、「無回答」が 1 件となっています。

仕方なくこどもだけで留守番をさせた日数

4 件のうち、「3日～5日」が4件となっています。

その他日数

有効回答はありません。

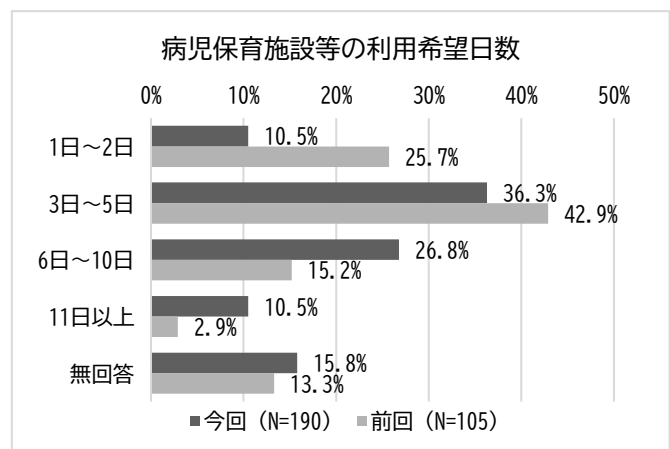
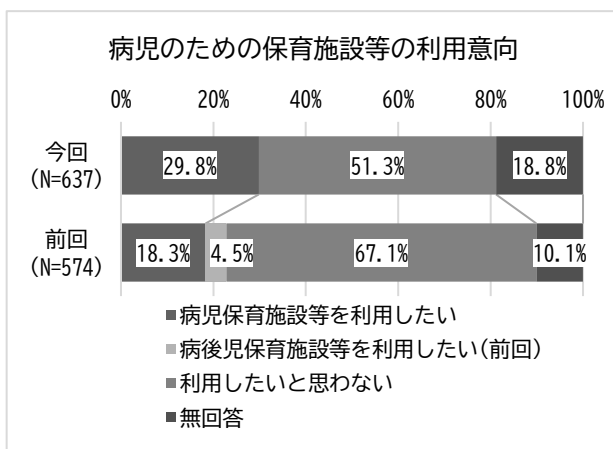
問 29-2 問 29-1で「ア. お父さんが休んだ」または「イ. お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。
その時に、「病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれか 1 つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

病児のための保育施設等の利用意向は「病児保育施設等を利用したい」が 29.8%、「利用したいとは思わない」が 51.3%となっています。

前回と比較すると、病後児保育を含めた「病児保育施設等を利用したい」が 7.0 ポイント増加し、「利用したいとは思わない」が-15.8 ポイント減少しています。

「1. 病児保育施設等を利用したい」を選んだ方の希望する利用日数は、「3日～5日」が 36.3%と最も多く、次いで「6日～10日」が 26.8%、「1日～2日」「11日以上」が 12.0%となっています。

前回と比較すると、「6日～10日」が 11.6 ポイント、「11日以上」が 7.6 ポイント増加し、「1日～2日」が 15.2 ポイント、「3日～5日」が 6.6 ポイント減少しています。

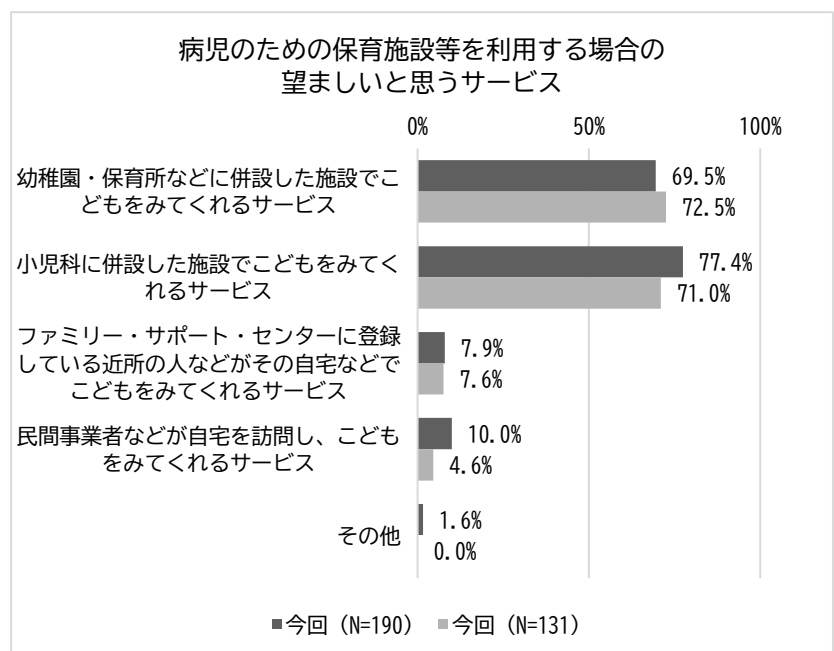


問 29-3 問 29-2で「1」(利用したい)に○をつけた方におうかがいします。
利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

病児のための保育施設等を利用する場合の望ましいと思うサービスは「小児科に併設した施設でこどもをみてるサービス」が 77.4%と最も多く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設でこどもをみてるサービス」が 69.5%となっています。

前回との比較では「小児科に併設した施設でこどもをみてるサービス」が 6.4 ポイント増加し、「幼稚園・保育所などに併設した施設でこどもをみてるサービス」が 3.0 ポイント減少しています。

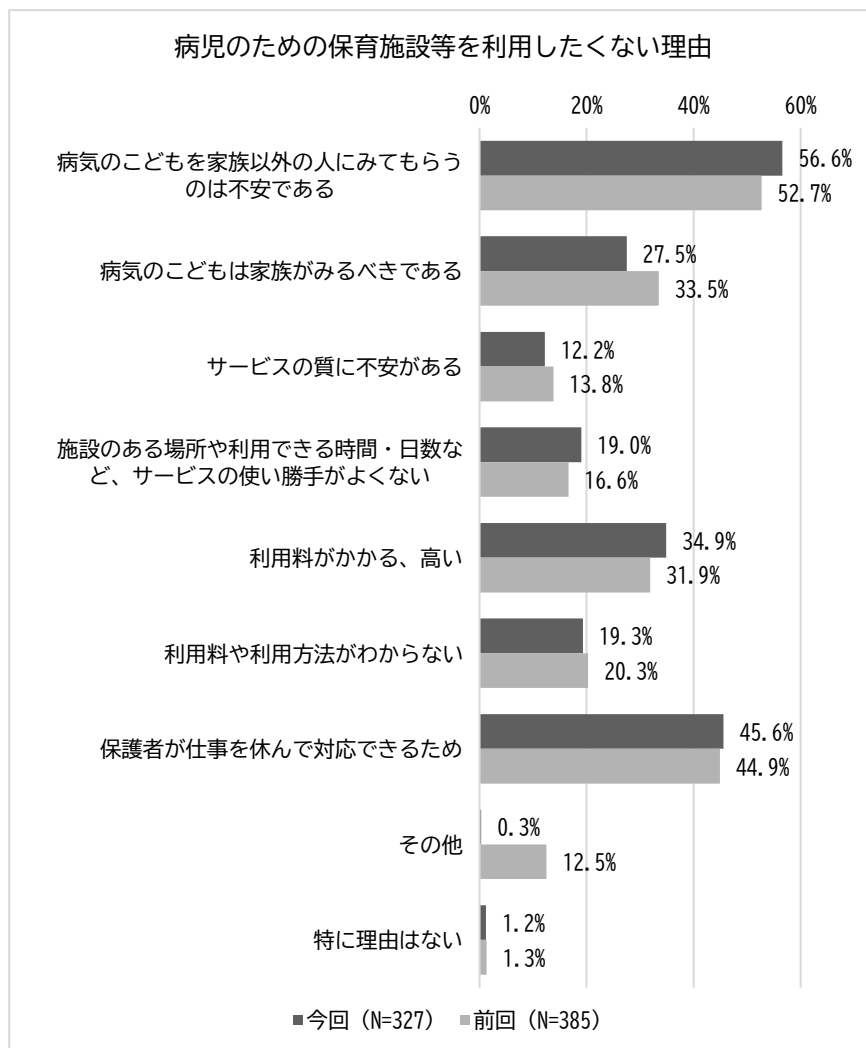
※ 前回は「病後児保育」を含む



問 29-4 問 29-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。
 利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに○)

病児のための保育施設等を利用したくない理由は「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 56.6%と最も多く、次いで「保護者が仕事を休んで対応できるため」が 45.6%、「利用料がかかる、高い」が 34.9%となっています。

前回と比較すると、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 3.9 ポイント、「利用料がかかる、高い」が 3.0 ポイント増加し、「病気のこどもは家族がみるべきである」が 6.0 ポイント、ポイント減少しています。



8. こどもの地域の子育て支援事業の利用状況等について

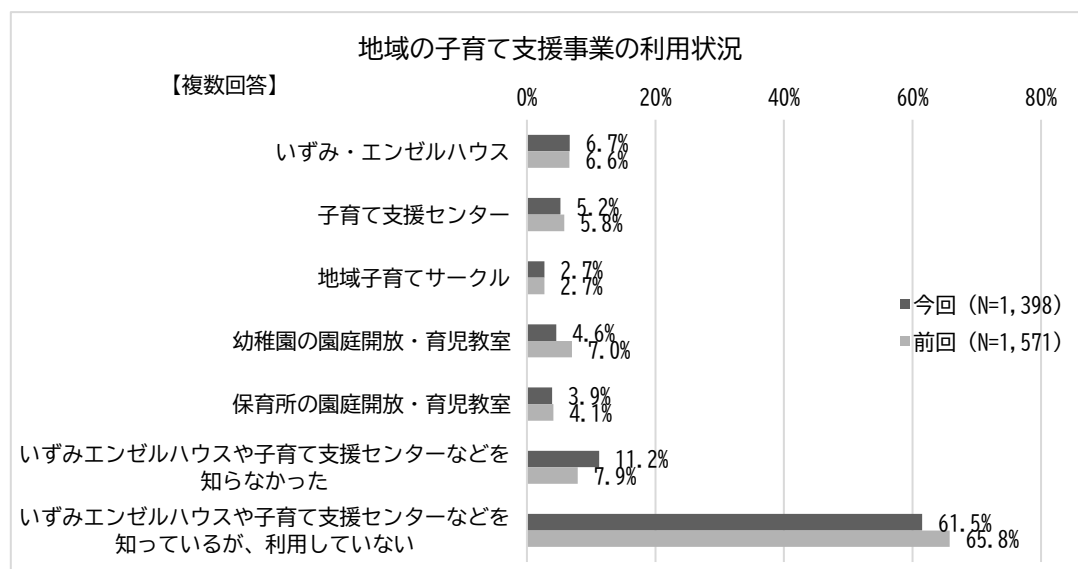
問 30 あて名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができ子育て支援センターや子育てサークルなどを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

地域の子育て支援事業の利用状況は「いずみエンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない」が61.5%と最も多くなっています。

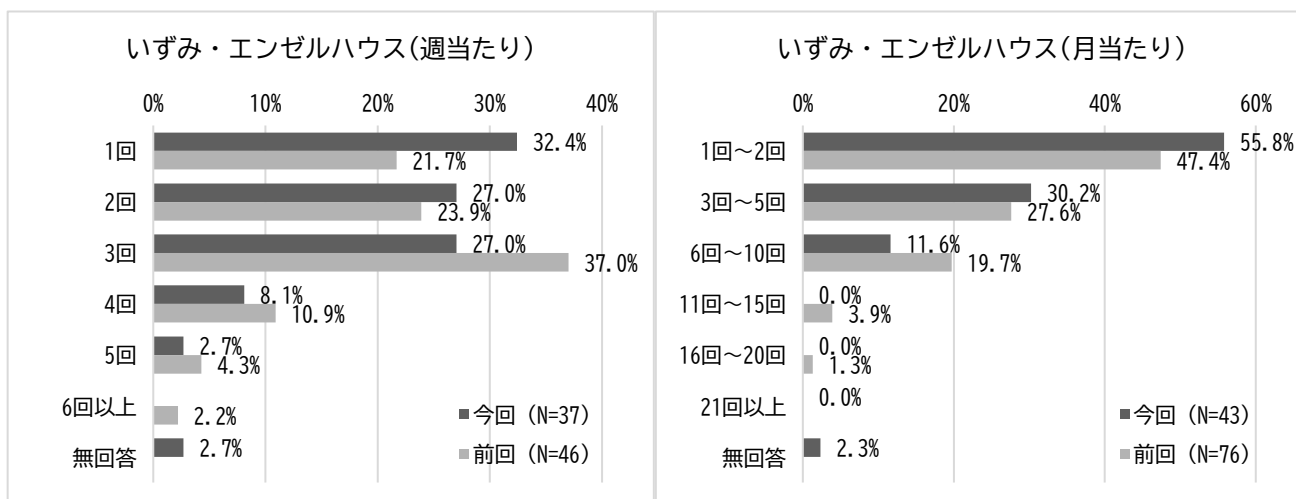
前回と比較すると、「いずみエンゼルハウスや子育て支援センターなどを知らなかった」が3.3ポイント増加し、「いずみエンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない」が4.3ポイント減少しています。



いずみ・エンゼルハウス

「いずみ・エンゼルハウス」の1週あたりの利用回数は、「回」が32.4%と最も多く、次いで「2回」「3回」が27.0%となっています。前回と比較すると、「1回」が10.7ポイント、「2回」が3.1ポイント増加し、「3回」が10.0ポイント減少しています。

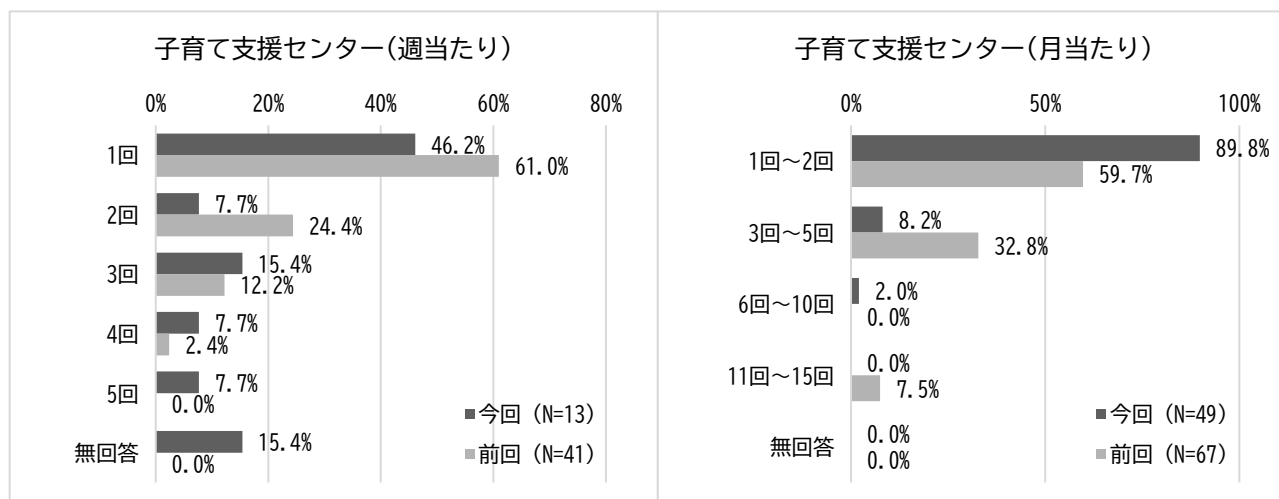
1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が55.8%と最も多く、次いで「3回～5回」が30.2%となっています。前回と比較すると、「1回～2回」が8.4ポイント、「3回～5回」が2.6ポイント増加し、「6回～10回」が8.1ポイント減少しています。



子育て支援センター

「子育て支援センター」の1週あたりの利用回数は、「1回」が 46.2%と最も多く、次いで「3回」が 15.4%となっています。前回と比較すると、「週あたり3回」が 3.2 ポイント増加し、「週あたり1回」が 14.8 ポイント減少しています。

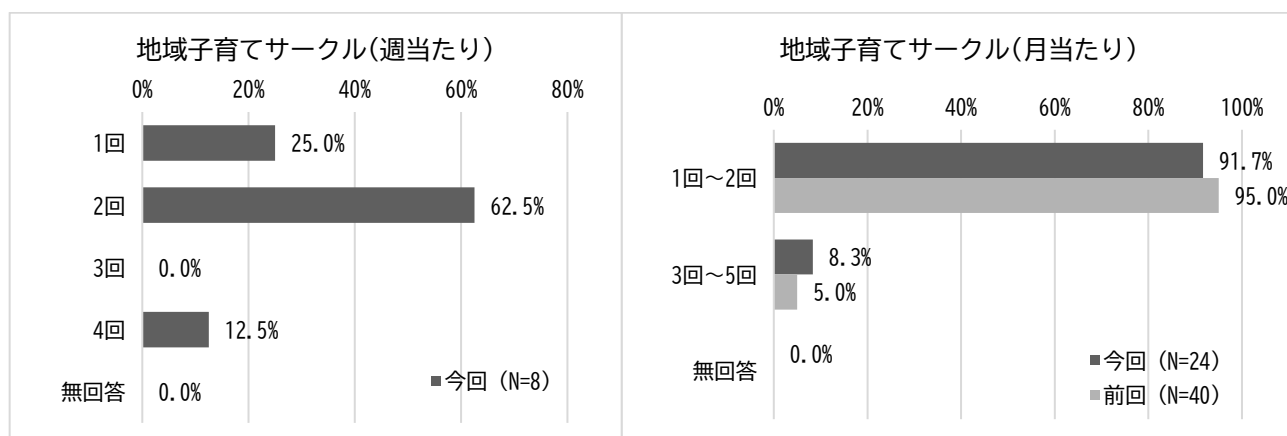
1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が 89.8%と最も多くなっています。前回と比較すると、「1回～2回」が 30.1 ポイント増加し、「3回～5回」が 24.6 ポイント減少しています。



地域子育てサークル

「地域子育てサークル」の1週あたりの利用回数は、「2回」が 62.5%と最も多く次いで「1回」が 25.0%となっています。

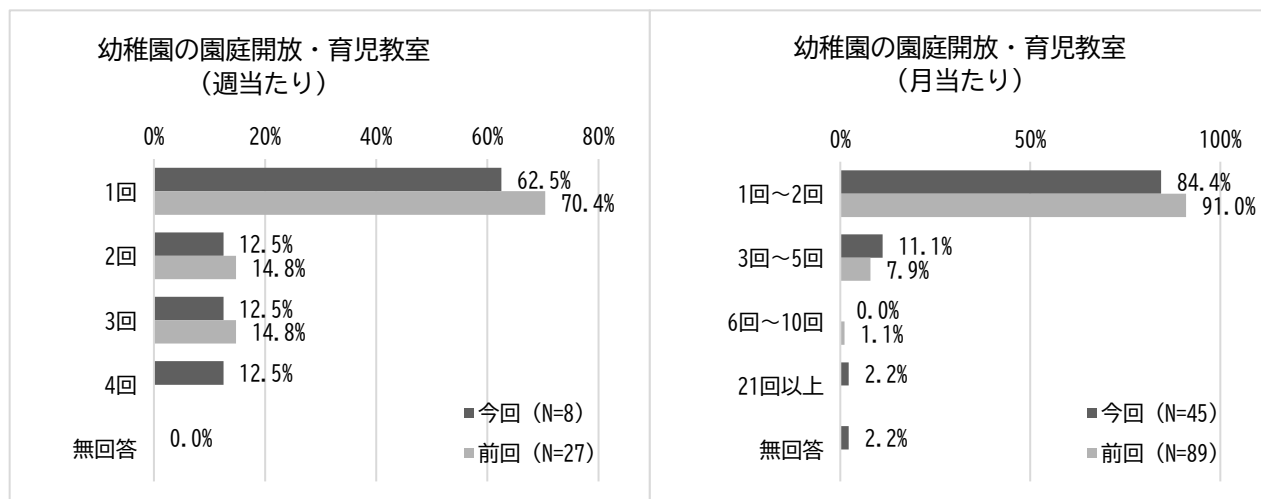
1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が 91.7%と最も多くなっています。前回と比較すると、「3回～5回」が 3.3 ポイント増加し、「1回～2回」が 3.3 ポイント減少しています。



幼稚園の園庭開放・親子教室

「幼稚園の園庭開放・親子教室」の週あたりの利用回数は、「1回」が 62.5%と最も多く、次いで「2回」「週あたり3回」が 12.5%となっています。前回と比較すると、「週あたり1回」が 7.9 ポイント減少しています。

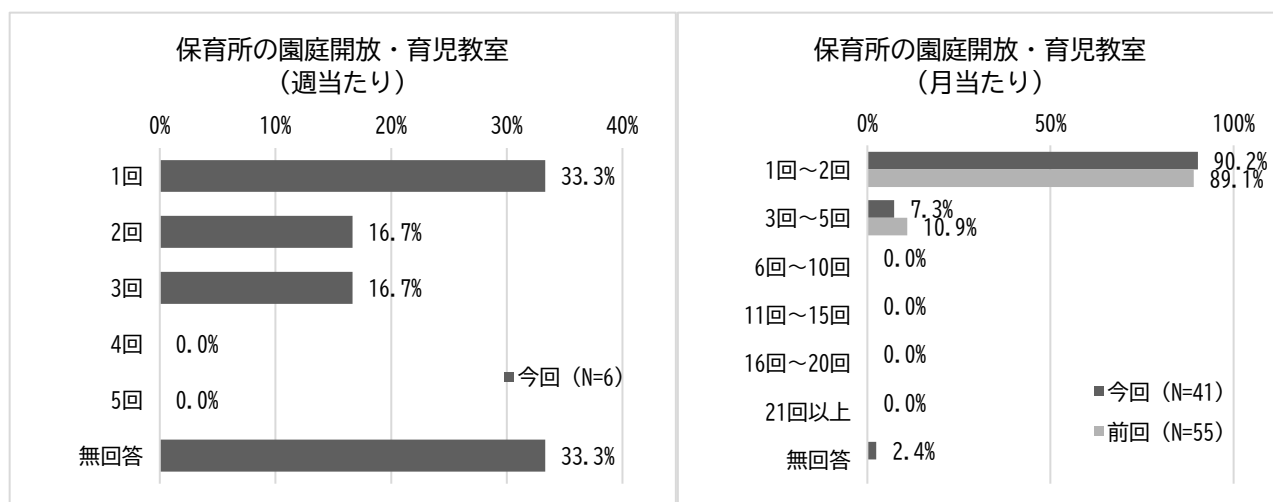
1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が 84.4%と最も多くなっています。前回と比較すると、「3回～5回」が 3.2 ポイント増加し、「1回～2回」が 6.6 ポイント減少しています。



保育所の園庭開放・育児教室

「保育所の園庭開放・育児教室」の1週あたりの利用回数は、「1回」が 33.3%と最も多く、次いで「2回」「3回」が 16.7%となっています。

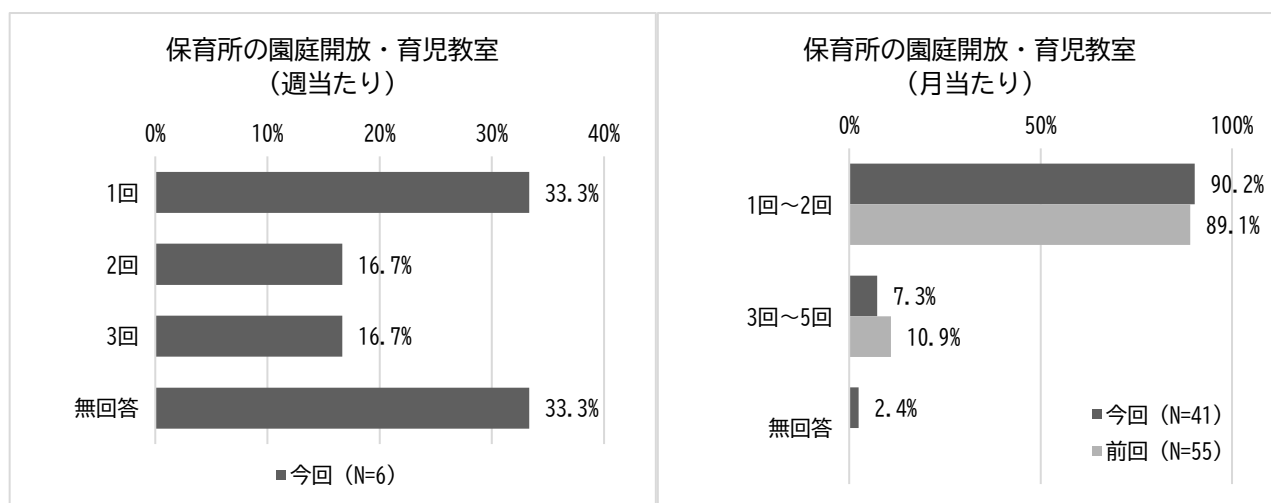
1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が 90.2%と最も多くなっています



保育所の園庭開放・育児教室

「保育所の園庭開放・育児教室」の1週あたりの利用回数は、1週あたりの利用回数は、「1回」が 33.3%と最も多く、次いで「2回」「3回」が16.7%となっています。

1か月あたりの利用回数は、「1回～2回」が 90.2%と最も多くなっています。前回と比較すると、「1回～2回」が1.1ポイント増加し、「3回～5回」が3.6ポイント減少しています。

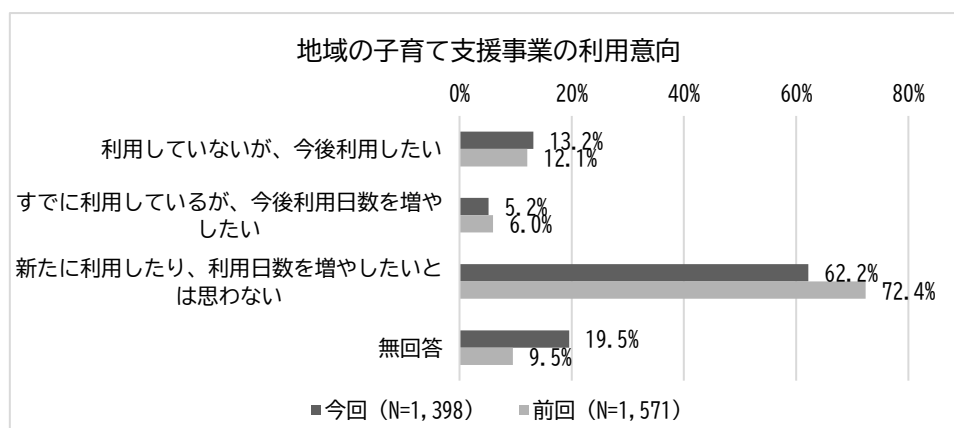


問 30-1 問 30 のような地域の子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいと思いますか。(1つだけ○)

また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

地域の子育て支援事業の利用意向は「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 62.2%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が13.2%となっています。

前回と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」が 1.1 ポイント増加し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が10.2ポイント減少しています。



利用していないが、今後利用したい

「利用していないが、今後利用したい」の1週あたりの希望利用回数は1件のうち、「週あたり3回」が1件となっています。

1か月あたりの希望利用回数は、4件のうち、「1回～2回」が1件、「3回～5回」が3件となっています。

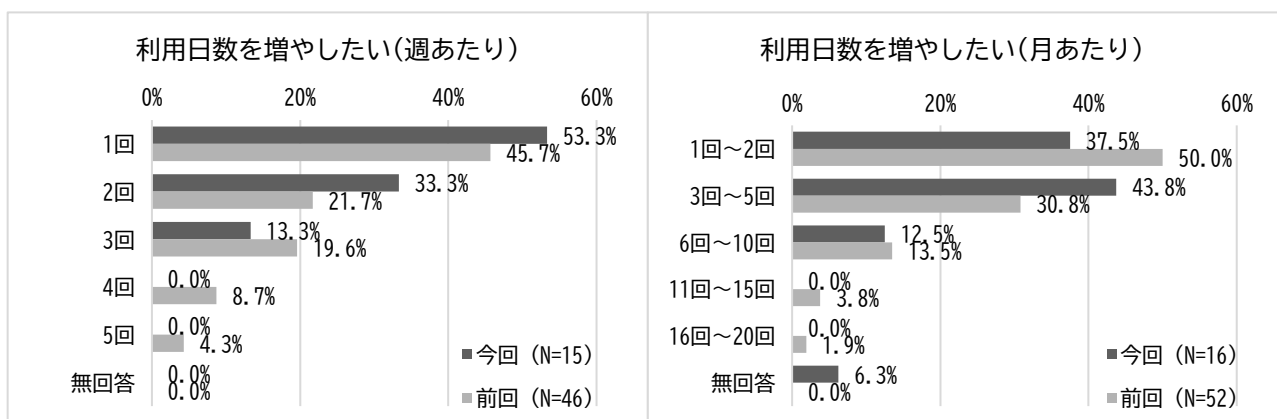
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の1週あたりの希望利用回数は、「1回」が 53.3%と最も多く、次いで「2回」が 33.3%となっています。

前回と比較すると、「週あたり1回」が 7.6 ポイント、「週あたり2回」が 11.6 ポイント増加し、「週あたり3回」が 6.3 ポイント減少しています。

また、1か月あたりの希望利用回数は、「3回～5回」が 43.8%と最も多く、次いで「1回～2回」が 37.5%となっています。

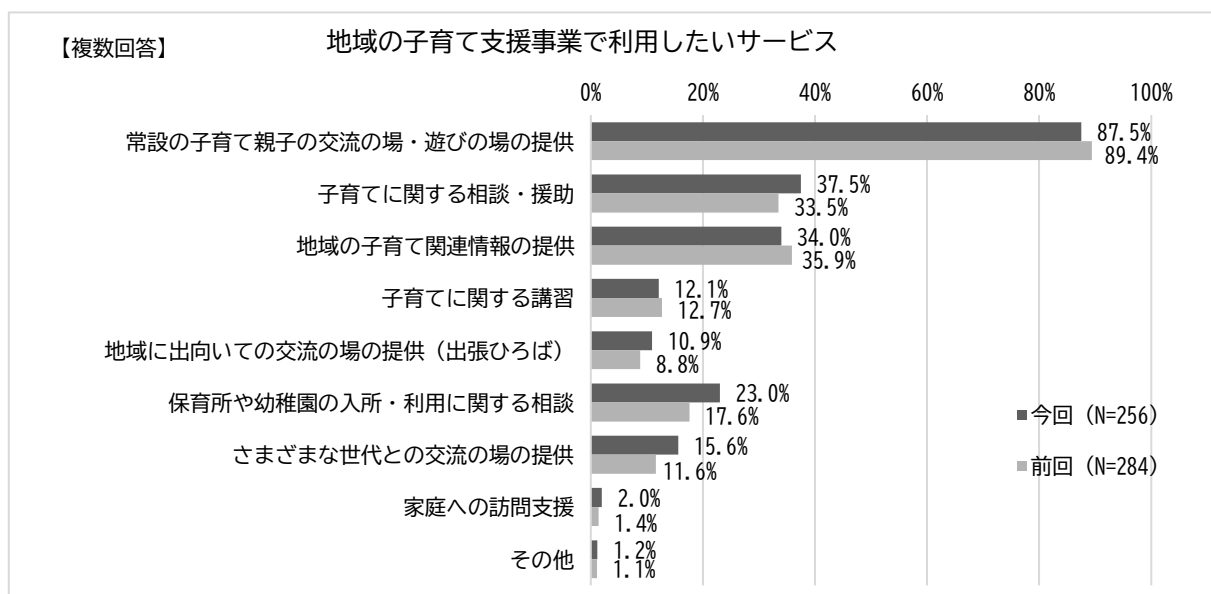
前回と比較すると、「3回～5回」が 13.0 ポイント増加し、「1回～2回」が 12.5 ポイント減少しています。



問 30-2 問 30-1 で「1. 利用したい」あるいは「2. 今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方におうかがいします。
地域の子育て支援事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。
(3つまで○)

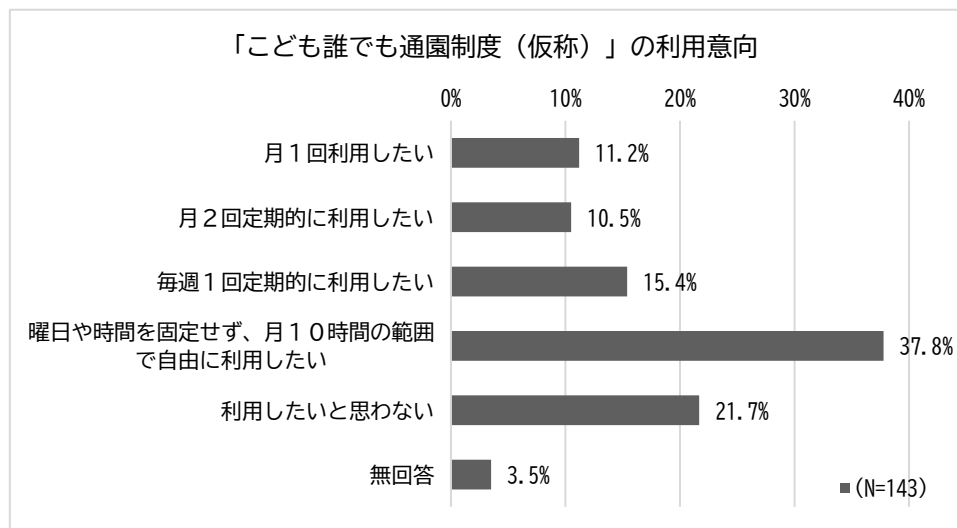
地域の子育て支援事業で利用したいサービスは「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が 87.5%と最も多く、次いで「子育てに関する相談・援助」が 37.5%「地域の子育て関連情報の提供」が 34.0%となっています。

前回と比較すると、「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」が 5.4 ポイント増加し、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が 1.9 ポイント減少しています。



問 31 平日(月曜日～金曜日)に幼稚園や保育所、認定こども園などのこどもを預かる施設やサービスを定期的に利用されていない方のうち、お子さんが0～2歳の方におうかがいします。
国が検討しているが創設された場合、月に10時間まで利用可能だとすれば、利用したいと思いますか。(1つだけ○)

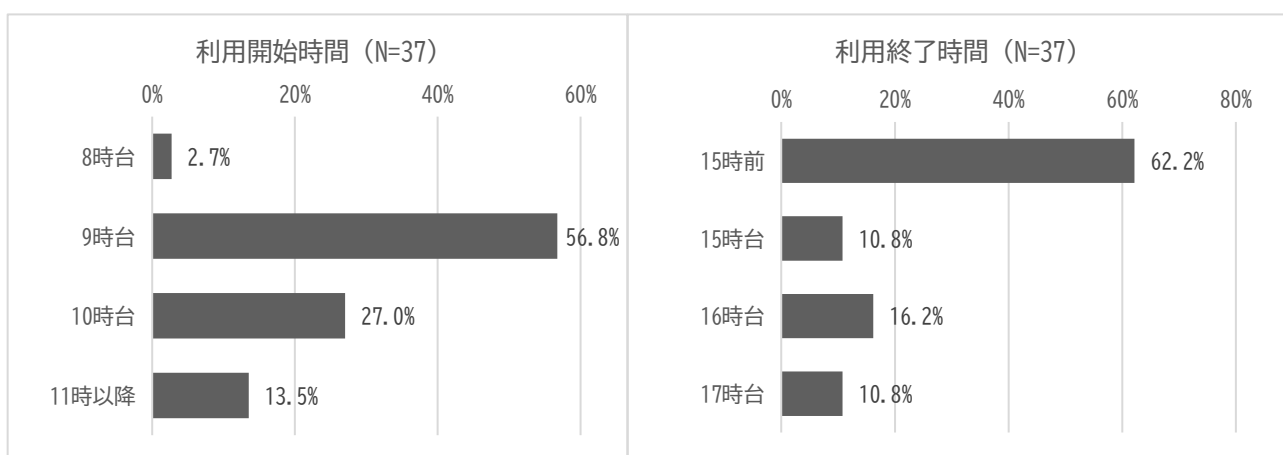
「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向は「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」が37.8%と最も多く、次いで「利用したいと思わない」が21.7%、「毎週1回定期的に利用したい」が15.4%となっています。



問 31-1 問 31 で「2.月2回定期的に利用したい」「3.毎週1回定期的に利用したい」を選んだ方は、利用したい時間帯を24 時間で記入してください。

「こども誰でも通園制度(仮称)」の希望する利用開始時間は「9時台」が56.8%と最も多く、次いで「10 時台」が27.0%、「11 時以降」が13.5%となっています。

利用終了時間は、「15 時前」が62.2%と最も多く、次いで「16 時台」が16.2%となっています。



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

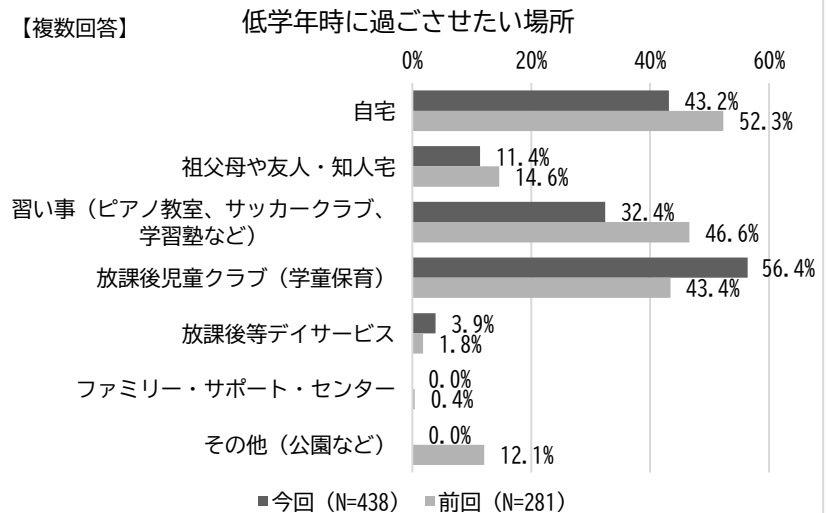
あて名のお子さんが5歳以上の方に小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 32 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択された場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず 24 間制(例:18時)でご記入ください。

低学年時に放課後に過ごさせたい場所は「放課後児童クラブ(学童)」が 56.4%と最も多く、次いで「自宅」が 43.2%、「習い事(ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など)」が 32.4%となっています。

前回と比較すると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が 13.0 ポイント増加し、「自宅」が 9.1 ポイント、「習い事(ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など)」が 14.2 ポイント減少しています。



相談相手の有無による比較

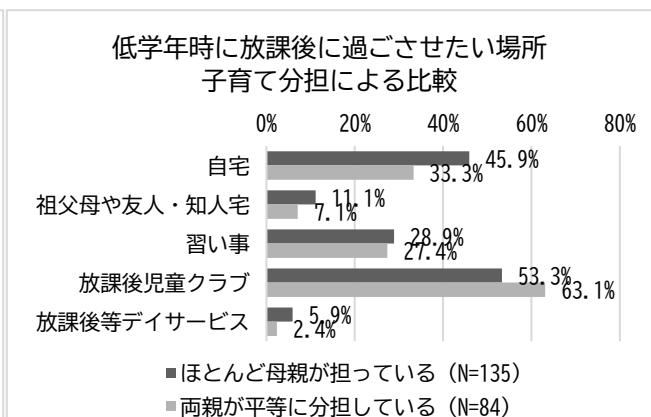
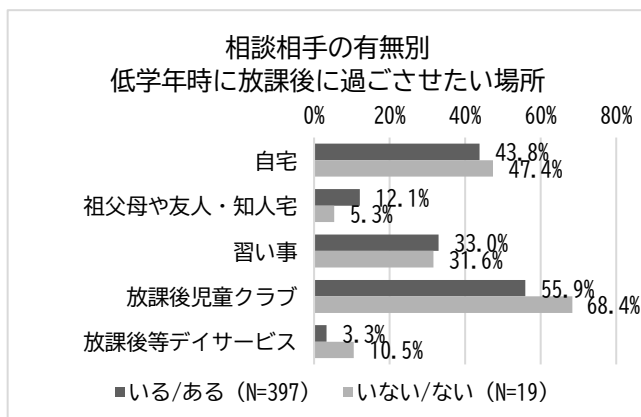
相談相手が「いない/ない」は「放課後児童クラブ」が 68.4%と最も多く、次いで「自宅」が 47.4%となっています。

「いる/ある」と比較すると、「放課後児童クラブ」が 12.5 ポイント上回り、「祖父母や友人・知人宅」が 6.8 ポイント下回っています。

子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「放課後児童クラブ」が 63.1%と最も多く、次いで「自宅」が 33.3%、「習い事」が 27.4%となっています。

「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「放課後児童クラブ」が 9.8 ポイント上回り、「自宅」が 12.6 ポイント下回っています。



ひとり親とひとり親以外の比較

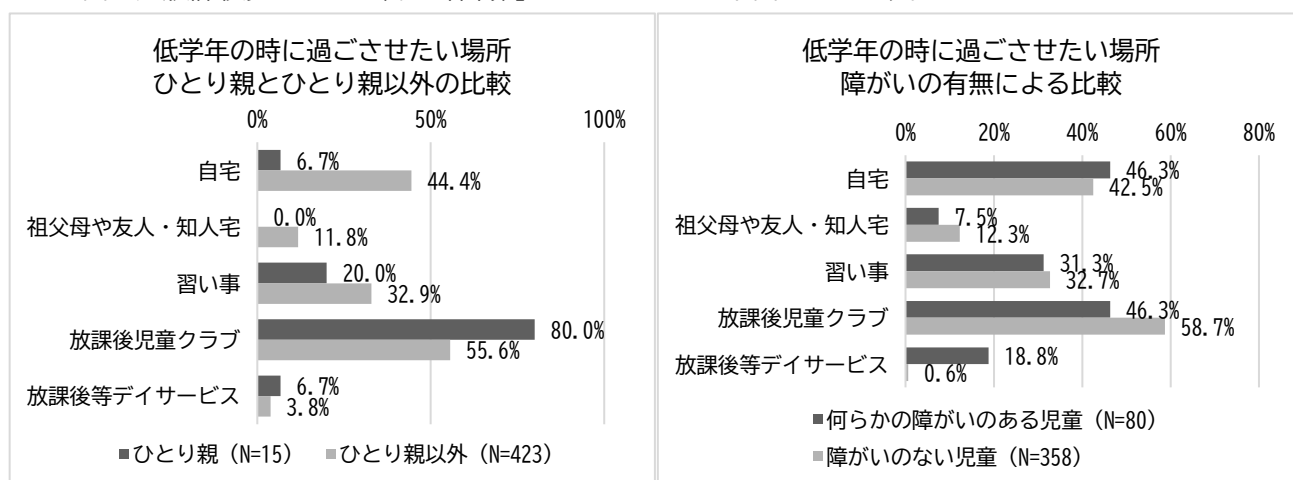
ひとり親が低学年時に過ごさせたい場所は「放課後児童クラブ」が 80.0%と最も多く、ついで「習い事」が 20.0%となっています。

ひとり親以外と比較すると、ひとり親は「放課後児童クラブ」が 24.4 ポイント上回り、「自宅」が 37.7 ポイント、「習い事」が 12.9 ポイント下回っています。

障がいの有無による比較

「何らかの障がいのある児童」を低学年時に過ごさせたい場所は「自宅」「放課後児童クラブ」が 46.3%で最も多く、次いで「習い事」が 31.3%となっています。

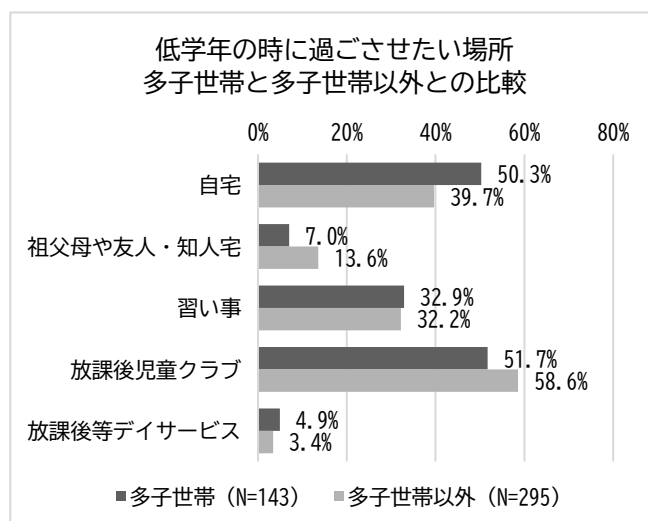
「障がいのない児童」と比較すると、「何らかの障がいのある児童」は「放課後等デイサービス」が 18.2%ポイント上回り、「放課後児童クラブ(学童保育)」が 12.4 ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外との比較

多子世帯が低学年時に過ごさせたい場所は「放課後児童クラブ」が 51.7%と最も多く、次いで「自宅」が 50.3%、「習い事」が 32.9%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「自宅」が 10.6 ポイント上回り、「放課後児童クラブ」が 6.9 ポイント、「祖父母や友人・知人宅」が 6.6 ポイント下回っています。



1週あたりの希望日数

1. 自宅

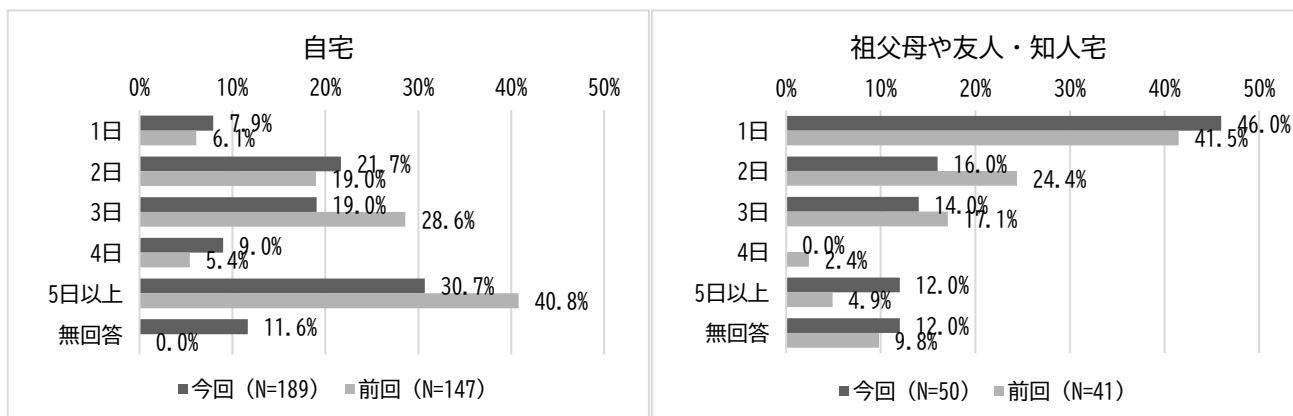
「5日以上」が 30.7%と最も多く、次いで「2日」が 21.7%、「3日」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「2日」が 2.7 ポイント増加し、「3日」が 9.6 ポイント、「5日以上」が 10.1 ポイントとそれぞれ減少しています。

2. 祖父母や友人・知人宅

「1日」が 46.0%と最も多く、次いで「2日」が 16.0%、「3日」が 14.0%となっています。

前回と比較すると、「1日」が 4.5 ポイント増加し、「2日」が 8.4 ポイント減少しています。



3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

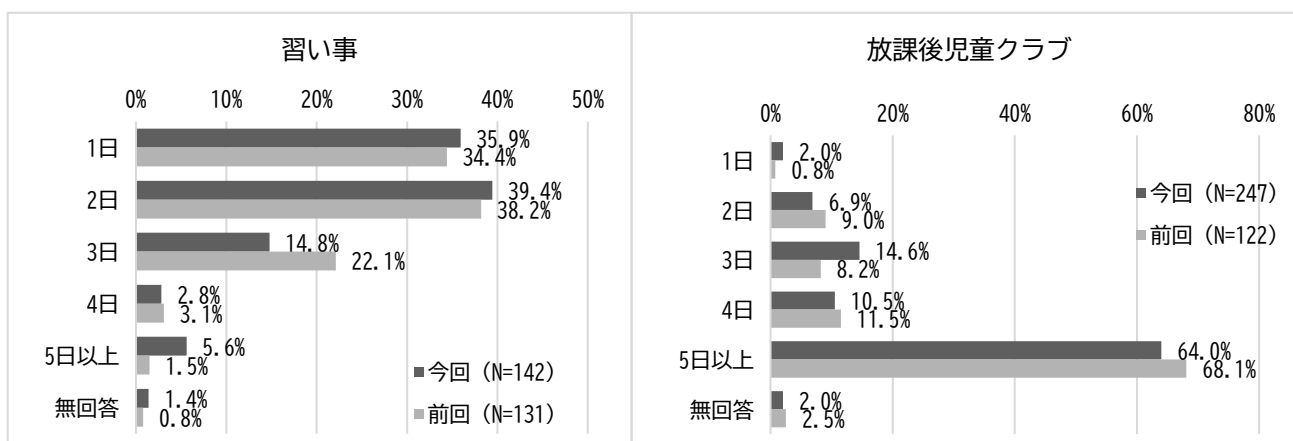
「2日」が 39.4%と最も多く、次いで「1日」が 35.9%、「3日」が 14.8%となっています。

前回と比較すると、「1日」が 1.5 ポイント、「2日」が 1.2 ポイント増加し、「3日」が 7.3 ポイント減少しています。

4. 放課後児童クラブ(学童保育)

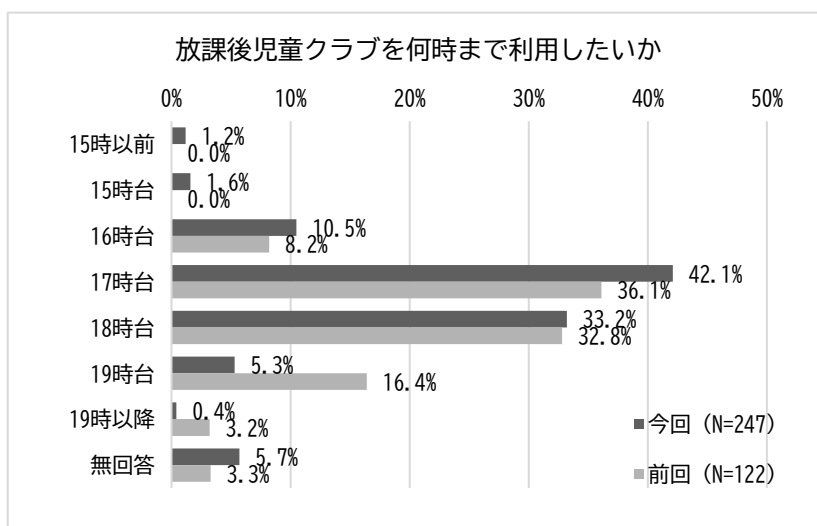
「5日以上」が 64.0%と最も多く、次いで「3日」が 14.6%となっています。

前回と比較すると、「3日」が 6.4 ポイント増加し、「5日以上」が 4.1 ポイント減少しています。



放課後児童クラブを何時まで利用したいかでは、「17 時台」が 42.1%と最も多く、次いで「18 時台」が 33.2%となっています。

前回と比較すると、「17 時台」が 6.0 ポイント増加し、「19 時台」が 11.1 ポイント減少しています。



5.放課後デイサービス

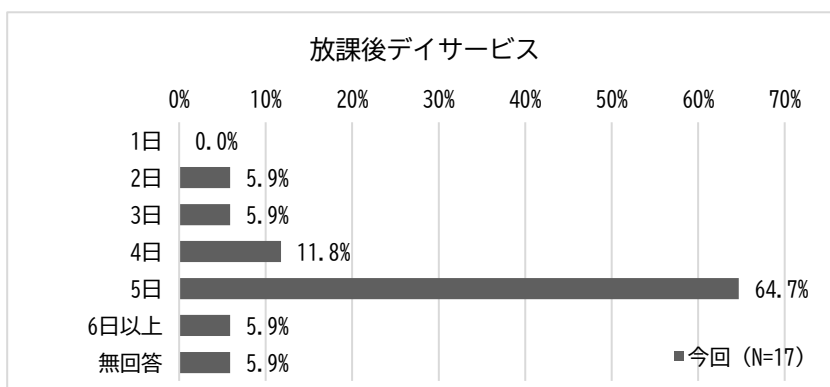
「5日」が 64.7%と最も多く、次いで「4日」が 11.8%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター

有効回答はありません。

7.その他(公園など)

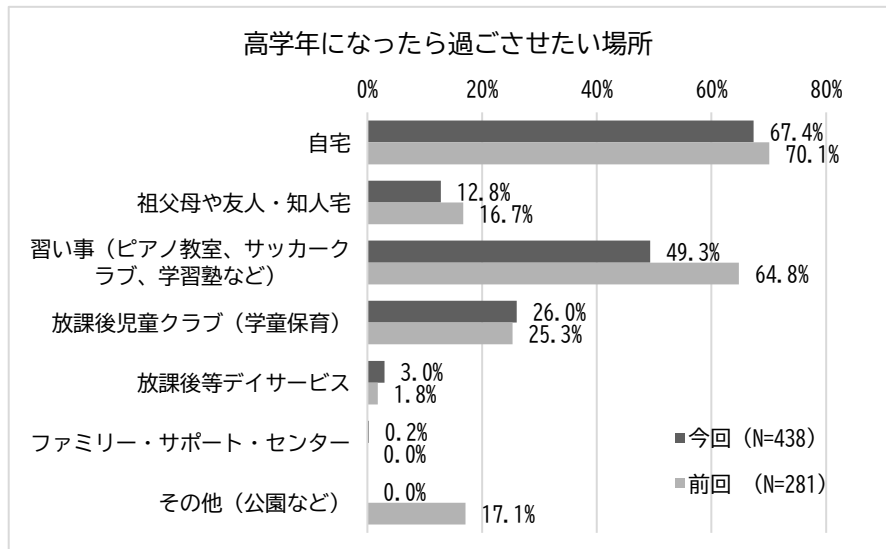
有効回答はありません。



問 33 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。
 「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択された場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず 24 間制(例:18時)でご記入ください。

「自宅」が 67.4%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 49.3%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が 26.0%となっています。

前回と比較すると、「その他(公園など)」が 17.1 ポイント、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 15.5 ポイント減少しています。



相談相手の有無による比較

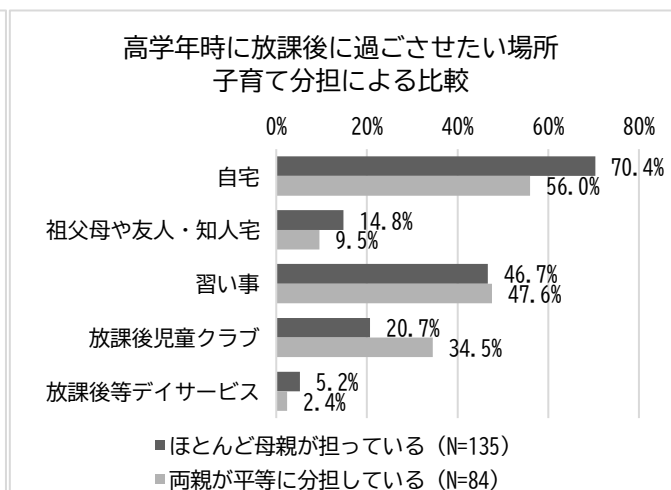
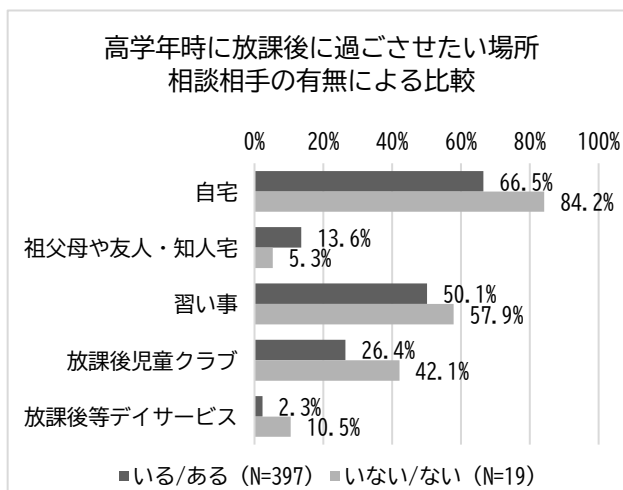
相談相手が「いない/ない」では、「自宅」が 84.2%でもっと多く、次いで「習い事」が 57.9%、「放課後児童クラブ」が 42.1%となっています。

相談相手が「いる/ある」と比較すると、「自宅」が 17.7 ポイント、「放課後児童クラブ」が 15.7 ポイント上回り、「祖父母や友人・知人宅」が 8.3 ポイント下回っています。

子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「自宅」が 56.0%と最も多く、次いで「習い事」が 47.6%、「放課後児童クラブ」が 34.5%となっています。

「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「放課後児童クラブ」が 13.8 ポイント上回り、「自宅」が 14.4 ポイント下回っています。



ひとり親とひとり親以外との比較

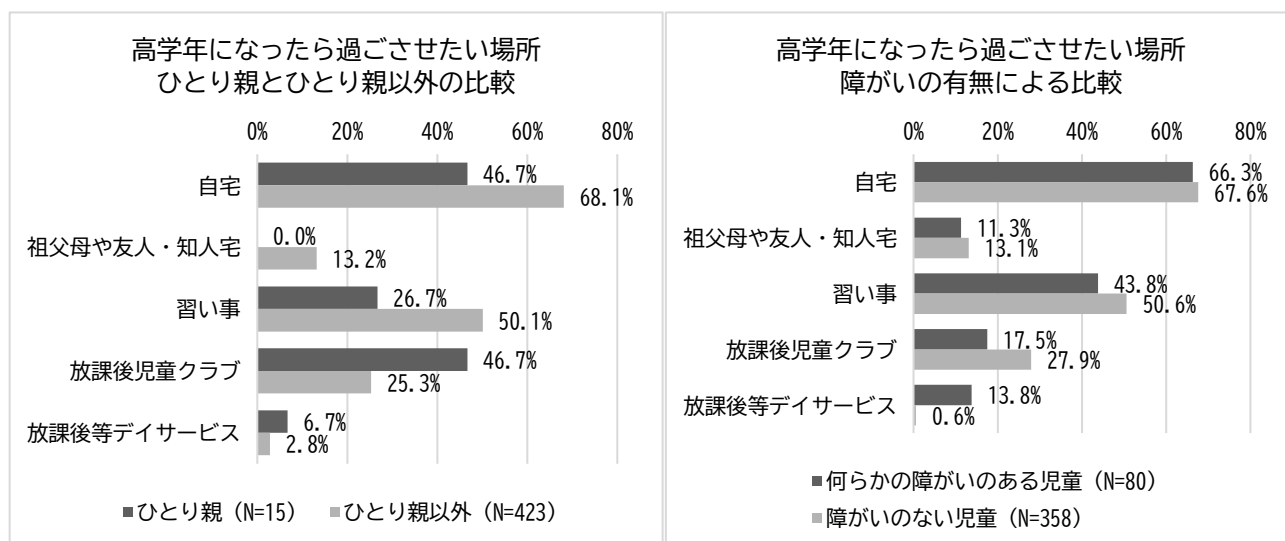
ひとり親は「自宅」「放課後児童クラブ」が46.7%と最も多く、次いで「習い事」が26.7%となっています。

ひとり親以外と比較すると、「放課後児童クラブ」が21.4%ポイント上回り、「習い事」が23.4ポイント、「自宅」21.4%ポイント、「祖父母や友人・知人宅」が13.2ポイント下回っています。

障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童は「自宅」が66.3%と最も多く、次いで「習い事」が43.8%、「放課後児童クラブ」が17.5%、「放課後等デイサービス」が13.8%となっています。

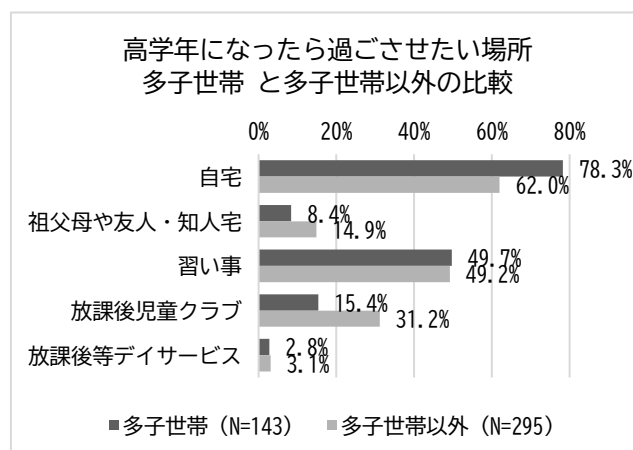
障がいのない児童と比較すると、「放課後等デイサービス」が13.2ポイント上回り、「放課後児童クラブ」が10.4ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「自宅」が78.3%と最も多く、次いで「習い事」が49.7%、「放課後児童クラブ」が15.4%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「自宅」が16.3ポイント上回り、「放課後児童クラブ」が15.8ポイント下回っています。



1週あたりの利用日数

1. 自宅

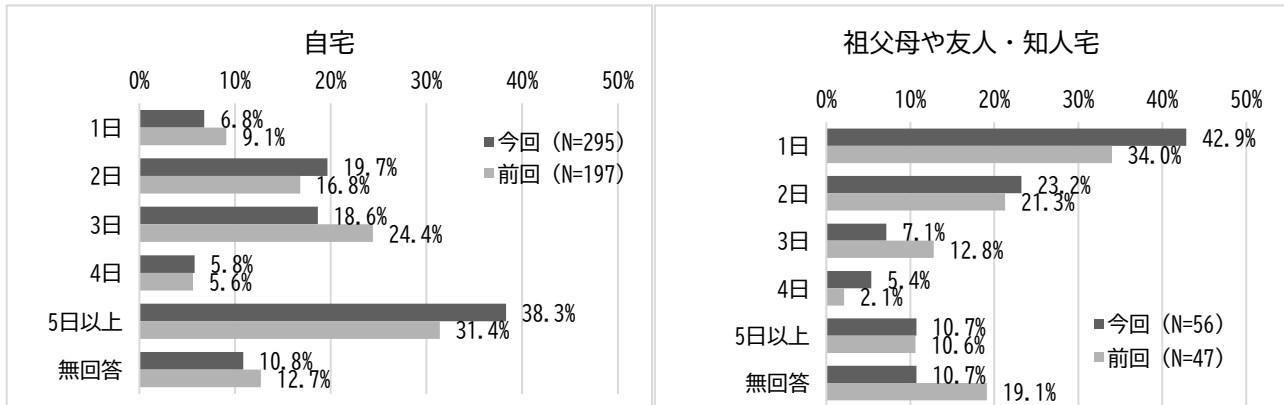
「5日以上」が38.3%と最も多く、次いで「2日」が19.7%、「3日」が18.6%となっています。

前回と比較すると、「5日以上」が6.9ポイント増加し、「3日」が5.8ポイント減少しています。

2. 祖父母や友人・知人宅

「1日」が42.9%と最も多く、次いで「2日」が23.2%となっています。

前回と比較すると、「1日」が8.9ポイント増加し、「3日」が5.7ポイント減少しています。



3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

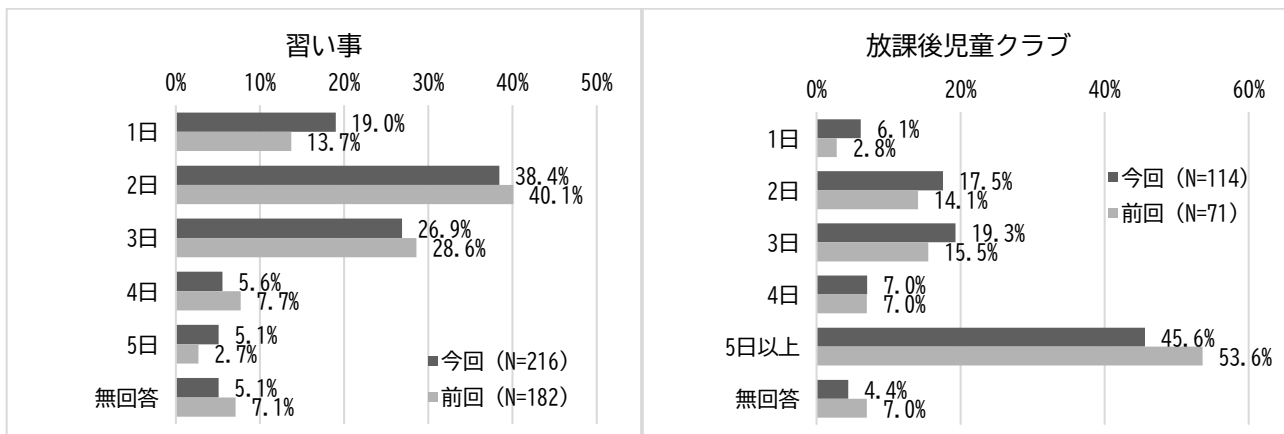
「2日」が38.4%と最も多く、次いで「3日」が26.9%、「1日」が19.0%となっています。

前回と比較すると、「1日」が5.3ポイント増加し、「2日」「3日」がそれぞれ1.7ポイント減少しています。

4. 放課後児童クラブ(仲よしクラブ)

「5日以上」が45.6%と最も多く、次いで「3日」が19.3%、「2日」が17.5%となっています。

前回と比較すると、「3日」が3.8ポイント増加し、「5日以上」が8.0ポイント減少しています。

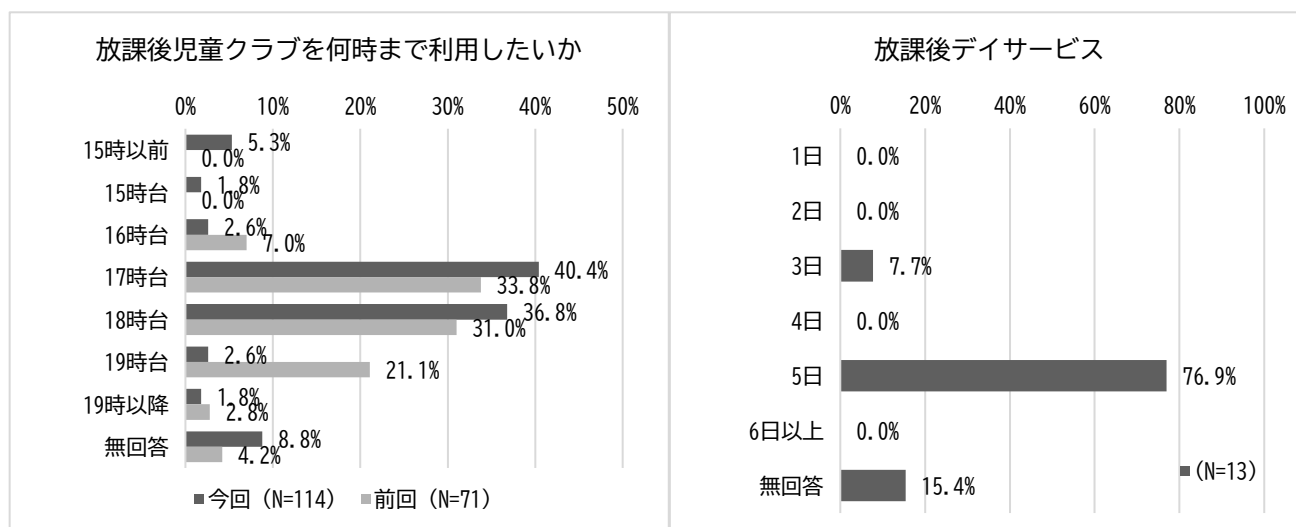


放課後児童クラブを何時まで利用したいかでは、「17 時台」が40.4%と最も多く、次いで「18 時台」が36.8%となっています。

前回と比較すると、「17 時台」が6.6ポイント増加し、「19 時台」が18.5ポイント減少しています。

5.放課後デイサービス

「5日」が76.9%と最も多く、次いで「3日」が7.7%となっています。



6.ファミリー・サポート・センター

有効回答はありません。

7.その他(公園など)

有効回答はありません。

問 34 問 32 または問 33 で「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方におうかがいします。
「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用したい曜日等をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

小学校低学年(1～3年生)

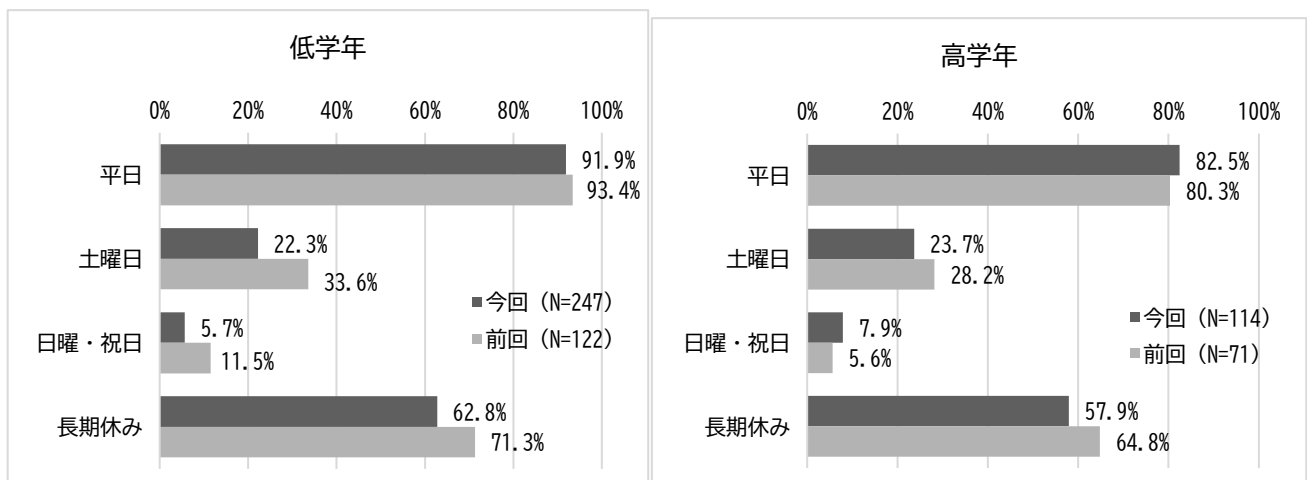
「平日」が 91.9%と最も多く、次いで「長期休み」が 62.8%、「土曜日」が 22.3%となっています。

前回と比較すると、「土曜日」が 11.3 ポイント、「日曜・祝日」が 5.8 ポイント、「長期休み」が 8.5 ポイント減少しています。

小学校高学年(4～6年生)

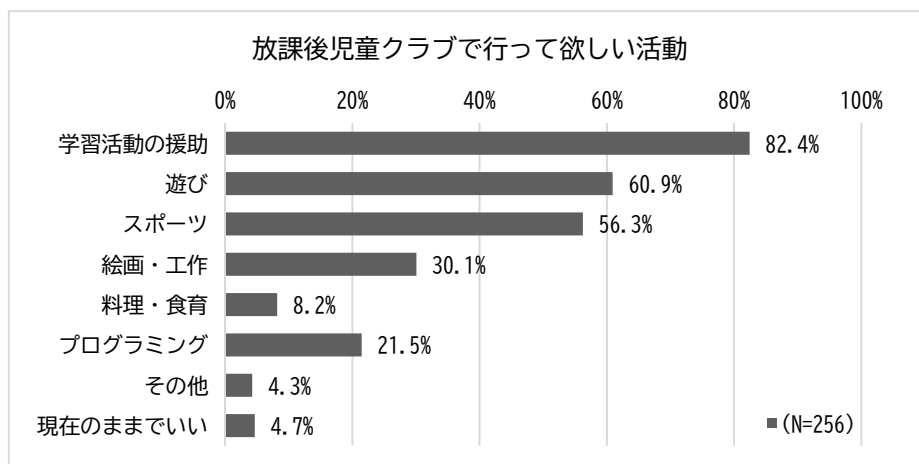
「平日」が 82.5%と最も多く、次いで「長期休み」が 57.9%、「土曜日」が 23.7%となっています。

前回と比較すると、「平日」が 2.2 ポイント、「日曜・祝日」が 2.3 ポイント増加し、「土曜日」が 4.5 ポイント、「長期休み」が 6.9 ポイント減少しています。



問 34-1 放課後児童クラブ(学童保育)の利用時間中に、どのような活動を行ってほしいと思いますか。
(あてはまるもの 3 つまで○)

「学習活動(宿題など)の援助」が 82.4%と最も多く、次いで「遊び」が 60.9%、「スポーツ」が 56.3%となっています。



10. 仕事と子育ての両立支援について

すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。

問 35. あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんのいずれか、もしくは両方が育児休業を取りましたか。お母さん、お父さんそれぞれについて、あてはまる番号1つだけ○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。複数回取得の場合は、最近の場合についてお答えください。

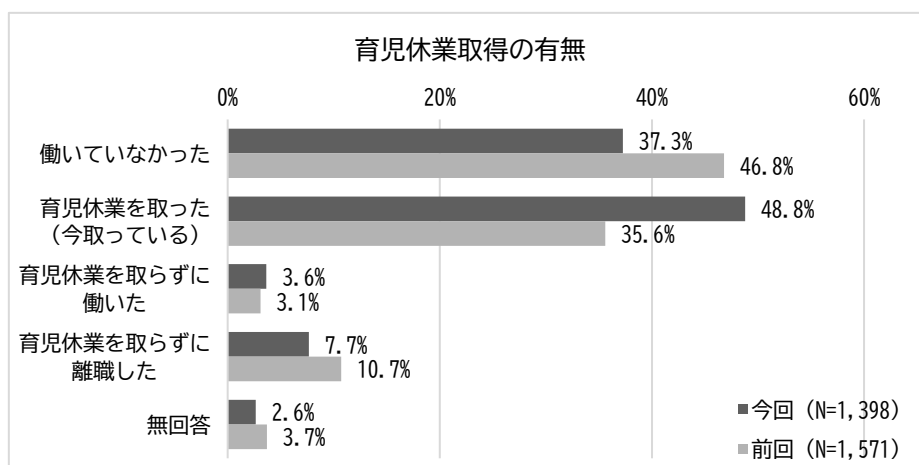
また、取得していない場合は、理由もお答えください。

(1)母親

育児休業取得の有無

「育児休業を取った(今取っている)」が 48.8%と最も多く、次いで「働いていなかった」が 37.3%、「育児休業を取らずに離職した」が 7.7%となっています。

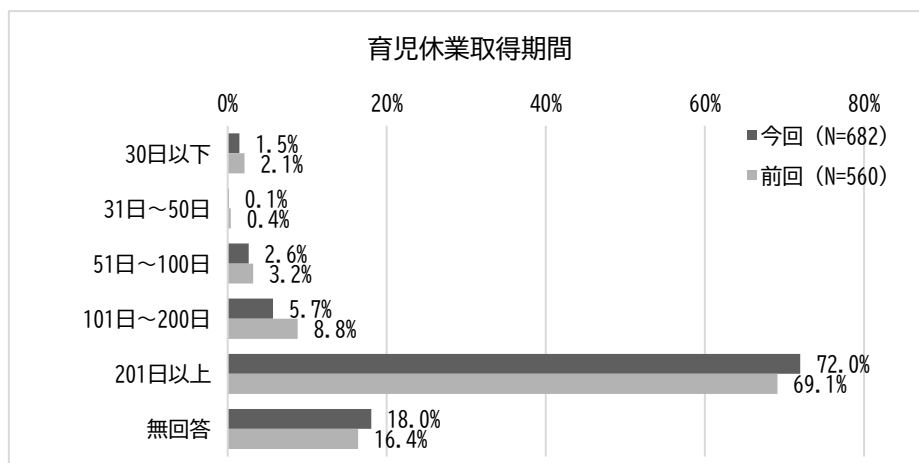
前回と比較すると、「育児休業を取った(今取っている)」が 13.2 ポイント増加し、「働いていなかった」が 9.5 ポイント減少しています。



育児休業取得期間

「201 日以上」が 72.0%と最も多くなっています。

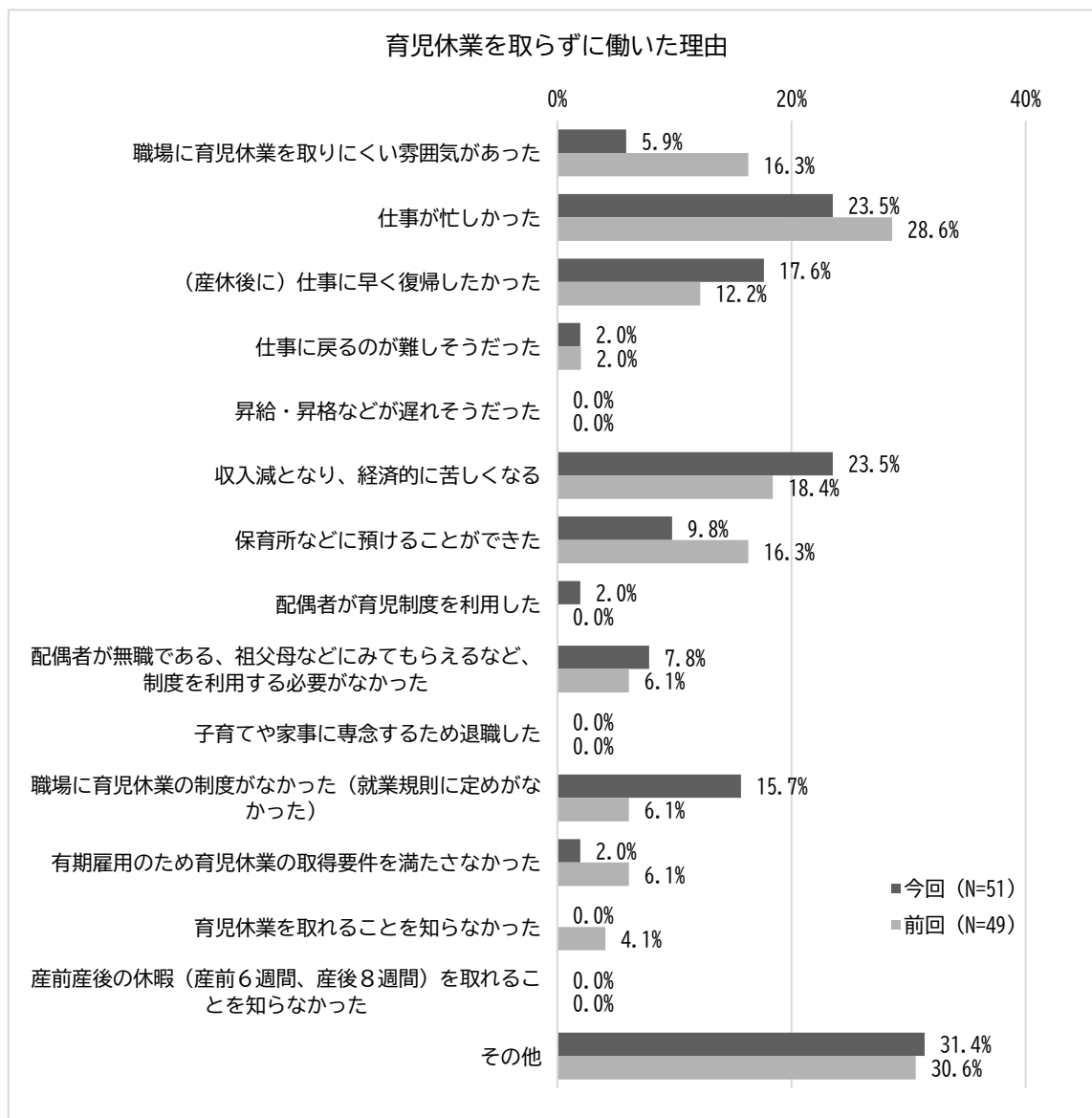
前回と比較すると、「201 日以上」が 2.9 ポイント増加し、「101 日～200 日」が 3.1 ポイント減少しています。



育児休業を取らずに働いた理由

「その他」が 31.4%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 23.5%となっています。

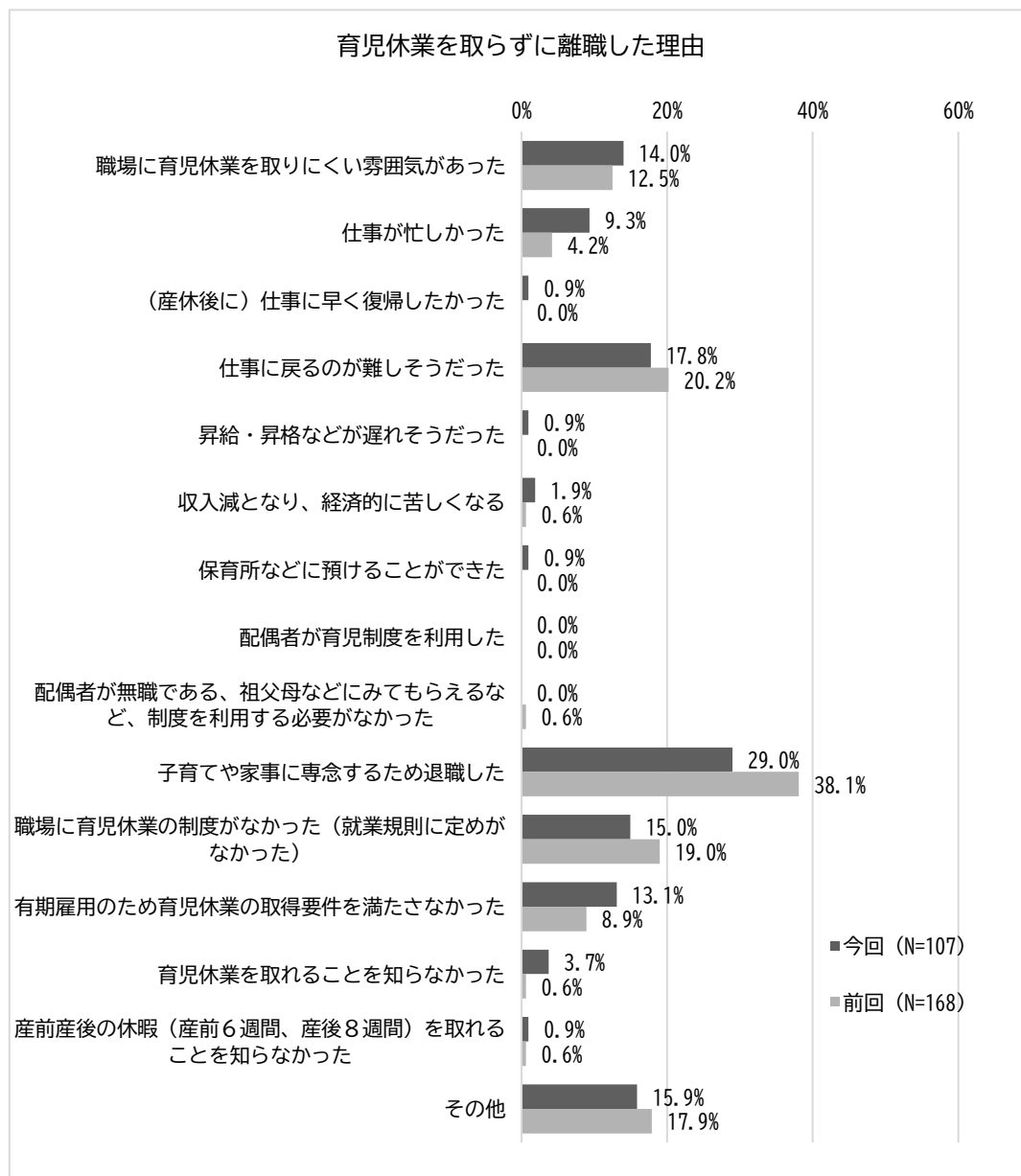
前回と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 9.6 ポイント増加し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 10.4 ポイント減少しています。



育児休業を取らずに離職した理由

「子育てや家事に専念するため退職した」が 29.0%と最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 17.8%、「その他」が 15.9%となっています。

前回と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 1.5 ポイント増加し、「子育てや家事に専念するため退職した」が 9.1 ポイント減少しています。

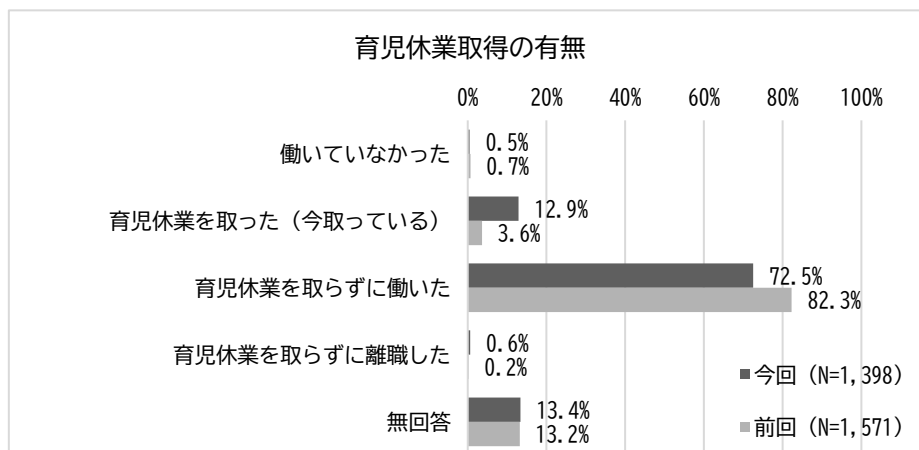


(2)父親

育児休業取得の有無

「育児休業を取らずに働いた」が72.5%と最も多くなっています。

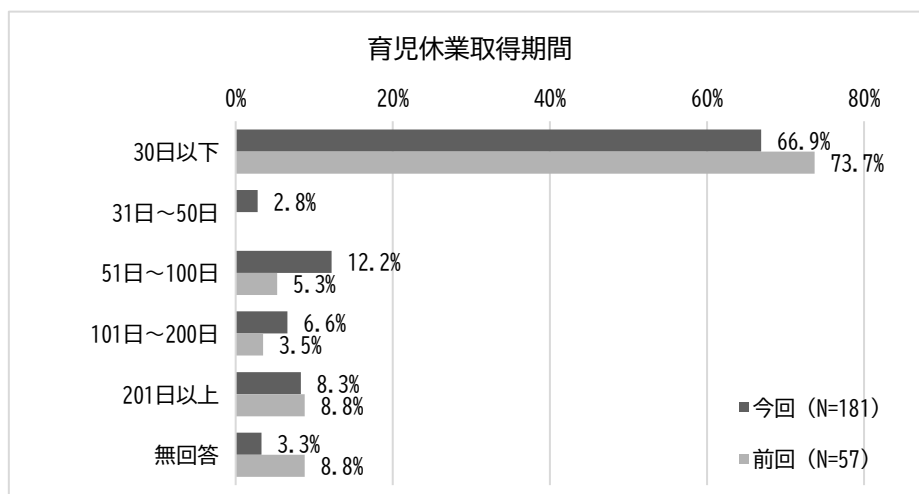
前回と比較すると、「育児休業を取った(今取っている)」が9.3ポイント増加し、「育児休業を取らずに働いた」が9.8ポイント減少しています。



育児休業取得期間

「30 日以下」が66.9%と最も多くなっています。

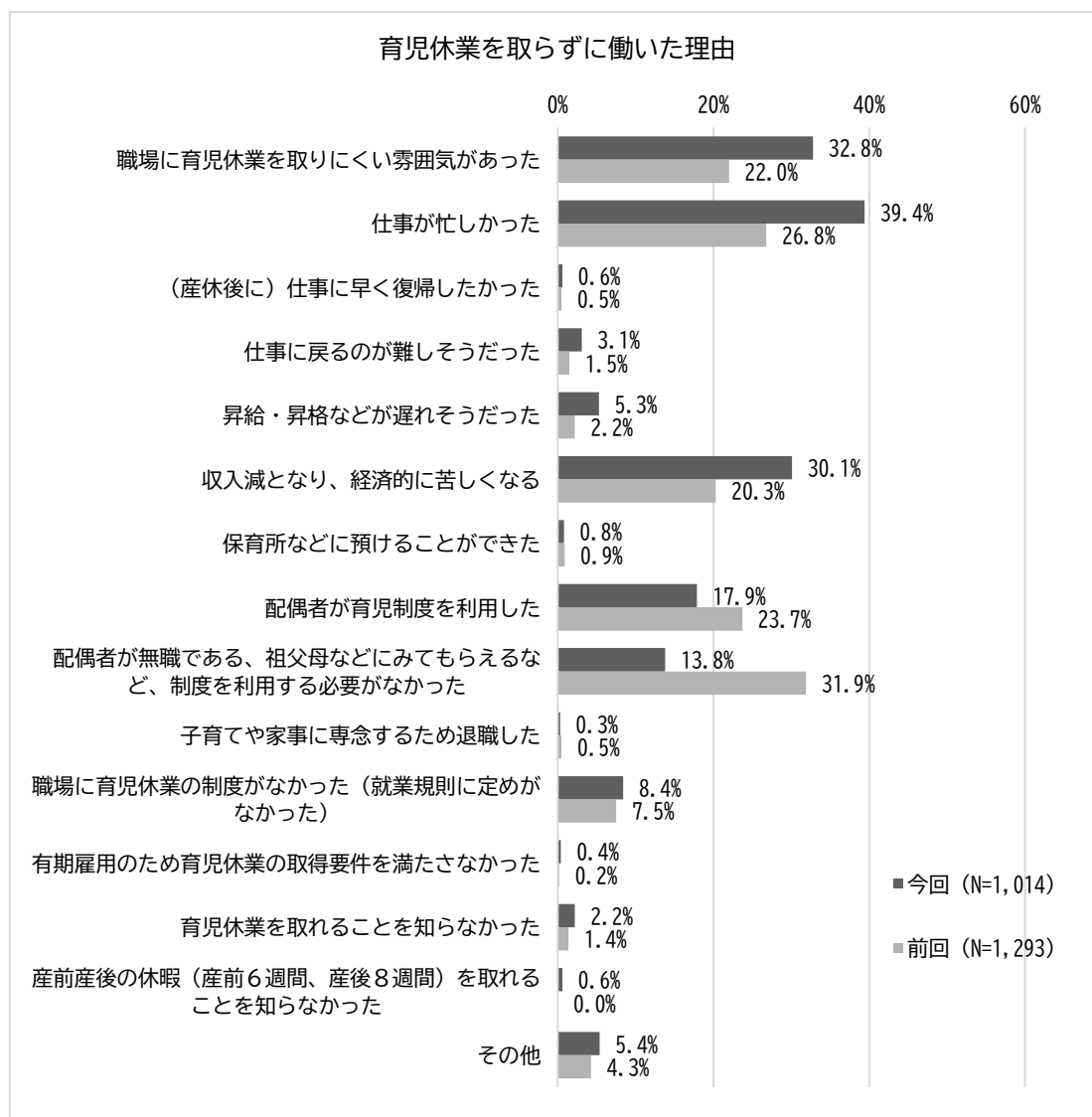
前回と比較すると、「51 日～100 日」が6.9ポイント増加し、「30 日以下」が6.8ポイント減少しています。



育児休業を取らずに働いた理由

「仕事が忙しかった」が 39.4%と最も多く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 32.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 30.1%となっています。

前回と比較すると、「仕事が忙しかった」が 12.6 ポイント増加し、「配偶者が無職である、祖父母などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 18.1 ポイント減少しています。



育児休業を取らずに離職した理由

「育児休業を取らずに離職した」と回答した 9 件のうち、その理由を見ると、「その他」が5件、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が1件となっています。

問 35-1 問 35 でお母さんまたはお父さんが「2. 育児休業を取った(今取っている)」に○をつけた方におうかがいします。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つだけ○)

(1)母親

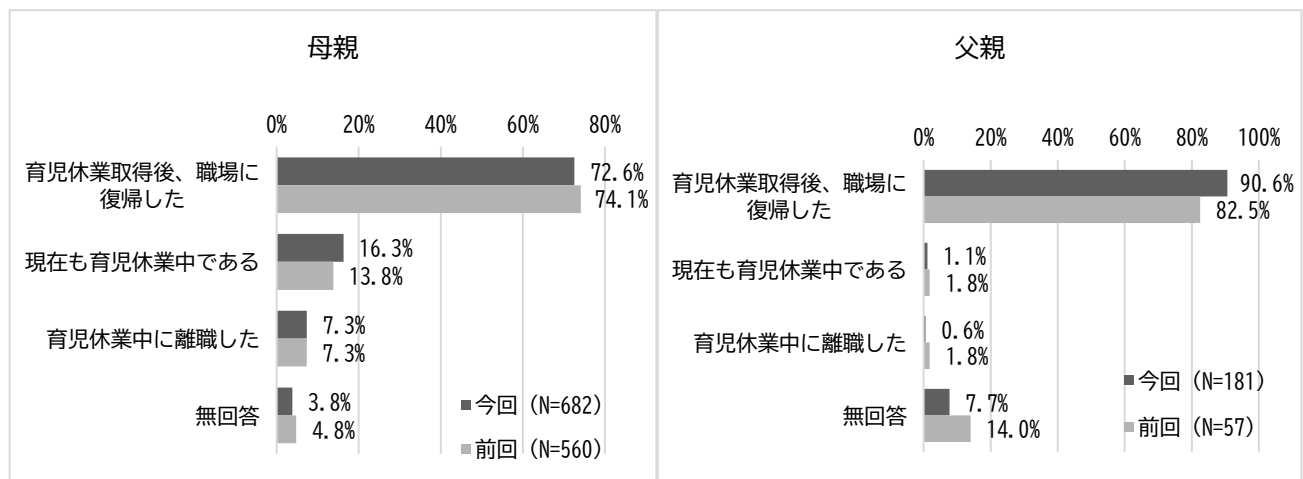
「育児休業取得後、職場に復帰した」が72.6%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が16.3%となっています。

前回と比較すると、「現在も育児休業中である」が 2.5 ポイント増加し、「育児休業取得後、職場に復帰した」が1.5 ポイント減少しています。

(2)父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.6%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が8.1 ポイント増加しています。



問 35-2 問 35-1でお母さんまたはお父さんが「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお
うかがいします。

- (1) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業制度の期間にかかわらず、何歳何か月の時まで取りたかったですか。
()内に数字でご記入ください。

(1)母親

実際の取得期間

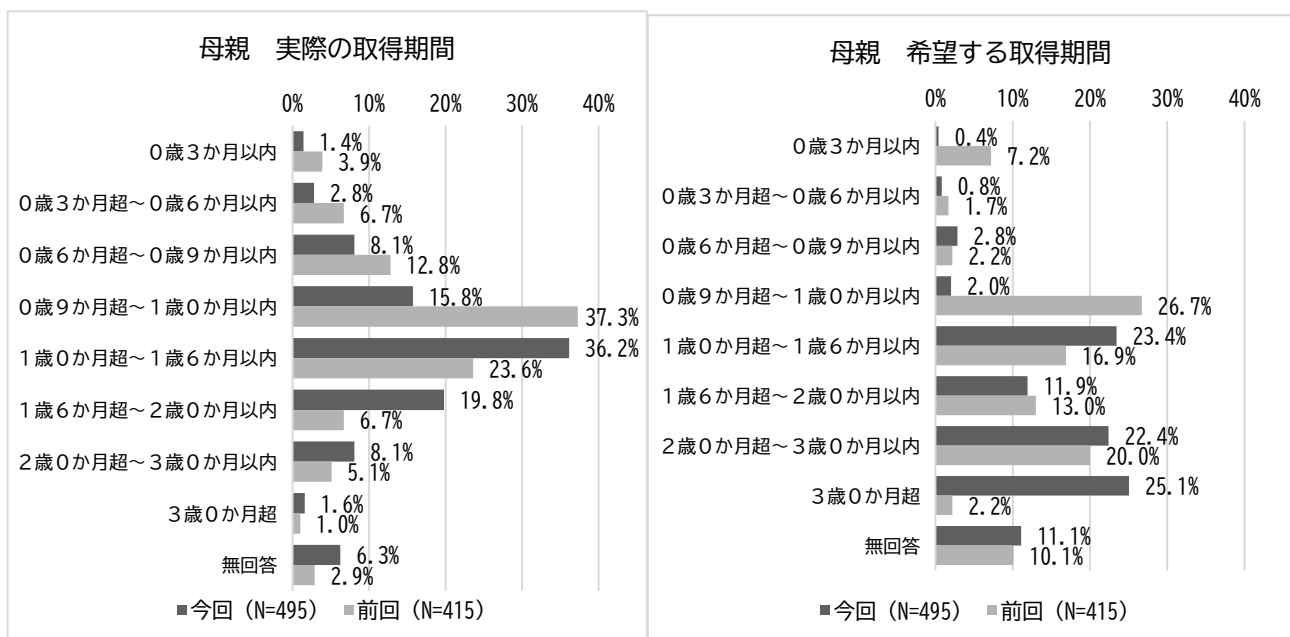
「1歳0か月超～1歳6か月以内」が36.2%と最も多く、次いで「1歳6か月超～2歳0か月以内」が19.8%、「0歳9か月超～1歳0か月以内」が15.8%となっています。

前回と比較すると、「1歳6か月超～2歳0か月以内」が13.1ポイント増加し、「0歳9か月超～1歳0か月以内」が21.5ポイント減少しています。

希望の取得期間

「3歳0か月超」が25.1%と最も多く、次いで「1歳0か月超～1歳6か月以内」が23.2%、「2歳0か月超～3歳0か月以内」が22.4%となっています。

前回と比較すると、「3歳0か月超」が22.9ポイント増加し、「0歳9か月超～1歳0か月以内」が24.7ポイント減少しています。



(2)父親

実際の取得期間

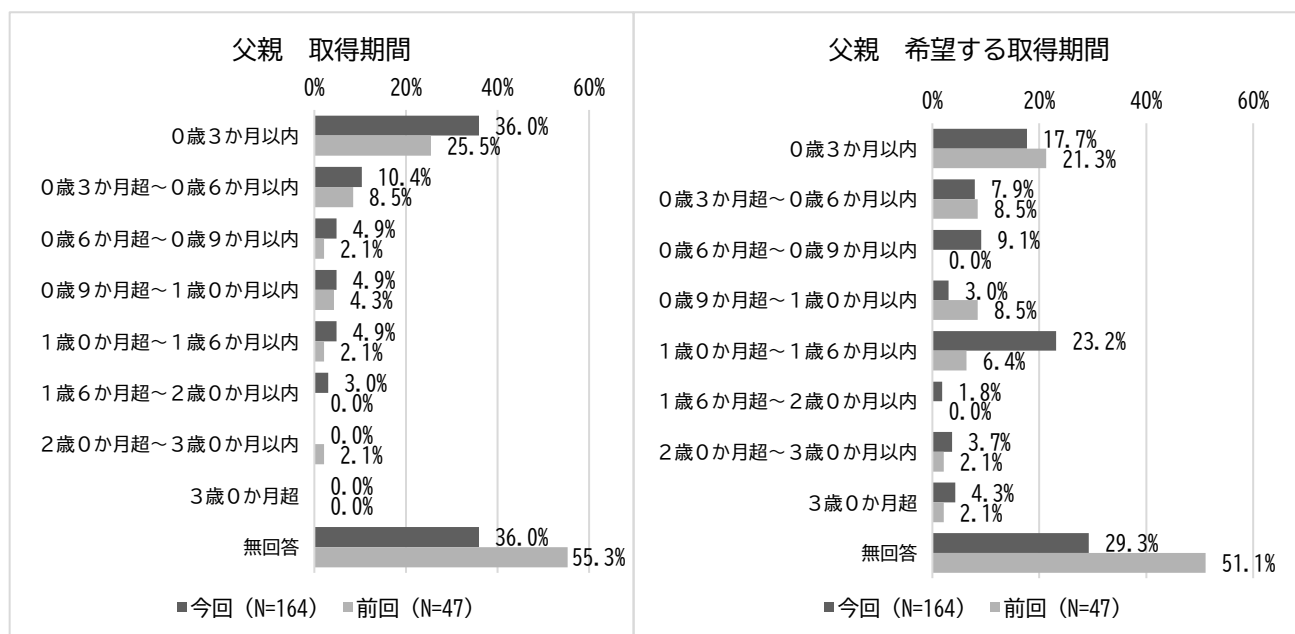
「0歳3か月以内」が36.0%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「0歳3か月以内」が10.5ポイント増加しています。

希望する取得期間

「1歳0か月超～1歳6か月以内」が23.2%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が16.8ポイント増加し、「0歳9か月超～1歳0か月以内」が5.5ポイント減少しています。



(2) 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月の時まで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1)母親

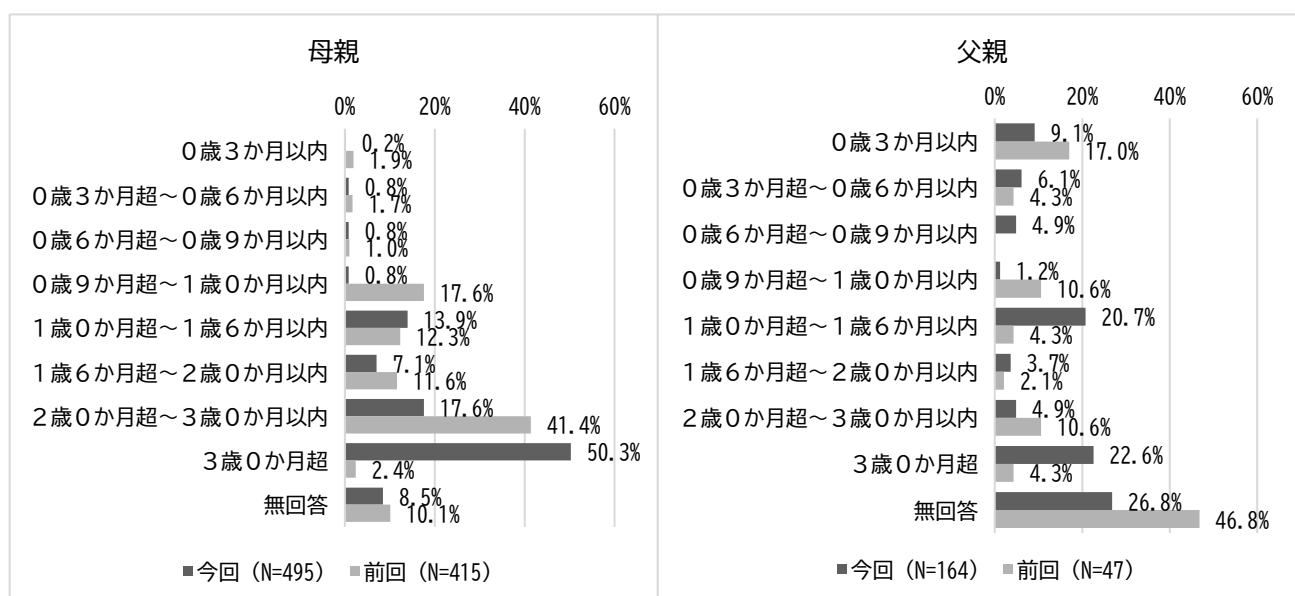
「3歳0か月超」が50.3%と最も多く、次いで「2歳0か月超～3歳0か月以内」が17.6%、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が13.9%となっています。

前回と比較すると、「3歳0か月超」が47.9ポイント増加し、「2歳0か月超～3歳0か月以内」が23.8ポイント減少しています。

(2)父親

「3歳0か月超」が22.6%と最も多く、次いで「1歳0か月超～1歳6か月以内」が20.7%、「0歳3か月以内」が9.1%となっています。

前回と比較すると、「1歳0か月超～1歳6か月超」が16.4ポイント、「3歳0か月超」が21.3ポイントと、それぞれ増加し、「0歳3か月以内」が7.9ポイント減少しています。

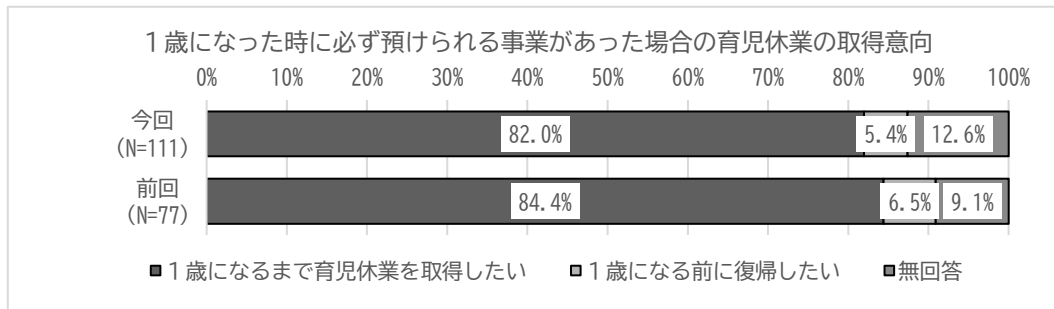


問 35-3 問 35-1でお母さんまたはお父さんが「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におうかがいします。あて名のお子さんが1歳になった時に必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。
または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つだけ○)

(1)母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 84.4%、次いで「1歳になる前に復帰したい」が 5.4%となっています。

前回と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 2.4 ポイント減少しています。



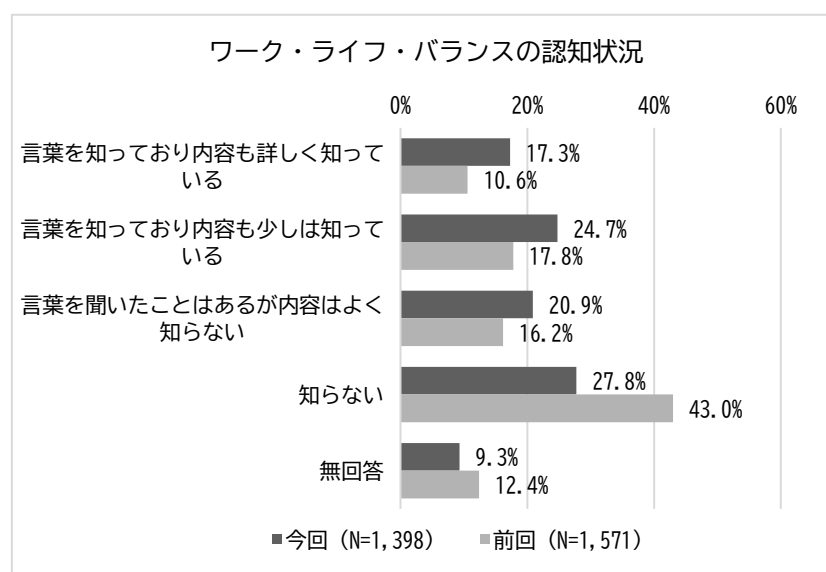
(2)父親

育児休業中の父親 2 件のうち、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 2件となっています。

問 36 あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。(1つだけ○)

ワーク・ライフ・バランスの認知状況は「知らない」が 43.0%と最も多く、次いで「言葉を知っており内容も少しは知っている」が 17.8%、「言葉を聞いたことはあるが内容はよく知らない」が 16.2%となっています。

前回と比較すると、「言葉を知っており内容も少しは知っている」が 6.9 ポイント増加し、「知らない」が 15.2 ポイント減少しています。



問 37 生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。

《現実》と《理想》のそれぞれについて、お答えください。(もっとも優先するもの1つだけ○)

(1)現実

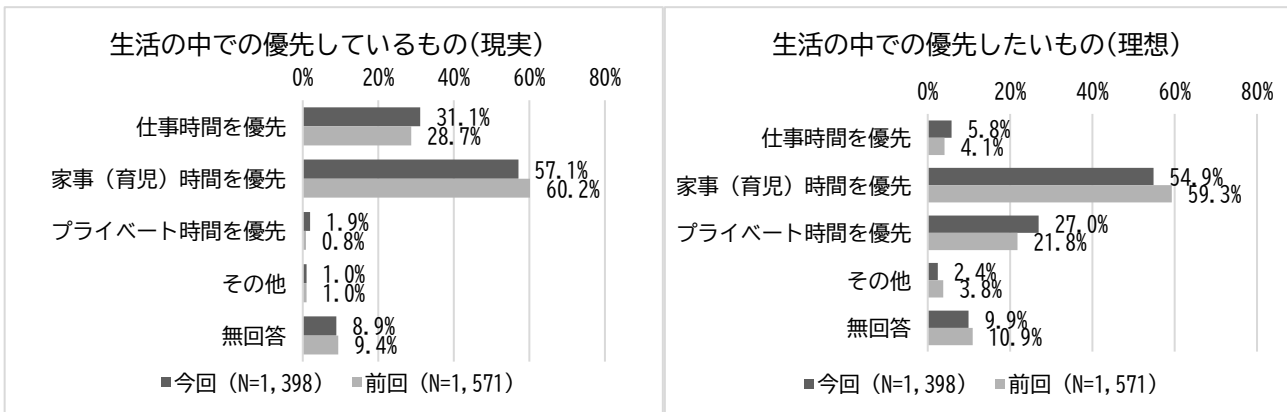
「家事(育児)時間を優先」が 57.1%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が 31.1%となっています。

前回と比較すると、「仕事時間を優先」が 2.4 ポイント増加し、「家事(育児)時間を優先」が 3.1 ポイント減少しています。

(2)理想

「家事(育児)時間を優先」が 59.3%と最も多く、次いで「プライベート時間を優先」が 21.8%となっています。

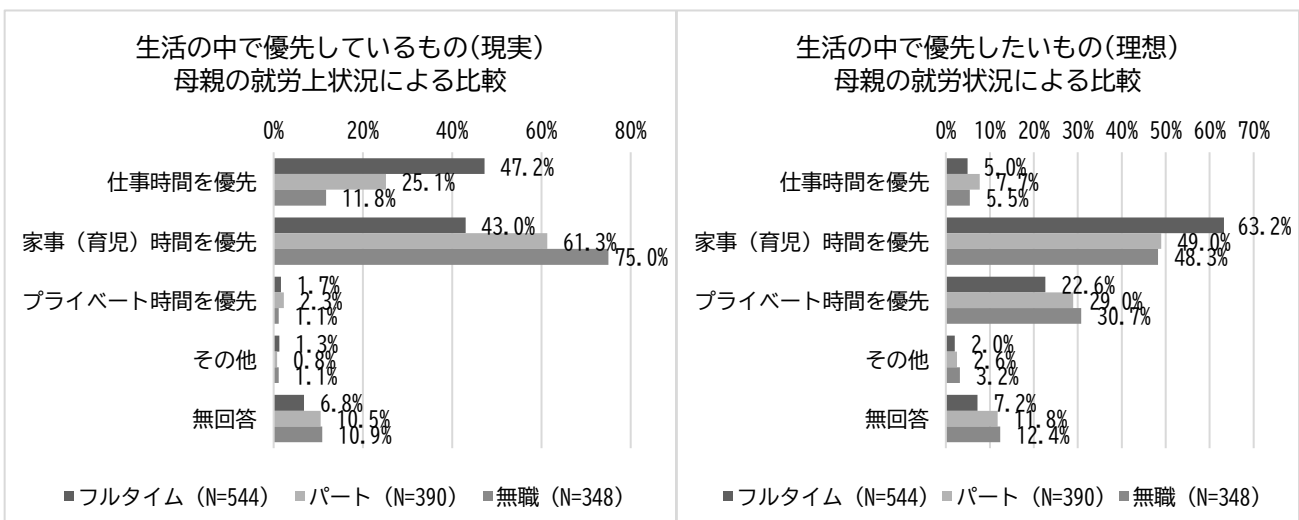
前回と比較すると、「プライベート時間を優先」が 5.2 ポイント増加し、「家事(育児)時間を優先」が 4.4 ポイント減少しています。



母親の就労状況による比較

生活の中で優先しているもの(現実)は、「フルタイム」では「仕事時間を優先」が 47.2%、「パート」では「家事(育児)時間を優先」が 61.3%、「無職」では「家事(育児)時間を優先」が 75.0%で最も多くなっています。

生活の中で優先したいもの(理想)では、「フルタイム」では「家事(育児)時間を優先」が 63.2%、「パート」では「家事(育児)時間を優先」が 49.0%、「無職」では「家事(育児)時間を優先」が 48.3%で最も多くなっています。

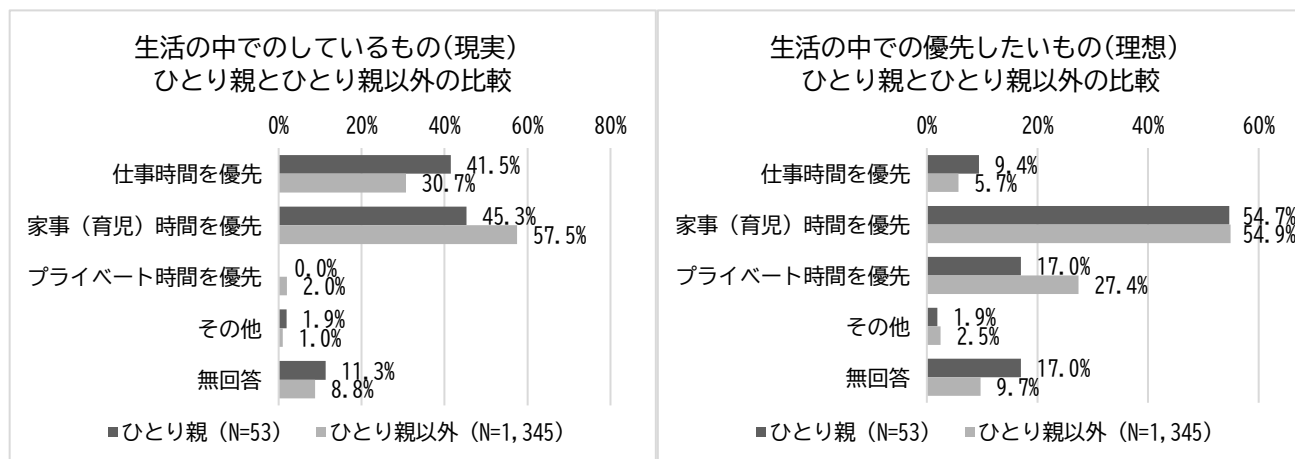


ひとり親とひとり親以外の比較

生活の中で優先しているもの(現実)は、ひとり親では「家事(育児)時間を優先」が 45.3%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が 41.5%なっています。

ひとり親以外と比較すると、「仕事時間を優先」が 10.8%ポイント多く、「家事(育児)時間を優先」が 12.2 ポイント少なくなっています。

生活の中での優先したいもの(理想)については、ひとり親とひとり親以外とに有意な差は見られませんでした。



11. こどもの生活状況について

あて名のお子さんの生活状況についておうかがいします。

問 38 すべての方におうかがいします。

あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

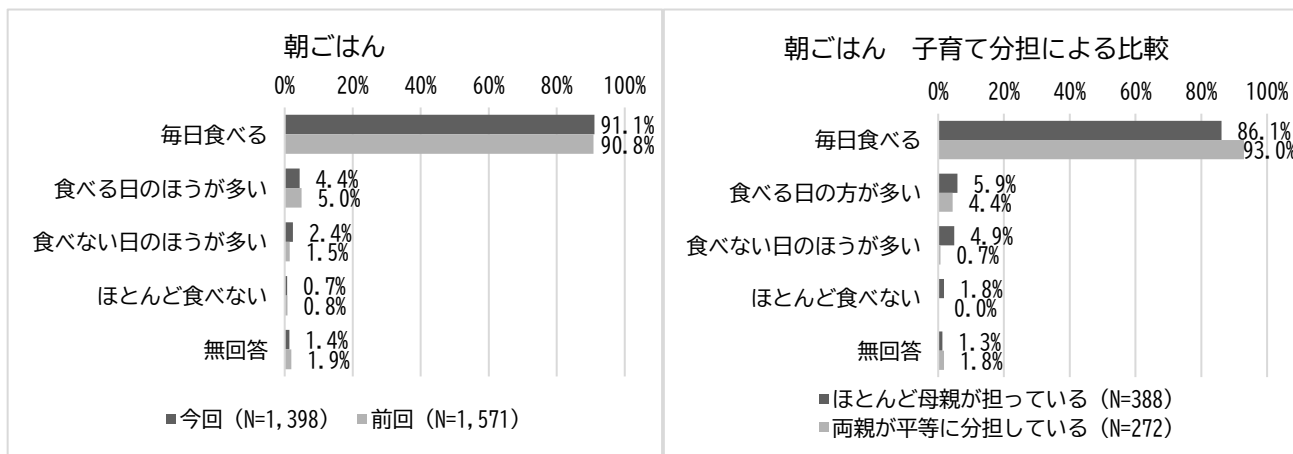
(1) 朝ごはんを食べますか。(1つだけ○)

「毎日食べる」が91.1%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「毎日食べる」が0.3ポイントとわずかに増加しています。

子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「毎日食べる」が93.0%となっており、「ほとんど母親が担っている」と比較して6.9ポイント上回っています。

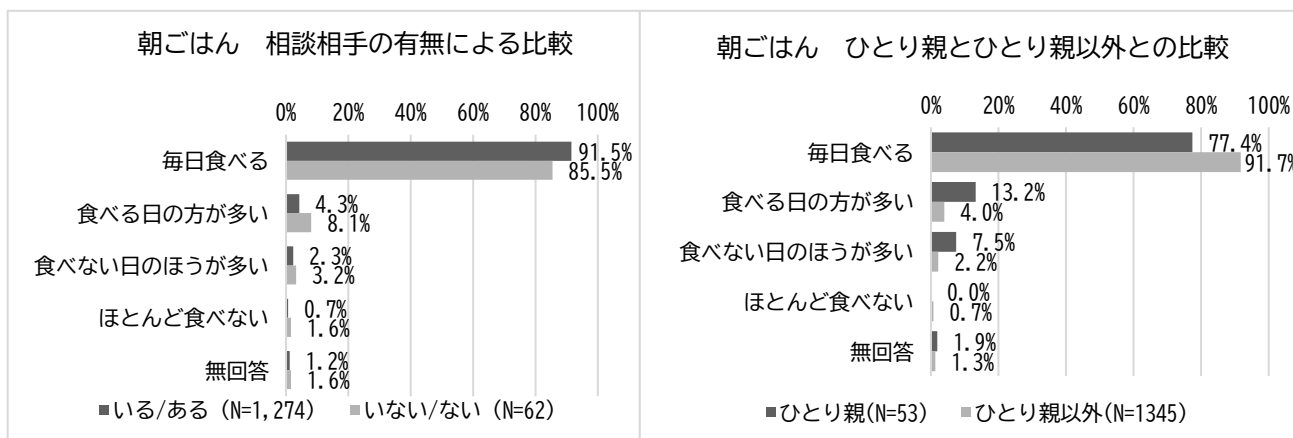


相談相手の有無による比較

「毎日食べる」は相談相手が「いない/ない」が85.5%となっており、「いる/ある」と比較して、6.3ポイント下回っています。

ひとり親とひとり親以外との比較

「毎日食べる」はひとり親が77.9%となっており、ひとり親以外と比較して、14.3%ポイント下回っています。



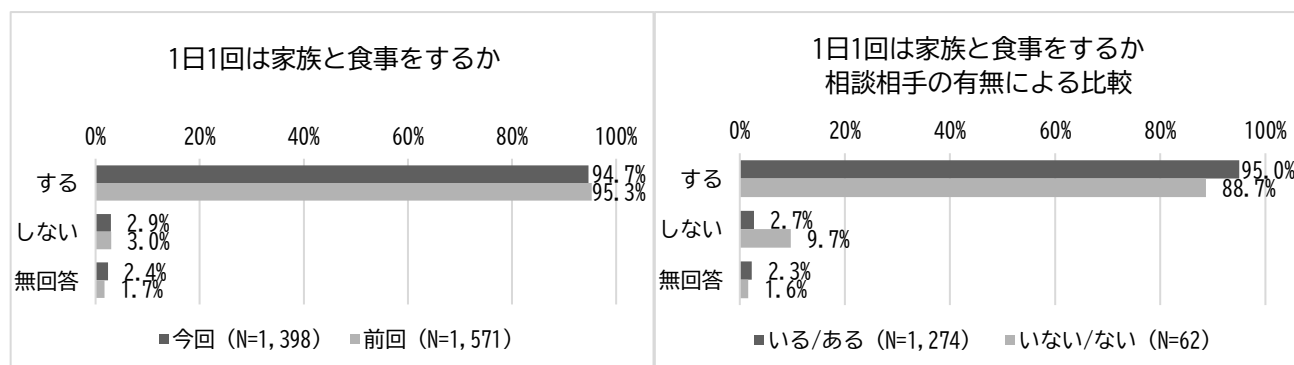
(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。(1つだけ○)

「する」が94.7%、「しない」が2.9%となっています。

前回と比較すると、「する」が0.6ポイントとわずかに減少しています。

相談相手の有無による比較

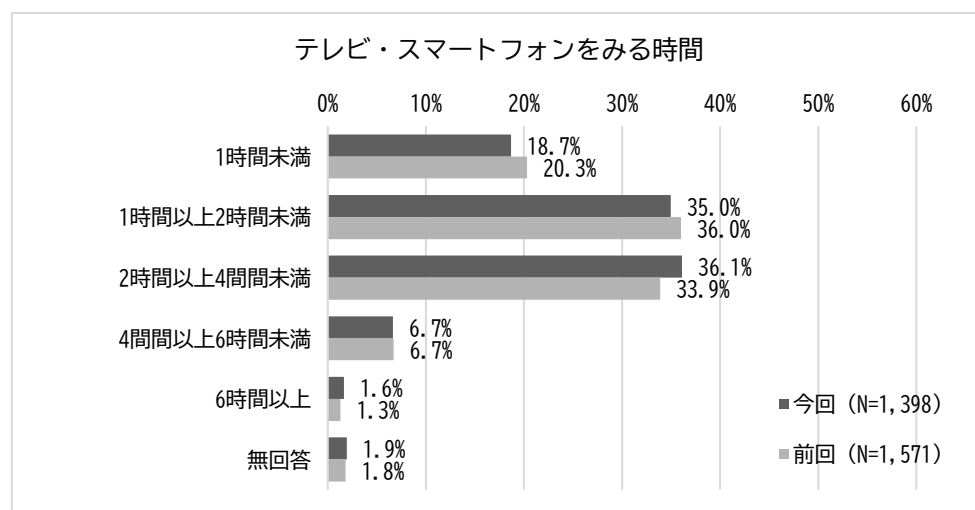
「する」は相談相手が「いない/ない」が88.7%となっており、「いる/ある」と比較すると、6.3ポイント下回っています。



(3) 平日、テレビ・スマートフォン(ゲームを含む)を1日平均、何時間みますか。(1つだけ○)

「2時間以上4時間未満」が36.1%と最も多く、次いで「1時間以上2時間未満」が35.0%、「1時間未満」が18.7%となっています。

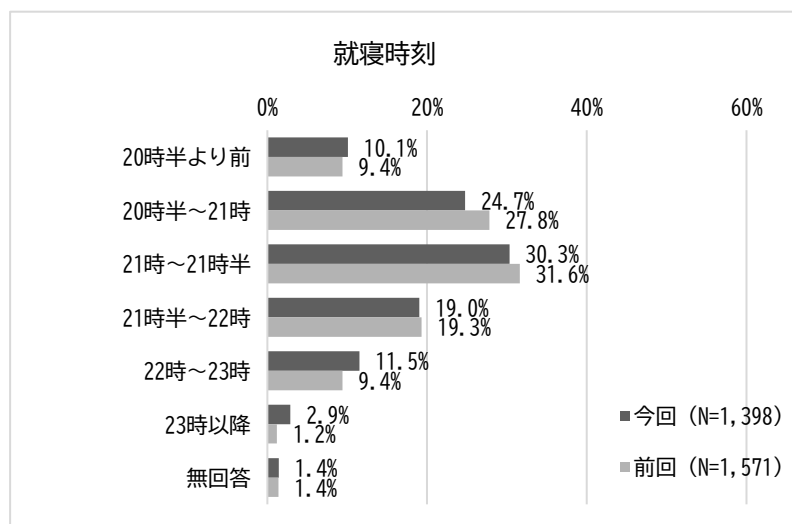
前回と比較すると、「2時間以上4時間未満」が2.2ポイント増加し、「1時間未満」が1.6ポイント減少しています。



(4) 夜寝る時間は何時ですか。(1つだけ○)

「21時～21時半」が 30.3%と最も多く、次いで「20時半～21時」が 24.7%、「21時半～22時」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「22 時～23 時」が 2.1 ポイント増加し、「20 時半～21 時」が 3.1 ポイント減少しています。

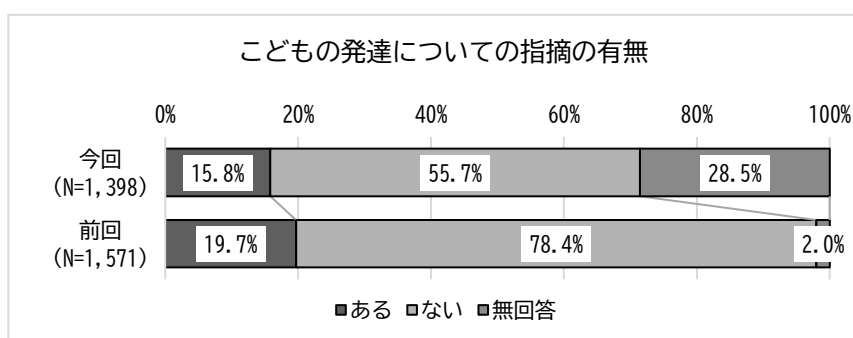


問 39 乳幼児健診でこどもの発達について、何らかの指摘を受けたことがありますか。

「1. ある」に○をつけた方は、「指摘を受けた後の対応」であてはまるものすべてに○をつけてください。

「ない」が 55.7%、「ある」が 15.8%となっています。

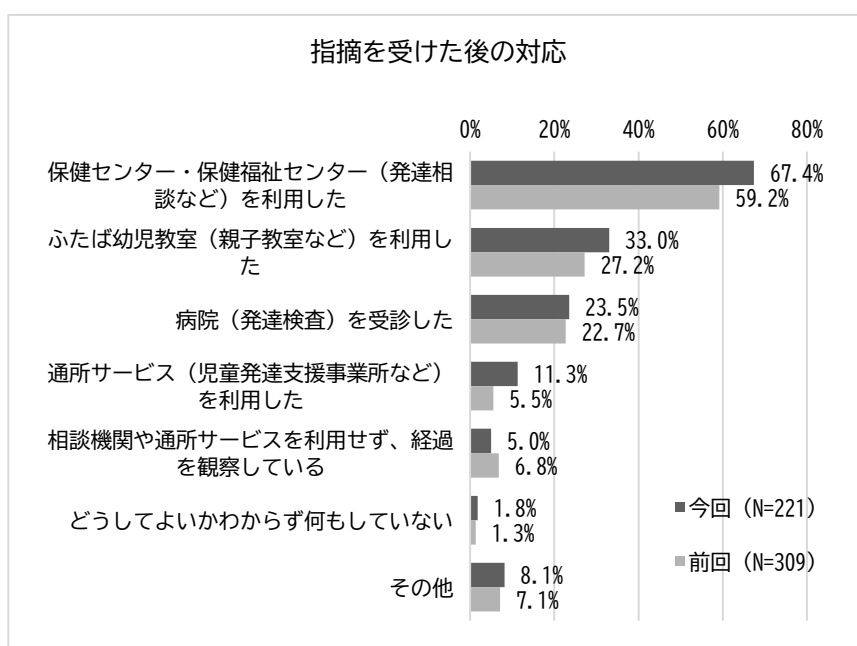
前回と比較すると、「ない」が 22.7 ポイント減少しています。



指摘を受けた後の対応

「1. ある」を選んだ方のその後の対応は、「保健センター・保健福祉センター（発達相談など）を利用した」が 67.4%と最も多く、次いで「ふたば幼児教室（親子教室など）を利用した」が 33.0%、「病院（発達検査）を受診した」が 23.5%となっています。

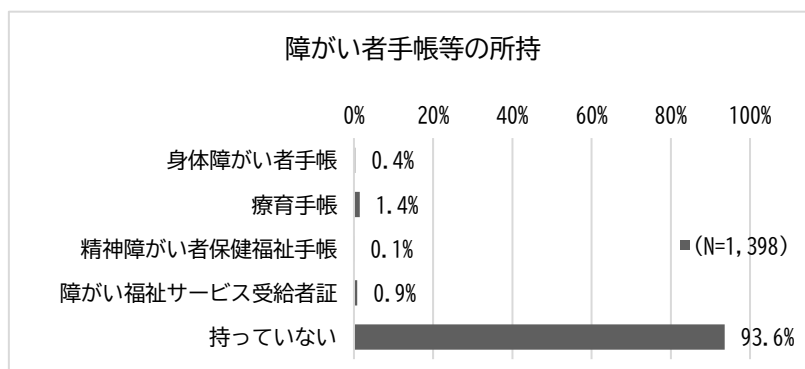
前回と比較すると、「保健センター・保健福祉センター（発達相談など）を利用した」が 8.2 ポイント増加しています。



問 40 あて名のお子さんは障がい者手帳等を所持していますか。(あてはまるものすべてに○)

「身体障がい者手帳」が0.4%、「療育手帳」が1.4%、「精神障がい者保健福祉手帳」が0.1%、「障がい福祉サービス受給者証」が0.9%となっています。

また、いずれかの手帳を所持している者は2.3%となっています。



12.子育てに関する経済的なことについて

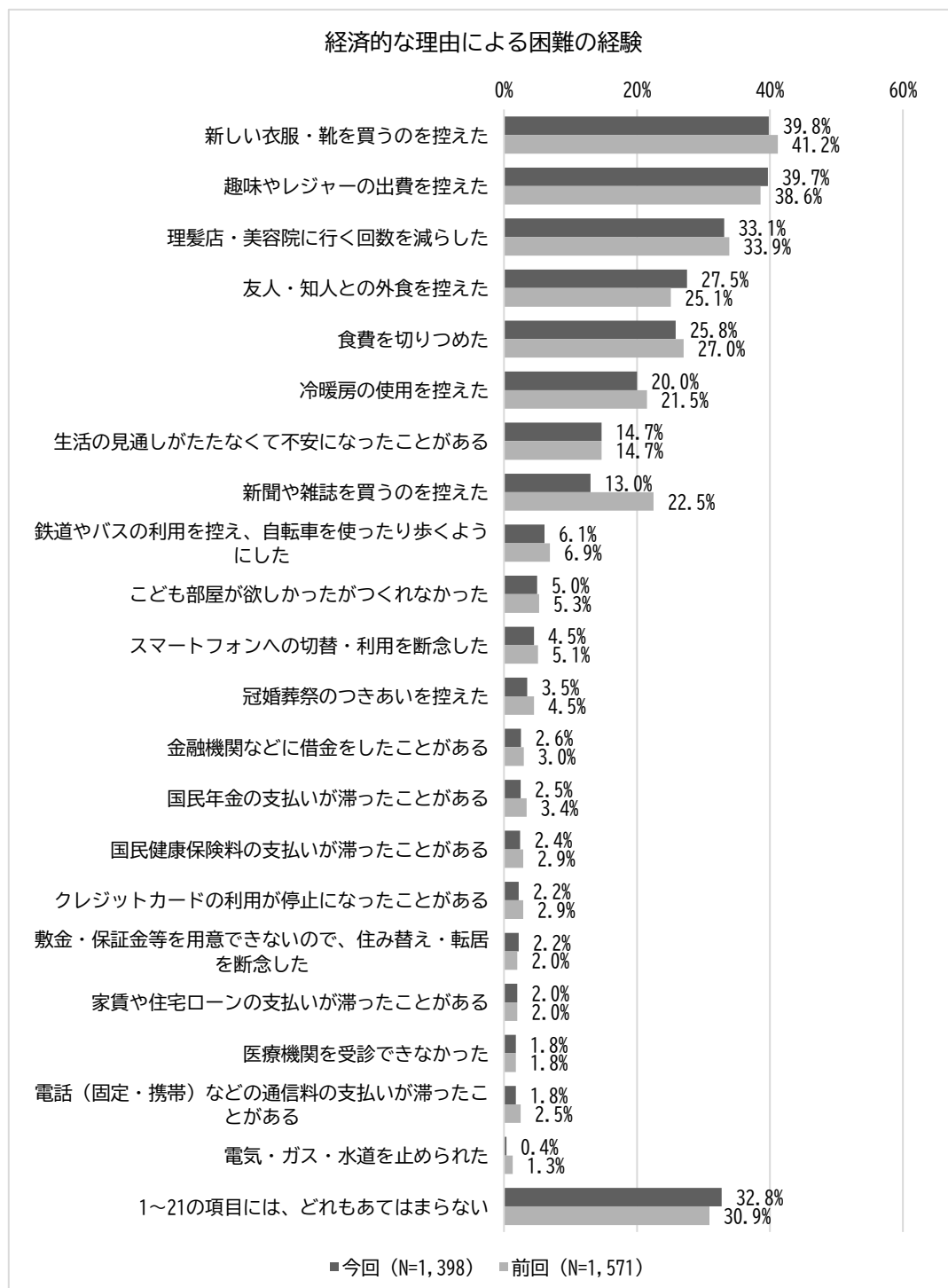
子育てに関する経済的なことについておうかがいします。

問 41 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

概ね1年の間でお考えください。(あてはまるものすべてに○)

「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 39.8%と最も多く、次いで「趣味やレジャーの出費を控えた」が 39.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が 33.1%となっています。

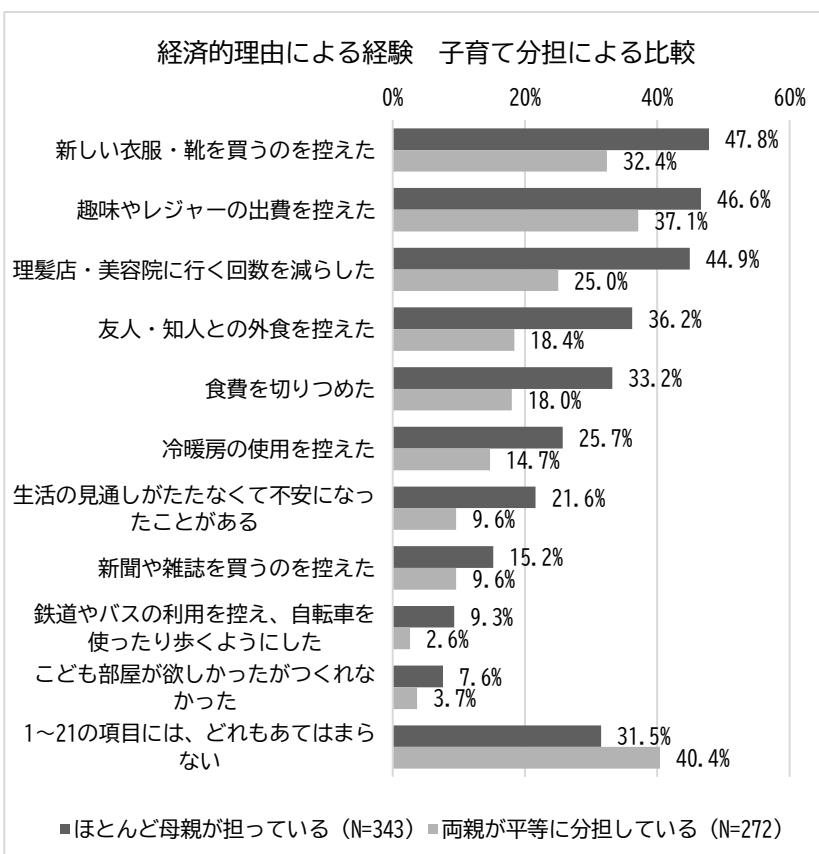
前回と比較すると、「友人・知人との食事を控えた」が 2.4 ポイント増加し、「新聞や雑誌を買うのを控えた」が 9.5 ポイント減少しています。



子育て分担による比較

「ほとんど母親が担っている」が経済的な理由で経験したことは、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が47.8%と最も多く、次いで「趣味やレジャーの出費を控えた」が46.6%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が44.9%となっています。

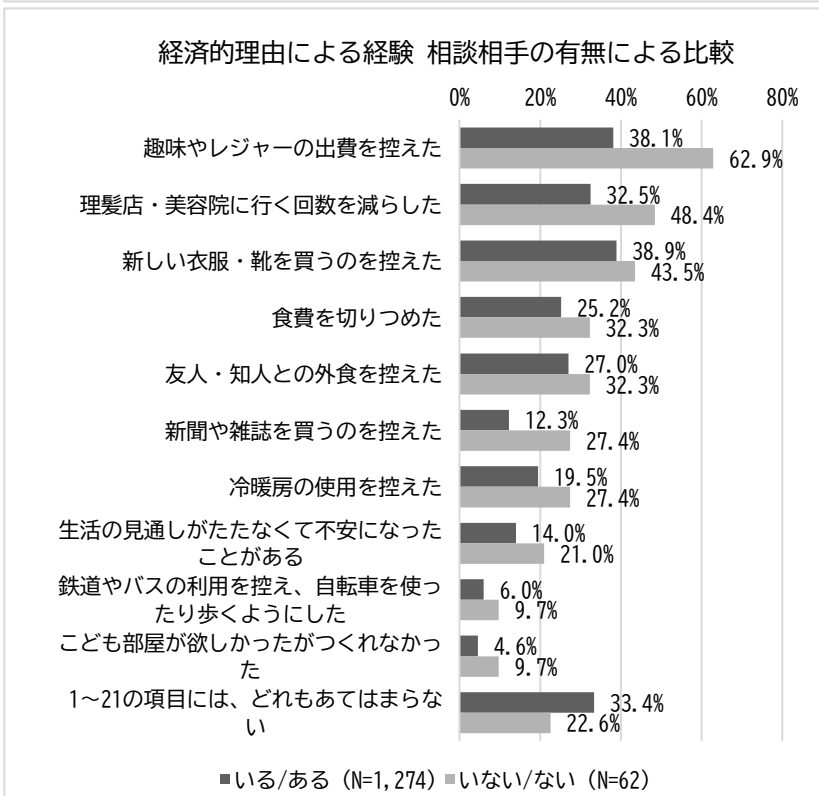
「両親が平等に分担している」と比較すると、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が19.9ポイント、「友人・知人との外食を控えた」が17.8ポイント、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が15.4ポイント、「食費を切りつめた」が15.2ポイント上回っています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」が経済的な理由で経験したことは、「趣味やレジャーの出費を控えた」が62.9%でもっと多く、次いで「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が48.4%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が43.5%、「食費を切りつめた」が32.3%、「友人・知人との外食を控えた」が32.3%となっています。

相談相手が「いる/ある」と比較すると、「趣味やレジャーの出費を控えた」が24.8ポイント、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が15.9ポイント、「新聞や雑誌を買うのを控えた」が15.1ポイント上回っています。

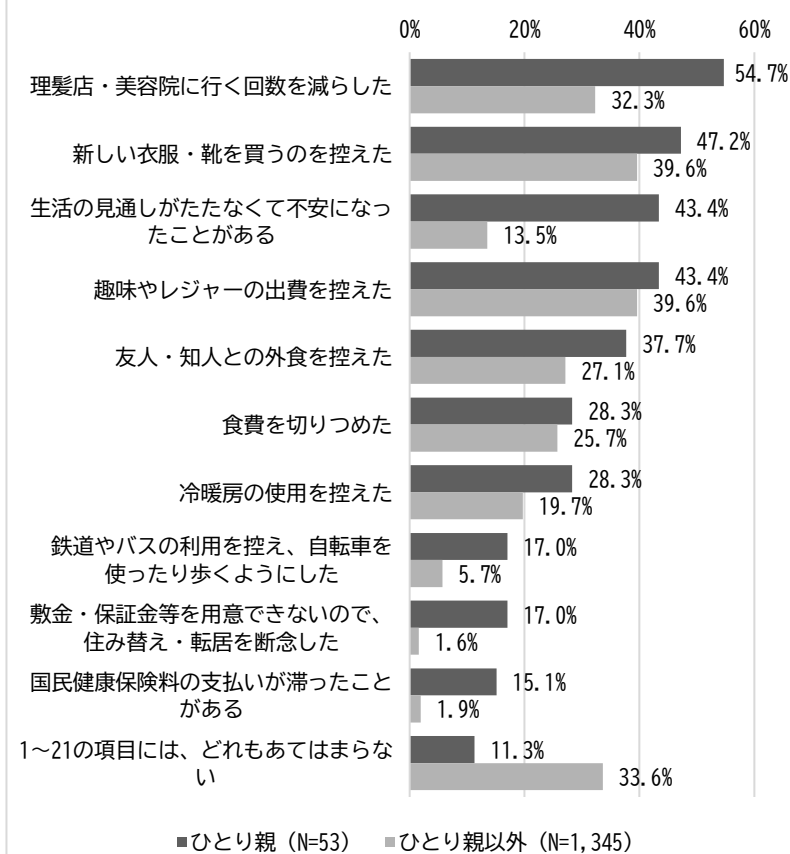


ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親が経済的な理由で経験したことは、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が54.7%と最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が47.2%、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」「趣味やレジャーの出費を控えた」が43.4%、「友人・知人との外食を控えた」が37.7%となっています。

ひとり親以外と比較すると、ひとり親は「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」が29.9ポイント、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が22.4ポイント、「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」が15.4ポイント、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」が13.2ポイント、「鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした」が11.3ポイント、「友人・知人との外食を控えた」が10.6ポイント上回っています。

経済的な理由で経験したこと
ひとり親とひとり親以外の比較

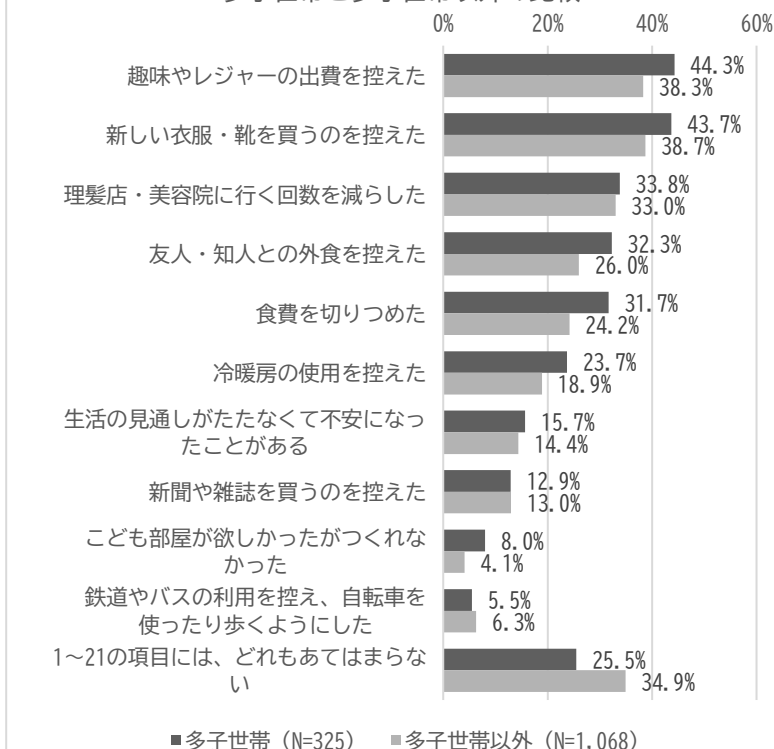


多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「趣味やレジャーの出費を控えた」が44.3%と最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が43.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が33.8%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「食費を切りつめた」が7.5ポイント、「友人・知人との外食を控えた」が6.3ポイント、「趣味やレジャーの出費を控えた」が6.0ポイント上回っています。

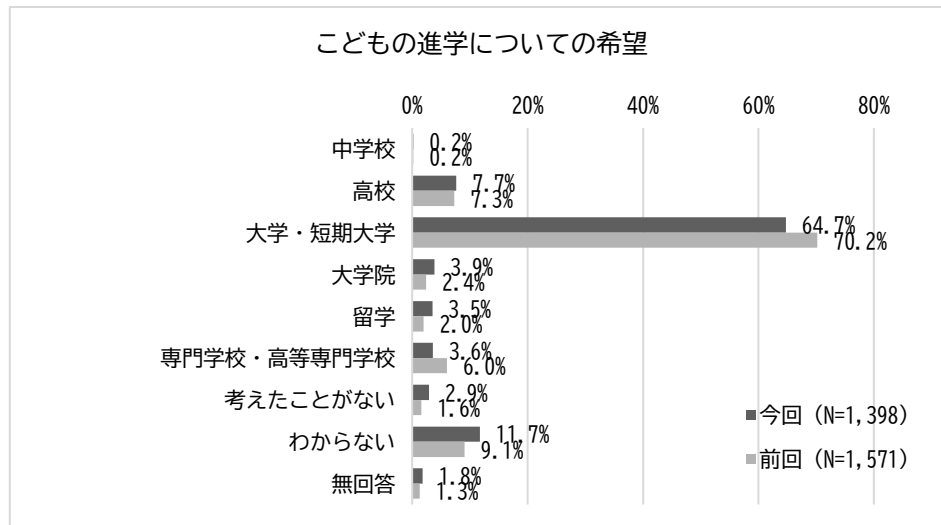
経済的な理由での経験
多子世帯と多子世帯以外の比較



問 42 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(1つだけ○)

「大学・短期大学」が 64.7%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「わからない」が 2.6 ポイント増加し、「大学・短期大学」が 5.5 ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外との比較

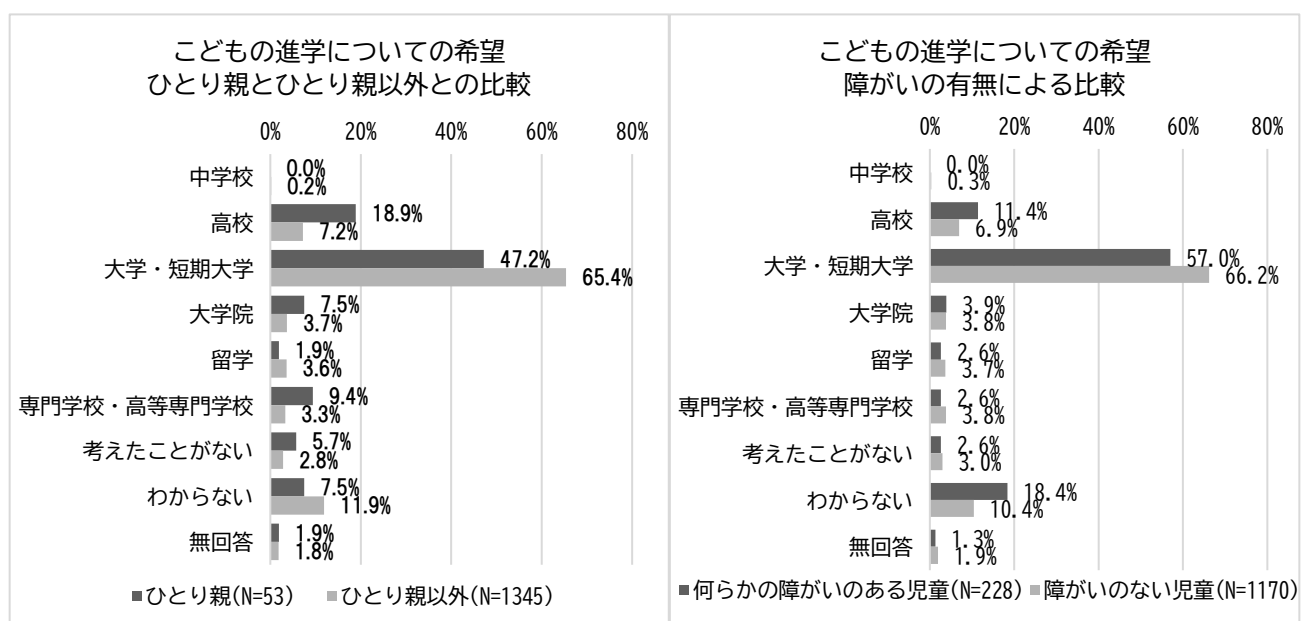
ひとり親のこどもの進学についての希望は、「大学・短期大学」が 47.2%と最も多く、次いで「高校」が 18.9%となっています。

ひとり親以外と比較すると、ひとり親は「高校」が 11.7 ポイント上回り、「大学・短期大学」が 18.2 ポイント下回っています。

障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童は「大学・短期大学」が 57.0%と最も多く、次いで「わからない」が 18.4%、「高校」が 11.4%となっています。

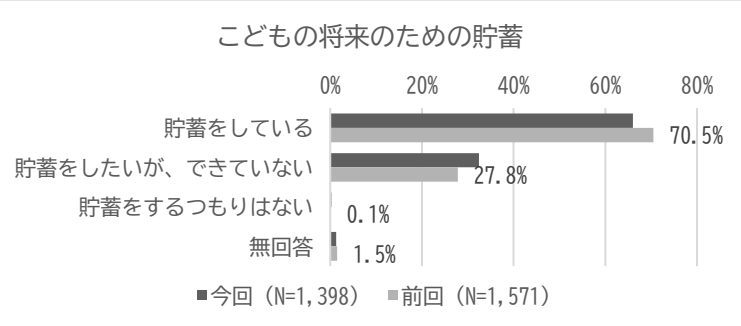
障がいのない児童と比較すると、何らかの障がいのある児童は「わからない」が 8.0 ポイント、「高校」が 4.5 ポイント上回り、「大学・短期大学」が 9.2 ポイント下回っています。



問 43 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(1つだけ○)

「貯蓄をしている」が 66.0%と最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が 32.4%となっています。

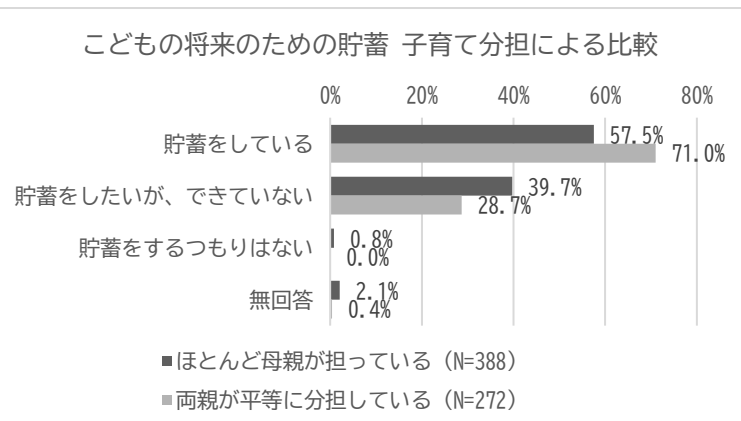
前回と比較すると、「貯蓄をしたいが、できていない」が 4.6 ポイント増加し、「貯蓄をしている」が 4.5 ポイント減少しています。



子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「貯蓄をしている」が 71.0%と最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が 28.7%となっています。

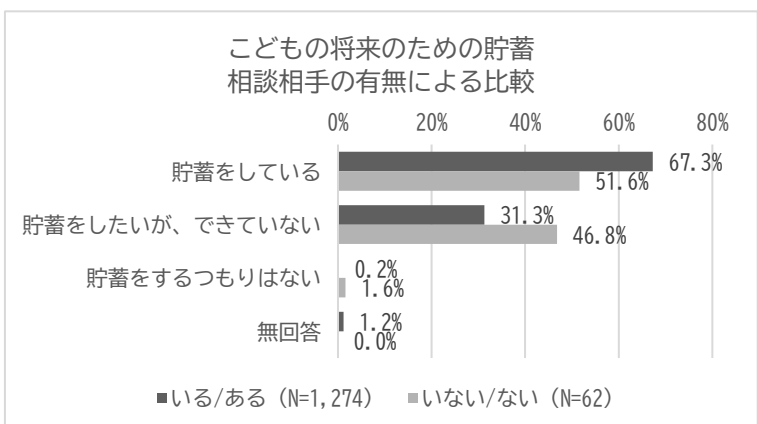
「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「貯蓄をしている」が 13.5 ポイント上回り、「貯蓄をしたいが、できていない」が 11.0 ポイント下回っています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は「貯蓄をしている」が 51.6%と最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が 46.8%となっています。

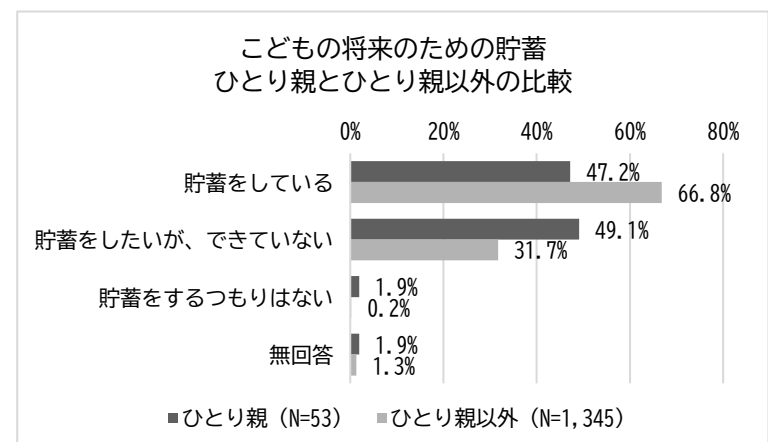
相談相手が「いる/ある」と比較すると、「貯蓄をしたいが、できていない」が 15.5 ポイント上回り、「貯蓄をしている」が 15.7 ポイント下回っています。



ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親は「貯蓄をしたいが、できていない」が 49.1%と最も多く、次いで「貯蓄をしている」が 47.2%となっています。

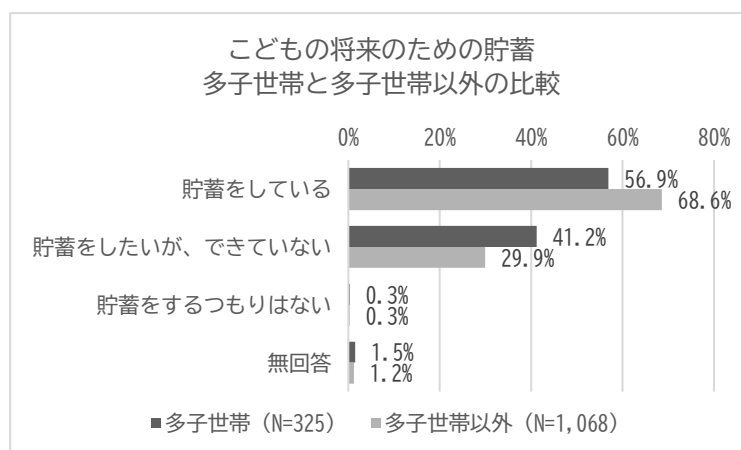
ひとり親以外と比較すると、「貯蓄をしたいが、できていない」が 17.4 ポイント上回り、「貯蓄をしている」が 19.6 ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「貯蓄をしている」が56.9%、「貯蓄をしたいが、できていない」が41.2%となっています。

子世帯以外と比較すると、「貯蓄をしている」が11.7ポイント下回り、「貯蓄をしたいが、できていない」が11.3ポイント上回っています。

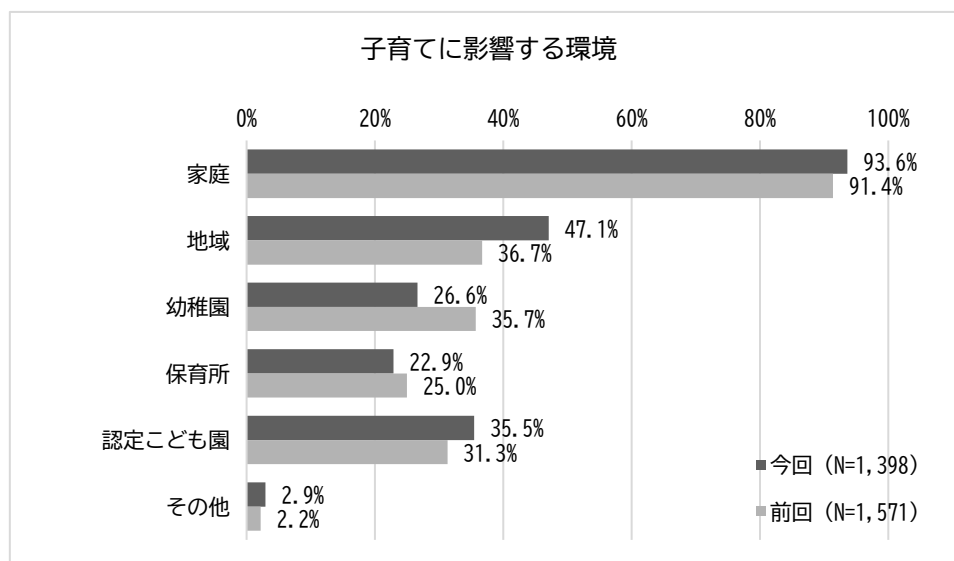


13. 子育てに対して感じることにについて

子育てに対して感じることにについておうかがいします。

問 44 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

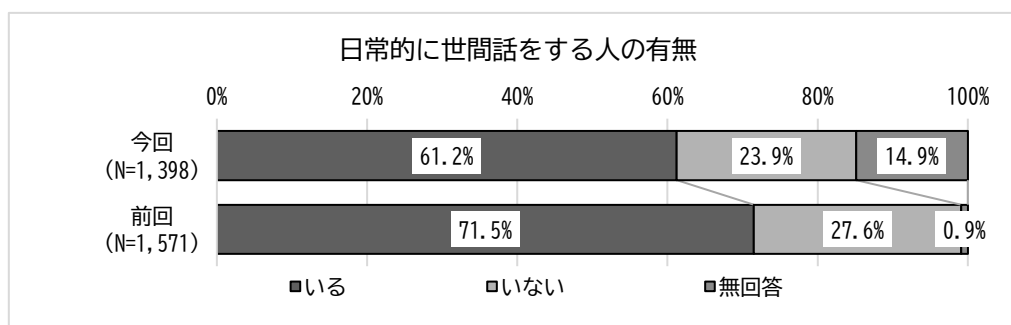
「家庭」が93.6%と最も多く、次いで「地域」が41.7%、「認定こども園」が35.5%となっています。前回と比較すると、「地域」が10.4ポイント増加し、「幼稚園」が9.1ポイント減少しています。



問 45 お住いの近くで日常的にちょっとしたこどもの世話や世間話をする人はいますか。(1つだけ○)

「いる」が61.2%、「いない」が23.9%となっています。

前回と比較すると、「いる」が10.3ポイント減少しています。

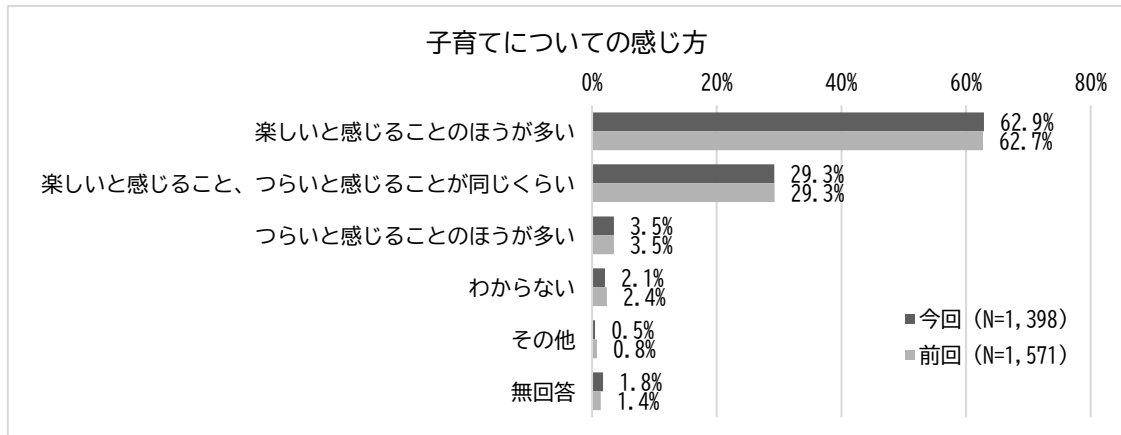


問 46 子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。

(1つだけ○)

「楽しいと感じることのほうが多い」が 62.9%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が 29.3%となっています。

前回との比較では、ほとんど変化が見られません。



育児分担による比較

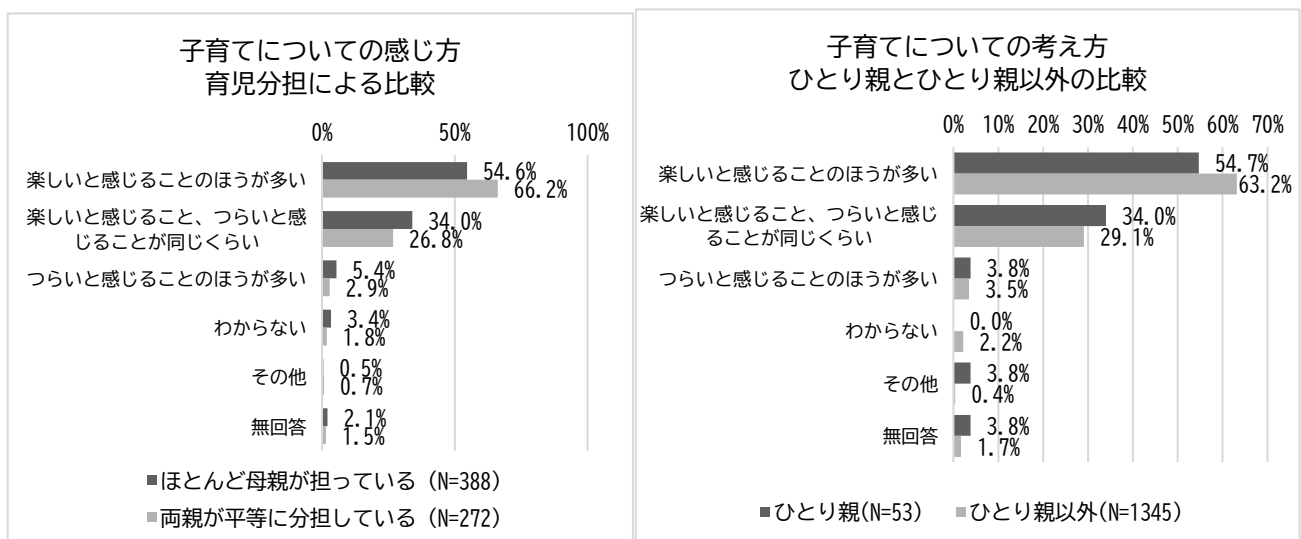
「両親が平等に分担している」は「楽しいと感じることのほうが多い」が 66.2%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が 26.8%となっています。

「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が 11.6 ポイント上回り、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が 7.2 ポイント下回っています。

ひとり親とひとり親以外の比較

「ひとり親」は「楽しいと感じることのほうが多い」が 54.7%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が 34.0%となっています。

「ひとり親以外」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が 8.5 ポイント下回り、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が 4.9 ポイント上回っています。



相談相手の有無による比較

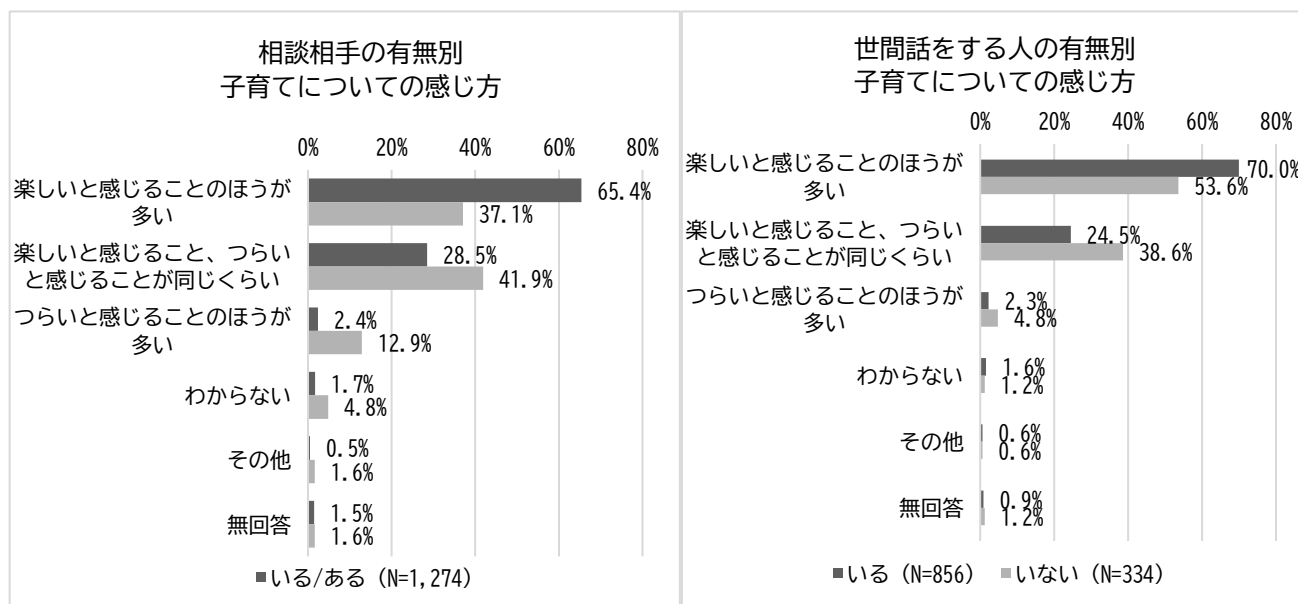
相談相手が「いる/ある」は、「楽しいと感じることのほうが多い」が 65.4%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 28.5%となっています。

相談相手が「いない/ない」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が 28.3 ポイント上回っています。

世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いる」は、「楽しいと感じることのほうが多い」が 70.0%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 24.5%となっています。

相談相手が「いない/ない」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が 16.4%ポイント上回っています。

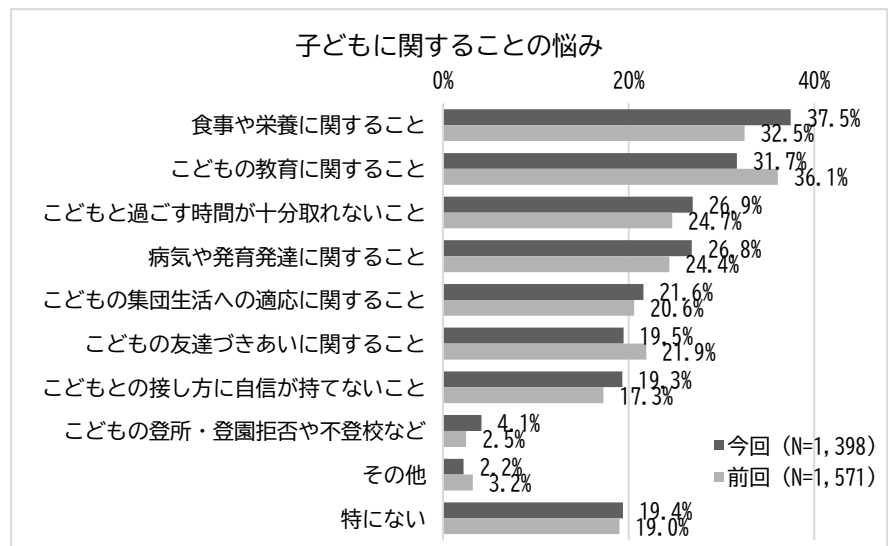


問 47 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

(1) こどもに関することの悩み

「食事や栄養に関すること」が 37.5%と最も多く、次いで「こどもの教育に関すること」が 31.7%、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が 26.9%となっています。

前回と比較すると、「食事や栄養に関すること」が 5.0 ポイント増加し、「こどもとの教育に関すること」が 4.4 ポイント減少しています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は、「食事や栄養に関すること」が 53.2%と最も多く、次いで「こどもとの教育に関すること」が 43.5%、「病気や発育発達に関すること」が 41.9%となっています。

相談相手が「いる/ある」と比較すると、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」が 19.0 ポイント 11.6 ポイント上回っているほか、すべての項目で、相談相手が「いる/ある」を上回っています。

世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いない」は食事や栄養に関すること」が 42.5%と最も多く、次いで「こどもとの教育に関すること」が 34.7%、「病気や発育発達に関すること」が 34.7%となっています。

世間話をする人が「いる」と比較すると、「病気や発育発達に関すること」が 11.6 ポイント上回っているほか、「こどもの登所・登園拒否や不登校など」以外のすべての項目で、世間話をする人が「いる」を上回っています。

ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親では、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が 39.6%と最も多く、次いで「こどもとの教育に関すること」が 26.4%、「病気や発育発達に関すること」「食事や栄養に関すること」が 22.6%となっています。

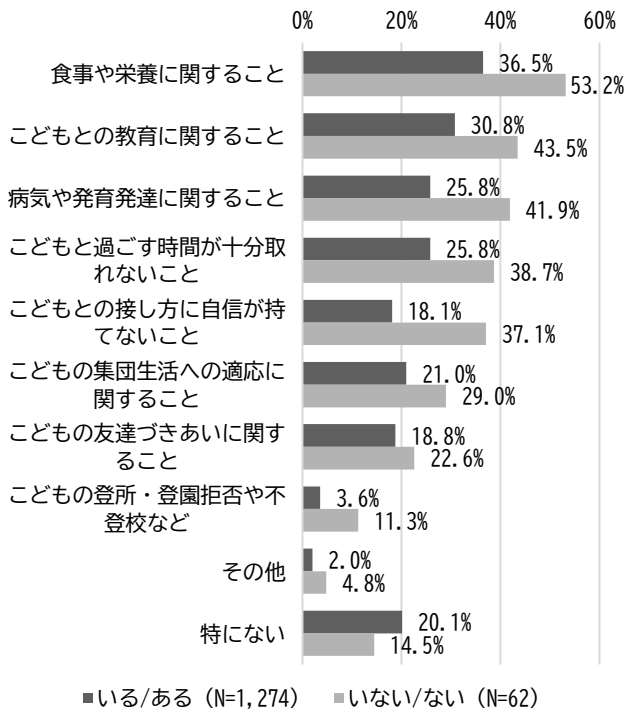
ひとり親以外と比較すると、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が 13.2 ポイント上回り、「食事や栄養に関すること」が 15.5 ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が 8.7 ポイント下回っています。

障がいの有無による比較

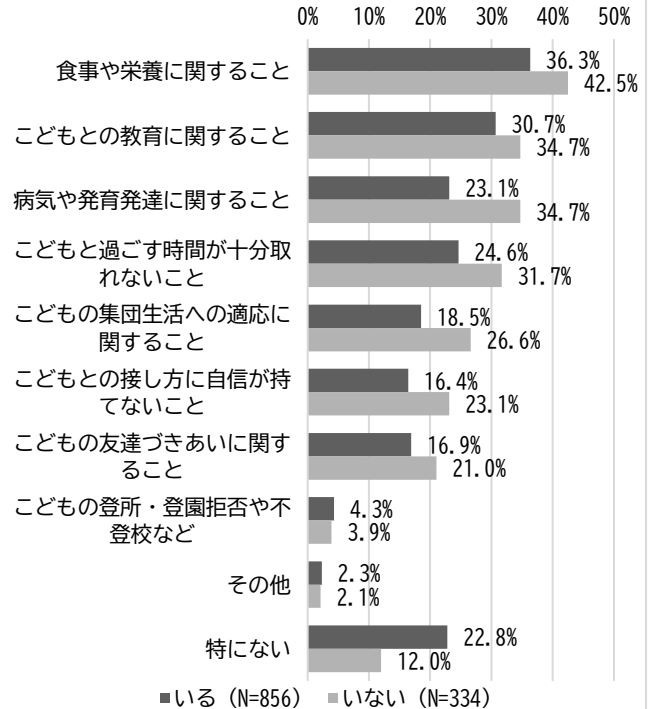
何らかの障がいのある児童は「病気や発育発達に関すること」が 56.1%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が 39.9%。「こどもとの教育に関すること」が 35.1%、「こどもの集団生活への適応に関すること」が 33.3%となっています。

障がいのない児童と比較すると、「病気や発育発達に関すること」が 35.0 ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が 14.0 ポイント上回り、「特になし」が 10.0 ポイント下回っています。

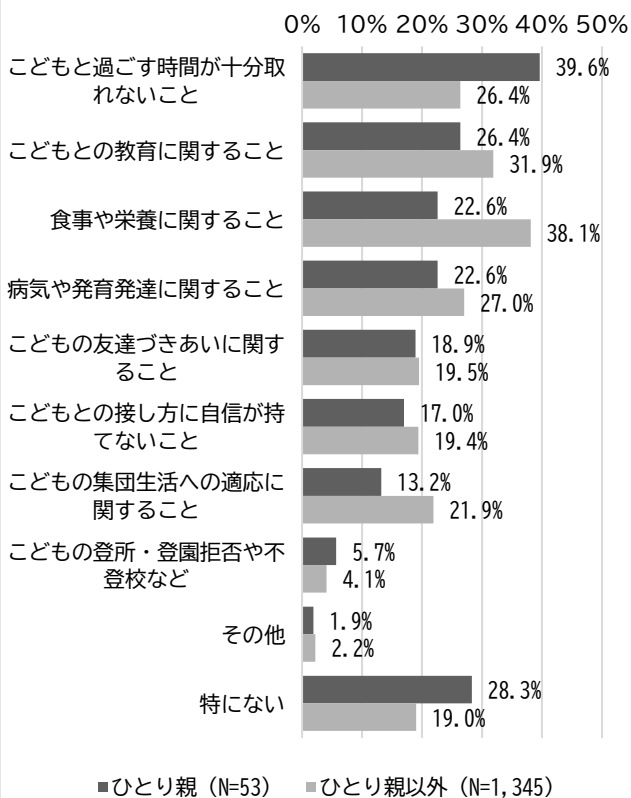
相談相手の有無別
こどもに関することの悩み



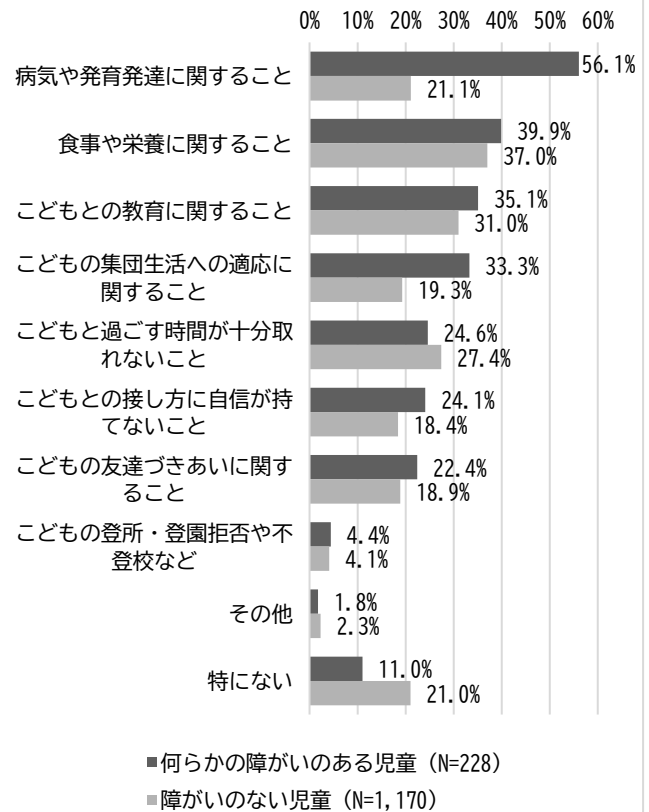
世間話をする人の有無別
こどもに関することの悩み



こどもに関することの悩み
ひとり親とひとり親以外との比較



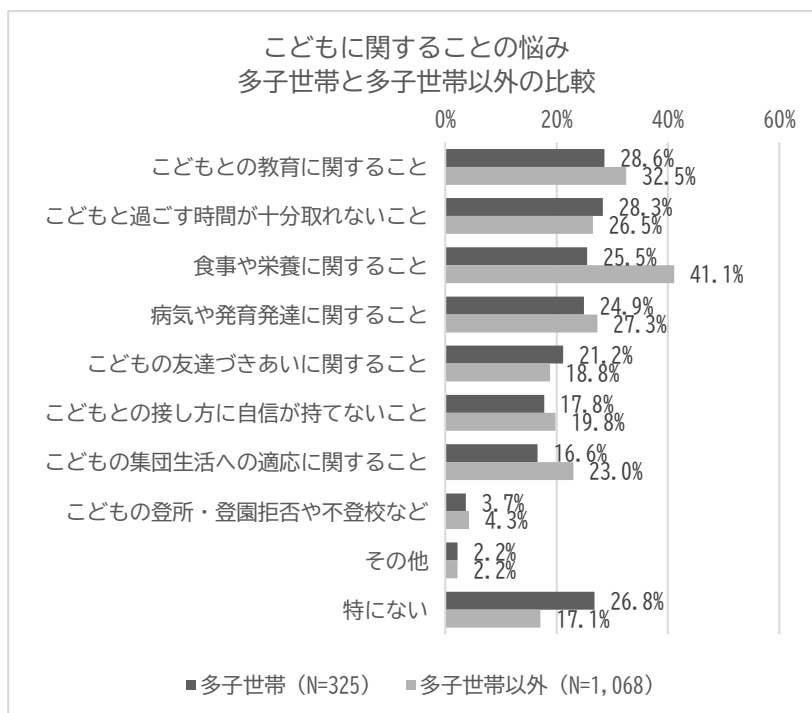
こどもに関することの悩み
障がいの有無による比較



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「こどもとの教育に関すること」が28.6%と最も多く、次いで「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が28.3%、「食事や栄養に関すること」が25.5%となっています。

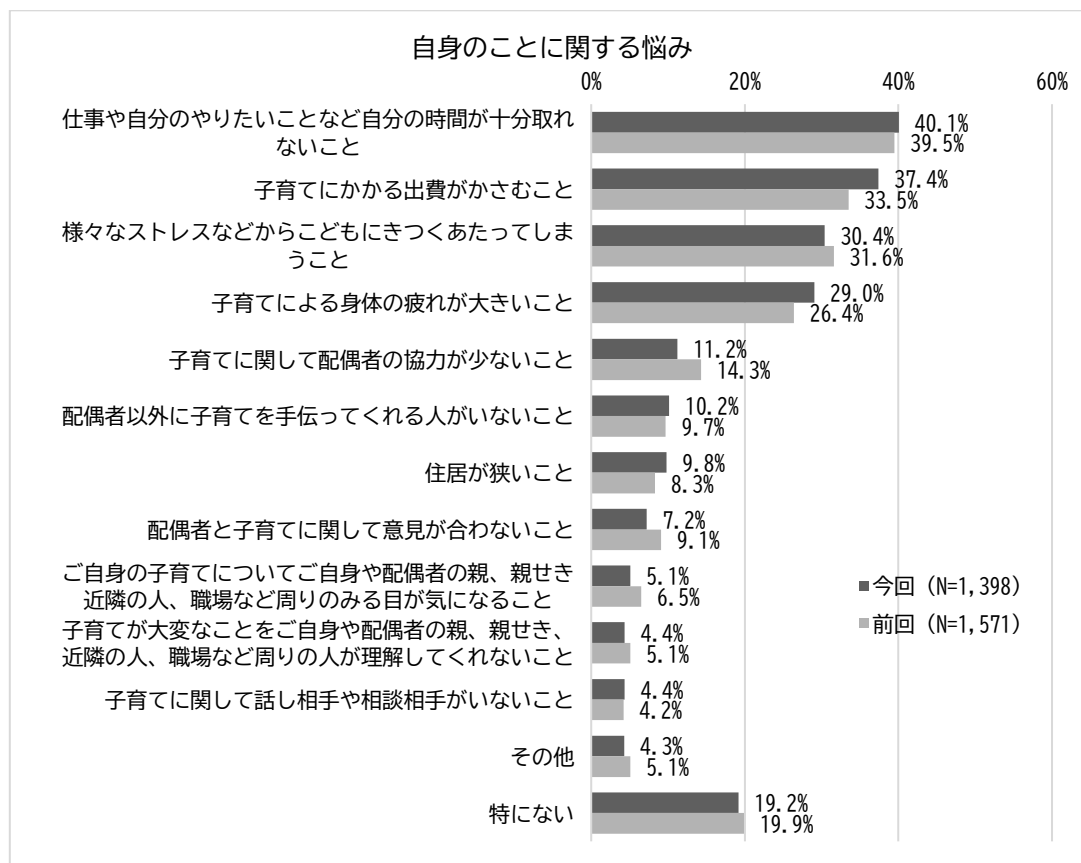
多子世帯以外と比較すると、「食事や栄養に関すること」が15.6ポイント下回っています。



(2) ご自身に関することの悩み

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が40.1%と最も多く、次いで「子育てにかかる費用がかさむこと」が37.4%、「様々なストレスからこどもにきつくあたってしまうこと」が30.4%となっています。

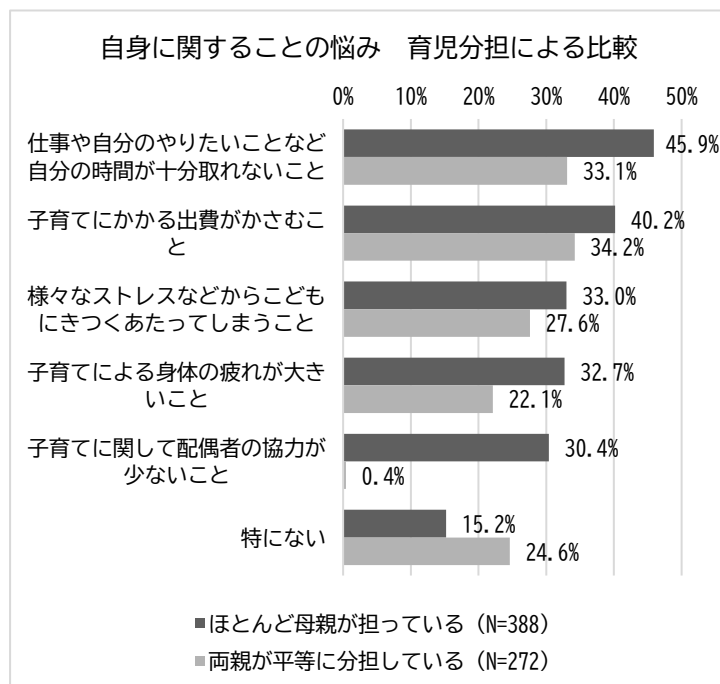
前回と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」が3.9ポイント増加し、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」が3.1ポイント減少しています。



育児分担による比較

「ほとんど母親が担っている」は「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が45.9%と最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が40.2%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が33.0%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が32.7%、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」が30.4%となっています。

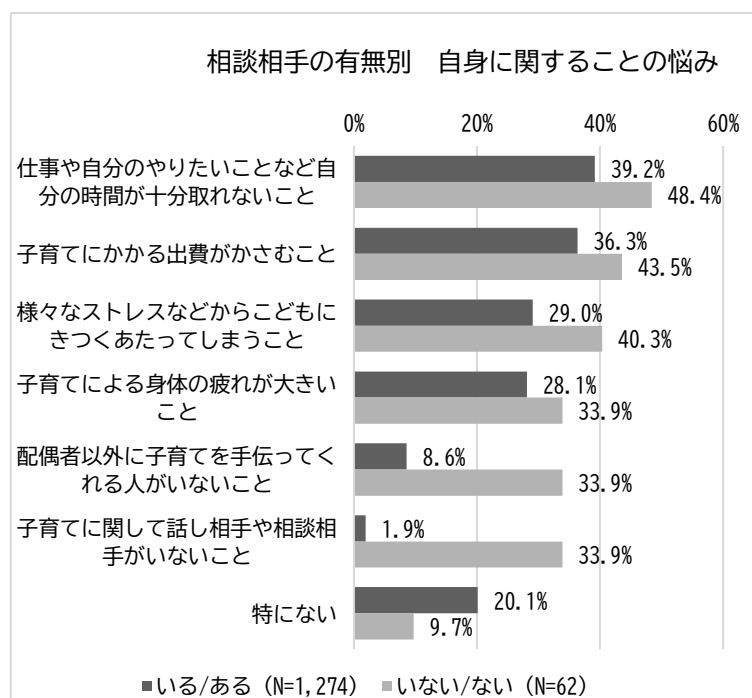
「両親が平等に分担している」と比較すると、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」が30.0ポイント、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が12.8ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が10.6ポイント下回っています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が48.4%と最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が43.5%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が40.3%となっています。

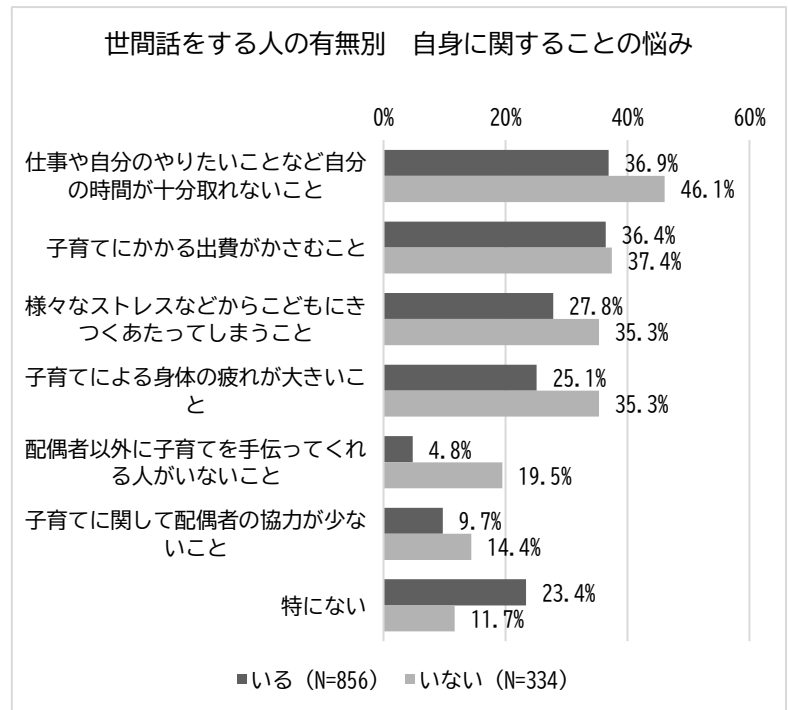
相談相手が「いる/ある」と比較すると、「子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと」が32.0ポイント上回っているほか、「配偶者と子育てに関して意見が合わないこと」以外の全てで、相談相手が「いる/ある」を上回っています。



世間話する人の有無による比較

世間話する人が「いない」は「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が36.9%と最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が36.4%。「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が27.8%となっています。

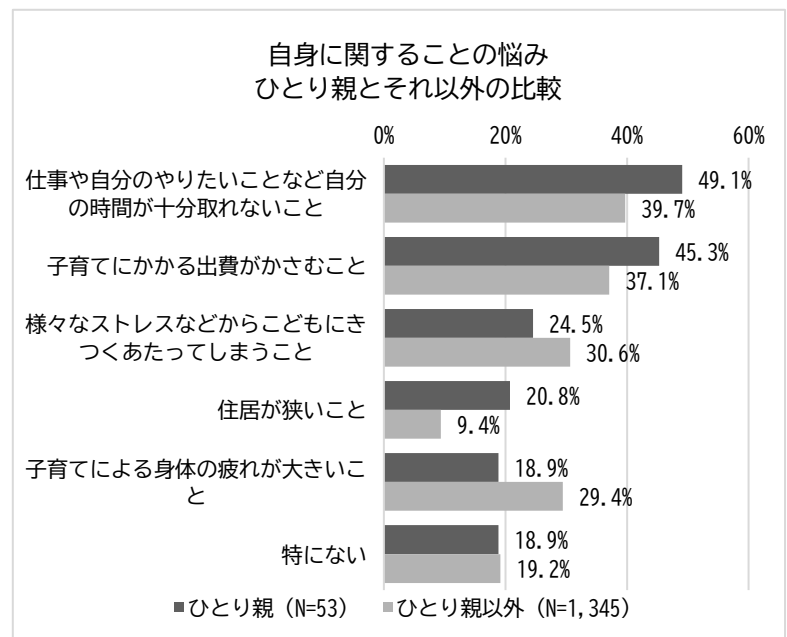
世間話する人が「いる」と比較すると、「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」が14.7ポイント上回っているほか、すべての項目で、世間話する人が「いる」を上回っています。



ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が49.1%と最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が45.3%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が24.5%となっています。

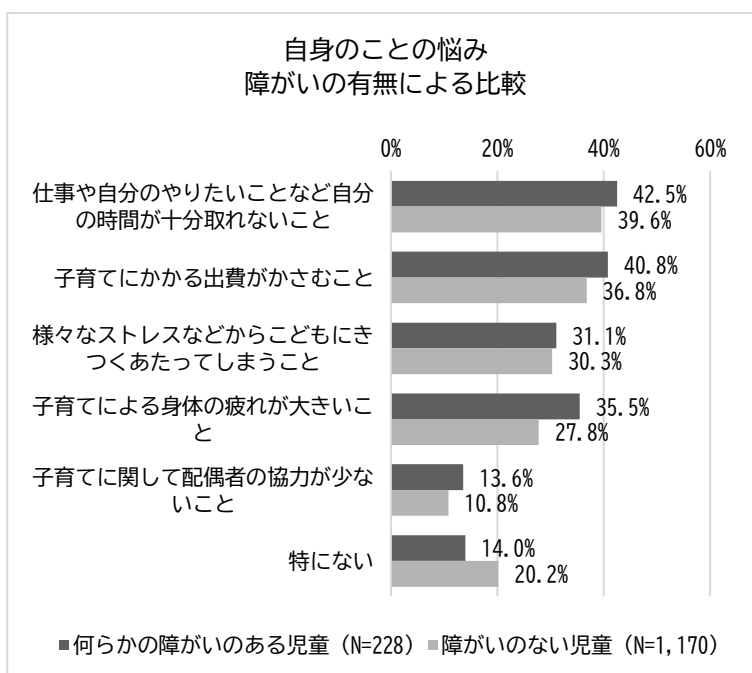
ひとり親以外と比較すると、「住居が狭いこと」が11.4ポイント、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が9.4ポイント、「子育てにかかる出費がかさむこと」が8.2ポイント上回り、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が10.6ポイント、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が6.1ポイント下回っています。



障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 42.5%で最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が 40.8%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 35.5%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 31.1%となっています。

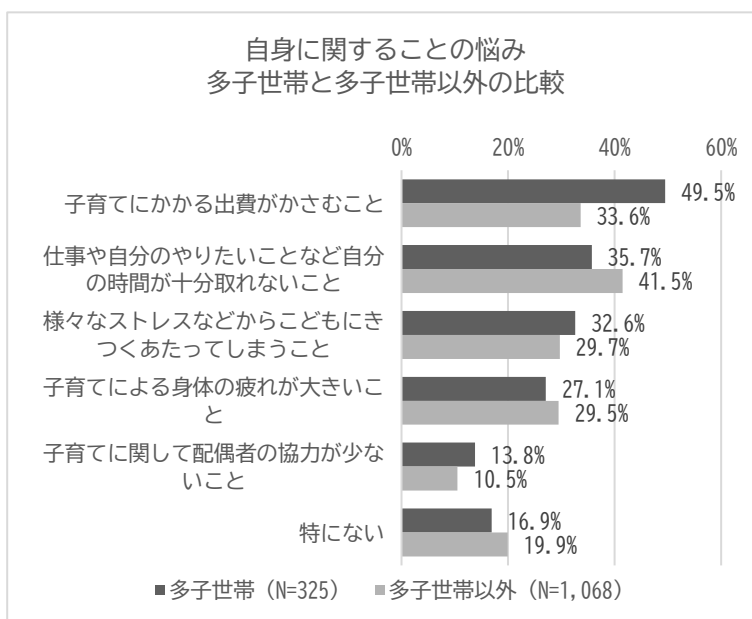
障がいのない児童と比較すると、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 7.7 ポイント、「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」が 4.1%ポイント、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 4.0 ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「子育てにかかる出費がかさむこと」が 49.5%と最も多く、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 35.7%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 32.6%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 15.9 ポイント上回り、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 5.8 ポイント下回っています。



問 48 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(1 つだけ○)

「感じる」が 48.1%、「感じない」が 31.7% となっています。

前回と比較すると、「感じない」が 11.7 ポイント減少しています。

子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「感じる」が 56.6%、「感じない」が 23.2%となっています。

「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「感じる」が 19.0 ポイント上回っています。

相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は、「感じる」が 32.3%。「感じない」が 67.7%となっています。

相談相手が「いる/ある」と比較すると、「感じる」が 18.2 ポイント下回っています。

世間話をする人の有無による比較

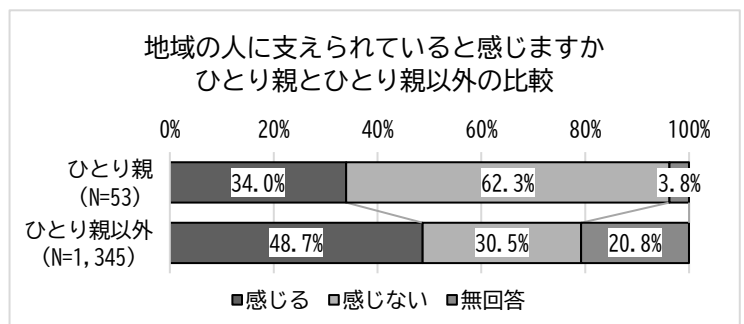
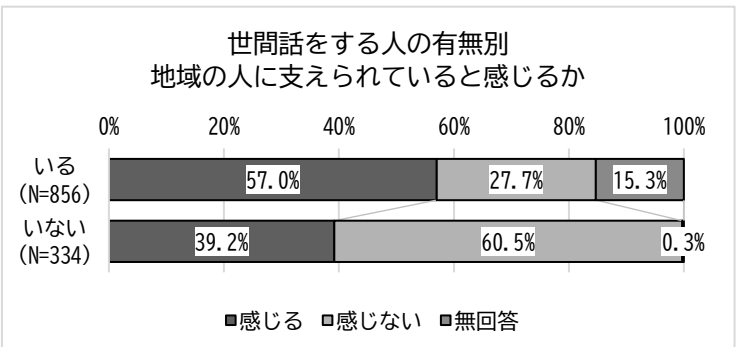
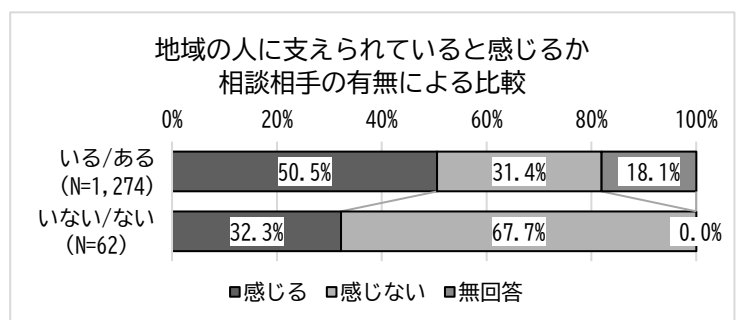
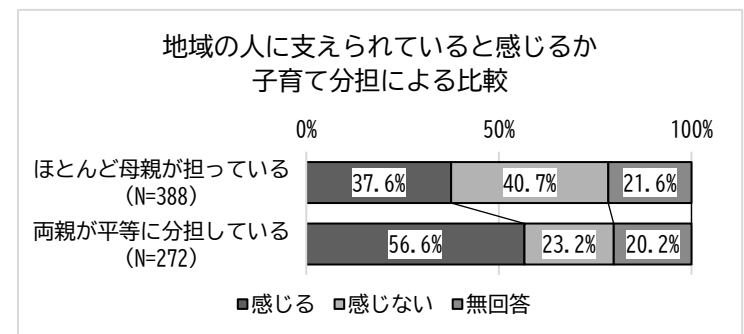
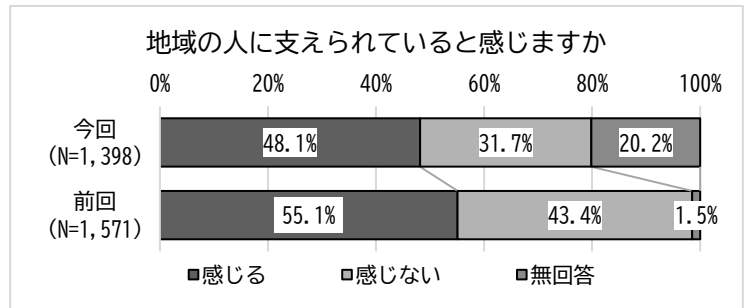
世間話をする人が「いない/ない」は、「感じる」が 39.2%、「感じない」が 60.5%となっています。

世間話をする人が「いる」と比較すると、「感じる」が 17.8 ポイント下回っています。

ひとり親とひとり親以外の比較

ひとり親は「感じる」が 34.0%、「感じない」が 62.3%となっています。

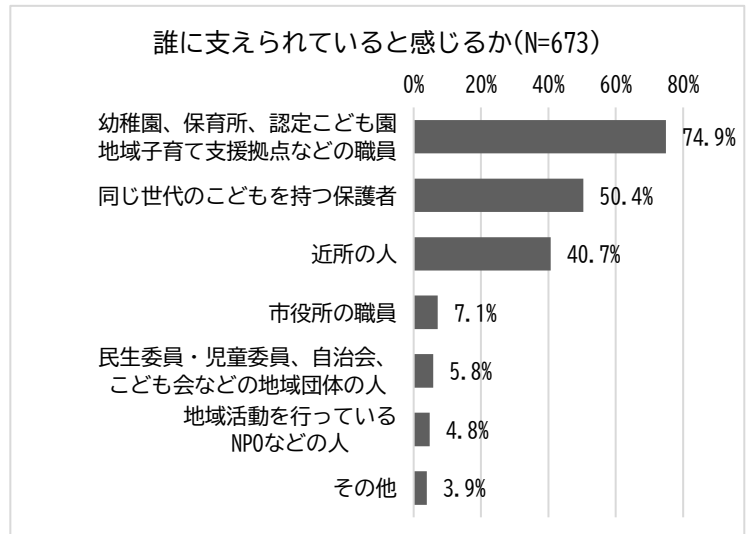
ひとり親以外と比較すると、「感じる」が 14.7 ポイント下回っています。



問 48-1 問 48 で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

(1) 誰に支えられていると感じているか

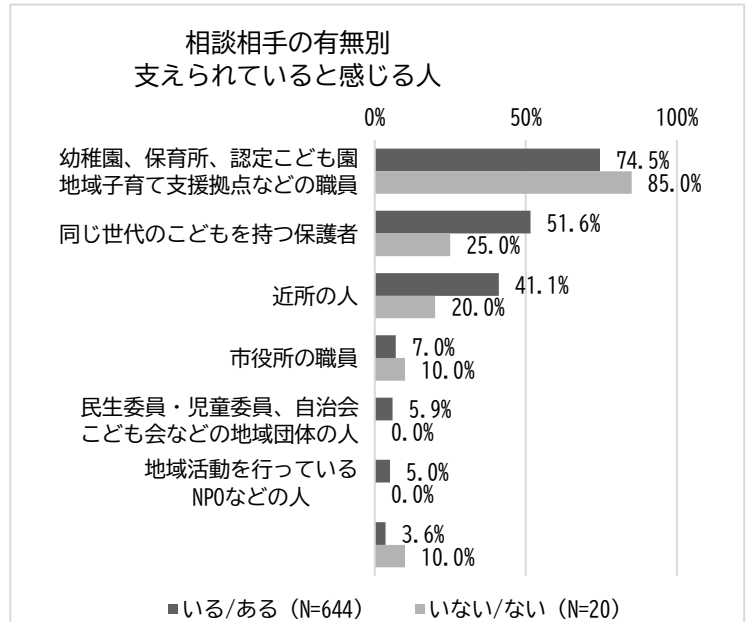
「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 74.9%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 50.4%、「近所の人」が 40.7%となっています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 85.0%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 25.0%、「近所の人」が 20.0%となっています。

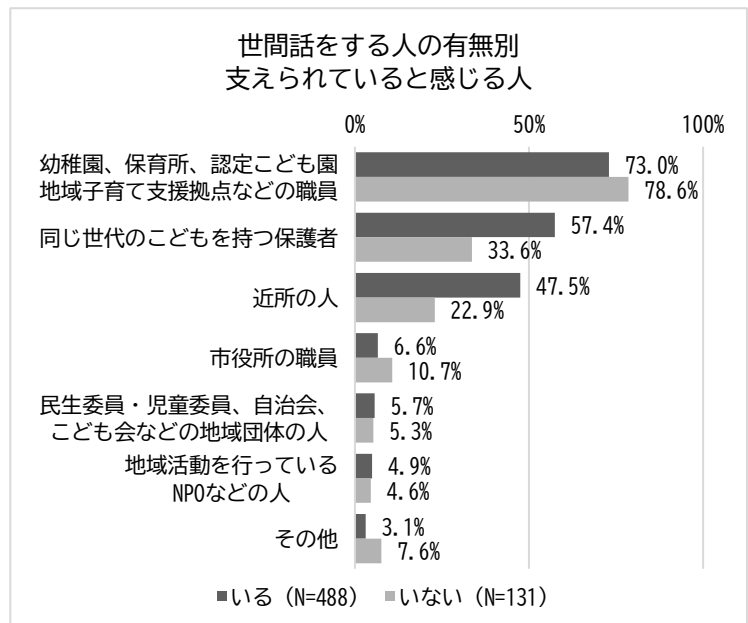
相談相手が「いる/ある」と比較すると、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 10.5 ポイント上回り、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 26.6 ポイント、「近所の人」が 21.1 ポイント下回っています。



世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いない」は「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 78.6%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 33.6%、「近所の人」が 22.9%となっています。

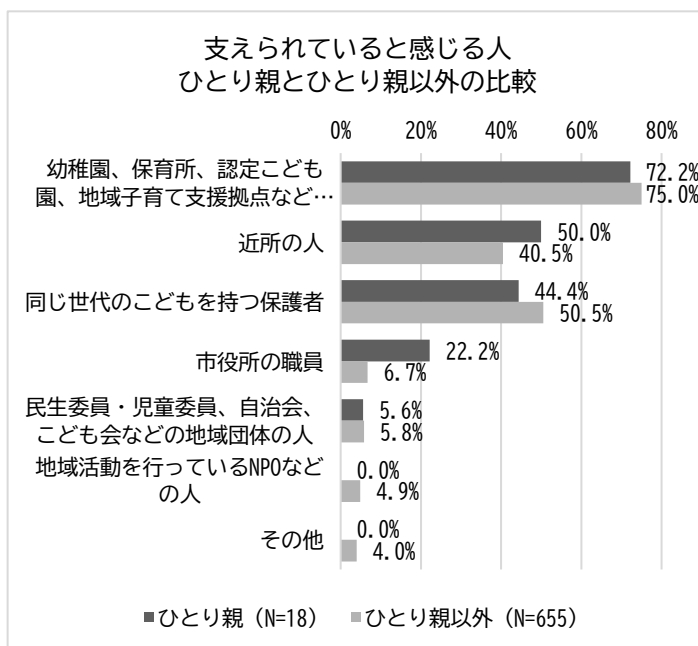
世間話をする人が「いる」と比較すると、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 5.6 ポイント上回り、「近所の人」が 24.6 ポイント、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 23.8 ポイント下回っています。



ひとり親とひとり親以外の比較

ひとり親は「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 72.2%と最も多く、次いで「近所の人」が50.0%、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が44.4%となっています。

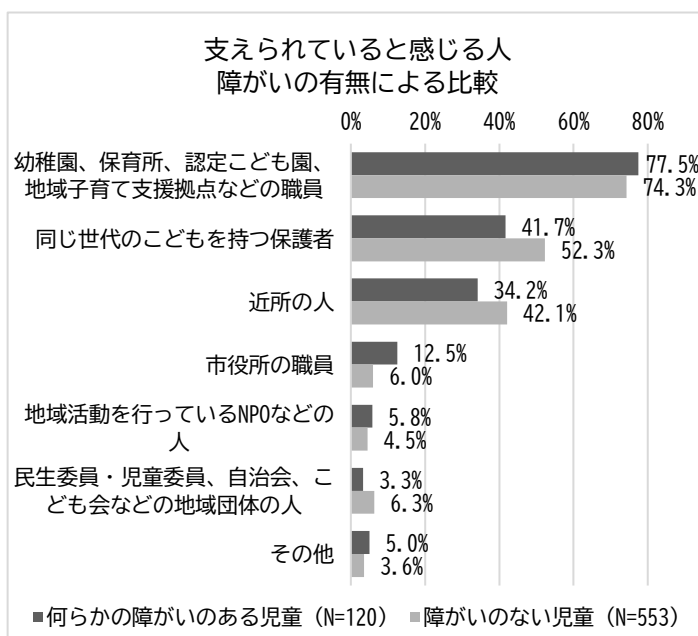
ひとり親以外と比較すると、「市役所の職員」が 15.5 ポイント、「近所の人」が 9.5 ポイント上回り、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 6.1 ポイント下回っています。



障がいの有無による比較

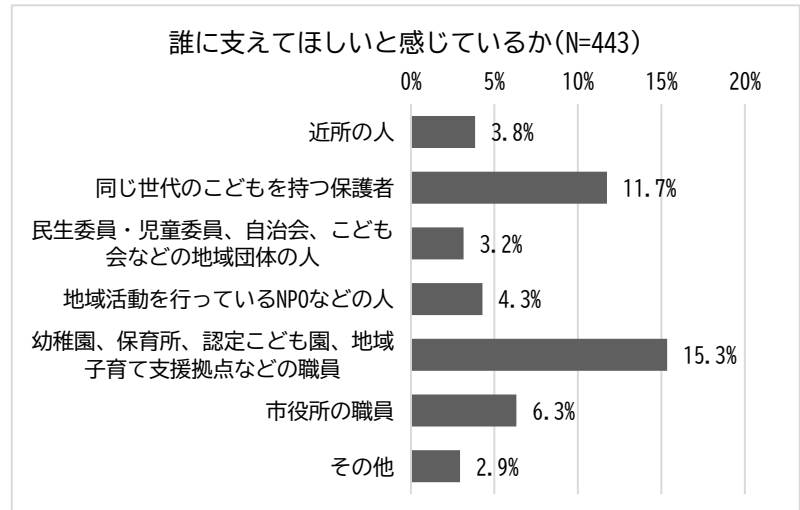
何らかの障がいのある児童は「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 77.5%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 41.7%、「近所の人」が 34.2%となっています。

障がいのない児童と比較すると、「市役所の職員」が 6.5 ポイント上回り、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が10.6 ポイント、「近所の人」が7.9 ポイント下回っています。



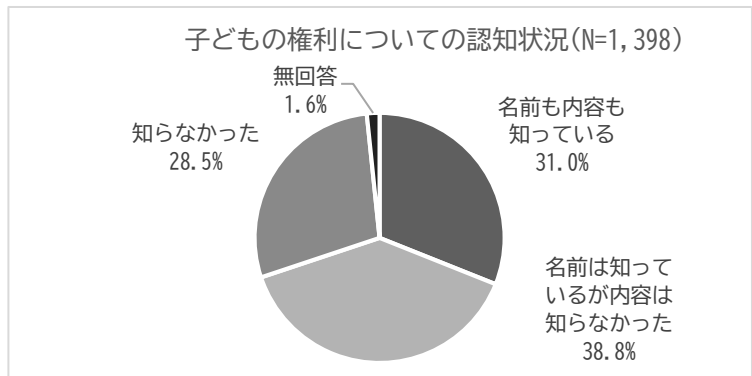
(2) 誰に支えてほしいと感じているか

「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が 15.3%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 11.7%、「市役所の職員」が 6.3%となっています。



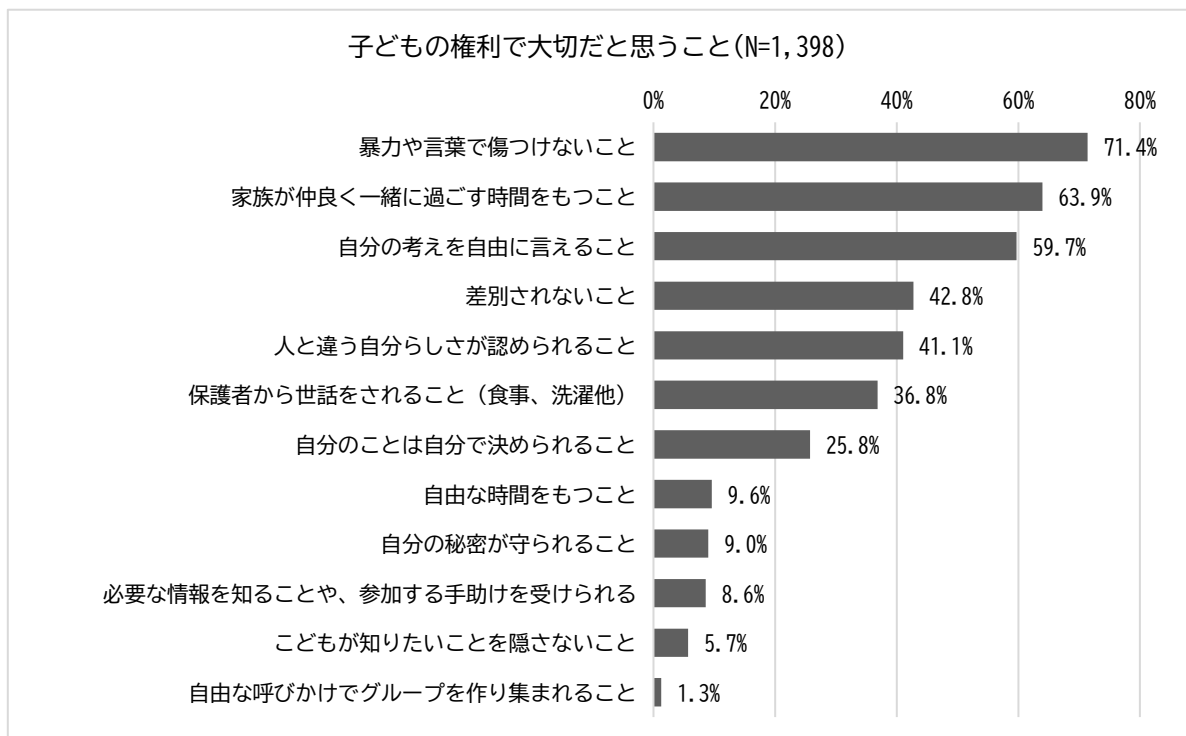
問 49 あなたは、『こどもの権利』を知っていますか。(1つだけ○)

「名前は知っているが内容は知らなかった」が 38.8%と最も多く、次いで「名前も内容も知っている」が 31.0%、「知らなかった」が 28.5%となっています。



問 50 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか(特に大切と思うもの 4 つまでに○)

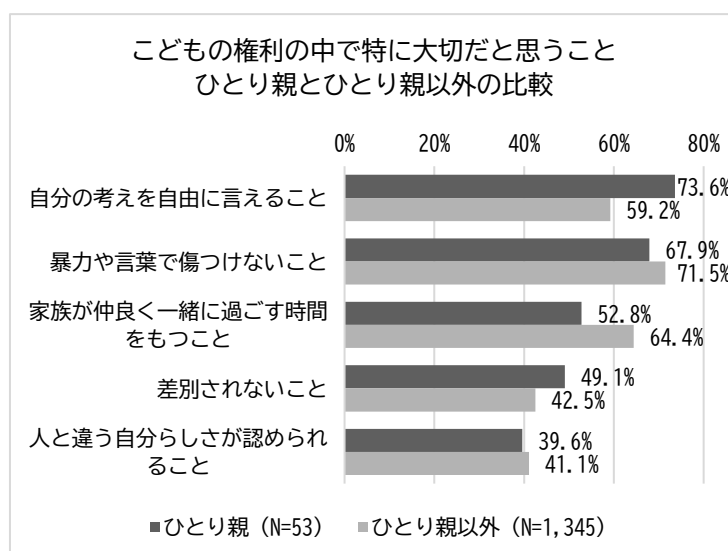
「暴力や言葉で傷つけないこと」が 71.4%と最も多く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間を持つこと」が 63.9%、「自分の考えを自由に言えること」が 59.7%となっています。



ひとり親とひとり親以外の比較

ひとり親は「自分の考えを自由に言えること」が73.6%と最も多く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」が67.9%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が52.8%となっています。

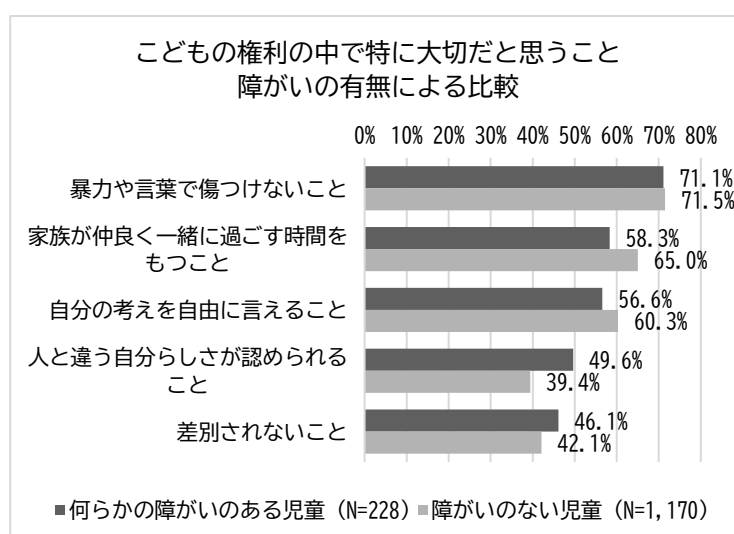
ひとり親以外と比較すると、「自分の考えを自由に言えること」が14.4ポイント上回り、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が11.6ポイント下回っています。



障がいの有無による比較

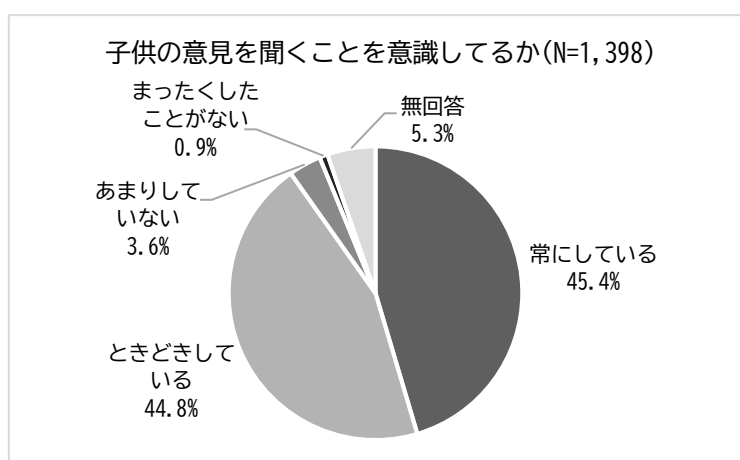
何らかの障がいがある児童は「暴力や言葉で傷つけないこと」が71.1%と最も多く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が58.3%、「自分の考えを自由に言えること」が56.6%となっています。

障がいのない児童と比較すると、「人と違う自分らしさが認められること」が10.2ポイント上回り、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が6.7ポイント下回っています。



問 51 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。(1つだけ○)

「常に行っている」が45.4%と最も多く、次いで「ときどきしている」が44.8%となっています。



14. 子育て環境や支援制度について

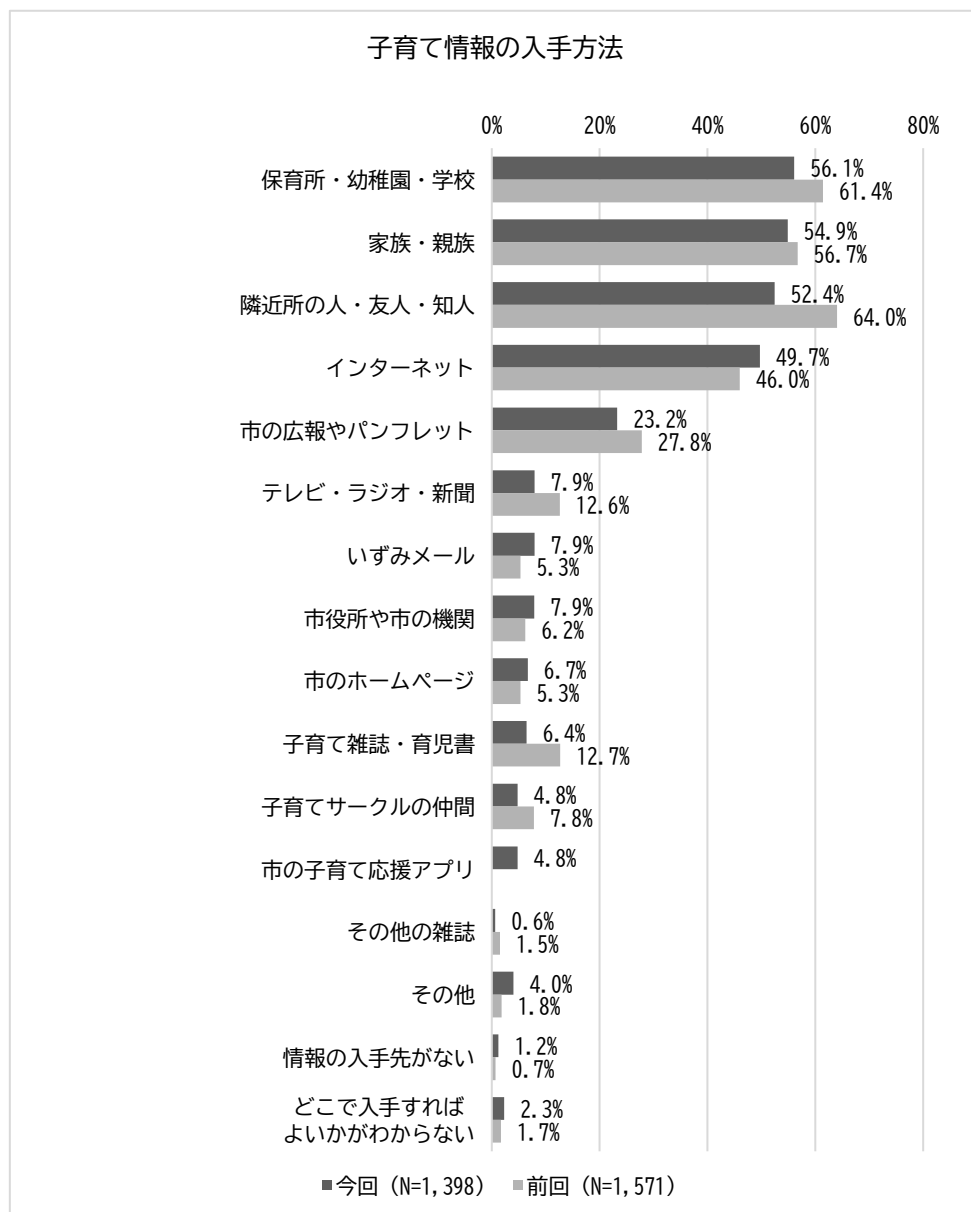
子育て環境や支援制度に関しておうかがいします。

問 52 子育てに関する情報の入手は、現在どのような方法で行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

「保育所・幼稚園・学校」が 56.1%と最も多く、次いで「家族・親族」が 54.9%、「隣近所の人・友人・知人」が 52.4%となっています。

前回と比較すると、「インターネット」が 3.7 ポイント増加し、「隣近所の人・友人・知人」が 11.6 ポイント減少しています。



相談相手の有無による比較

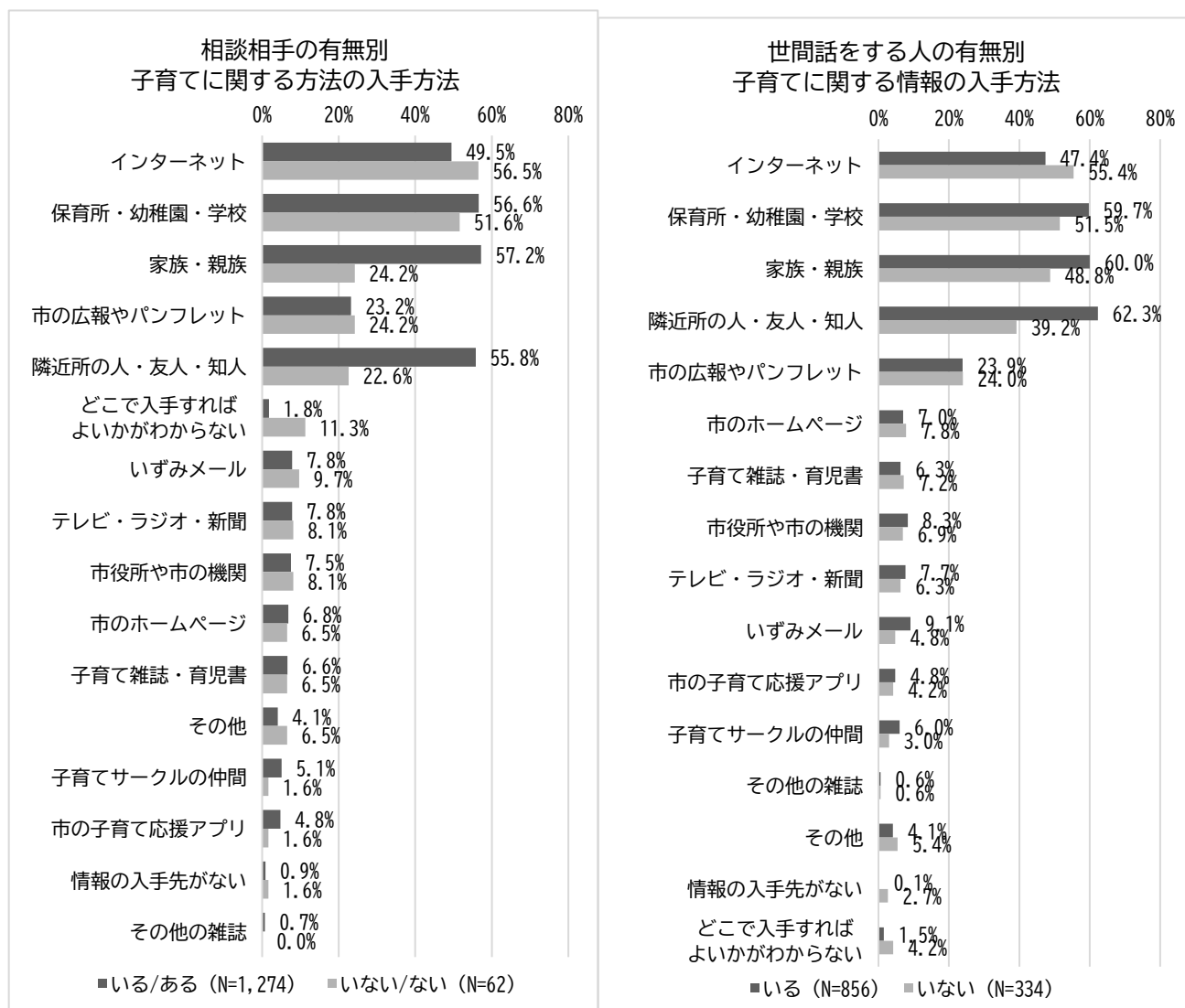
相談相手が「いない/ない」は「インターネット」が 56.5%と最も多く、次いで「保育所・幼稚園・学校」が 51.6%となっています。

相談相手が「いる/ある」と比較すると、「インターネット」が 7.0 ポイント上回り、「隣近所の人・友人・知人」が 33.2 ポイント、「家族・親族」が 33.0 ポイント下回っています。

世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いない」は「インターネット」が 55.4%と最も多く、次いで「保育所・幼稚園・学校」が 51.5%、「家族・親族」が 48.8%となっています。

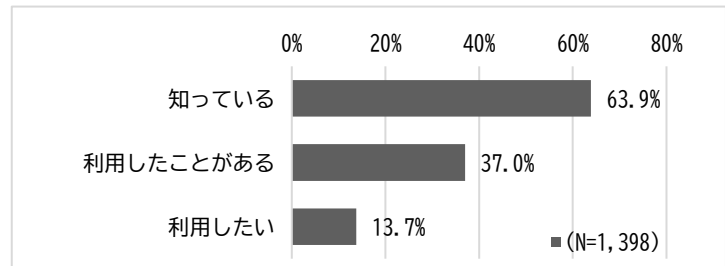
世間話をする人が「いる」と比較すると、「インターネット」が 8.0 ポイント上回り、「隣近所の人・友人・知人」が 23.1 ポイント、「家族・親族」が 11.2 ポイント、「保育所・幼稚園・学校」が 8.2 ポイント下回っています。



問 53 次の事業で①知っているもの、②これまでに利用したことがあるもの、③今後利用したいと思うものをそれぞれ お答えください。(あてはまるものすべてに○)

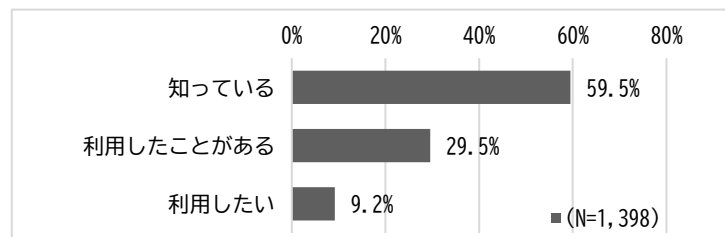
(1)育児教室、親子教室

「知っている」が 63.9%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 37.0%、「利用したい」が 13.7%となっています。



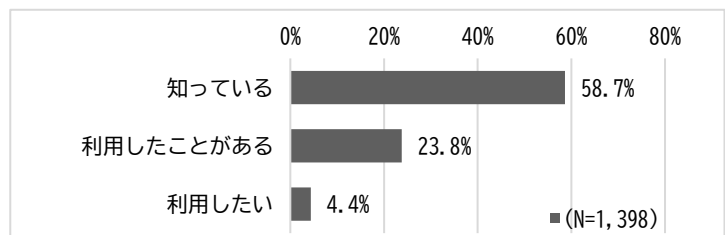
(2)保健センターの講習会や訪問、発達育児相談等の母子保健サービス

「知っている」が 59.5%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 29.5%、「利用したい」が 9.2%となっています。



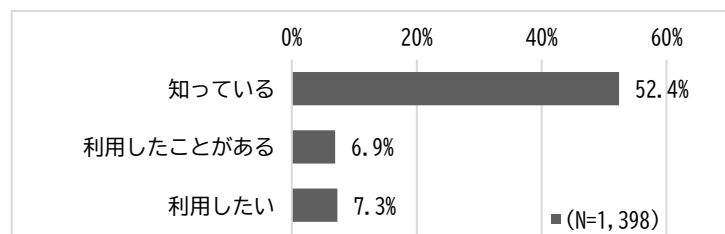
(3)保健センターの妊婦教室(両親教室)

「知っている」が 58.7%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 23.8%、「利用したい」が 4.4%となっています。



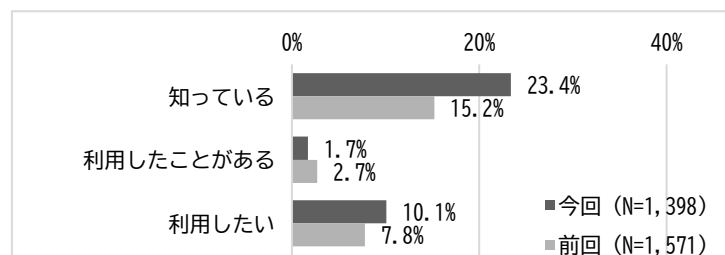
(4)産後ケア事業

「知っている」が 52.4%と最も多く、次いで「利用したい」が 7.3%、「利用したことがある」が 6.9%となっています。



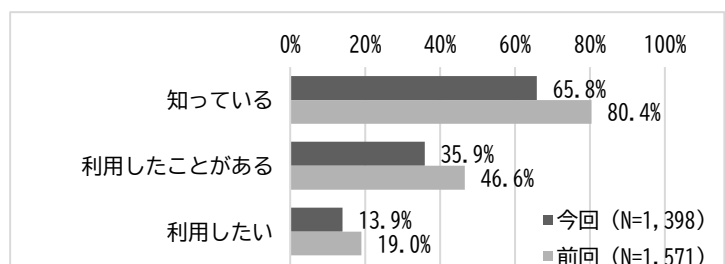
(5)家庭教育に関する学級・講座

「知っている」が 23.4%と最も多く、次いで「利用したい」が 10.1%、「利用したことがある」が 1.7%となっています。



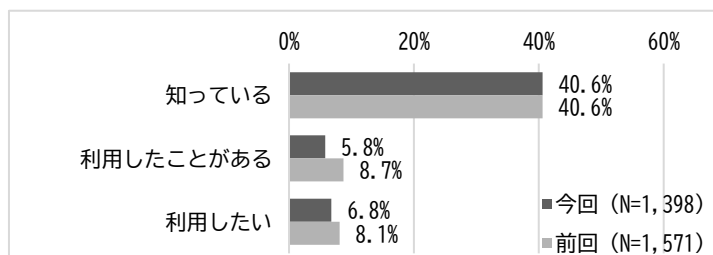
(6)保育所や幼稚園の園庭開放

「知っている」が 65.8%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 35.9%、「利用したい」が 13.9%となっています。



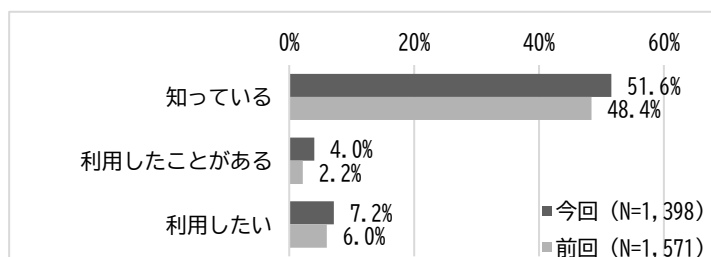
(7) 青少年センター

「知っている」が 40.6%と最も多く、次いで「利用したい」が 6.8%、「利用したことがある」が 5.8%となっています。



(8) 子育ての相談窓口

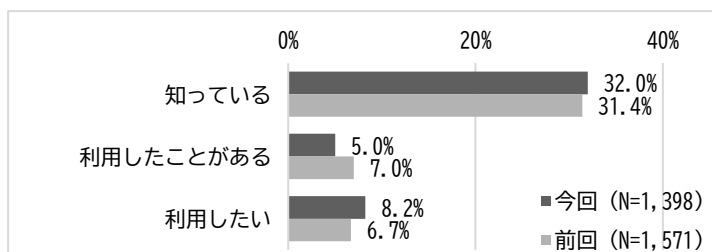
「知っている」が 51.6%と最も多く、次いで「利用したい」が 7.2%、「利用したことがある」が 4.0%となっています。



(9) 市が発行する子育て応援ガイドブック

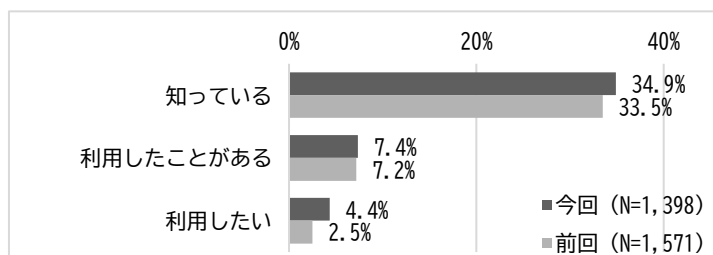
「知っている」が 32.0%と最も多く、次いで「利用したい」が 8.2%、「利用したことがある」が 5.0%となっています。

「利用したい」が 1.5 ポイント増加し、「利用したことがある」が 2.0 ポイント減少しています。



(10) 育児支援家庭訪問事業

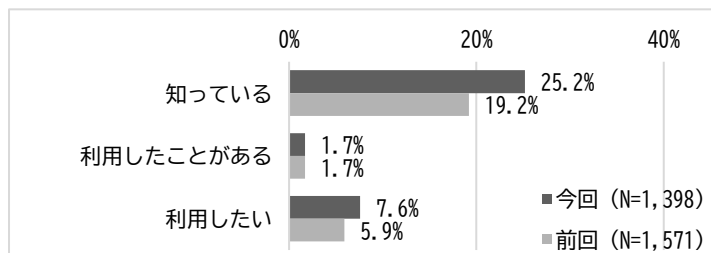
「知っている」が 34.9%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 7.4%、「利用したい」が 4.4%となっています。



(11) 教育相談

「知っている」が 25.2%と最も多く、次いで「利用したい」が 7.6%、「利用したことがある」が 1.7%となっています。

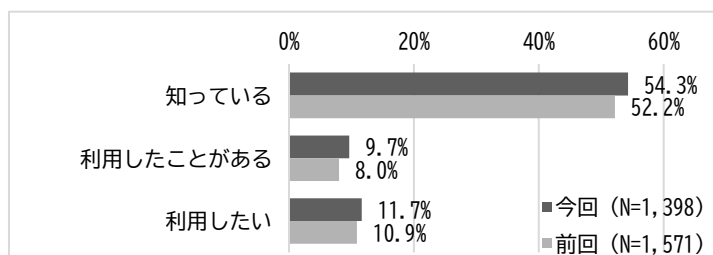
前回と比較すると、「知っている」が 6.0 ポイント増加しています。



(12) 一時預かり事業

「知っている」が 54.3%と最も多く、次いで「利用したい」が 11.7%、「利用したことがある」が 9.7%となっています。

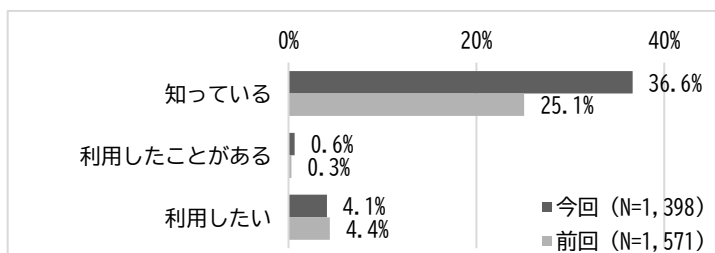
前回と比較すると、「知っている」が 2.1 ポイント増加しています。



(13)夜間保育事業

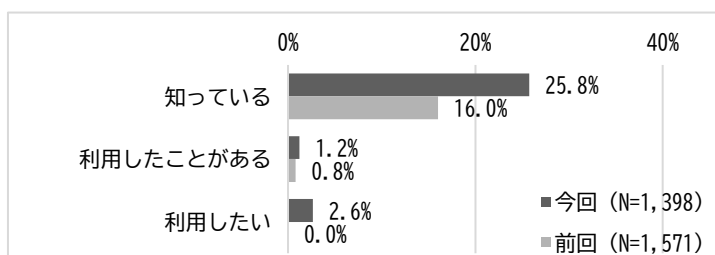
「知っている」が 36.6%と最も多く、次いで「利用したい」が4.1%、「利用したことがある」が0.6%となっています。

前回と比較すると、「知っている」が 11.5 ポイント増加しています。



(14)要支援児保育

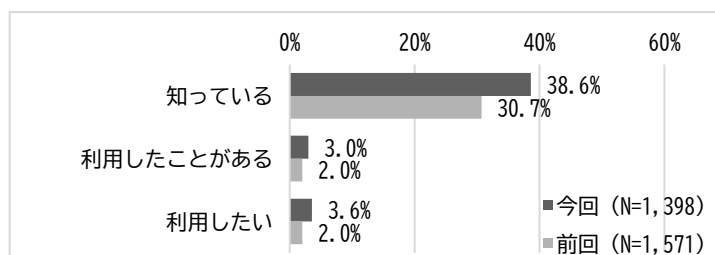
「知っている」が 25.8%と最も多く、次いで「利用したい」が 2.6%、「利用したことがある」が1.2%となっています。



(15)児童発達支援センター

「知っている」が 38.6%と最も多く、次いで「利用したい」が 3.6%、「利用したことがある」が3.0%となっています。

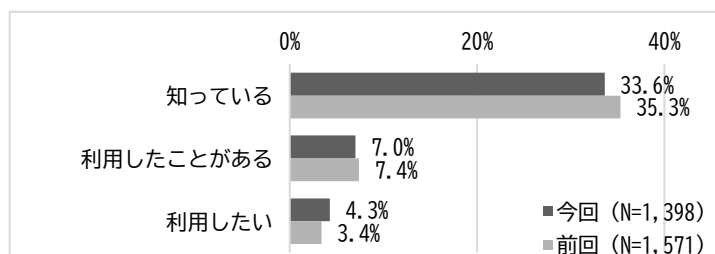
前回と比較すると、「知っている」が 7.9 ポイント増加しています。



(16)ふたば幼児教室

「知っている」が 33.6%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 7.0%、「利用したい」が4.3%となっています。

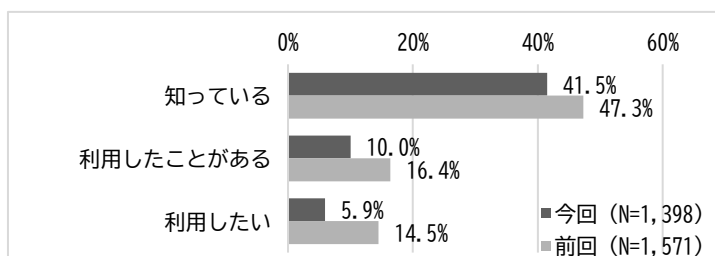
「利用したい」が 0.9 ポイントとわずかに増加し、「知っている」が 1.7 ポイント減少しています。



(17)子育てサークル

「知っている」が 41.5%と最も多く、次いで「利用したことがある」が10.0%、「利用したい」が5.9%となっています。

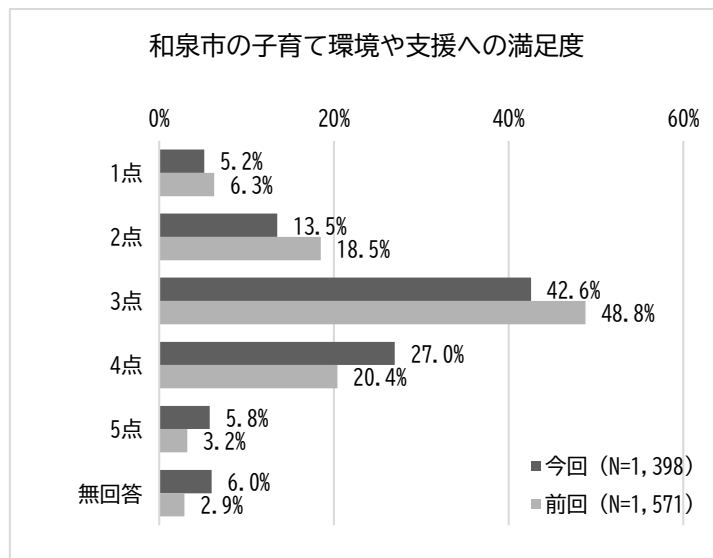
前回と比較すると、「利用したい」が 8.6 ポイント減少しています。



問 54 和泉市の子育て環境や支援への満足度は、5段階評価だと何点くらいですか。
(1つだけ○)

「3」が42.6%と最も多く、次いで「4」が20.7%、「2」が13.5%となっています。

前回と比較すると、「4点」が6.6ポイント増加し、「3点」が6.2ポイント減少しています。

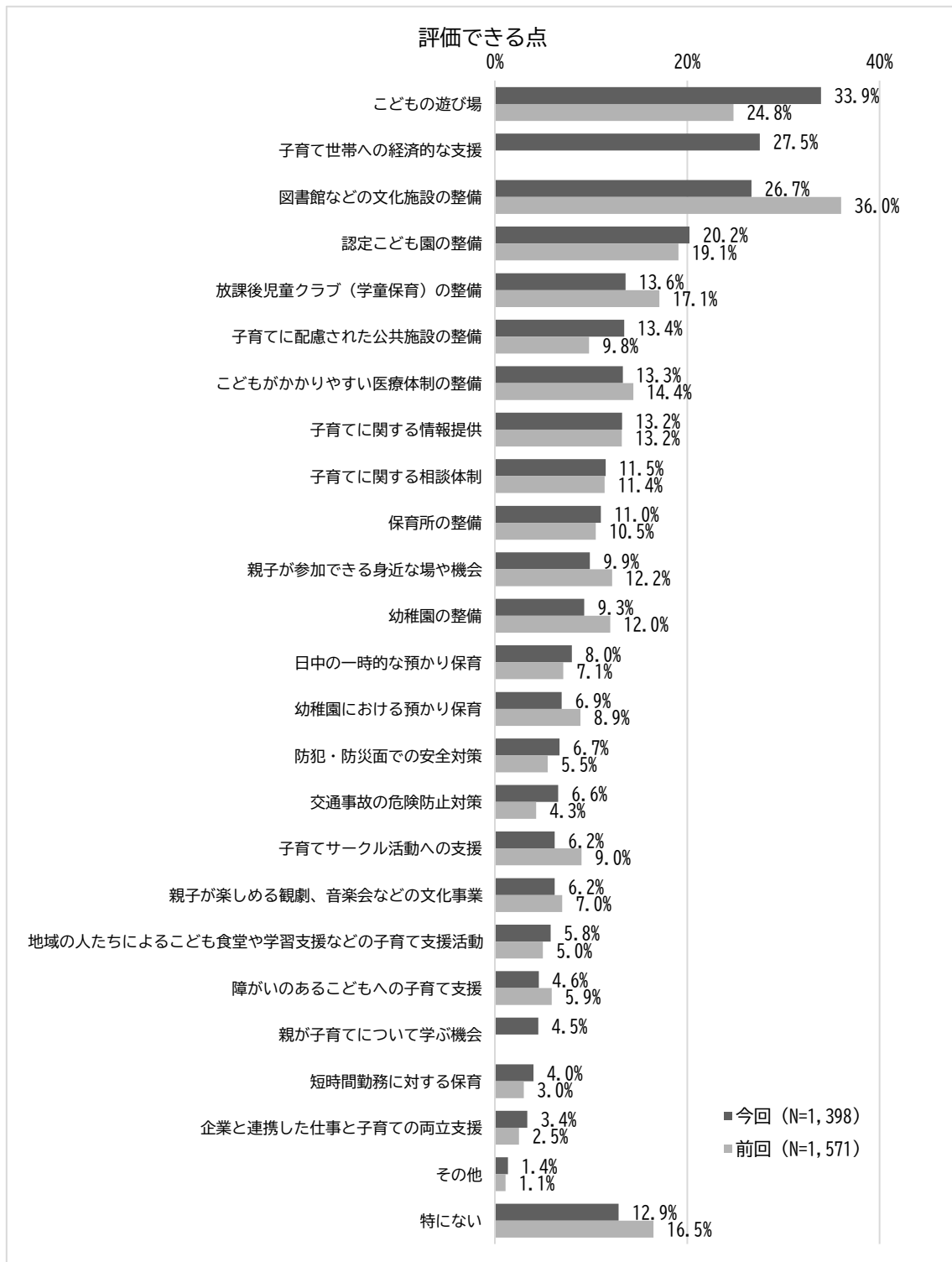


問 55 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。

(1) 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点(あてはまるものすべてに○)

「こどもの遊び場」が 33.9%と最も多く、次いで「子育て世帯への経済的な支援」が 27.5%、「図書館などの文化施設の整備」が 26.7%となっています。

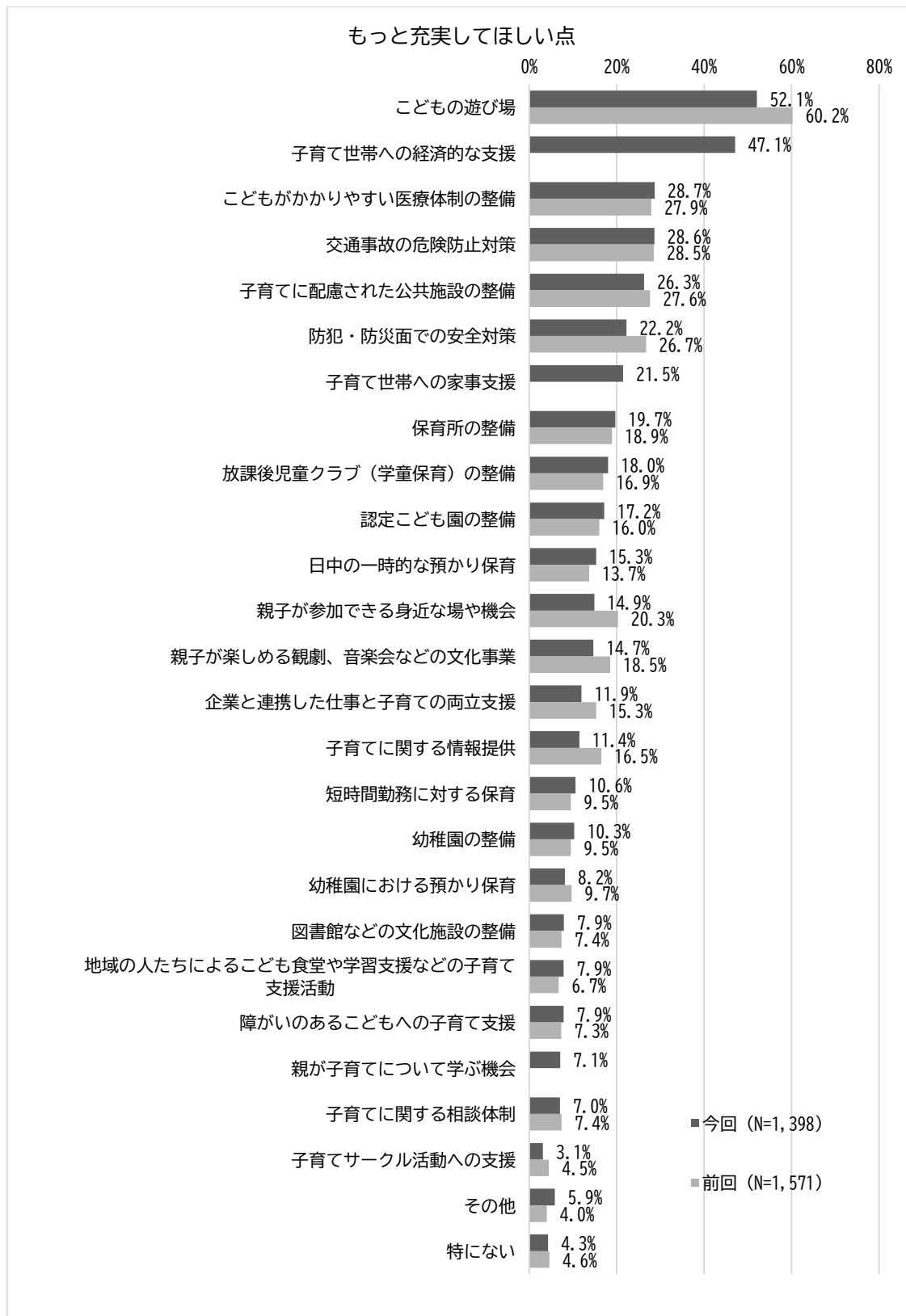
前回と比較すると、「子育て世帯への経済的な支援」が 27.5 ポイント増加し、「図書館などの文化施設の設備」が 9.3 ポイント減少しています。



(2) 和泉市の子育て環境や支援に関して、もっと充実してほしい点(あてはまるものすべてに○)

「こどもの遊び場」が 52.1%と最も多く、次いで「子育て世帯への経済的な支援」が 47.1%、「交通事故の危険防止対策」が 28.6%となっています。

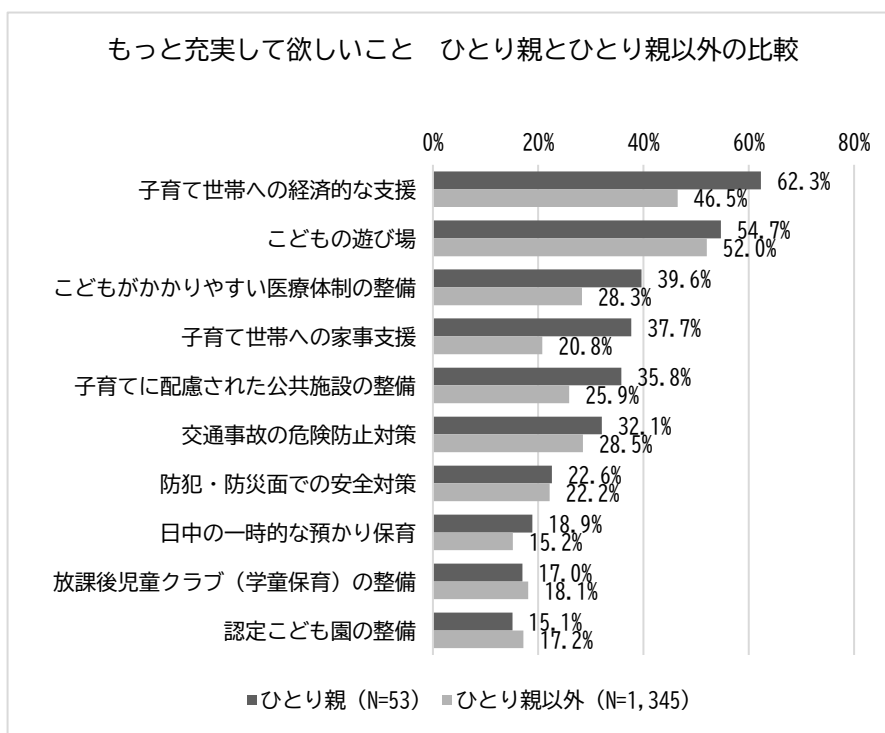
前回と比較すると、「子育て世帯への経済的な支援」が 47.1 ポイント増加し、「こどもの遊び場」が 8.1 ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外の比較

ひとり親は「子育て世帯への経済的な支援」が62.3%と最も多く、次いで「こどもの遊び場」が54.7%、「こどもがかかりやすい医療体制の整備」が39.6%となっています。

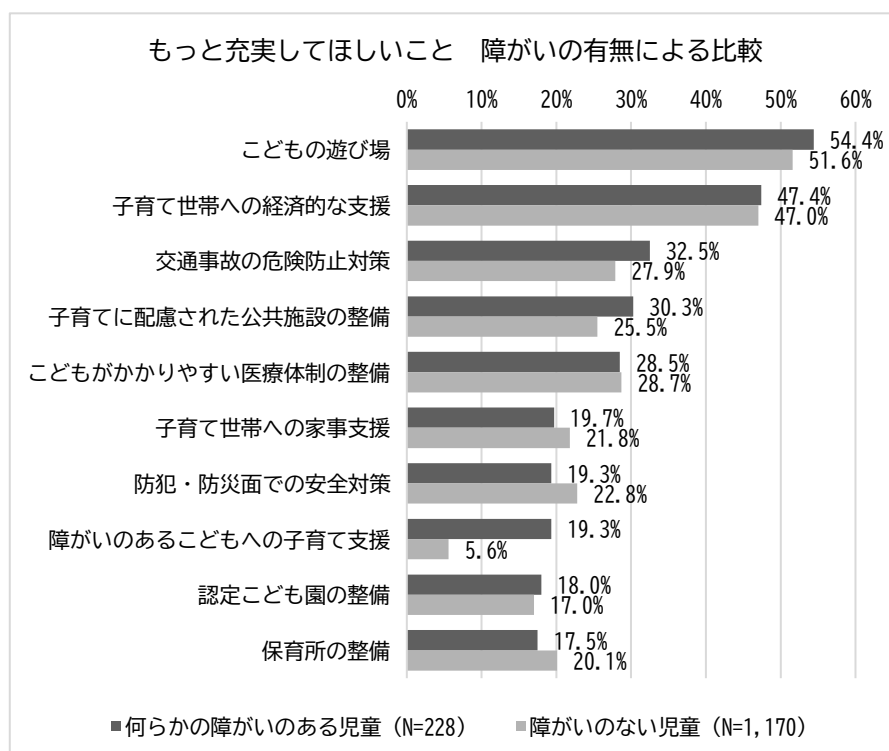
ひとり親以外との比較では「子育て世帯への家事支援」が16.9ポイント、「育て世帯への経済的な支援」が15.8ポイント、「こどもがかかりやすい医療体制の整備」が11.3ポイント上回っています。



障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童は「こどもの遊び場」が54.4%と最も多く、次いで「子育て世帯への経済的な支援」が47.4%、「交通事故の危険防止対策」が32.5%となっています。

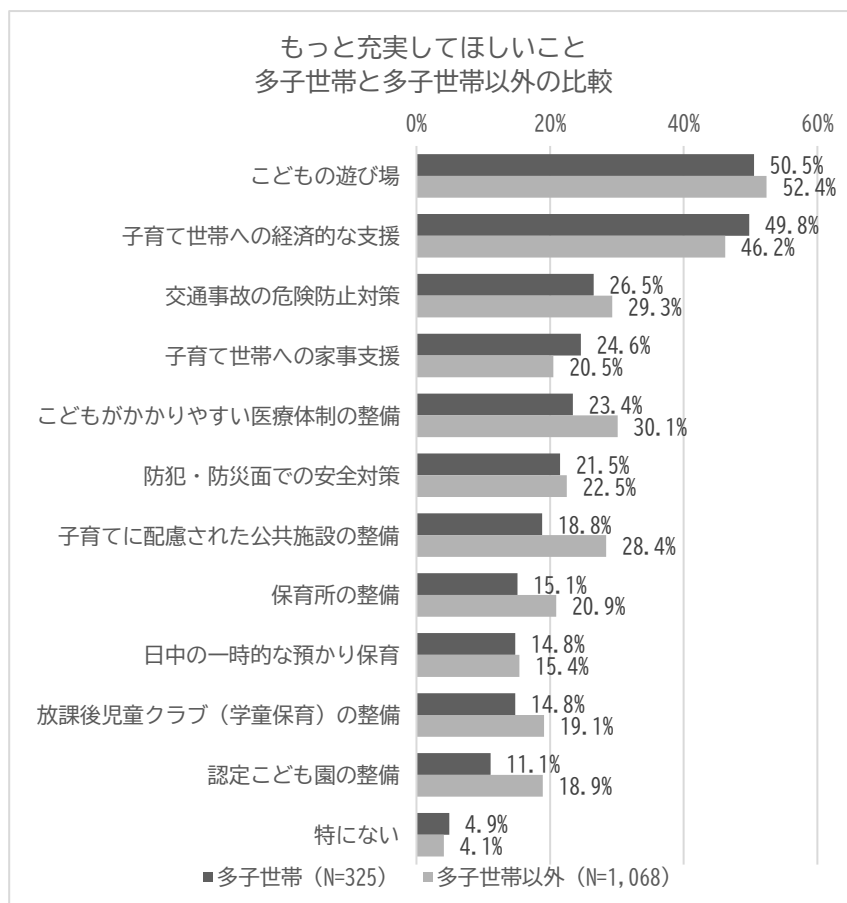
障がいの児童と比較すると、「障がいのあるこどもへの子育て支援」が13.7ポイント、「子育てに関する相談体制」が5.2ポイント、「短時間勤務に対する保育」が5.2ポイント上回っています



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「こどもの遊び場」が50.5%と最も多く、次いで「子育て世帯への経済的な支援」が49.8%、「交通事故の危険防止対策」が26.5%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「子育て世帯への家事支援」が4.1ポイント、「子育て世帯への経済的な支援」が3.6ポイント上回り、「子育てに配慮された公共施設の整備」が9.6ポイント、「認定こども園の整備」が7.8ポイント下回っています。



お子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についての意見

就学前のお子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についてたずねたところ、419 件のご意見をいただきました。項目の件数は以下のとおりです。

項目	件数
1 保育・教育サービスについて	60 件
2 こどもの健康について	7 件
3 こどもの安全の確保について	8 件
4 生活環境の整備について	19 件
5 学校や地域について	7 件
6 仕事と子育ての両立について	13 件
7 行政サービスの充実について	200 件
8 その他	105 件
	合計 419 件

項目ごとの主なご意見は以下のとおりです。

1 保育・教育サービスについて

①保育所(園)・幼稚園・こども園について

- 保育園・幼稚園・こども園の数を増やしてほしい。
- 兄弟で別々の保育園にならないように配慮してほしい。
- 入所人数の増加
- 長く待機してる人を優先的に入園させてほしい。
- パートでも保育園に入れるようにしてほしい。
- 希望する人がすぐに入れるように他市でもいいから広げてほしい。
- 待機児童で 1 年過ぎたら次年度は入所できるようにしてほしい。

②児童館について

- 利便性の良いところに無料で利用できる大きな児童館を作してほしい。

③病児保育について

- 病児保育を増やしてほしい。共働きの為、病気になったときの負担が大きい。
- フルタイムで働いているのでこどもの病気の時休めずに何度か病児保育を利用しましたが、市内で一つしかなく4名までと限りがあるので、もう少し病児・病後児保育をしてくれるような施設が増えてほしいなと思いました。
- 病児保育の可能な施設が時間、場所的に利用できないため仕事をやすまざるえない。そのため病児保育のできる施設をもう少し増加、時間も早くから行ってほしい。

④学童保育について

- 小学校の学童保育をもっと柔軟に利用できるようにしてほしい。

- 小学校の学童保育に関して、私自身春休みや夏休みなど。
- 学童のお迎えが車で行けないことが不便。
- 学童に今回入れることになりました(R6・4～)が入所基準が厳しすぎます。今回、小 1 カベでフルタイムパート→パートタイマーになりましたが、学童では求職中は使えないと知り、1～3 月にあわてて転職先を探すことになりました。せめて、求職中(3 ヶ月程で)でも使えるようにして欲しかったです。又、書類選考も時間なさすぎ(翌月～の利用に前月 1～10 日に書類提出とか無理すぎます)です。学童に入るのがムリすぎて働けないとか、子育て世代のことを全く考えられていません。
- 学童保育の設備と環境の向上、民間プログラムとの連携など(習い事)して、長期休暇でも飽きずに通える学童を目指してほしい。

⑤一時保育・一時預かりについて

- 一時預かりやベビーシッターなどをもっと気軽に頼めるようになればありがたい。(預けるまでの段取りが面倒だったり、予算面など)
- 一時あずかりがもう少し安くなってほしい。3000 円は高いと感じる。
- 公立と民間では一時預りのハードルが違うので同じ様にしてほしいです。
- 一時預かりが現在 AM9 時～PM5 時で料金が決まっているが、そんなに長く預けたいとは限らないので、1 時間いくらという数時間の預かりもしやすい料金設定にしてほしい。
- 一時保育を利用したいが、空き情報など事前に分かれば申し込みやすいと思います。又、LINEetcで申し込みできれば使いやすいなあと思います。(ぶらんこetcもLINE申し込みできたら嬉しいです)

2 こどもの健康について

①医療費の助成について

- 子ども医療費で毎回500円払っていますが、回数が増えると 250 円になることがあります。毎月通わないといけない皮ふの薬で必ずとられているので、風邪などで病院に行く場合は500円でいいですが、皮ふのぬり薬の場合、毎月の負担になるので、証明があれば通院の分は無料にしていきたいです。又、そんなことが可能な制度があるならもっと市からアピールしてほしい。

②こどもの健診や発達について

- 健診などの通知が来るのが遅い。せめて 2 ヶ月前くらいには届いてないと仕事の休みが取りにくい。毎回、1 ヶ月前くらいに届くけど 1 ヶ月前にはもう休み決まってるので又、日にち変えてもらわないといけないので手間がかかる。
- 4 歳半検診、5 歳半検診の設立。

③病院等について

- 身近な小児科の予約が取りづらい。
- 病気にかかった時の不安が大きすぎる。年末年始、土日など、受け入れてくれる病院を作るべき。総合医療も小児科、いつでも受け入れてもらわないと不安になる。学童の先生の評判が悪すぎる。もめていることが多い。SNS にのせられることが多い。安心して働くことができないと思う。
- 子どものケガのとき、子を見てくれる外科がなかった。病院がなくて、岸和田とか堺まで行かないといけない、つらいです。毎回タクシーつかいしますが、4000円片道かかってつらい。近くの小児科も3/31

で辞めてしまい、きがるに相談できず、こまっています…。少しのケガや熱のとき、きがるに受診できるクリニックがちかくにあればと思います…。小児科は全然みてくれずこまっています。

3 こどもの安全の確保について

①通学路について

- 小学校、中学校、の校区が広すぎる。登下校に往復1時間以上かけて通わないといけない。こどもたちだけで通すのに道も狭く歩道が小さい。どうにかしてほしい。
- 家の周辺(万町)は車道のみで、こどもが安全に周辺施設まで歩けない道路状況です。ハード面での整備も期待しています。
- こどもの通学、通園路の整備がもう少し整うとうれしいです。自転車専用レーンがあっても横を自転車が通ると、やはり危なく感じてしまいます。サイクリングロードにも柵があると安心だなと思います
- 小学校が遠くて通学時間が長いため、今後共働きを続けていくとなると、こどもの安全面が心配です。遠方の家庭にはバス通学等のサポートや学童支援を充実してくれると助かります。

4 生活環境の整備について

①公園等について

- 和泉市の海側にもっとこどもが遊べる場所がほしいです。休みの日は堺や泉佐野の方に行かないと遊べる所がありません。
- 乳幼児があそべる場所が増えると嬉しいです。
- 毎年の猛暑で外で遊ばせられないとき、室内で活動できる(自由にできりできる)場所があればうれしいです。
- 公園の遊具をもう少し増やしてほしい。
- 公園があつたらいいなと感じる(小さくてもいいし、あまり遊具が無くても OK)こども(小学生)が歩いていけるところで。
- 富秋町に公園が少ないので遊具もある公園が近くにあればいいなと思います。おむつを捨てるためゴミ袋をもう少し頂けると嬉しいです。

②歩道等について

- 北松尾校区に住んでいますが、歩道の整備など安全面が気になります。経済面からは、これからどのくらい教育費がかかるのかが不安です。
- 歩道が狭い場所や見通しの悪い道がまだまだ多いです。こども達が安全に過ごせる街に少しでも近づけばいいなと思います。

5 学校や地域について

①学校・教育について

- 地域の小学校の質をあげてほしい。先生たちの質ではなく各家庭の子の環境だと言うことは充分理解しているつもりだがルールを守れない子ども達に先生たちのエネルギーをついやしてほしい。
- 小学校、中学校校舎が古くて、汚い。市役所のように新しくして、きれいで整った学びの場に子どもを通わせたい。
- 春休みなどの長期休みの時に、幼稚園や小学校の校庭を開放して下されば、ボール遊びなどのびのび遊べるのになあと、いつも思っています。(公園はあまりボールで思いきり遊べないため)
- 習い事などの送迎サービス、子どもが徒歩圏内で通える習い事の提供(塾、体操等)

6 仕事の子育ての両立について

- 夜勤に入りたいが、夜間の病児保育がないため入れず経済的に苦しい。
- 近所の方は待機児童になってしまっていて働くことができていないと言っております。預け先がないと仕事もできないので保育士さんの数が増えて、もっと就労条件など緩和していただけたらと思っているところです。
- 働きたくても幼稚園など2号3号が少なすぎて、点数が足らず入園できないなど、働きたくても働けません。どうかしてください。
- 職場への妊娠中、子育て中の勤務状況把握してもらいたい。妊娠、子育てしてない人も不公平がなくなる事。夜勤は強制、拒否できないのが現実。

7 行政サービスの充実について

①負担の軽減

- 保育料の無償化、オムツ等子育て用品の支給、給付金など。VISA カード等ではなく現金支給。
- こども園に預けるにあたり、子の体調不良で有休がなくなり休みづらい日も多かったので、保護者のその点のサポートがあればと思います。
- 大阪市は48時間／月以上で新2号認定がとれる。和泉市もそうしてほしいです。新2号のあずかり保育の補助、一日でなく一月での補助額にしてくれると分かりやすいと思いました。
- 習い事の月謝の支援してください。教科と追加したくても高くてもできません。
- 給食費、無償化があると助かります。
- おむつのゴミ袋の配布は助かりました。お米クーポンも良かったです。金銭的な支援が結局1番うれしいです。

②情報提供

- 一時預かりについての利用方法・料金・保育様子など利用したいと思えるような情報提供をして頂けると嬉しいです。
- 保活わかりやすくスムーズになるようなパンフレットがあったら嬉しい。各保育園の保育料や雑費特徴諸々が全部載ってる本。
- こども園や幼稚園の障がい児の受け入れ状況が分からないので、それが分かるとうれしい。実績や現受け入れ状況、どの程度なら受け入れ出来るか、一覧出来る表、どこに相談すれば分かるかを一括してほしいです。

- 子育て支援に関する情報を、もっと積極的に発信してほしいです。妊娠時のプレパパママ教室以外にも、妊婦が参加できるものがほしかったです。(マタニティヨガなど)出産、子育てに関するサービス等が、ひと目でわかるようなサイトや冊子があればいいと思います。
- 障がい児の場合の進学情報が、タイムリーにメールなどで届くサポートが必要。タイミングによっては、希望する進学ができない可能性があります。また、医療ケアなどをしていると積極的に情報を取りに行けないため、行政などから情報をプッシュしてもらえると助かります。
- 支援センターなどのチラシで子育てに関する情報(支援制度やイベントなど)を知ることが多いが、包括的にネットで情報公開して頂けるととても助かります。
- 習い事などの情報がほしいと思います。

③行政サービスの充実について

- 産後うつの方はチャットやメールで、匿名にて気軽に相談できるサービスがほしいと思った。
- 育休中はエンゼルハウスを毎日のように利用させて頂いてスタッフの方にもよく相談させて頂いていました。仕事に復帰してからは中々時間を確保するのが難しく、忙しい働くママでも利用しやすいチャットやライン等での相談窓口があればいいなと思いました。
- 大型連休の際にも仕事で夫婦共に休みが取りづらい。祝日に利用できる保育の場をもっと増やしてほしい。
- 保育園に入園希望する家庭により多くの窓口をひらいてほしいです。両親、フルタイムなどポイント制度になると入れない人たちがいるので、仕組みを改善してほしいです。
- LINE やメールで気軽にやりとりできるツール(ちょっとした子育て相談など)→電話は時間が限られるし、電話するまでもないかなと思っている。子育てコンシェルジュ的なサポート。保育園えらびとか限定的なものではなく、0才~18才まで、各年代に応じてサポートがあればうれしい。
- 障がいを持つ児のサポート施設が不足していると感じる。高齢者施設などが多いのにこどものための施設、サポートが少ないのではないかな。妊婦や未就学児を連れている親に対しての配慮があまり感じられない。
- 予約なしで、いつでも、誰でも、無料で利用できるこどもの遊び場(子育て広場)のようなところを作してほしいです。
- 急な時に預かってくれるところをすぐ見つけるところができるアプリ的なもの。
- 子育てに関するカウンセリングを受けたい。話を聞いてもらえるサービスをもっと充実させてほしい。
- 親族が近くにいない子育て家庭もあると思うので、時間外でも市役所の手続きが行える機会があれば、仕事の有給を使わなくても済むので、便利になるなと思います。

④講座やイベントについて

- もっと子育てサークルを充実させて、子育てのイベント、行事ごとをにぎやかにしてほしい。
- 年齢別に参加出来る親子教室等があれば、チラシ等で投函して頂けると嬉しいです。平日は仕事で中々行けないので、土曜日に例えば園庭開放をして頂けると、参加しやすいなあとと思います。
- 小学校や中学校の校区ごとに集まれる機会があれば長いお付き合いの家族さんが増えて住みやすくなるのではないかと思います。

8 その他

①アンケートについて

- 今回、4月1日に郵送されてきましたが、子育てをするご家庭も、入園、進級準備等で大変な時期だと思います。我が家も共働きで年度末年始は忙しく異動も重なったため、こちらのアンケートにはかなりプレッシャーを感じました。年度はじめはこどもも環境が変わるためなおさらです。少し落ち着いた時期にアンケート期限もゆったりと設けて実施されていかがでしょうか。またはもっとテーマを絞り分割してアンケートを実施し、5分程度で気軽に回答できるように工夫をすると、拾い上げるべく声が聞こえるようになるのではないのでしょうか。今後ともよろしくお願いいたします。
- もうちょっとしっかりアンケートをつくって下さい。アンケートのつくり方を勉強して下さい。モレが多すぎます。あと、答えるのに1時間もかかる上に質問がわかりにくいアンケートをランダムで負担させるのは平等の観点からも、子育てしている人間の時間のなさへの理解のなさの観点からおかしいと思う。やることが一方的すぎませんか？今度やるときは、もうちょっと考えて下さい。これだけ質問したからには、今後の市政に活かして下さいね。聞いておわるだけなんて許しませんよ。あと、このアンケート用紙をみて、「うわ、へんなやつおる」とか笑って話をするのもやめて下さい。私は貴重な1時間を使って真剣に解答しました。☆コンサル会社を使っているということは、この声は市の方々にとどかないのでしょうか？コンサル会社なんか使わずに真剣に市民の声をきいたらどうですか？☆もしこのアンケートの質問の内容を考えたのがコンサルの人なら、言いたいことがあります。「プロの仕事をして下さい」☆正直、アンケートの不備が多すぎて、このアンケートを基に市政を考えるのはムリがあります。市民の本当の状況や意向はくみとれないアンケートだと思います。心配です。
- この調査で良くなるのかと、家庭によってちがうので。
- アンケートも LINE で簡単にできるようにしてほしいです。

②その他、混合した意見

- 保育園等に行くと、子育て支援等が受けられないイメージがある。
- 定期的な聞き取り。
- 無駄な町会を無くす。
- サービスを受ける人だけでなく、サービスを提供してくださる方の環境も整備されることを望みます。
- 夫、父親側の職場がもっと理解するべきだと思います。家事はほぼ女性、育児も女性、そして仕事もあり、不平等を感じます。男性も女性も同じ位の家事、育児の負担量になることを願います。
- 役所の方も申し訳ないですが、あたり外れがあり、昔に比べると底上げはされていますが、外れの場合の絶望感は半端ない。我々もたくさん知識をつけて和泉市全体が良くなればいいと思います。
- 市役所の職員の方が少し対応が怖い(対応が雑に感じる)。なので、もう少し話を聞いて優しくしてほしい。悩んでいる事や困っている事を聞きづらい。

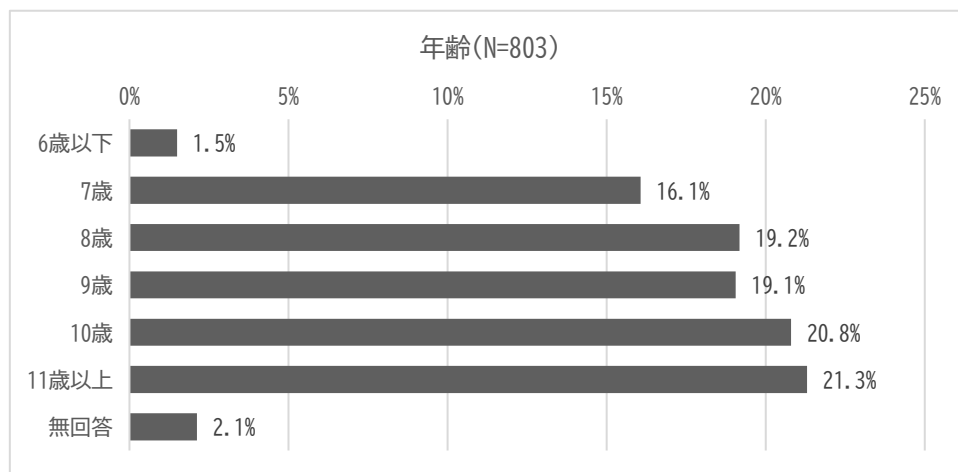
Ⅲ. 調査結果(就学児童)

1. こどもとご家族の状況について

あて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。

問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

「11歳以上」が21.3%で最も多く、次いで「10歳」が20.8%、「8歳」が19.2%、「9歳」が19.1%となっています。



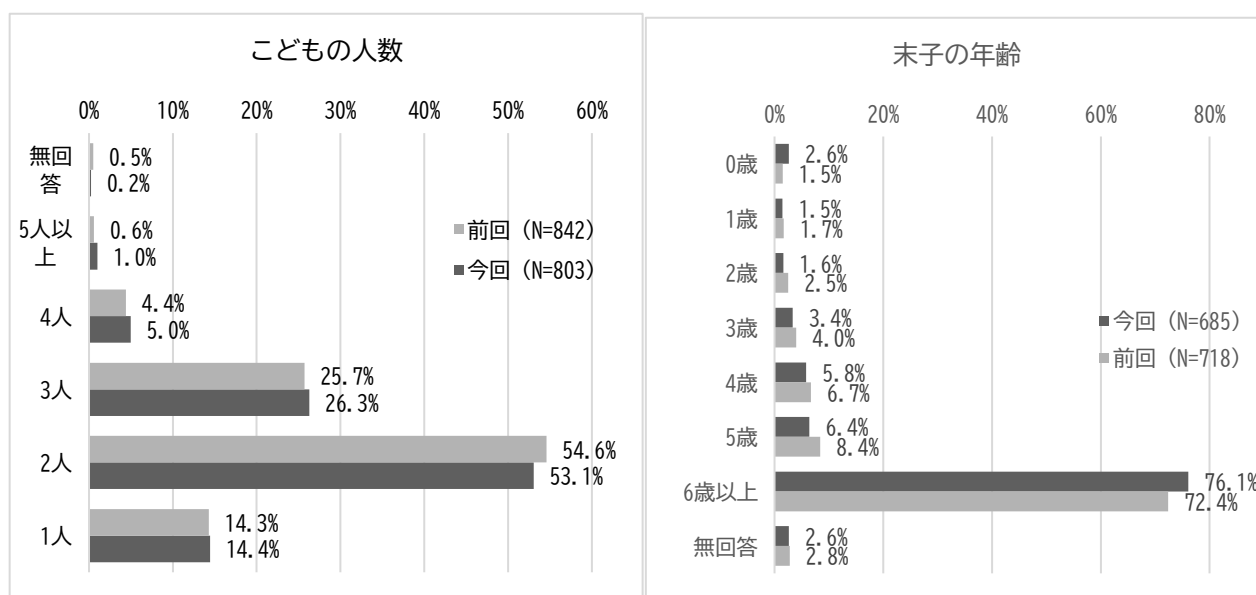
問2 お子さんの人数は何人ですか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

「2人」が53.1%と最も多く、次いで「3人」が26.3%、「1人」が14.4%となっています。

前回と比較すると、「3人」が0.6ポイントとわずかに増加し、「2人」が1.5ポイント減少しています。

また、末子の年齢は「7歳」が19.1%と最も多くなっています。

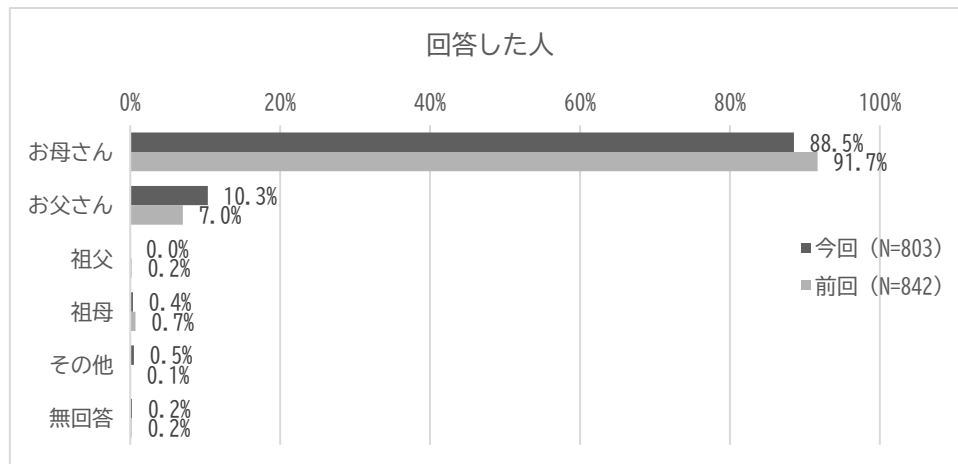
前回と比較すると、「6歳以上」が3.7ポイント増加しています。



問3 あて名のお子さんから見て、この調査にご回答いただく方はどなたですか。(1つだけ○)

「お母さん」が88.5%と最も多く、次いで「お父さん」が10.3%となっています。

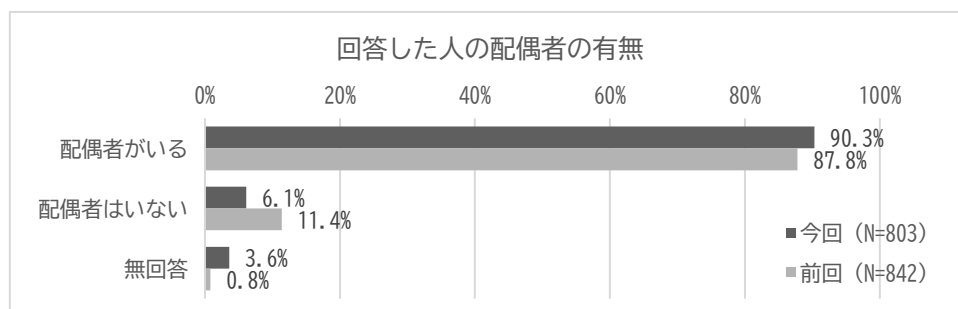
前回と比較すると、「お父さん」が3.3ポイント増加し、「お母さん」が3.2ポイント減少しています。



問4 この調査にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つだけ○)

「配偶者がいる」が90.3%、「配偶者はいない」が6.1%となっています。

前回と比較すると、「配偶者がいる」が2.5ポイント増加し、「配偶者はいない」が5.3ポイント減少しています。

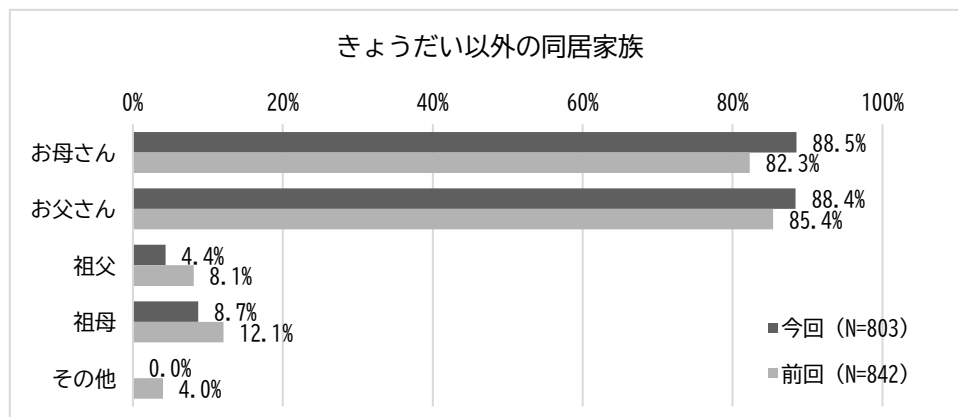


問5 あて名のお子さんから見て、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

「お母さん」が88.5%と最も多く、次いで「お父さん」が88.4%、「祖母」が8.7%となっています。

前回と比較すると、「お母さん」が6.2ポイント増加しています。

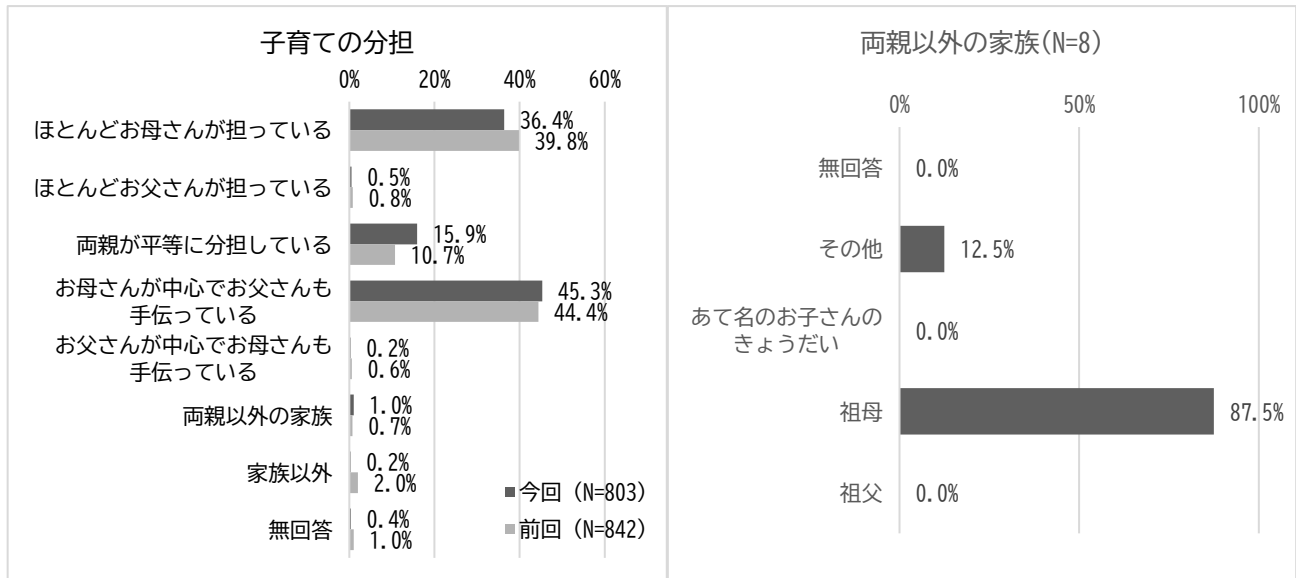


問6 あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。「6.両親以外の家族」を選択する場合は、()内の該当するものに○をしてください。「その他」「家族以外」の場合は、具体的にお答えください。(1つだけ○)

「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」が 45.3%と最も多く、次いで「ほとんどお母さんが担っている」が 36.4%、「両親が平等に分担している」が 15.9%となっています。

前回と比較すると、「両親が平等に分担している」が 5.2ポイント増加し、「ほとんどお母さんが担っている」が 3.4ポイント減少しています。

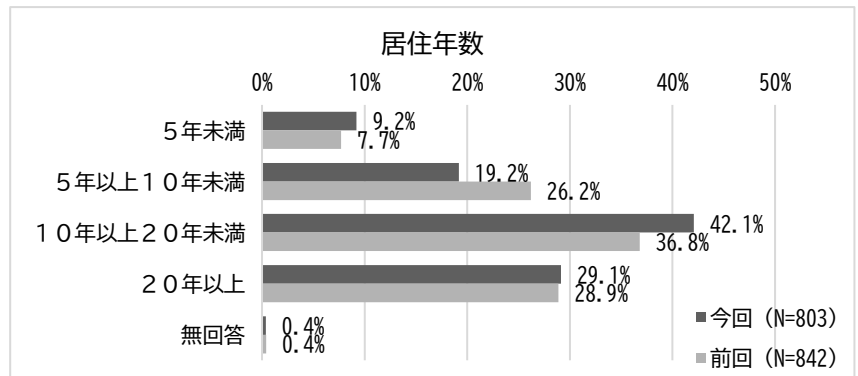
「両親以外の家族」は、「祖母」が 87.5%と最も多くなっています。



問7 あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。(1つだけ○)

「10 年以上 20 年未満」が 42.1%と最も多く、次いで「20 年以上」の割合 29.1%、「5年以上 10 年未満」が 19.2%となっています。

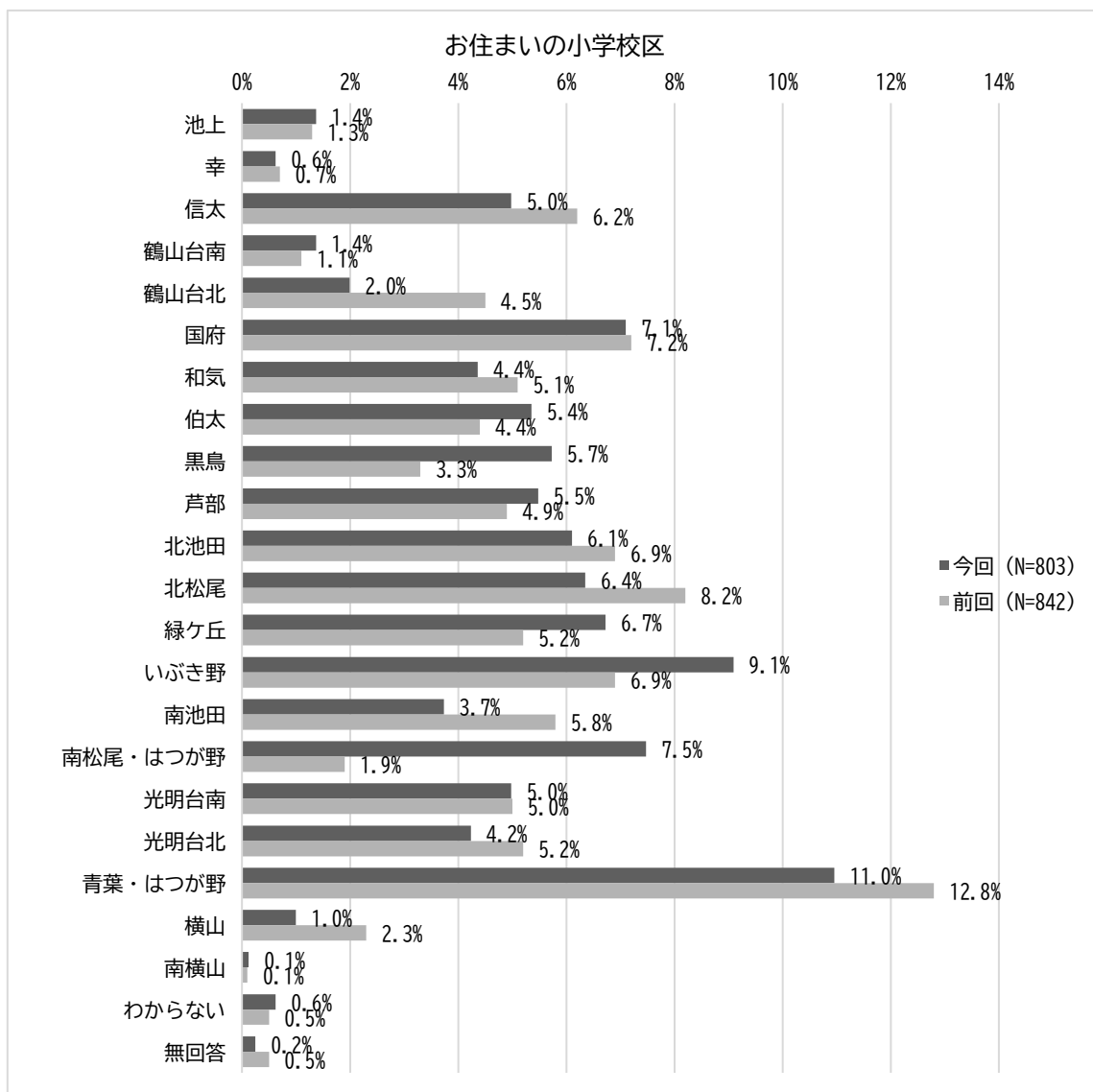
前回と比較すると、「10 年以上 20 年未満」が 5.3 ポイント増加し、「5年以上 10 年未満」が 7.0 ポイント減少しています。



問8 お住いの小学校区はどこですか。わからない場合は「22. わからない」に町名をご記入ください。(1つだけ○)

「青葉・はつが野」が 11.0%と最も多く、次いで「いぶき野」が 9.1%、「南松尾・はつが野」が 7.5%となっています。

前回と比較すると、「南松尾・はつが野」が 5.6 ポイント増加し、「青葉・はつが野」が 1.8 ポイント減少しています。



2. こどもの保護者の就労状況について

あて名のお子さんのお母さん、お父さんの就労状況についておうかがいします。

問9 お母さん、お父さんの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をおうかがいします。

お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。(1つだけ○)

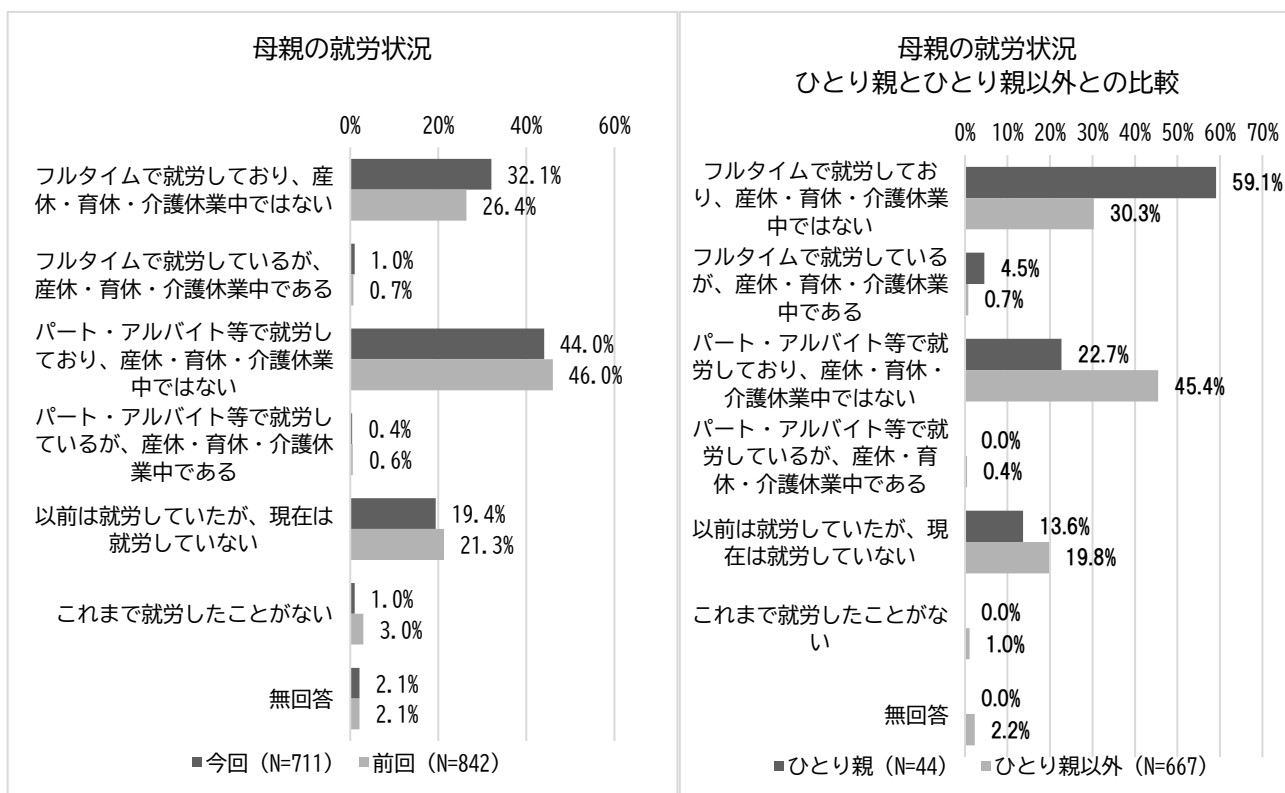
(1)母親

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 44.0%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 32.1%となっています。

前回と比較すると「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が高くなっています。

ひとり親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 59.1%と最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 22.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 13.6%となっています。

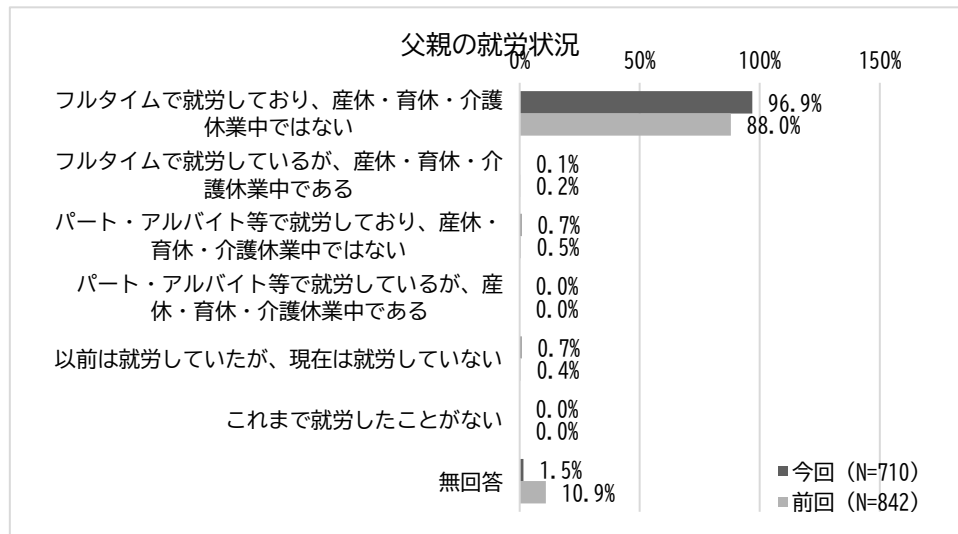
ひとり親以外と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 28.8 ポイント上回り、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 22.7 ポイント、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 6.2 ポイント下回っています。



(2)父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.9%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が8.9ポイント増加しています。



問 10 問9で「1～4」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。

就労日数・時間等(休業中の方は、休業に入る前の状況)をお答え下さい。

時間は24時間制でお答えください。

(1)母親

1週あたりの就労日数

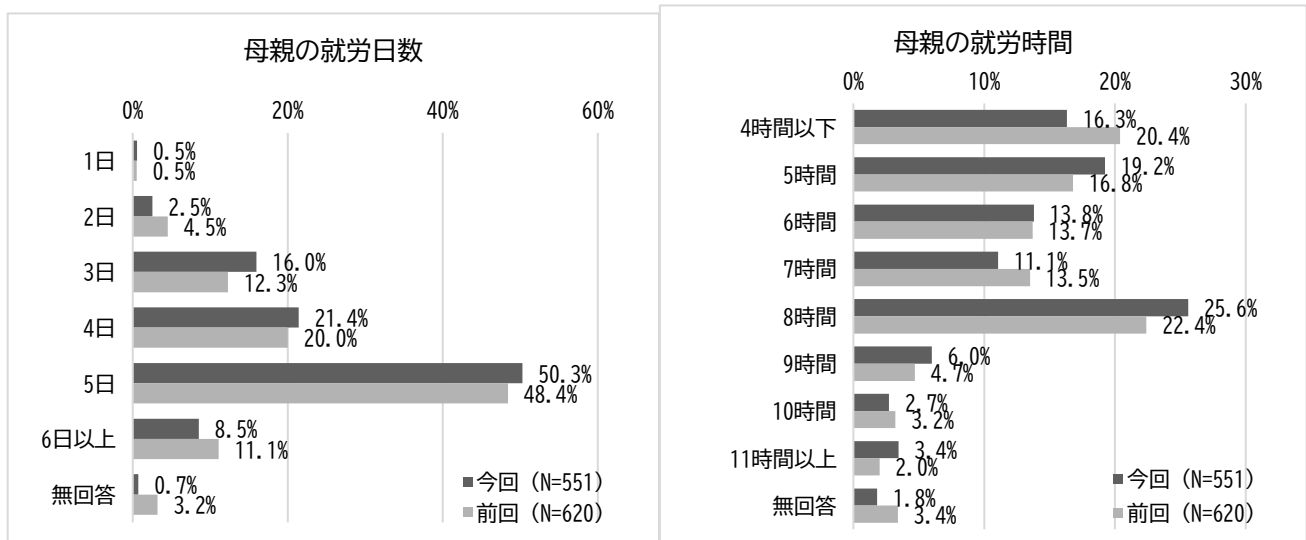
「5日」が50.3%と最も多く、次いで「4日」が21.4%、「3日」が16.0%となっています。

前回と比較すると、「3日」が3.7ポイント増加し、「2日」が2.0ポイント減少しています。

日あたりの就労時間

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が25.6%と最も多く、次いで「5時間」が19.2%、「4時間以下」が16.3%となっています。

前回と比較すると、「8時間」が3.2ポイント増加し、「4時間以下」が4.1ポイント減少しています。



家を出る時刻

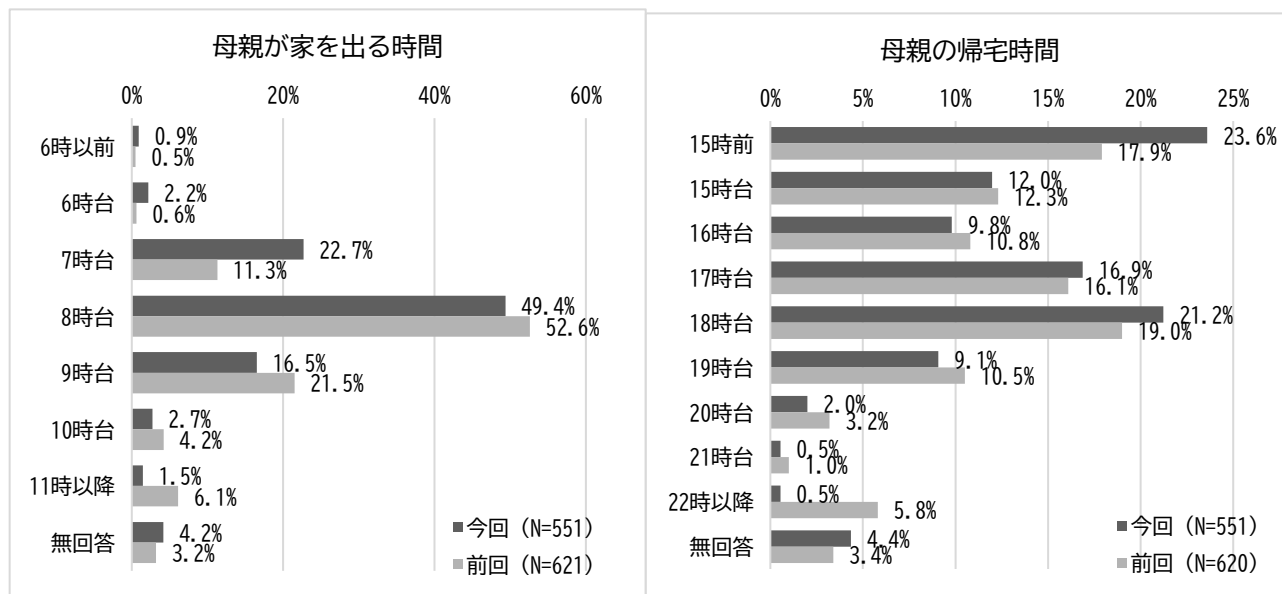
「8時台」が49.4%と最も多く、次いで「7時台」が22.7%、「9時台」が16.5%となっています。

前回と比較すると、「7時台」が11.4ポイント増加し、「9時台」が5.0ポイント減少しています。

帰宅時刻

「15時前」が23.6%と最も多く、次いで「18時台」が21.2%、「17時台」が16.9%となっています。

前回と比較すると、「15時前」が5.7ポイント増加し、「22時以降」が5.3ポイント減少しています。



(2)父親

1週あたりの就労日数

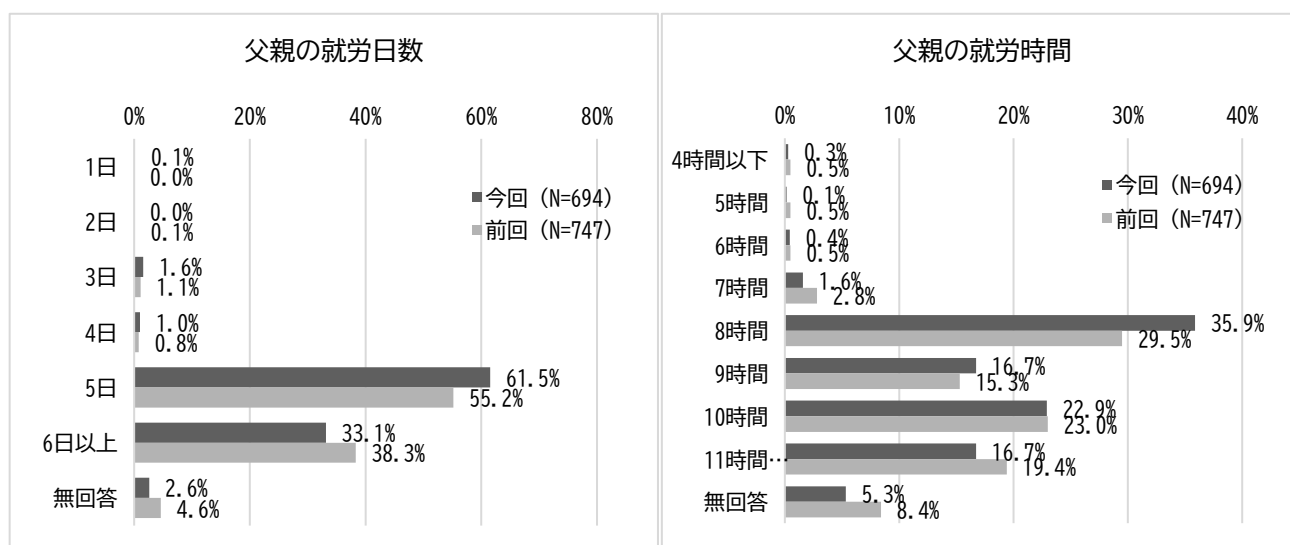
「5日」が61.5%と最も多く、次いで「6日以上」が33.1%となっています。

前回と比較すると、「5日」が6.3ポイント増加し、「6日以上」が5.2ポイント減少しています。

1日あたりの就労時間

「8時間」が35.9%と最も多く、次いで「10時間」が22.9%、「9時間」が16.7%となっています。

前回と比較すると、「8時間」が6.4ポイント増加し、「11時間以上」が2.7ポイント減少しています。



家を出る時刻

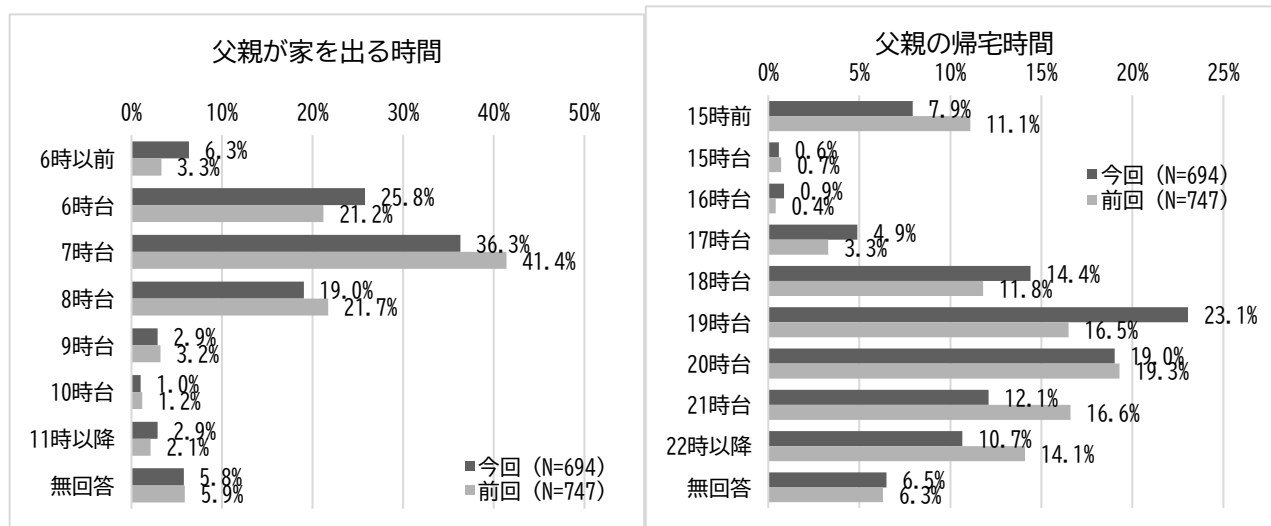
「7時台」が36.3%と最も多く、次いで「6時台」が25.8%、「9時台」が19.0%となっています。

前回と比較すると、「6時台」が4.6ポイント増加し、「7時台」が5.1ポイント減少しています。

帰宅時刻

「19時台」が23.1%と最も多く、次いで「20時台」が19.0%、「18時台」が14.4%となっています。

前回と比較すると、「19時台」6.6ポイント増加し、「21時台」が4.5ポイント減少しています。



問 11 問9で「3.」または「4.」に○をつけたパート・アルバイトで仕事をお持ちの方(休業中の方も含む)におうかがいします。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つだけ○)

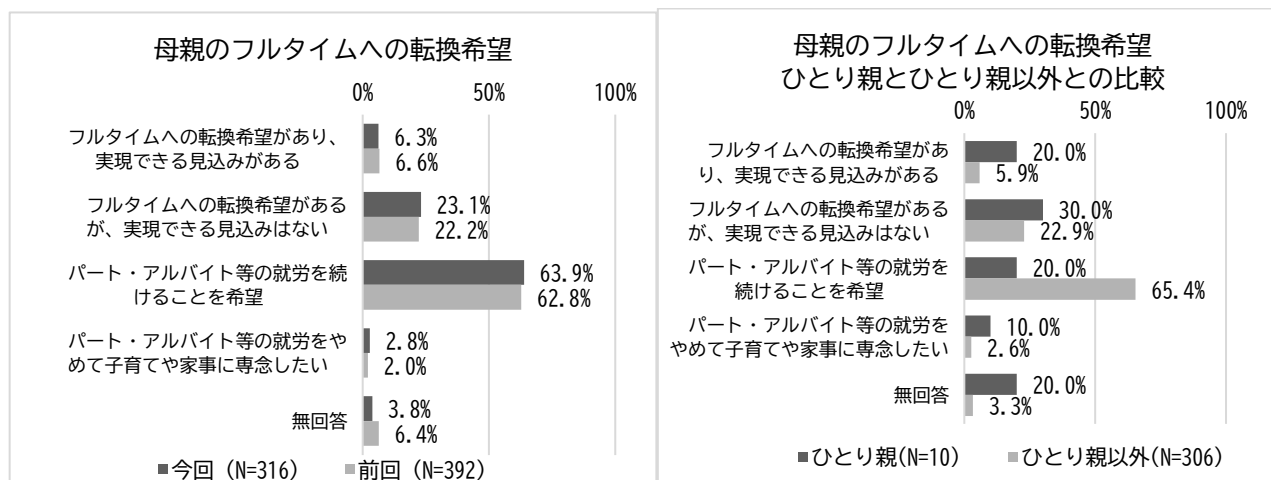
(1)母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が63.9%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.1%となっています。

前回と比較すると、ほとんど変化は見られません。

ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親はひとり親以外に比較して、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が14.1ポイント上回り、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が45.4ポイント下回っています。



(2)父親

パート・アルバイトで就業中の5件のうち、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が3件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

問 12 問 9 で「5.」または「6.」に○をつけた仕事をお持ちでない方におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。また、枠内に具体的な数字を入れてください。
(1つだけ○)

(1)母親

就労希望

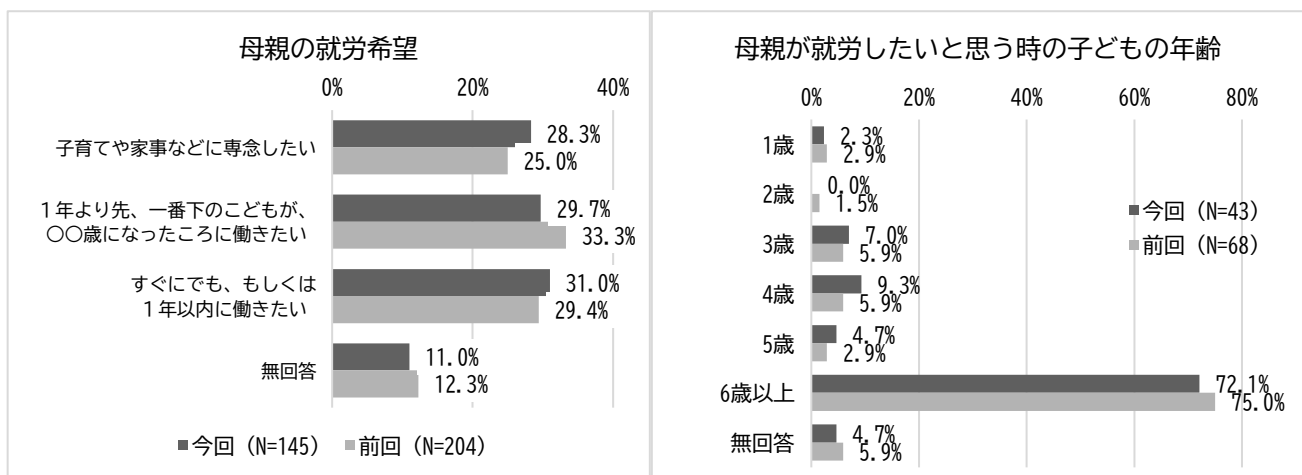
「1年より先、一番下のこどもが()歳になったところに就労したい」が 33.3%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 29.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない)」が 25.0%となっています。

前回と比較すると、「子育てや家事などに専念したい」が 3.3 ポイント増加し、「1年より先、一番下のこどもが○○歳になったところに働きたい」が 3.6 ポイント減少しています。

就労したいと思う時のこどもの年齢

「6歳以上」が72.1%と最も多くなっています。

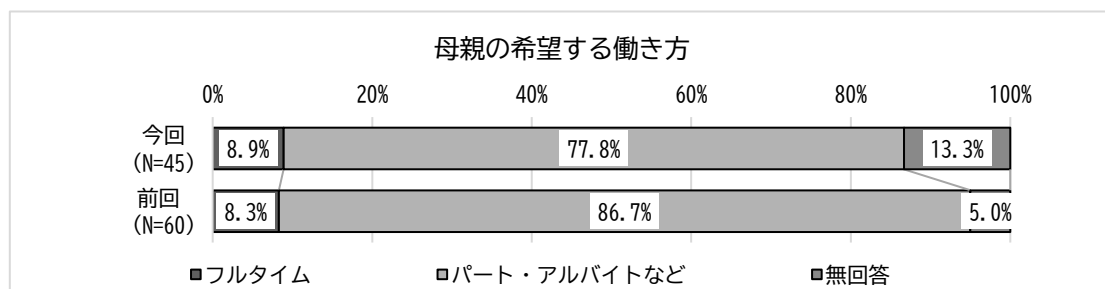
前回と比較すると、「6歳以上」が 2.9 ポイント減少しています。



希望する働き方

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が77.8%、「フルタイム」が 8.9%となっています。

前回と比較すると、「パート・アルバイトなど」が 8.9 ポイント減少しています。



パートタイム、アルバイトの希望就労日数

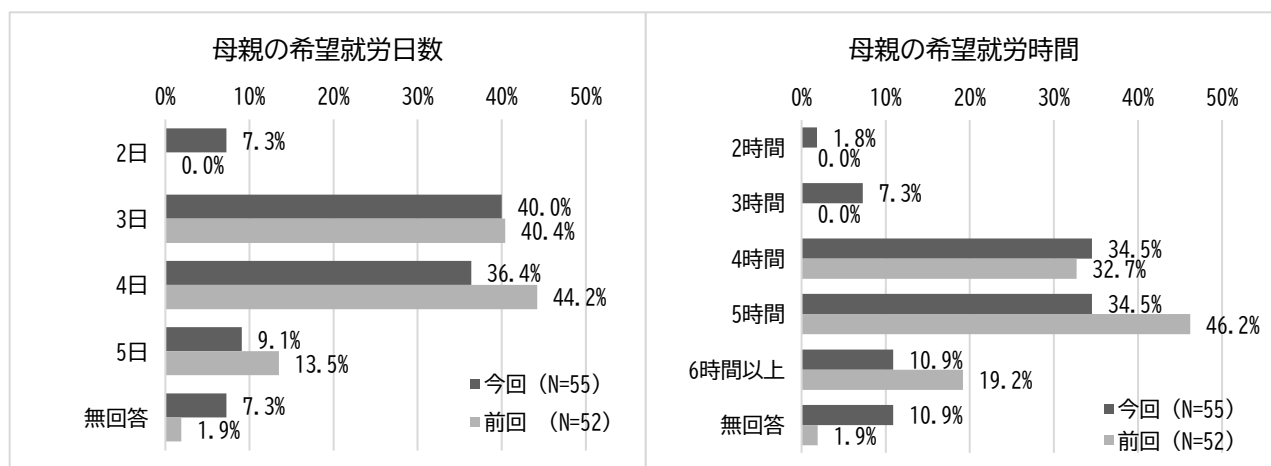
「3日」が 40.0%と最も多く、次いで「4日」が 36.4%、「5日」が 9.1%となっています。

前回と比較すると、「2日」が 7.3 ポイント増加し、「4日」が 7.8 ポイント減少しています。

パートタイム、アルバイトの希望就労時間

「4時間」「5時間」が34.5%と最も多く、次いで「6時間以上」が10.9%となっています。

前回と比較すると、「4時間」が1.8ポイント増加し、「5時間」が11.7ポイント減少しています。



(2)父親

就労希望

働いていない父親 5 件のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4件、「1年より先、一番下のこどもが()歳になったころに就労したい」が1件となっています。

希望する就労形態

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した 5 件のうち、「フルタイム」が2件、「パート・アルバイトなど」が3件となっています。

パートタイム、アルバイトの希望就労日数

パートタイム、アルバイトを希望している 3 件のうち、希望する1週あたり就労日数は「3日」が2件、「4日」が1件となっています。

パートタイム、アルバイトの希望就労時間

パートタイム、アルバイトを希望している 3 件のうち、希望する1日あたりの就労時間は、「3時間」が1件、「4時間」が1件となっています。

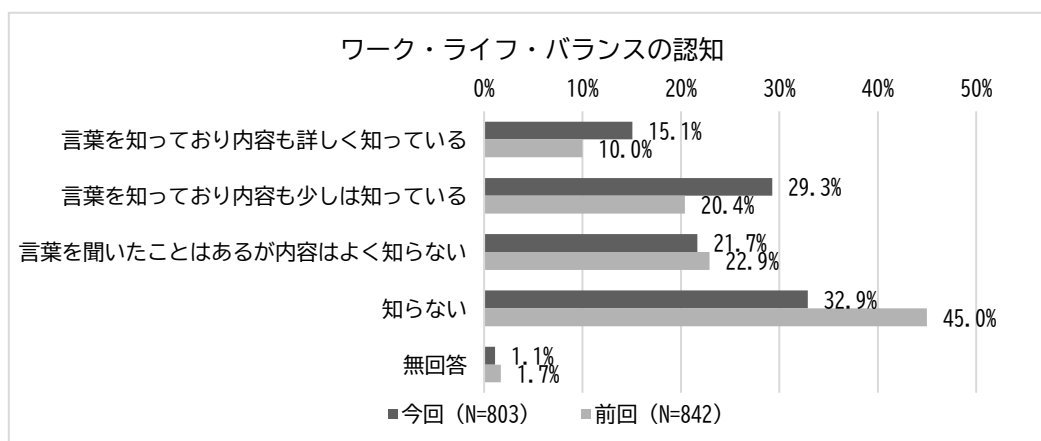
3. 仕事と子育ての両立支援について

すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。

問 13 あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。(1つだけ○)

「知らない」が32.9%と最も多く、次いで「言葉を知っており内容も少しは知っている」が29.3%、「言葉を聞いたことはあるが内容はよく知らない」が21.7%となっています。

前回と比較すると、「言葉も知っており内容も少しは知っている」が8.9ポイント増加し、「知らない」が12.1ポイント減少しています。



問 14 生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。《現実》と《理想》のそれぞれについて、お答えください。(もっとも優先するもの1つだけ○)

(1)現実

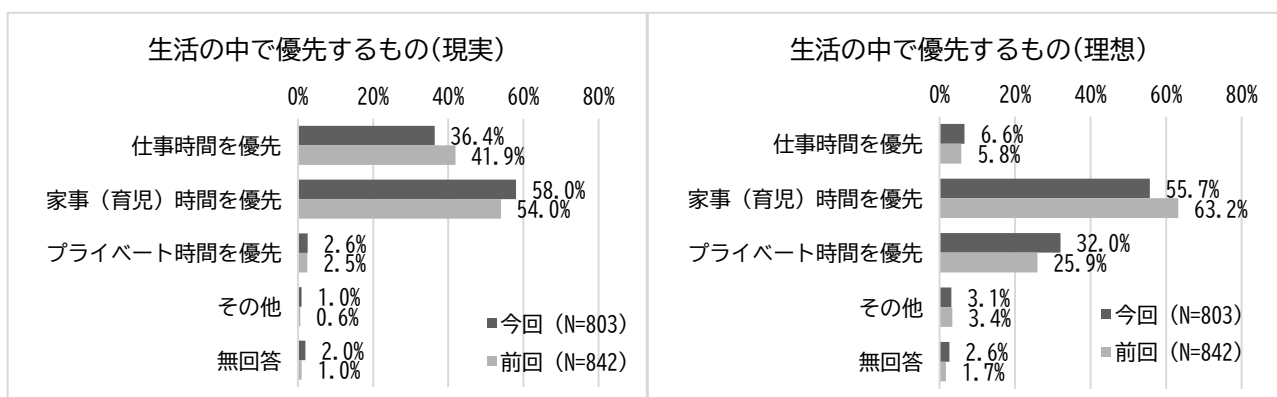
「家事(育児)時間を優先」が58.0%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が36.4%となっています。

前回と比較すると、「家事(育児)時間を優先」が4.0ポイント増加し、「仕事時間を優先」が5.5ポイント減少しています。

(2)理想

「家事(育児)時間を優先」が55.7%と最も多く、次いで「プライベート時間を優先」が32.0%となっています。

前回と比較すると、「プライベート時間を優先」が6.1ポイント増加し、「家事(育児)時間を優先」が7.5ポイント減少しています。

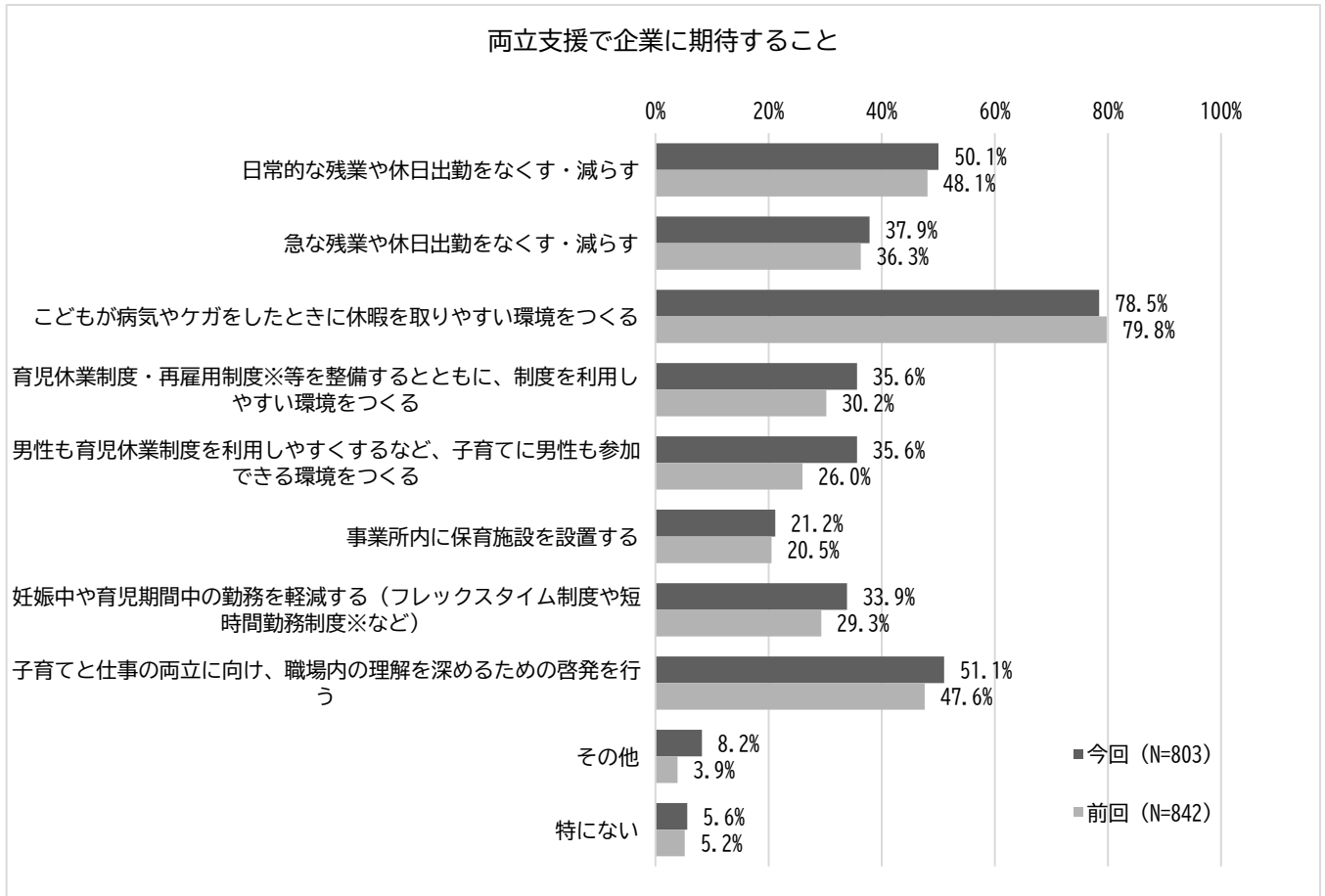


問 15 子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

「こどもが病気やケガをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」が 78.5%と最も多く、次いで「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が 51.1%、「日常的な残業や休日出勤をなくす・減らす」が 50.1%となっています。

前回と比較すると、「男性も育児休業制度を利用しやすくなるなど、子育てに男性も参加できる環境をつくる」が 9.6 ポイント増加しています。

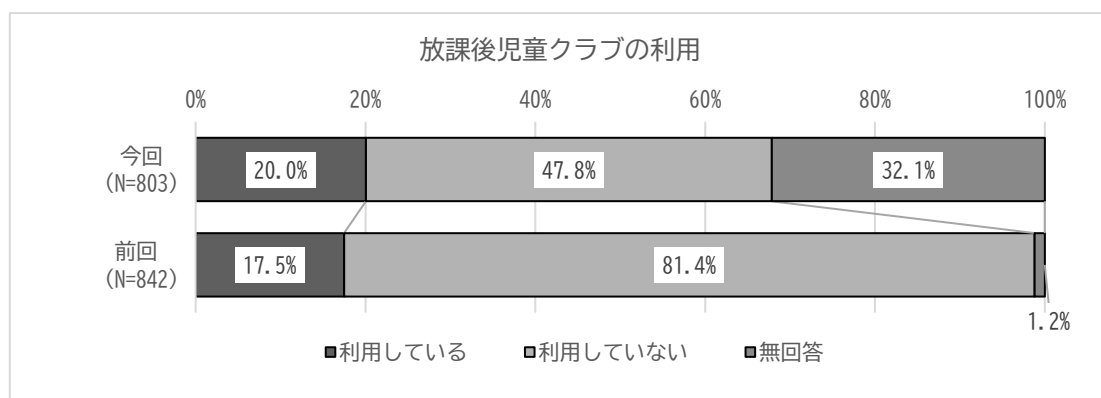


4. こどもの放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

問 16 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブ(学童保育)を利用していますか。
(どちらかに○)

「利用していない」が47.8%、「利用している」が20.0%となっています。

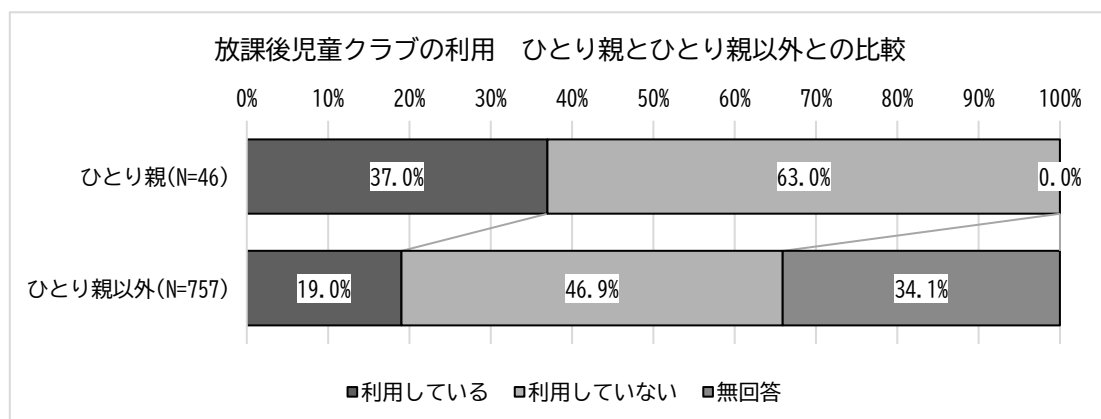
前回と比較すると、「利用している」が 2.5 ポイント増加し、「利用していない」が 33.6 ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親は「利用している」が37.0%、「利用していない」が63.0%となっています。

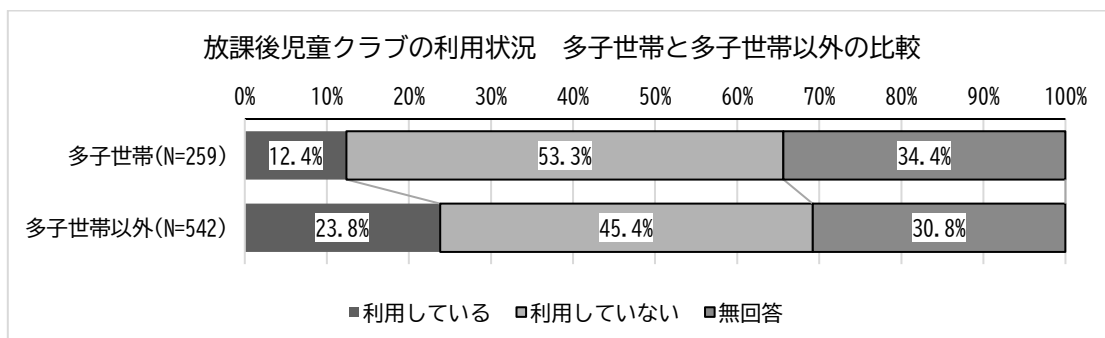
ひとり親以外と比較すると、「利用している」が18.0ポイント上回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「利用している」が12.4%、「利用していない」が53.3%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「利用している」が 11.4 ポイント下回り、「利用していない」が 7.9 ポイント上回っています。



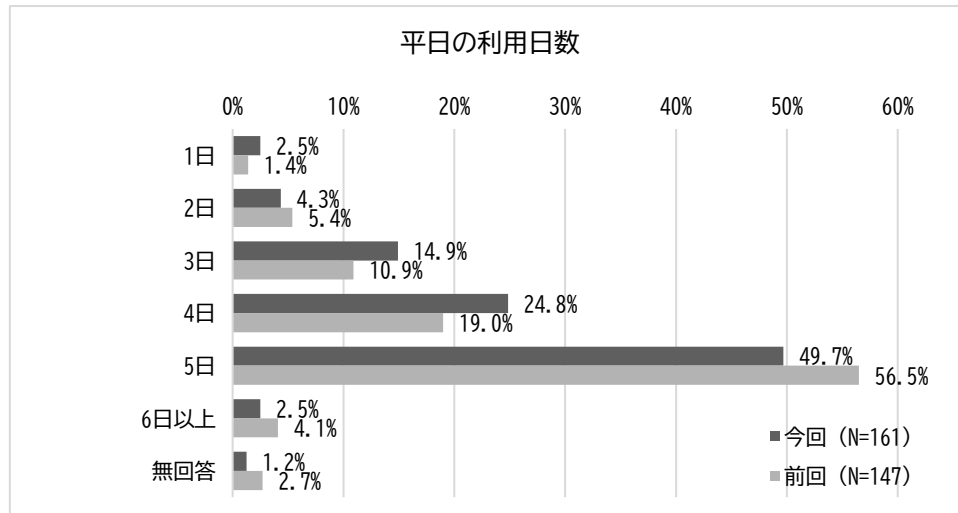
問 16-1 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

平日の1週あたりの利用日数と土曜日の利用の有無について、お答えください。

(1) 平日

平日の1週あたりの利用日数は、「5日」が49.7%と最も多く、次いで「4日」が24.8%、「3日」が14.9%となっています。

前回と比較すると、「4日」が5.8ポイント増加し、「5日」が6.8ポイント減少しています。



(2) 土曜日

利用状況

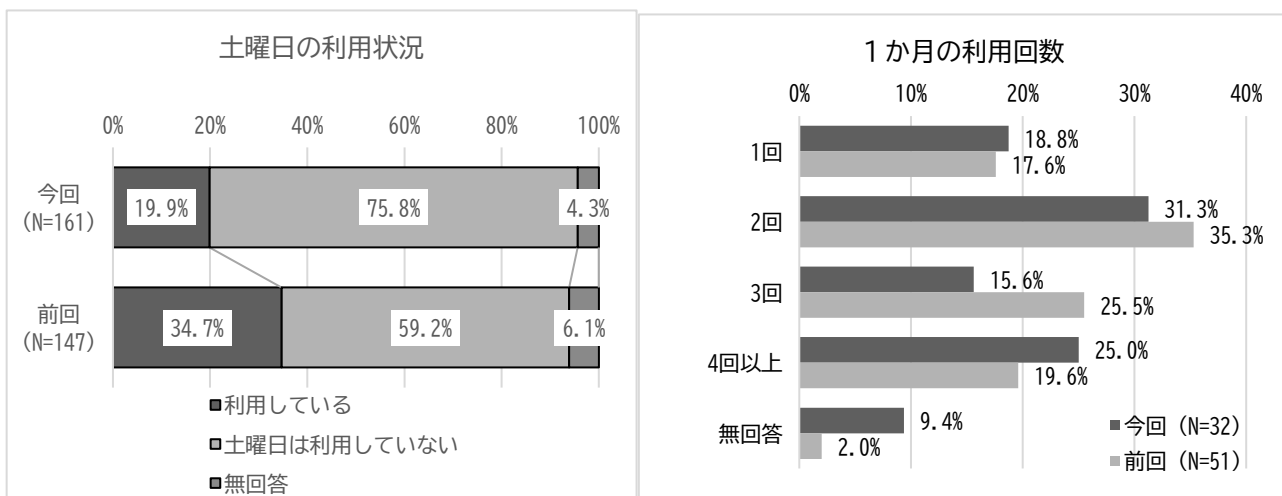
土曜日の利用状況は、「土曜日は利用していない」が75.8%、「利用している」が19.9%となっています。

前回と比較すると、「土曜日は利用していない」が16.6ポイント増加し、「利用している」が14.8ポイント減少しています。

1か月の利用回数

土曜日の利用の有無で「利用している」を選んだ方の1か月あたりの回数は、「2回」が31.3%と最も多く、次いで「1回」「4回」が18.8%となっています。

前回と比較すると、「1回」が1.2ポイント増加し、「3回」が9.9ポイント減少しています。



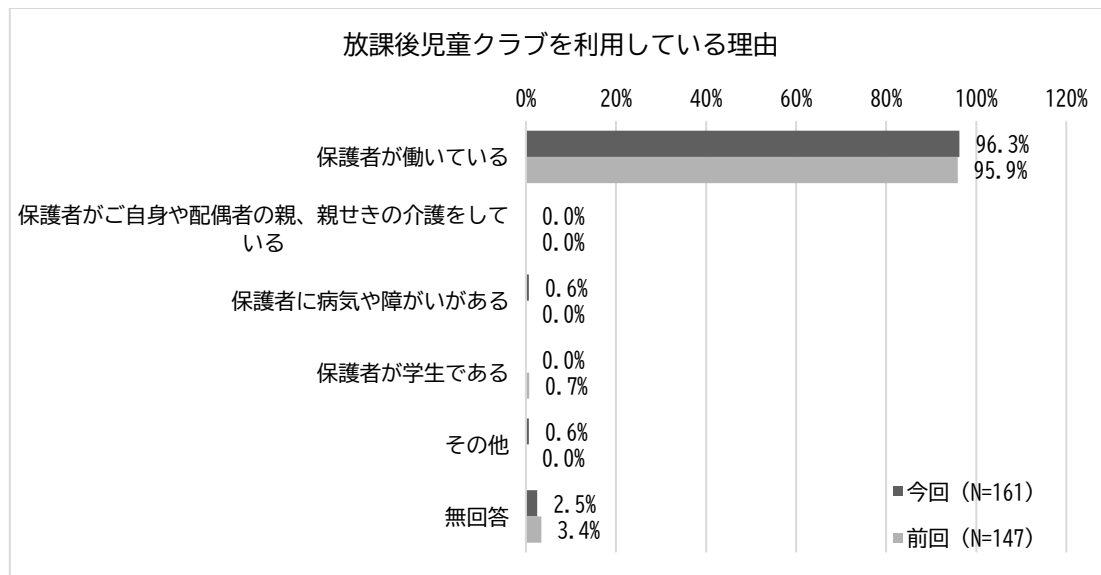
問 16-2 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用しているのは、主にどのような理由からですか。

(1つだけ○)

「保護者が働いている」が 96.3%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「保護者が働いている」が 0.4 ポイントとわずかに増加しています。



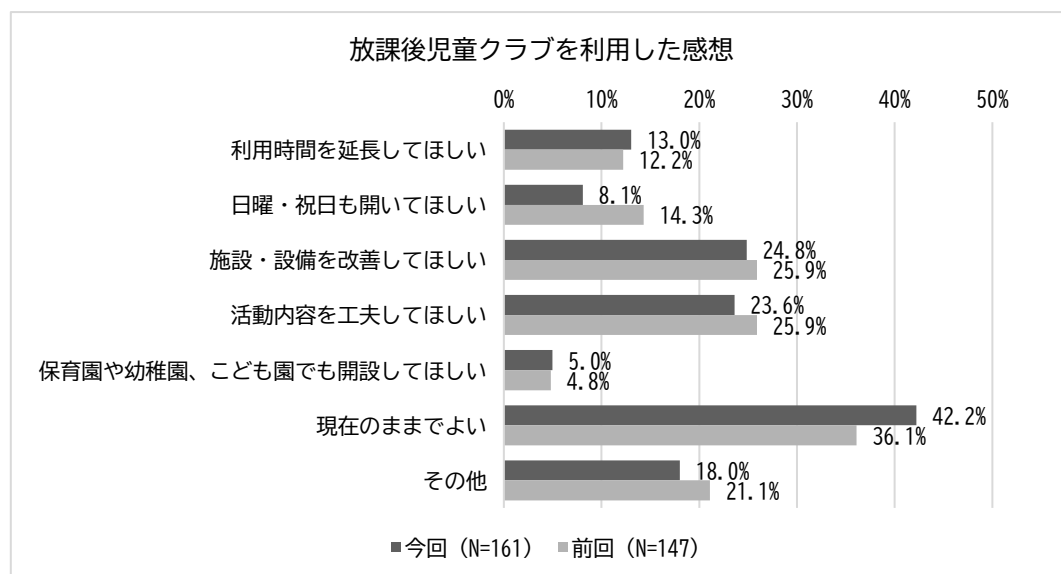
問 16-3 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用した感想はどうですか。

(あてはまるものすべてに○)

「現在のままでよい」が 42.2%と最も多く、次いで「施設・設備を改善してほしい」が 24.8%、「活動内容を工夫してほしい」が 23.6%となっています。

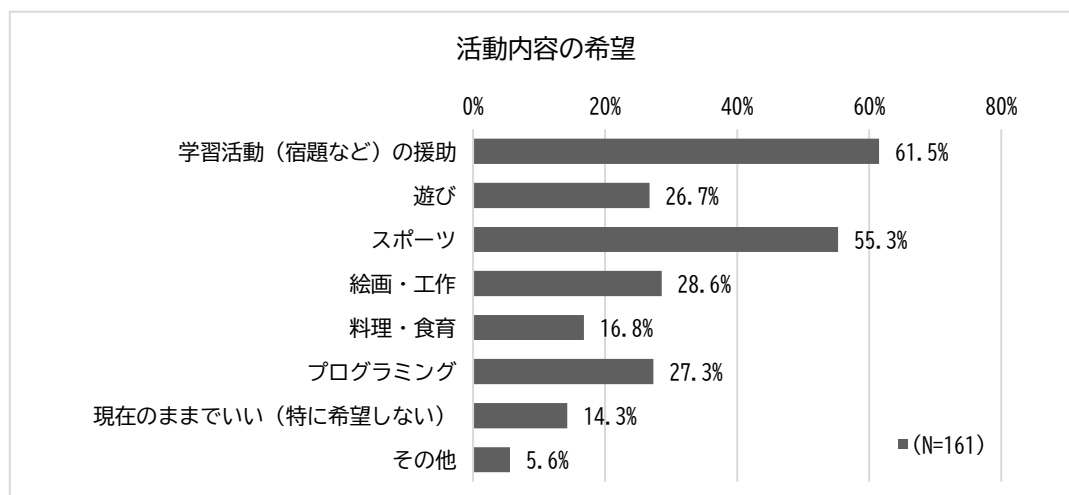
前回と比較すると、「現在のままでよい」が 6.1 ポイント増加し、「日曜・祝日も開いてほしい」が 6.2 ポイント減少しています。



問 16-4 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいします。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用時間中に、どのような活動があれば利用したいと思いますか。(あてはまるもの 3 つまで○)

「学習活動」が 61.5%と最も多く、次いで「スポーツ」が 55.3%、「絵画・工作」が 28.6%となっています。



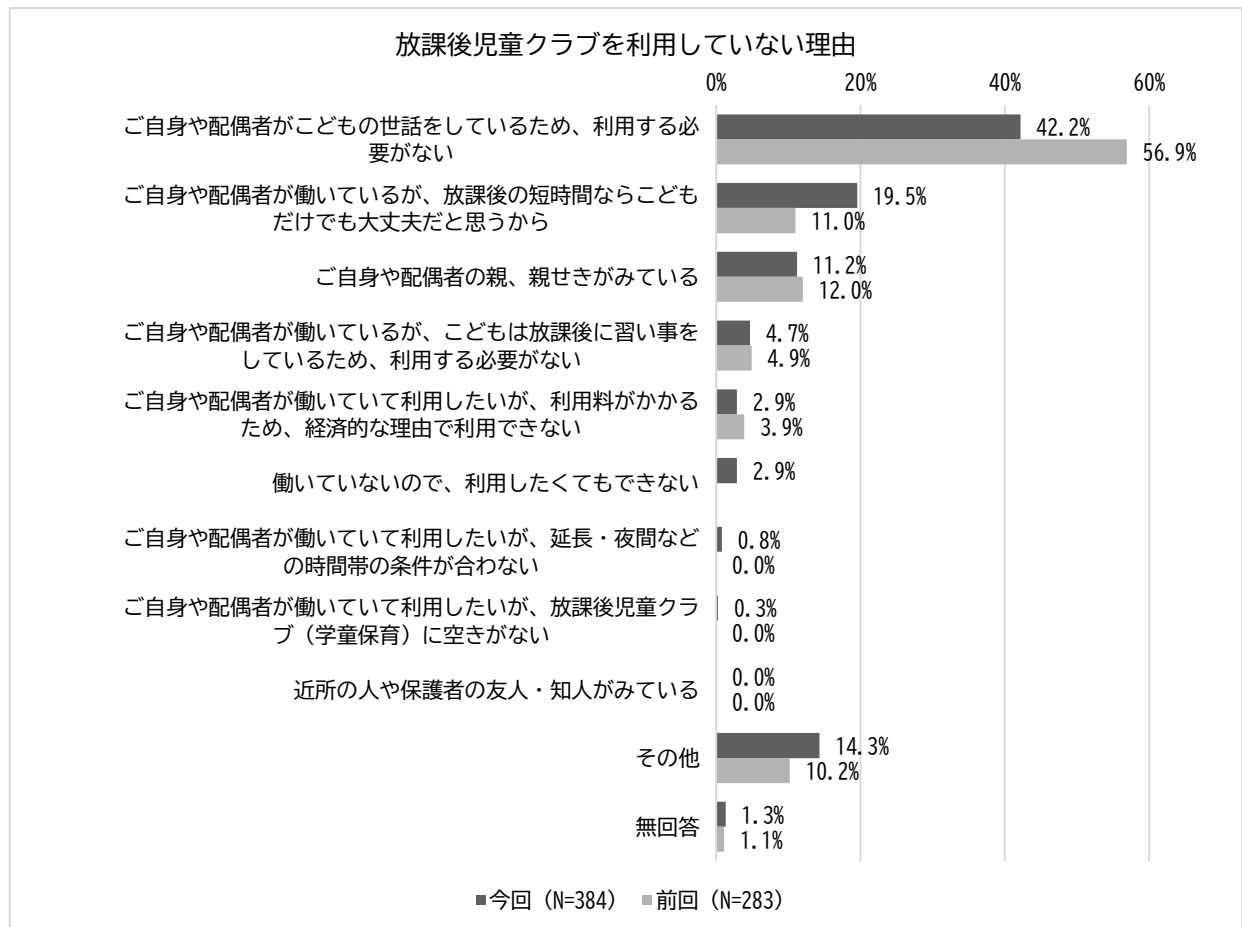
問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用していないのは、主にどのような理由からですか。

(1つだけ○)

「ご自身や配偶者がこどもの世話をしているため、利用する必要がない」が 42.2%と最も多く、次いで「ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間ならこどもだけでも大丈夫だと思うから」が 19.5%、「その他」が 14.3%となっています。

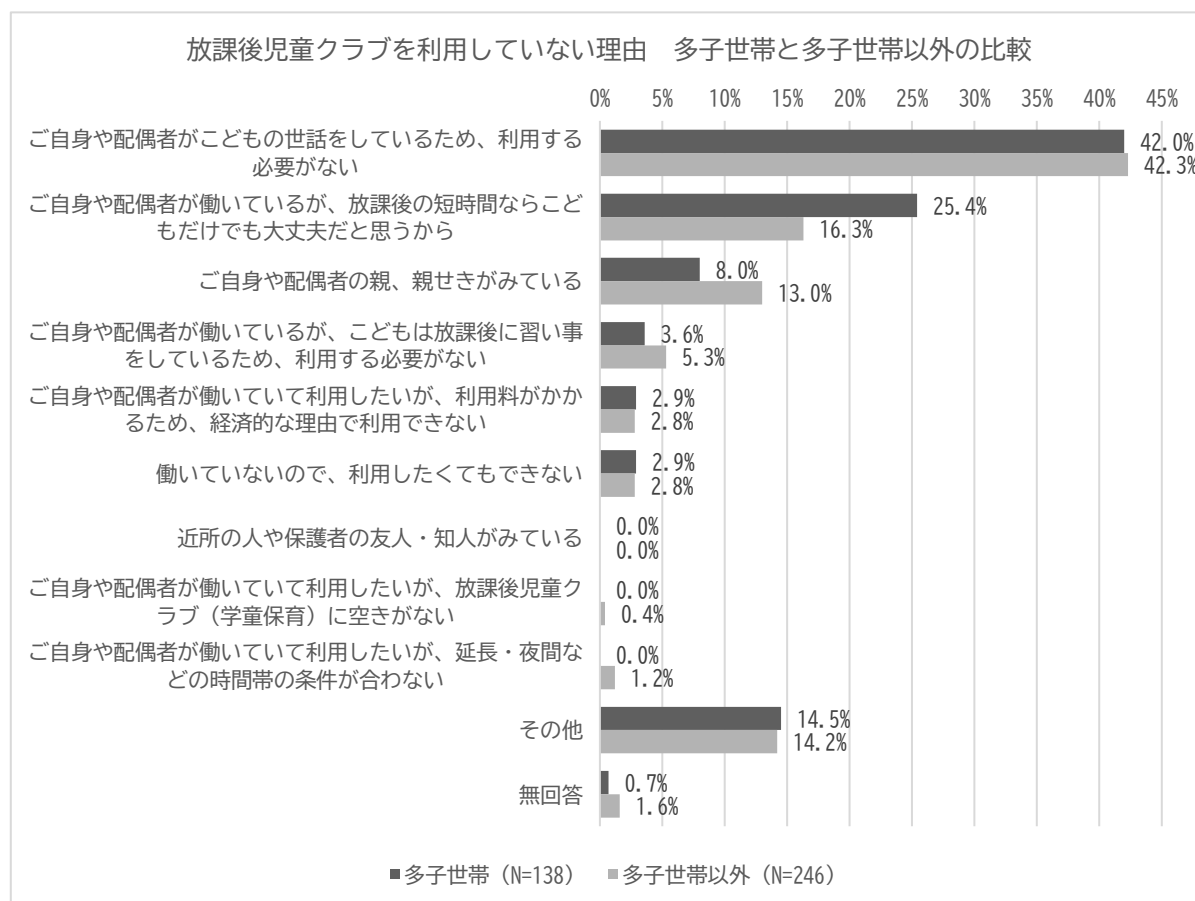
前回と比較すると、「ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間ならこどもだけでも大丈夫だと思うから」が 8.5 ポイント増加し、「ご自身や配偶者がこどもの世話をしているため、利用する必要がない」が 14.7 ポイント減少しています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「ご自身や配偶者がこどもの世話をしているため、利用する必要がない」が 42.0%と最も多く、次いで「ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 25.4%となっています。

多子世帯以外と「比較すると、「ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 9.1 ポイント上回っています。



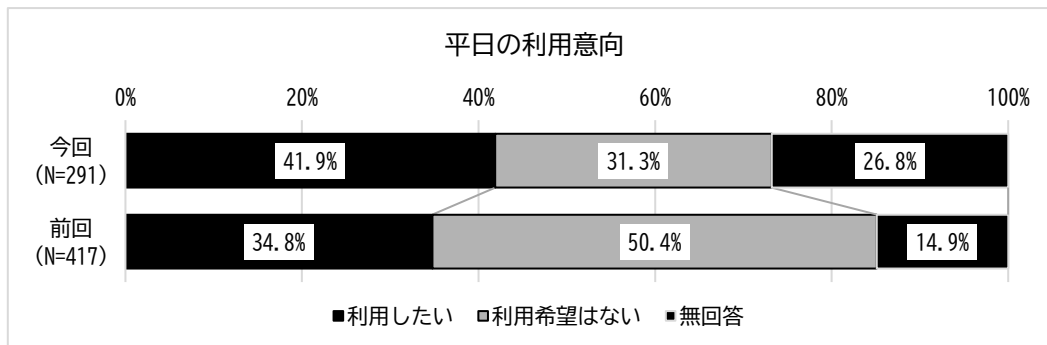
問 17 すべての方におうかがいします。

お子さんに、今後、放課後児童クラブ(学童保育)を利用させたいとお考えですか。低学年の期間、高学年の期間に分けて、平日、土曜日、日曜・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇それぞれについて、利用意向と利用したい日数、回数、時間帯をそれぞれ数字でご記入ください。

(1)低学年(1～3年生)の期間

利用意向

平日の利用意向は、「利用したい」が41.9%で、前回より7.1ポイント増加しています。



1週間の利用希望日数

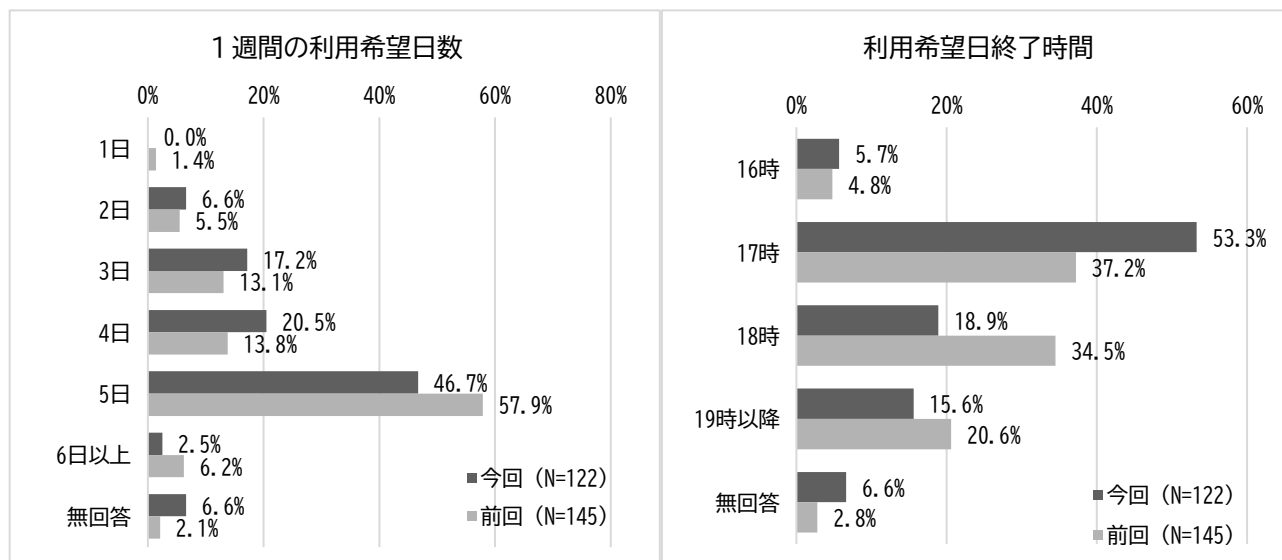
「利用したい」を選んだ方の希望する平日の1週あたりの日数は、「5日」が46.7%と最も多く、次いで「4日」が20.5%、「3日」が17.2%となっています。

前回と比較すると、「4日」が6.7ポイント増加し、「5日」が11.2ポイント減少しています。

希望する終了時間

「利用したい」を選んだ方の希望する平日の終了時間は、「17時」が53.3%と最も多く、次いで「18時」が18.9%、「19時以降」が15.6%となっています。

前回と比較すると、「17時」が16.1ポイント増加し、「18時」が15.6ポイント減少しています。



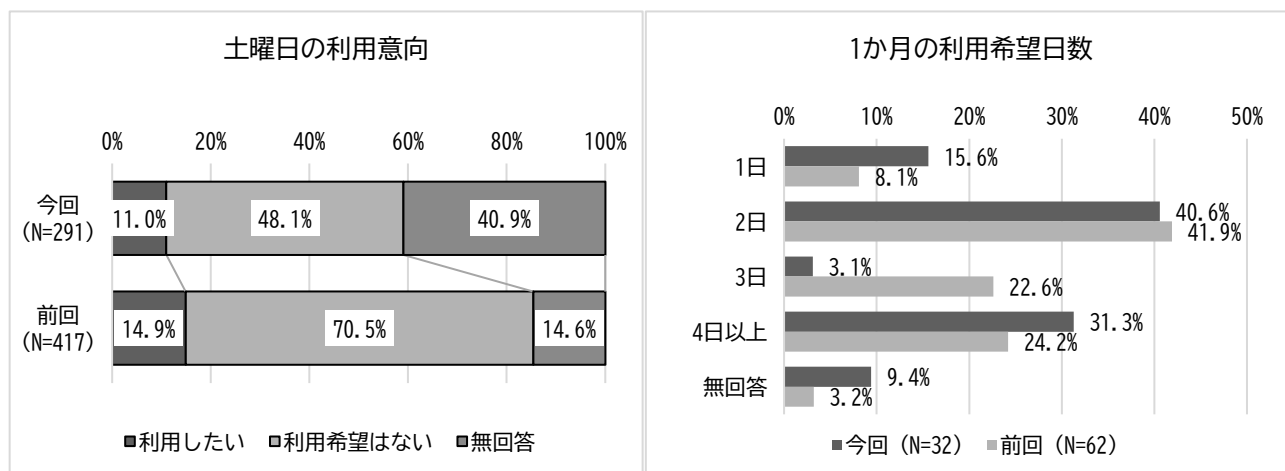
土曜日の利用意向

土曜日の利用意向は、「使用した」が 11.0%となっており、前回と比較すると、「利用希望はない」が 3.9 ポイント減少しています。

土曜日の希望する 1 か月の日数

「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の1か月あたりの日数は、「2日」が 40.6%と最も多く、次いで「4日以上」が 31.3%、「1日」が 15.6%となっています。

前回と比較すると、「1日」が 7.5 ポイント、「4 日以上」が7.1ポイント増加し、「3日」が 19.5 ポイント減少しています。



土曜日の希望する利用開始時刻

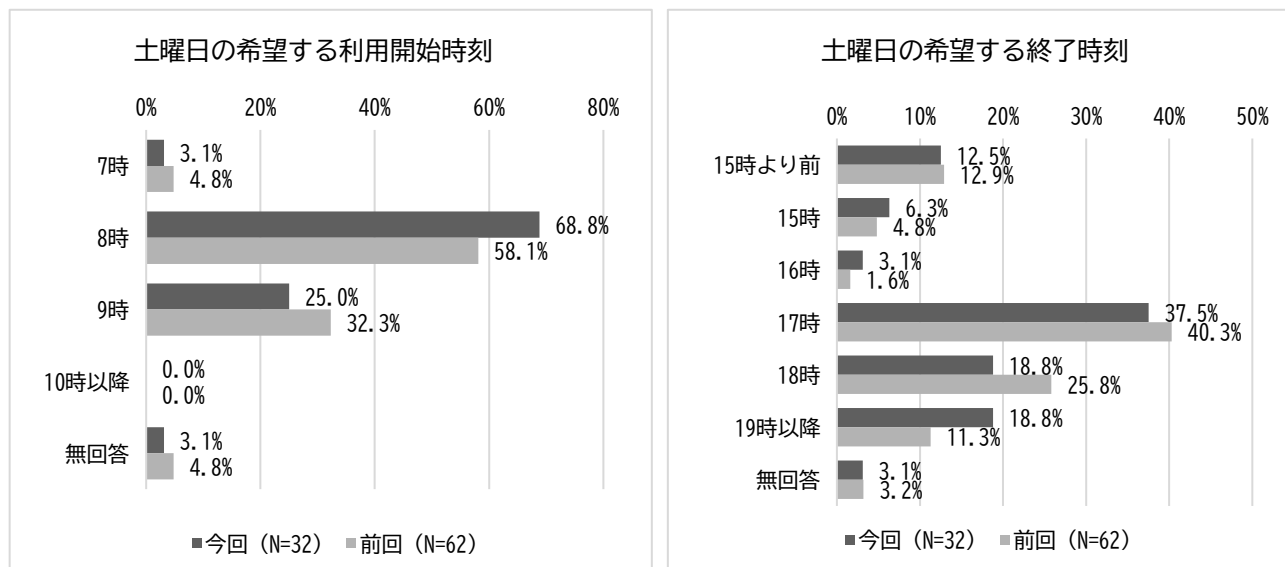
「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の利用開始時刻は、「8時」が 68.8%と最も多く、次いで「9時」が 25.0%となっています。

前回と比較すると、「8時」が 10.7 ポイント増加し、「9時」が 7.3 ポイント減少しています。

土曜日の希望する終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の利用終了時刻は、「17 時」が 37.5%と最も多く、次いで「18 時」「19 時以降」が 18.8%となっています。

前回と比較すると、「19 時以降」が 7.5 ポイント増加し、「18 時」が 7.0 ポイント減少しています。



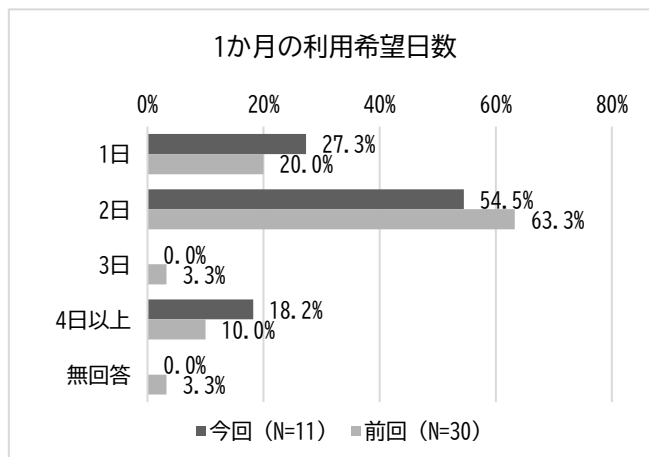
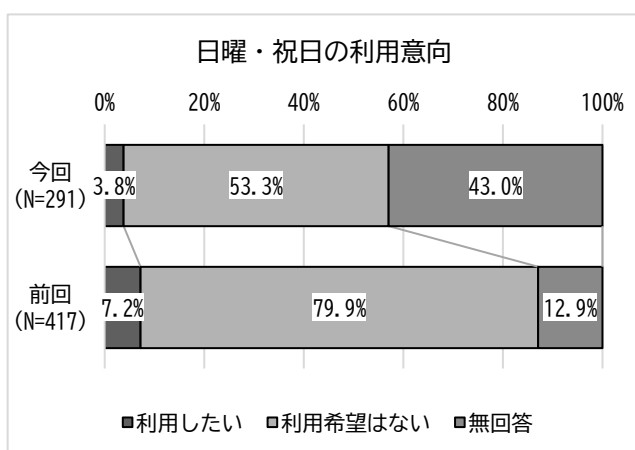
日曜・祝日の利用意向

日曜・祝日の利用意向は、「利用したい」が3.8%となっており、前回から3.4ポイント減少しています。

日曜・祝日の希望する1か月あたりの数

「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の1か月あたりの数は、「2日」が54.5%と最も多く、次いで「1日」が27.3%となっています。

前回と比較すると、「4日以上」が8.2ポイント、「1日」が7.3ポイント、増加し、「2日」が8.8ポイント減少しています。



希望する日曜・祝日の開始時刻

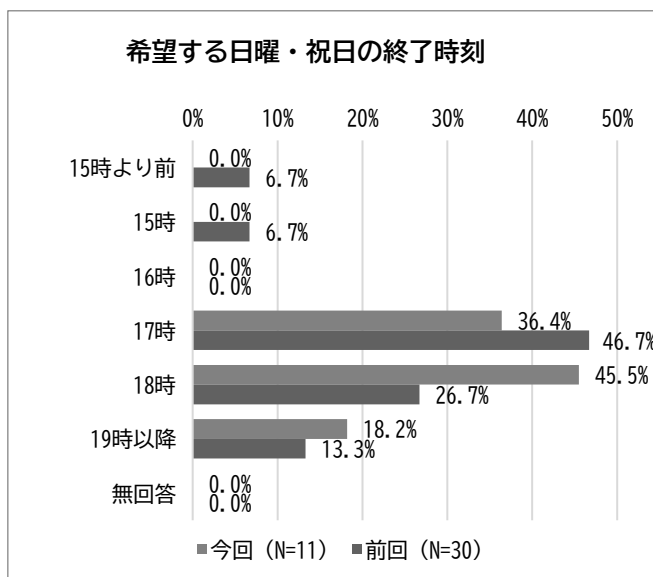
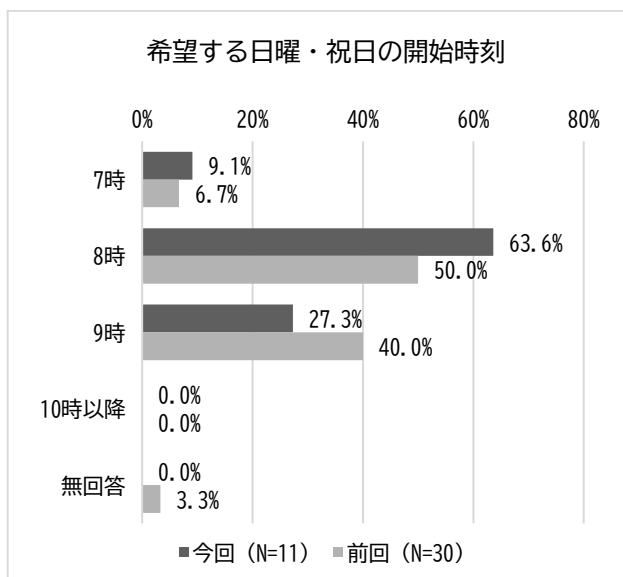
「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の開始時刻は、「8時」が63.6%と最も多く、次いで「9時」が27.3%となっています。

前回と比較すると、「8時」が13.6ポイント増加し、「9時」が12.7ポイント減少しています。

希望する日曜・祝日の終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の利用終了時刻は、「18時」が41.7%と最も多く、次いで「17時」が33.3%、「19時以降」が16.7%となっています。

前回と比較すると、「18時」が15.0ポイント増加し、「17時」が13.4ポイント減少しています。



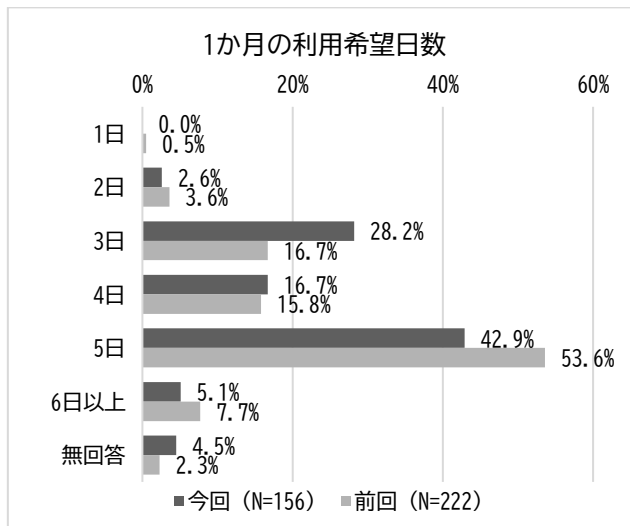
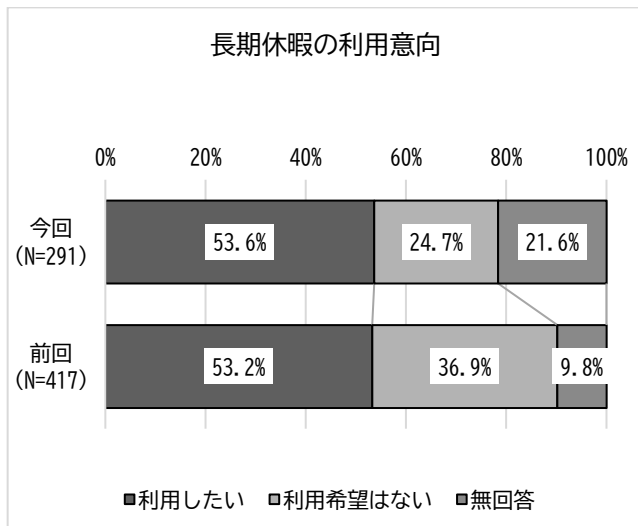
長期休暇の利用意向

長期休暇の利用意向は、「利用したい」が53.6%で、前回とほぼ同じ割合になっています

希望する長期休暇の1週あたりの日数

「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の1週あたりの日数は、「5日」が42.9%と最も多く、次いで「3日」が28.2%、「4日」が16.7%となっています。

前回と比較すると、「3日」が11.5ポイント増加し、「5日」が10.7ポイント減少しています、



希望する長期休暇の利用開始時刻

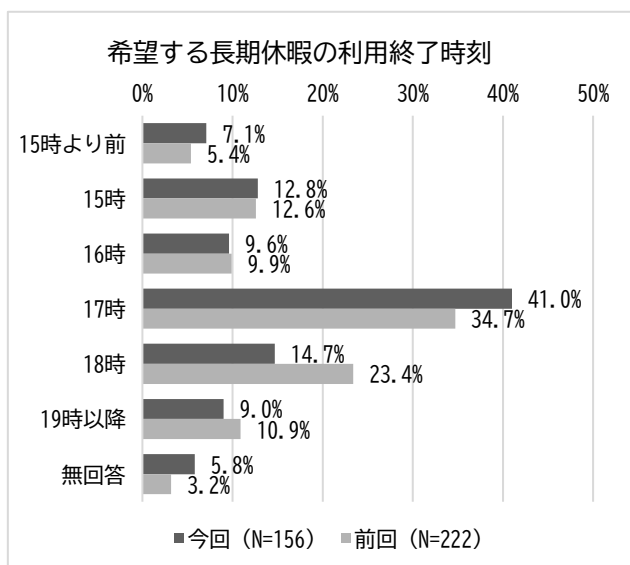
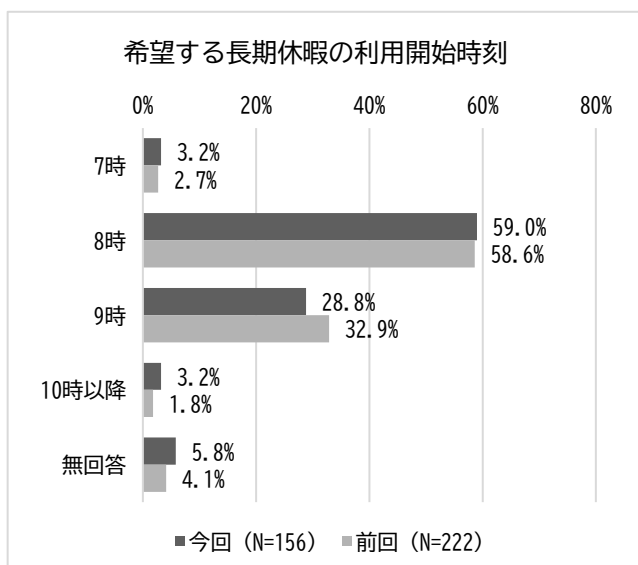
「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の利用開始時刻は、「8時」が59.0%と最も多く、次いで「9時」が28.8%となっています。

前回と比較すると、「10時以降」が1.4ポイント増加し、「9時」が4.1ポイント減少しています。

希望する長期休暇の利用終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の利用終了時刻は、「17時」が41.0%と最も多く、次いで「18時」が14.7%、「15時」が12.8%となっています。

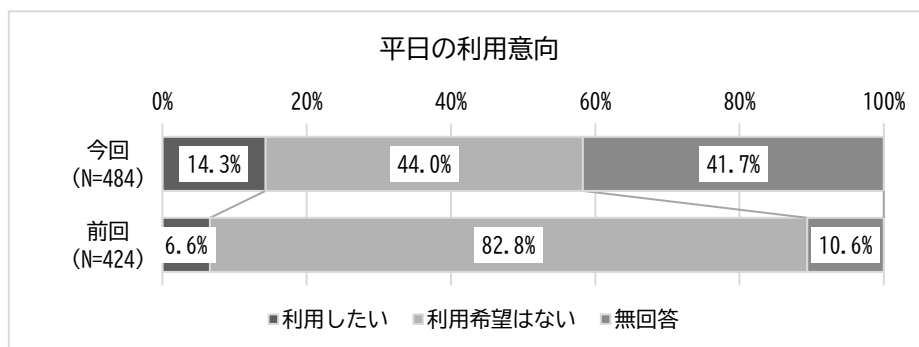
前回と比較すると、「17時」が6.3ポイント増加し、「18時」が8.7ポイント減少しています。



(2)高学年(4～6年生)の期間

平日の利用意向

平日の利用意向は、「利用したい」が14.3%と、前回より7.7ポイント増加しています。



希望する平日の1週あたりの日数

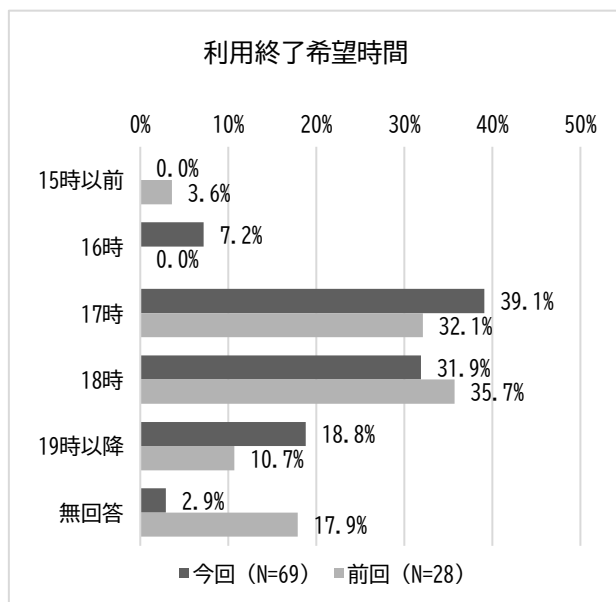
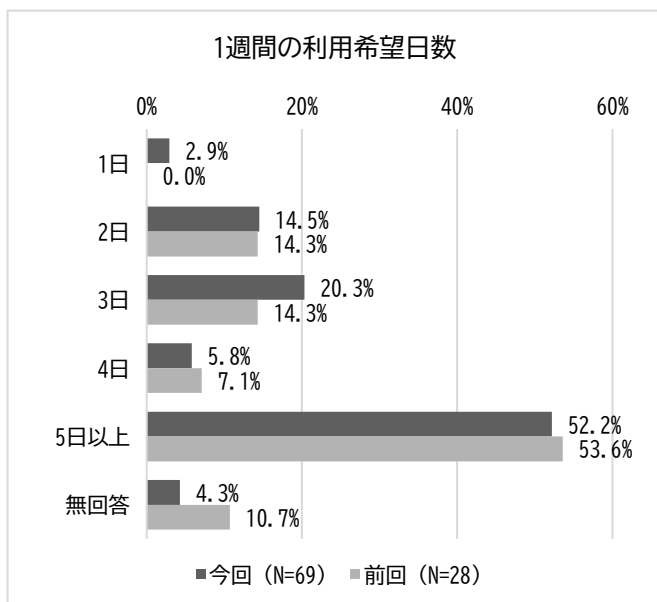
「利用したい」を選んだ方の希望する平日の1週あたりの日数は、「5日」が52.2%と最も多く、次いで「3日」が20.3%となっています。

前回と比較すると、「3日」が6.0ポイント増加しています。

希望する平日の終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する平日の終了時刻は、「17時」が39.1%と最も多く、次いで「18時」が31.9%となっています。

前回と比較すると、「19時以降」が8.1ポイント、「16時」が7.2ポイント、「17時」が7.0ポイント、増加しています。



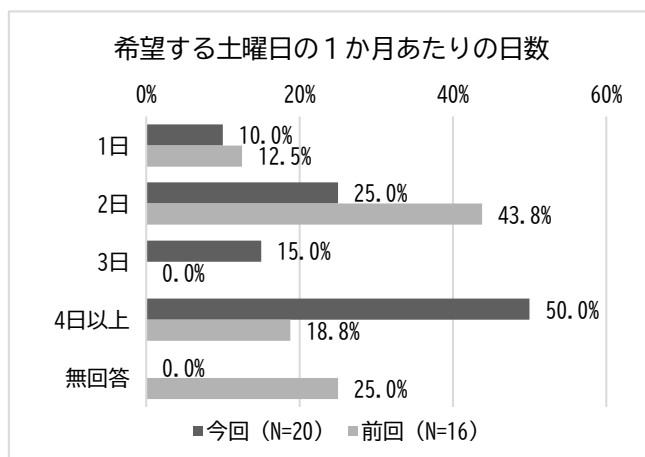
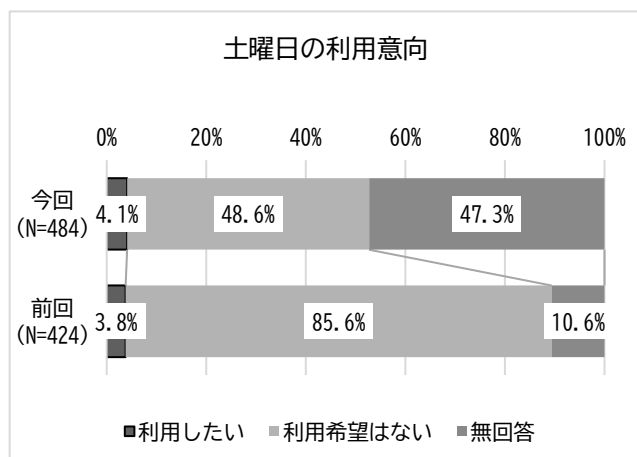
土曜日の利用意向

土曜日の利用意向は、「利用したい」が4.1%で、前回ほぼ同じ割合となっています。

希望する土曜日の1か月あたりの日数

「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の1か月あたりの日数は、「4日以上」が50.0%と最も多く、次いで「2日」が25.0%、「3日」が15.0%となっています。

前回と比較すると、「4日以上」が31.2ポイント、「3日」が15.0ポイント増加し、「2日」が18.8ポイント減少しています。



希望する土曜日の利用開始時刻

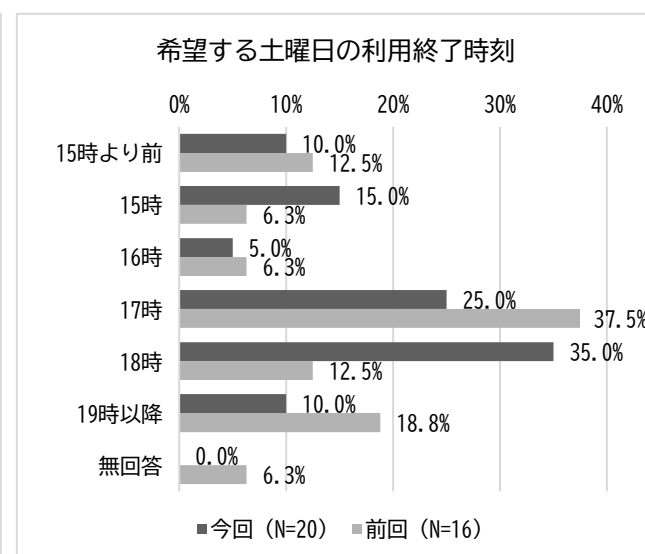
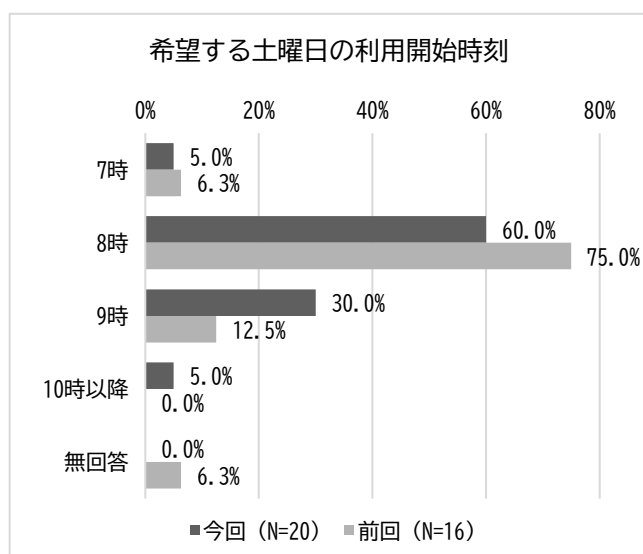
「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の利用開始時刻は、「8時」が60.0%と最も多く、次いで「9時」が30.0%となっています。

前回と比較すると、「9時」が17.5ポイント増加し、「8時」が15.0ポイント減少しています。

希望する土曜日の利用終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する土曜日の利用終了時刻は、「18時」が35.0%と最も多く、次いで「17時」が25.0%、「15時」が15.0%となっています。

前回と比較すると、「18時」が22.5ポイント増加し、「17時」が12.5ポイント、「19時以降」が8.8ポイント減少しています。

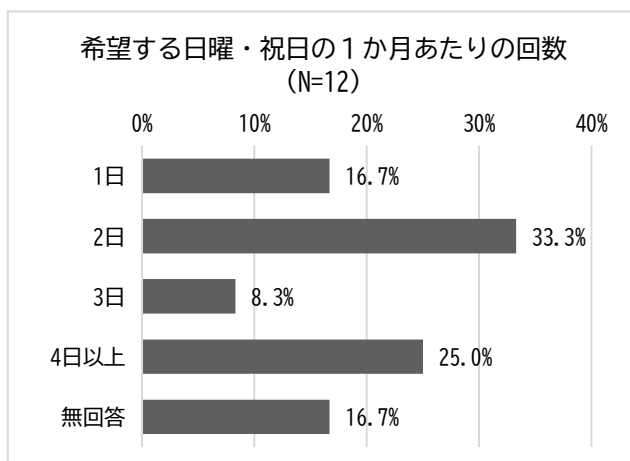
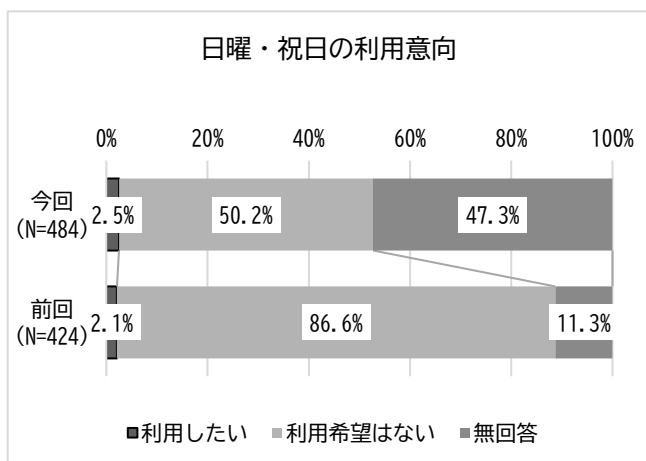


日曜・祝日の利用意向

日曜・祝日の利用意向は、「利用希望はない」が 41.1%、「利用したい」が 2.5%で、前回とほぼ同じ割合になっています。

希望する日曜・祝日の1か月あたりの回数

「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の1か月あたりの回数は、「2日」が 33.3%と最も多く、次いで4日以上」が 25.0%、「1日」が 16.7%となっています。

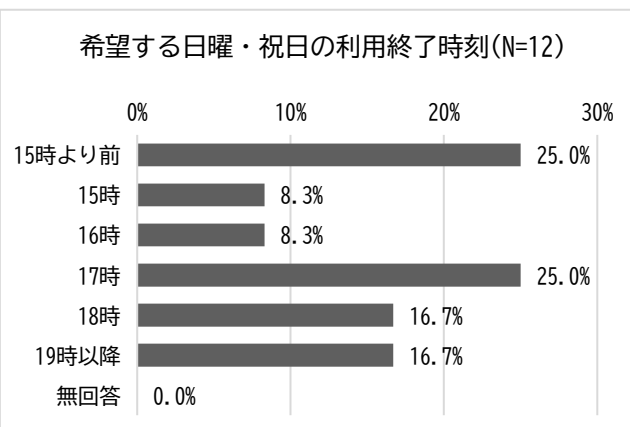
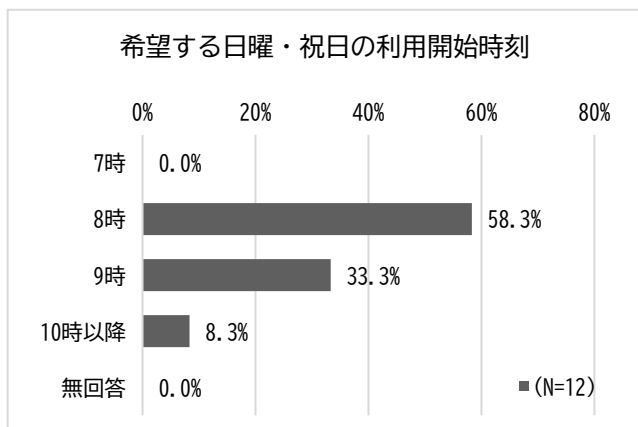


希望する日曜・祝日の利用開始時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「8時」が 58.3%と最も多く、次いで「9時」が 33.3%となっています。

希望する日曜・祝日の利用終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する日曜・祝日の利用終了時刻は、「15時以前」「17時」が 25.0%と最も多く、次いで「18時」「19時以降」が 16.7%となっています。



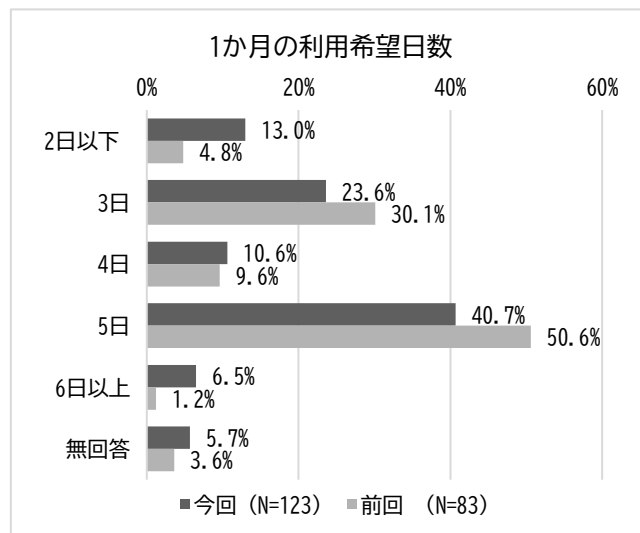
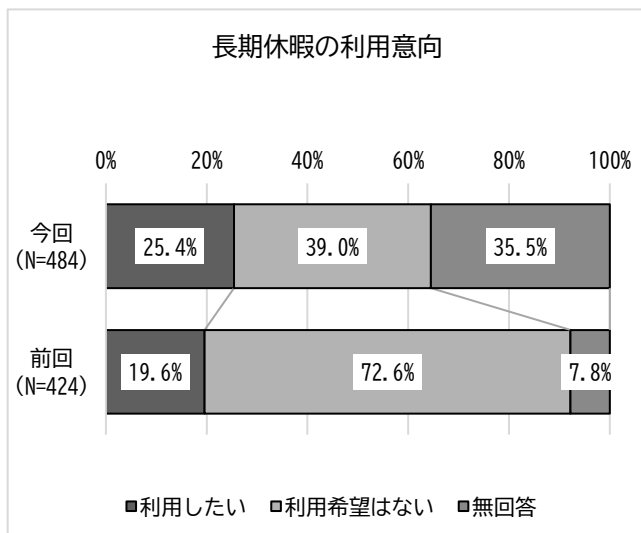
長期休暇の利用意向

長期休暇の利用意向は、「利用したい」が 23.7%で、前回より 5.8 ポイント増加しています。

希望する長期休暇の1週あたりの日数

「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の1週あたりの日数は、「5日」が 40.7%と最も多く、次いで「3日」が 23.6%となっています。

前回と比較すると、「2日以下」が 8.2 ポイント増加し、「5日」が 99 ポイント減少しています。



希望する長期休暇の利用開始時刻

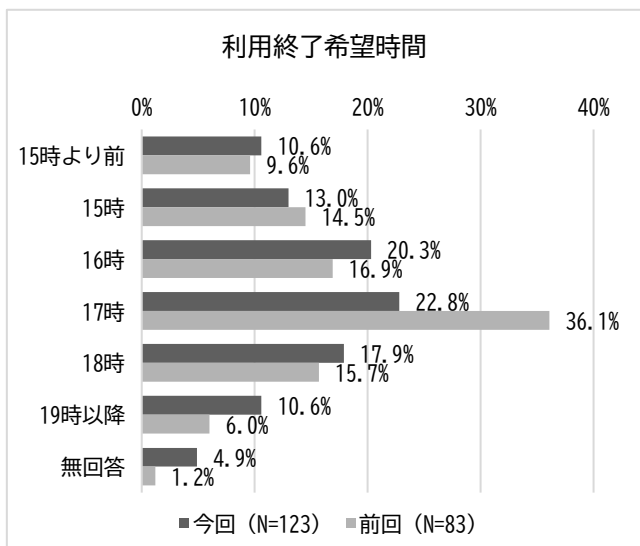
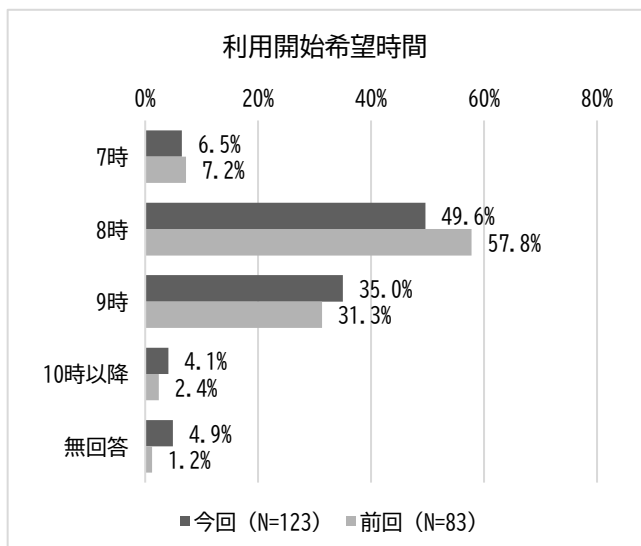
「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の利用開始時刻は、「8時」が 49.6%と最も多く、次いで「9時」が 35.0%となっています。

前回と比較すると、「9時」が 1.3 ポイント増加し、「8時」が 4.1 ポイント減少しています。

希望する長期休暇の利用終了時刻

「利用したい」を選んだ方の希望する長期休暇の利用終了時刻は、「17時」が 30.0%と最も多く、次いで「16時」が 18.4%、「18時」が 17.4%となっています。

前回と比較すると、「19時以降」が 4.6 ポイント増加し、「17時」が 13.3 ポイント減少しています。



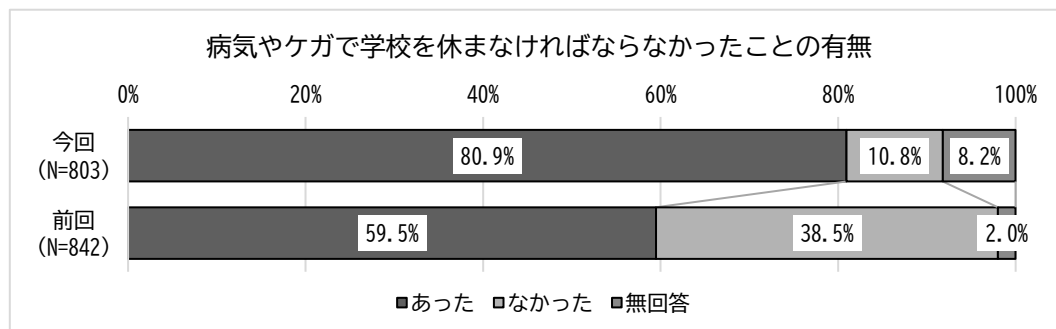
5. 地域子ども・子育て支援事業について

地域の子育て支援事業についておうかがいします。

問 18 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」が80.9%、「なかった」が10.8%となっています。

前回と比較すると、「あった」が21.4ポイント増加し、「なかった」が27.7ポイント減少しています。



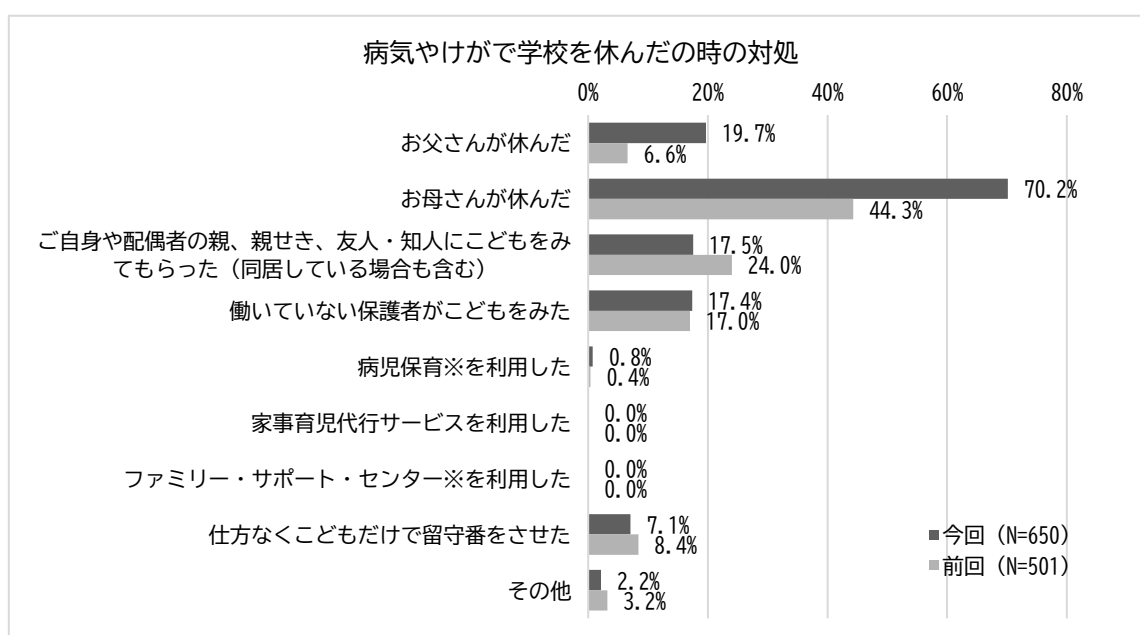
問 18-1 問 18 で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブ(学童保育)を利用できなかった場合、この1年間にどのような対処をされましたか。

あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で()にご記入ください。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

病気やけがで学校を休んだの時の対処は「お母さんが休んだ」が70.2%と最も多く、次いで「お父さんが休んだ」が19.7%、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に見てもらった(同居している場合も含む)」が17.5%となっています。

前回と比較すると、「お母さんが休んだ」が25.9ポイント増加し、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に見てもらった(同居している場合も含む)」が6.5ポイント減少しています。



お父さんが休んだ日数

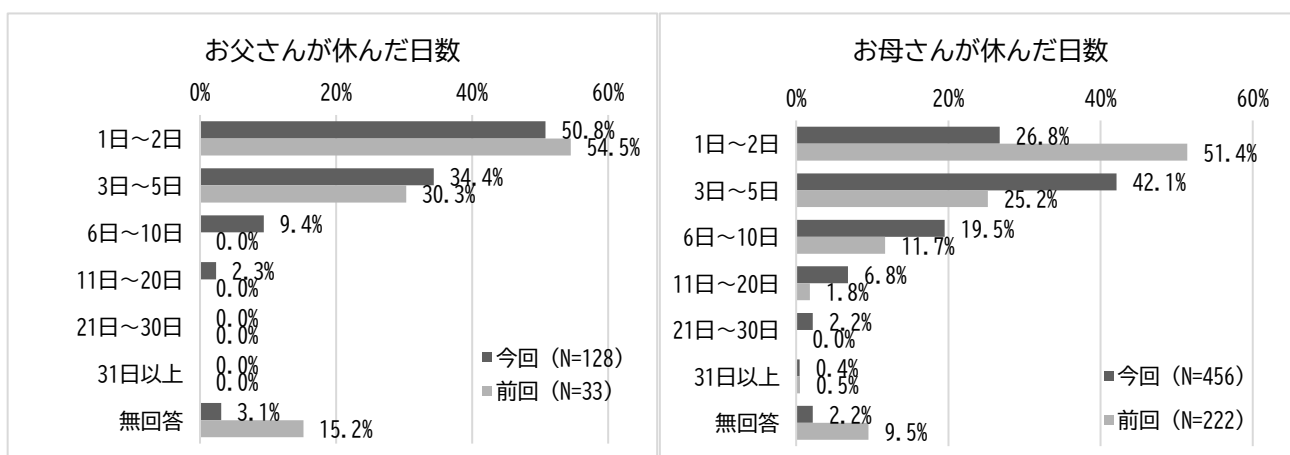
お父さんが休んだ日数は「1 日～2 日」が 50.8%と最も多く、次いで「3 日～5 日」が 34.4%となっています。

前回と比較すると、「6 日～10 日」が 9.4 ポイント、「3 日～5 日」が 4.1 ポイント増加し、「1 日～2 日」が 3.7%ポイント減少しています。

お母さんが休んだ日数

お母さんが休んだ日数は「3 日～5 日」が 42.1%と最も多く、次いで「1 日～2 日」が 26.8%、「6 日～10 日」が 19.5%となっています。

前回と比較すると、「3 日～5 日」が 16.9 ポイント増加し、「1 日～2 日」が 24.6 ポイント減少しています。



ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数

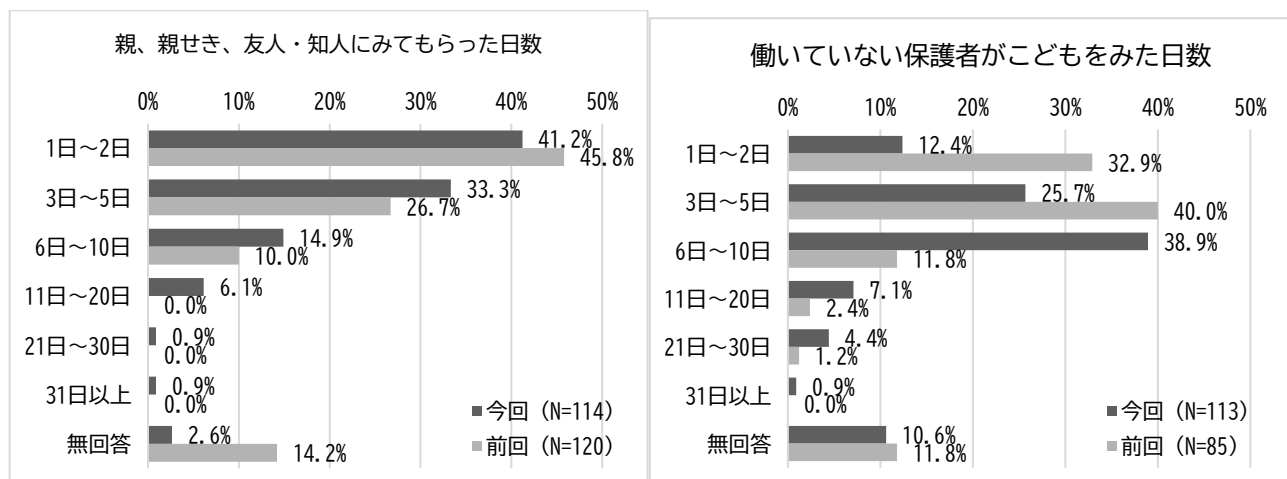
親、親せき、友人・知人にみてもらった日数は「1 日～2 日」が 41.2 と最も多く、次いで「3 日～5 日」が 33.3%、「6 日～10 日」が 14.9%となっています。

前回と比較すると、「3 日～5 日」が 6.6%ポイント、「11 日～20 日」が 6.1 ポイント、「6 日～10 日」が 4.9 ポイント、増加し、「1 日～2 日」が 4.6 ポイント減少しています。

働いていない保護者がこどもをみた日数

働いていない保護者がこどもをみた日数は「6 日～10 日」が 38.9%と最も多く、次いで「3 日～5 日」が 25.7%、「1 日～2 日」が 12.4%となっています。

前回と比較すると、「6 日～10 日」が 27.1 ポイント増加し、「1 日～2 日」が 20.5 ポイント、「3 日～5 日」が 14.3 ポイント減少しています。



病児保育を利用した日数

5 件のうち、「1 日～2 日」が 4 件、「3 日～5 日」が 1 件となっています。

家事育児代行サービスを利用した日数

有効回答はありません。

ファミリー・サポート・センターを利用した日数

有効回答はありません。

仕方なくこどもだけで留守番をさせた日数

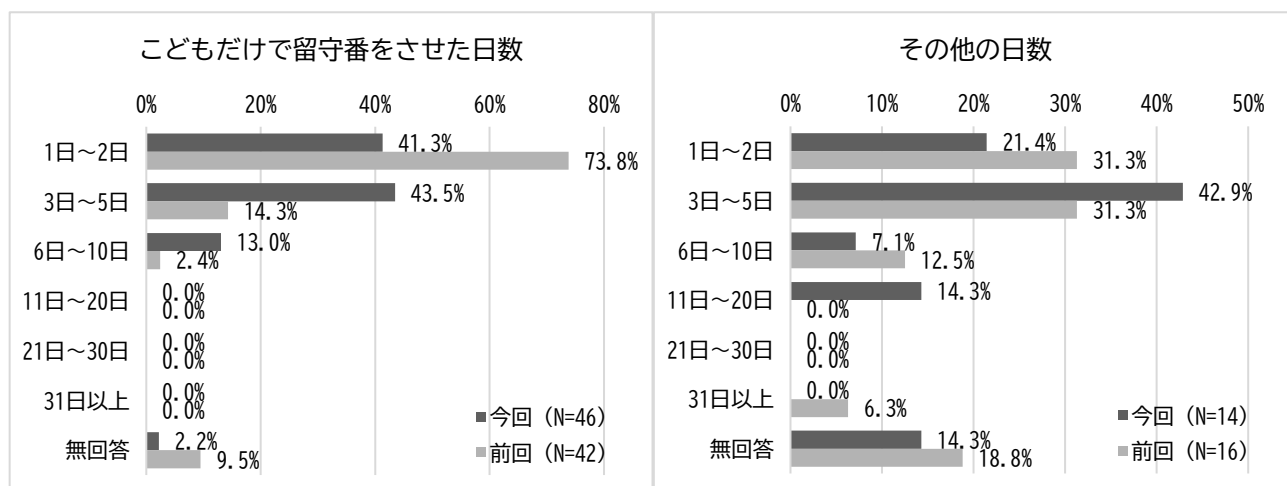
仕方なくこどもだけで留守番をさせた日数は「3 日～5 日」が 43.5%で最も多く、次いで「1 日～2 日」が 41.3%、「6 日～10 日」が 13.0%となっています。

前回と比較すると、「3 日～5 日」が 29.2 ポイント、「6 日～10 日」が 10.6 ポイント増加し、「1 日～2 日」が 32.5 ポイント減少しています。

その他の日数

その他の日数は「3 日～5 日」が 42.9%で最も多く、次いで「1 日～2 日」が 21.4%。「11 日～20 日」が 14.3%、「6 日～10 日」が 7.1%となっています。

前回と比較すると、「11 日～20 日」が 14.3 ポイント、「3 日～5 日」が 11.6 ポイント増加し、「1 日～2 日」が 9.9 ポイント、「31 日以上」が 6.3 ポイント、「6 日～10 日」が 5.4 ポイント減少しています。



問 18-2 問 18-1 で「1. お父さんが休んだ」または「2. お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。
その時に、「病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

病児のための保育施設等の利用意向

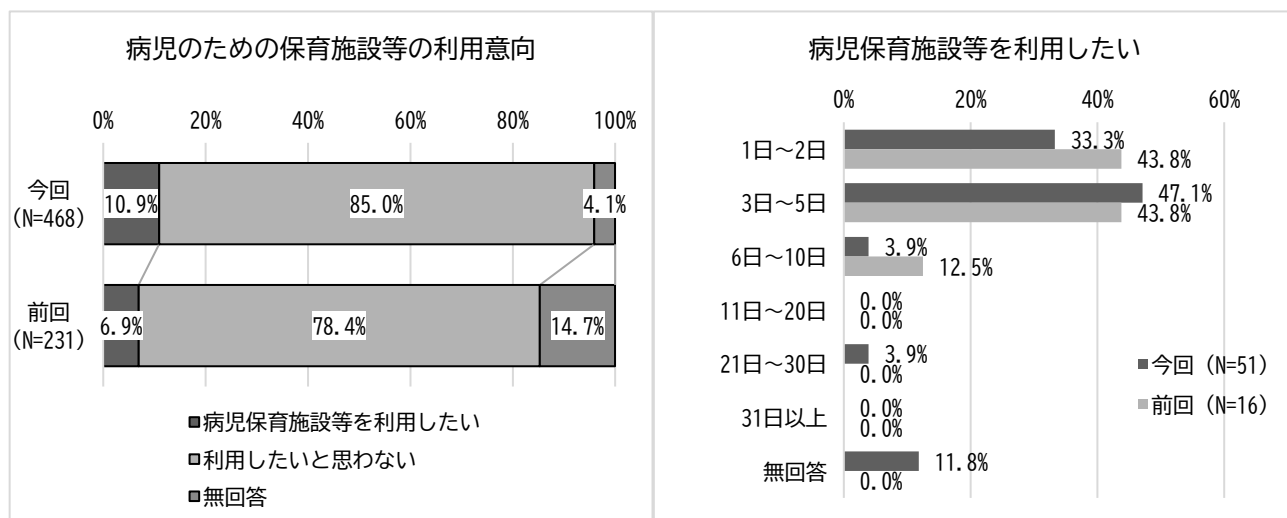
「病児保育施設等を利用したい」が 10.9%、「利用したいとは思わない」が 85.0%と最も多く、次いでが 7.8%となっています。

前回と比較すると、「病児保育施設等を利用したい」が4.0ポイント増加しています。

病児保育施設等を利用したい日数

病児保育施設等を利用したい日数は、「3日～5日」は 47.1%と最も多く、次いで「1日～2日」が 33.3%となっています。

前回と比較すると、「21日～30日」が 3.9ポイント、「3日～5日」が 3.3ポイント増加し、「1日～2日」が 10.5ポイント、「6日～10日」が 8.6ポイント減少しています。



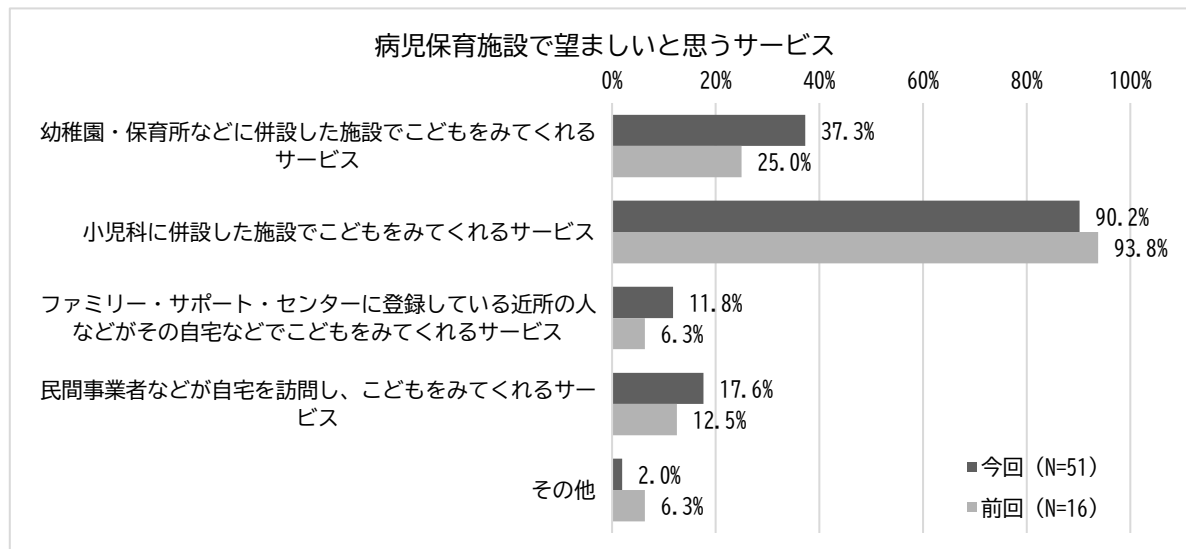
問 18-3 問 18-2 で「1」(利用したい)に○をつけた方におうかがいします。

利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

病児保育施設で望ましいと思うサービス

「小児科に併設した施設でこどもをみてるサービス」が 90.2%と最も多く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設でこどもをみてるサービス」が 37.3%、「民間事業者などが自宅を訪問し、こどもをみてるサービス」が 17.6%となっています。

前回と比較すると、「幼稚園・保育所などに併用した施設でこどもをみてるサービス」が 12.3 ポイント増加し、「小児科に併用した施設でこどもをみてるサービス」が 3.6 ポイント減少しています。

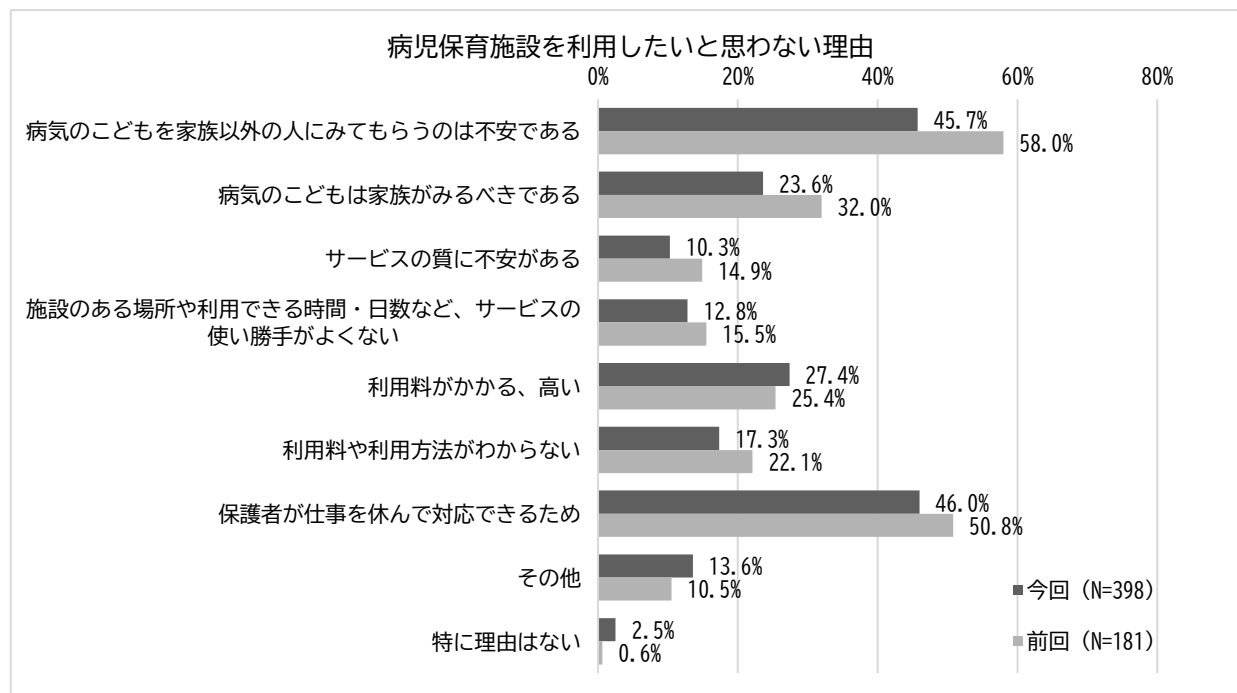


問 18-4 問 18-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。
 利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに○)

病児保育施設を利用したいと思わない理由

「保護者が仕事を休んで対応できるため」が 46.0%と最も多く、次いで「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 45.7%、「利用料がかかる、高い」が%となっています。

前回と比較すると、「利用料がかかる、高い」が 2.0 ポイント増加し、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 12.3 ポイント減少しています。

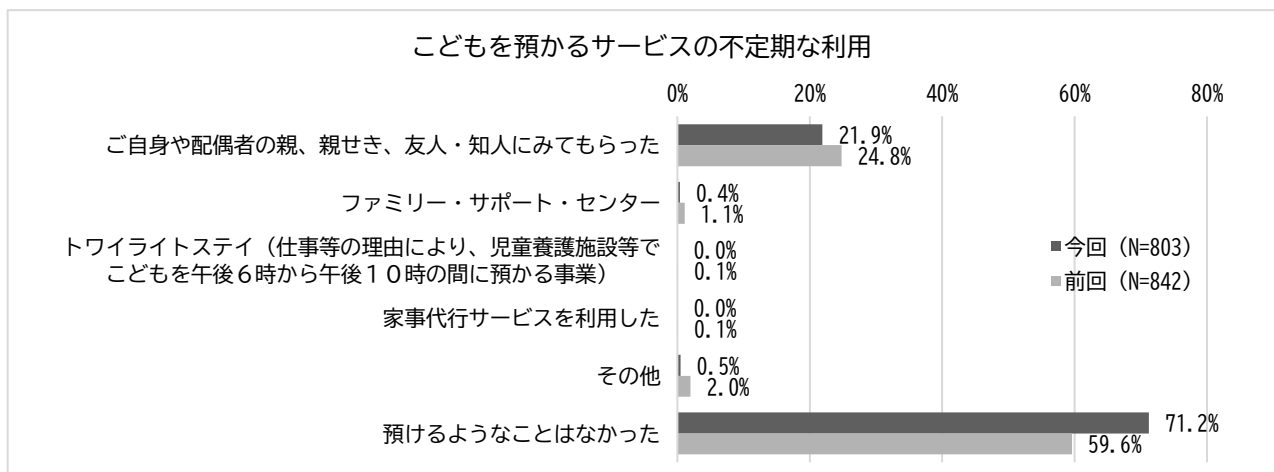


問 19 あなたは、ご自身や配偶者の親の通院、不規則の仕事、リフレッシュなどを理由として、こどもを預かるサービスを不規則に利用しましたか。(こどもが病気の時の保育施設などの利用は除きます。)利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

こどもを預かるサービスの不規則な利用

「預けるようなことはなかった」が 71.2%と最も多く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が 21.9%となっています。

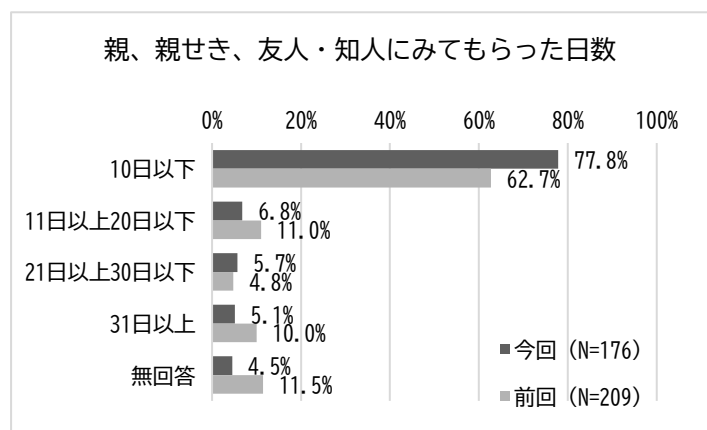
前回と比較すると、「預けるようなことはなかった」が 11.6 ポイント増加し、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が 2.9 ポイント減少しています。



自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数

「10 日以下」が 77.8%と最も多く、次いで「11 日以上 20 日以下」が 6.8%となっています。

前回と比較すると、「10 日以下」が 15.1 ポイント増加し、「31 日以上」が 4.9 ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センターを利用日数

3 件のうち、「10 日以下」が2件、「11 日以上 20 日以下」1件となっています。

トワイライトステイ、家事育児代行サービスを利用した日数

有効回答はありません。

その他を利用した日数

4 件のうち、「10 日以下」が3件、「21 日以上 30 日以下」が1件となっています。

問 20. あなたは、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事を理由として、1年間に何泊ぐらい短期入所生活支援事業(ショートステイ)を利用したいと思いますか。

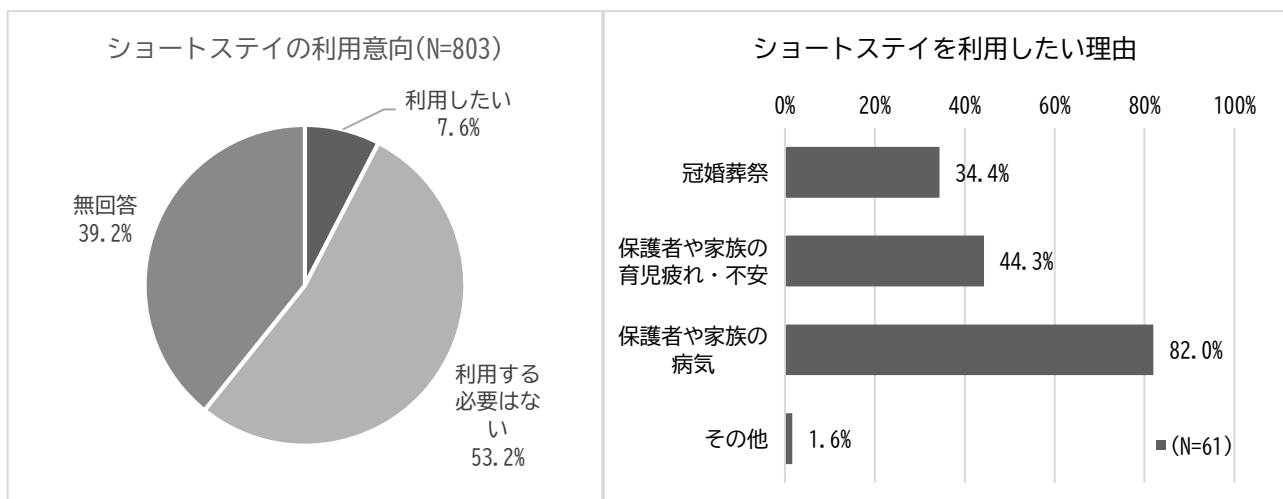
利用希望の有無についてどちらかの番号に、利用理由は、あてはまるものすべてに○をつけ、必要な泊数を()内に数字でご記入ください(利用したい目的別の日数と合計を数字でご記入ください)。

ショートステイの利用意向

「利用する必要はない」が53.2%、「利用したい」が7.6%となっています。

ショートステイを利用したい理由

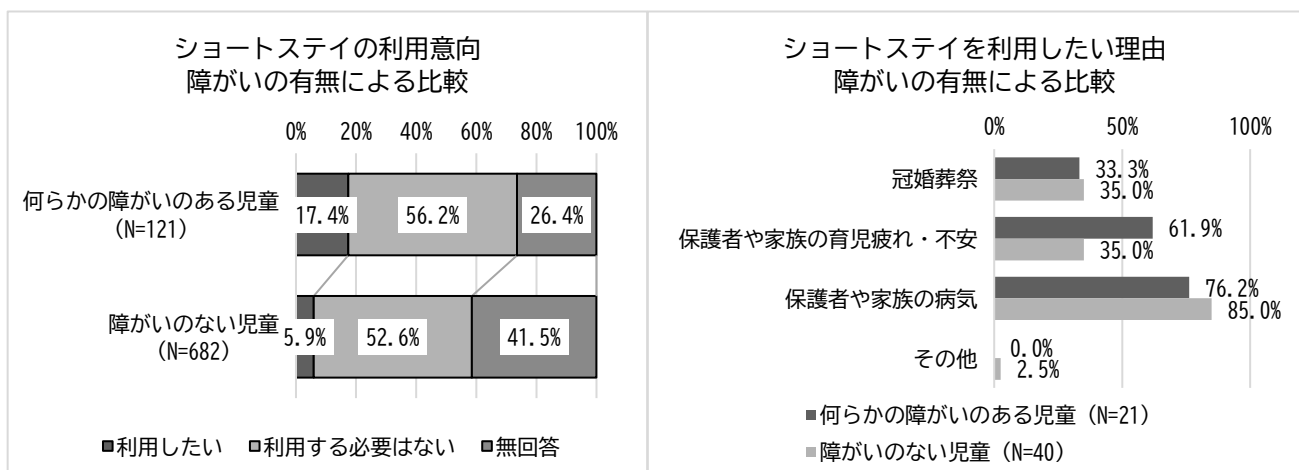
「保護者や家族の病気」が82.0%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が44.3%、「冠婚葬祭」が34.4%となっています。



障がいの有無による比較

「何らかの障がいのある児童」のショートステイの利用意向は「利用したい」が17.4%で、「障がいのない児童」に比べ11.5ポイント上回っています。

ショートステイを利用したい理由は、障がいの有無に関わらず「保護者や家族の病気」がもっとも多くなっていますが、「保護者や家族の育児疲れ・不安」は「何らかの障がいのある児童」が61.9%と、「障がいのない児童」に比べ26.9ポイント上回っています。

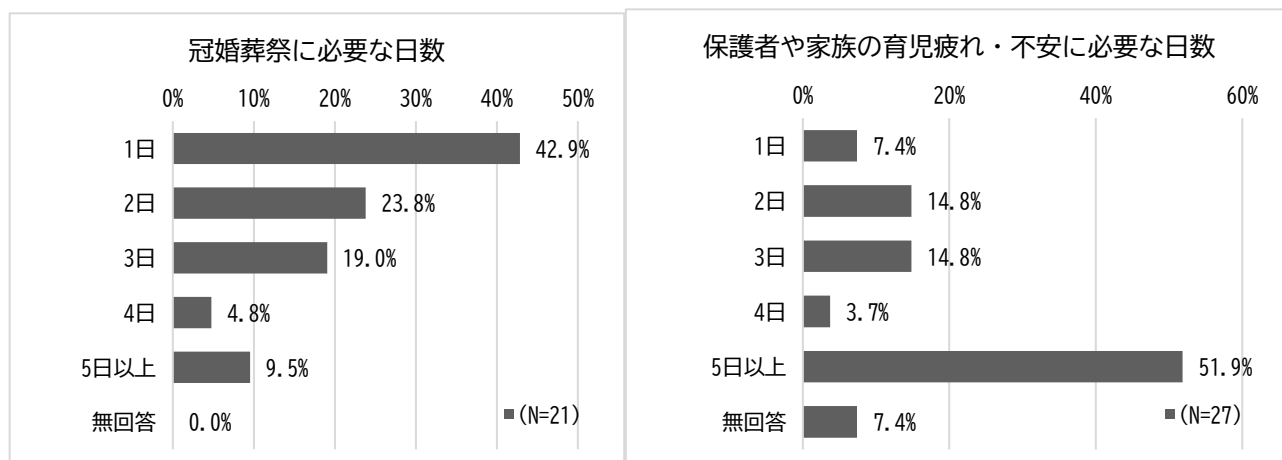


冠婚葬祭に必要な日数

「1日」が42.9%と最も多く、次いで「2日」が23.8%、「3日」が19.0%となっています。

保護者や家族の育児疲れ・不安に必要な日数

「1日」が42.9%と最も多く、次いで「2日」が23.8%、「3日」が19.0%となっています。

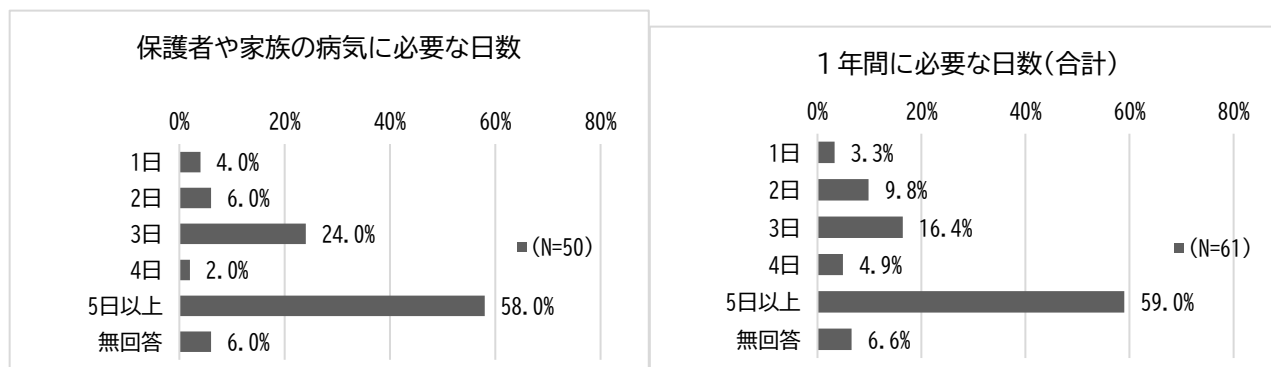


保護者や家族の病気に必要な日数

「5日以上」が58.0%と最も多く、次いで「3日」が24.0%となっています。

1年間に必要な日数(合計)

「5日以上」が59.0%と最も多く、次いで「3日」が16.4%、「2日」が9.8%となっています。



6. こどもの育ちをめぐる環境について

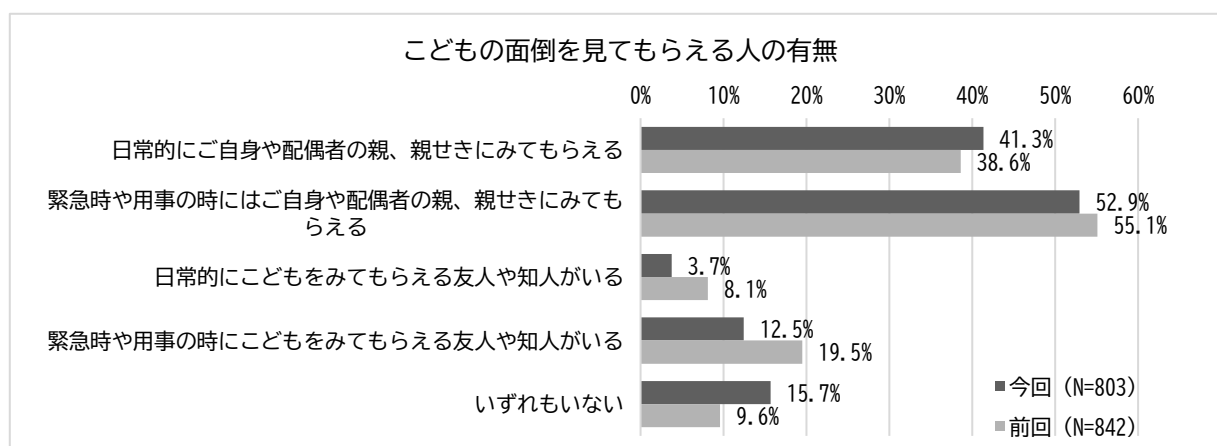
あて名のお子さんの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問 21 ふだん、あて名のお子さんの面倒を見てもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

こどもの面倒を見てもらえる人の有無

「緊急時や用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 52.9%と最も多く、次いで「日常적으로ご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 41.3%「いずれもない」が 15.7%となっています。

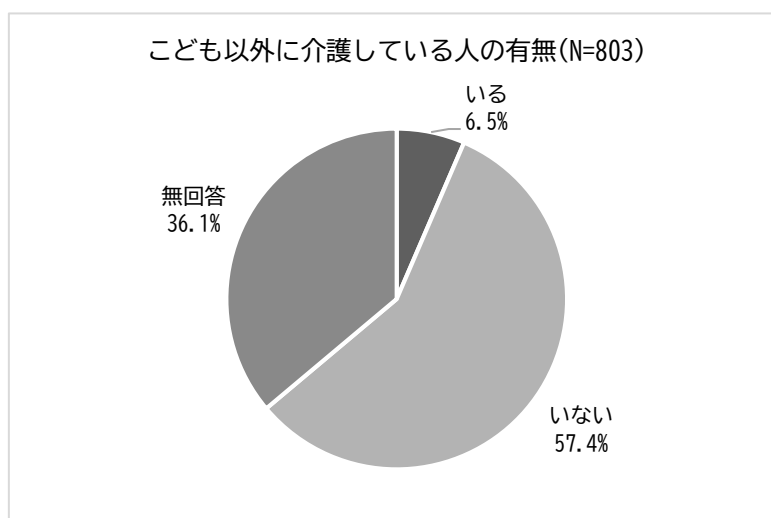
前回と比較すると、「いずれもない」が 6.1 ポイント増加し、「緊急時や用事の時にこどもをみてもらえる友人や知人がいる」が 7.0 ポイント減少しています。



問 22 家族にあて名のお子さん以外であなたが介護している方はいますか
(例:祖父母の介護等)。(1つだけ○)

こども以外に介護している人の有無

「いない」が 57.4%、「いる」が 6.5%となっています。

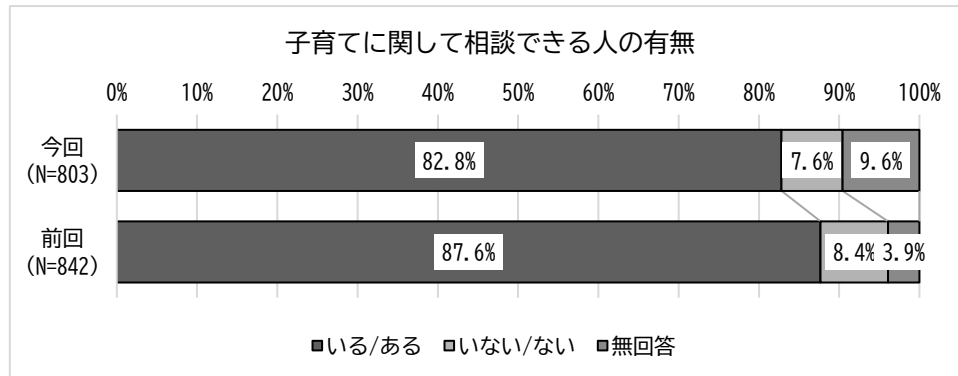


問 23 子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つだけ○)

子育てに関して相談できる人の有無

「いる／ある」が82.8%、「いない／ない」が7.6%となっています。

前回と比較すると、「いる／ある」が4.8ポイント減少しています。



問 23-1 問 23 で「1. いる/ある」に○をつけた方におうかがいします。

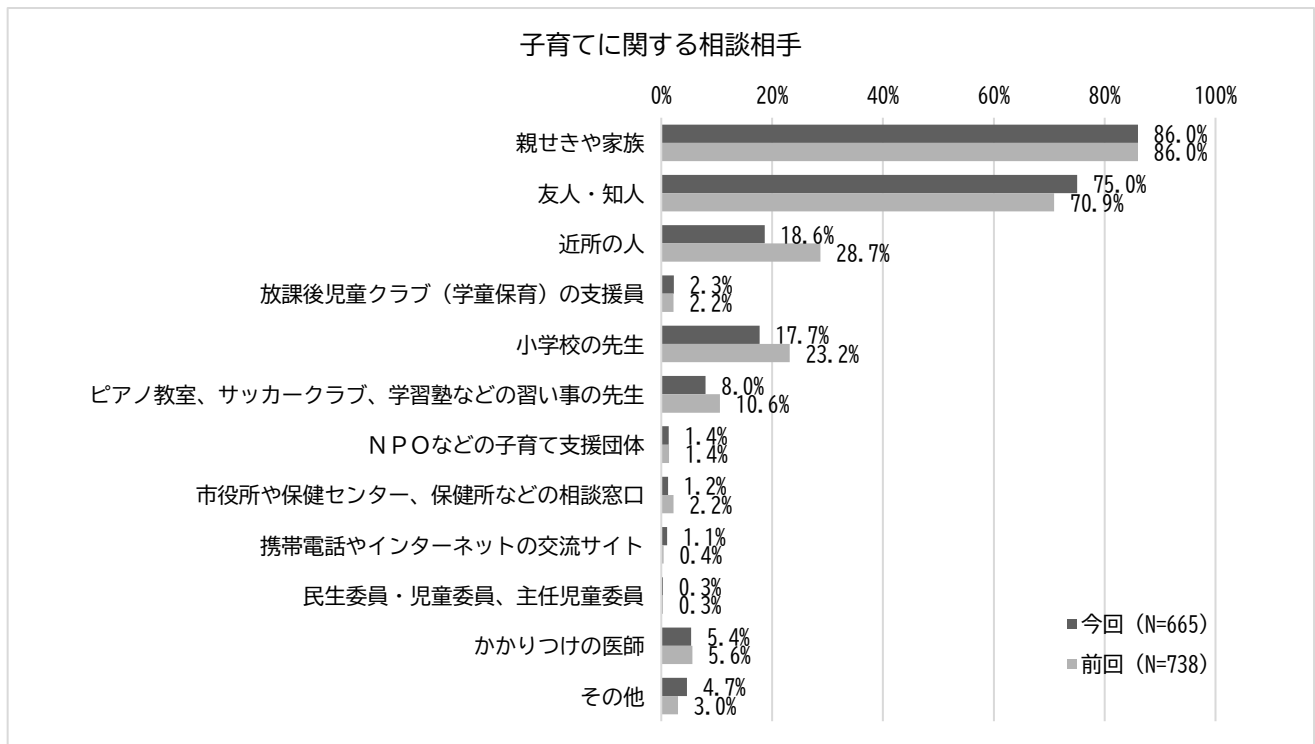
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する相談相手

「親や家族」が86.0%と最も多く、次いで「友人・知人」が75.0%、「近所の人」が18.6%となっています。

前回と比較すると、「友人・知人」が4.1ポイント増加し、「近所の人」が10.1ポイント減少しています。



7. こどもの生活状況について

問 24 すべての方におうかがいします。あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

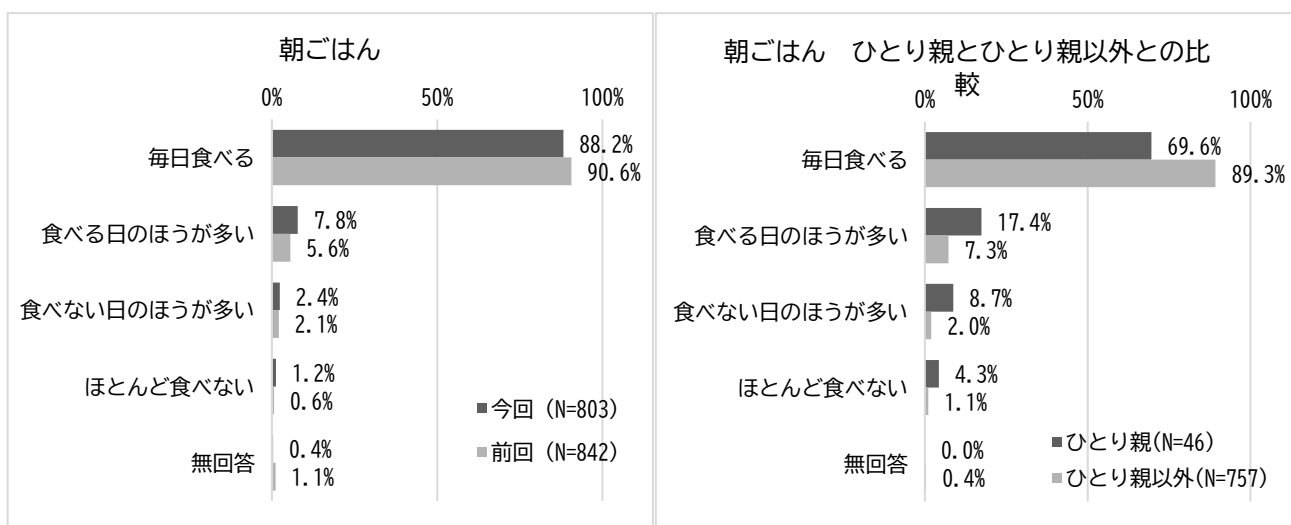
(1) 朝ごはんを食べますか。(1つだけ○)

「毎日食べる」が88.2%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「食べる日のほうが多い」が2.2ポイント増加し、「毎日食べる」が2.4ポイント減少しています。

ひとり親とひとり親以外との比較

「毎日食べる」はひとり親が69.6%、ひとり親以外が89.3%と、ひとり親が19.7ポイント下回っています。



(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。(1つだけ○)

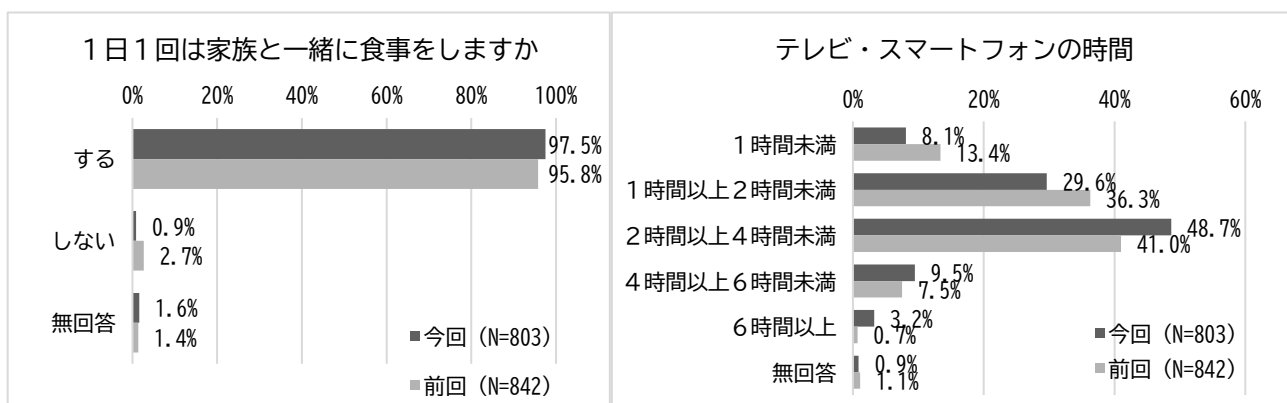
「する」が97.5%、「しない」が0.9%となっています。

前回と比較すると、「する」が1.7ポイント増加し、「しない」が1.8ポイント減少しています。

(3) 平日、テレビ・スマートフォン(ゲームを含む)を1日平均、何時間みますか。(1つだけ○)

「2時間以上4時間未満」が48.7%と最も多く、次いで「1時間以上2時間未満」の割合29.6%、「4時間以上6時間未満」が9.5%となっています。

前回と比較すると、「2時間以上4時間未満」が7.7ポイント増加し、6.7ポイント減少しています。



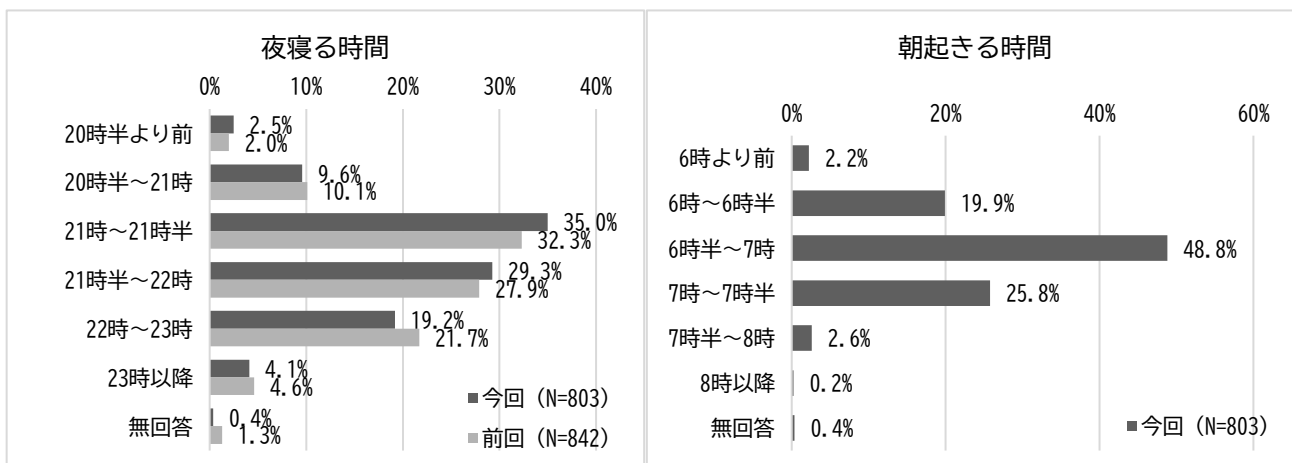
(4) 夜寝る時間は何時ですか。(1つだけ○)

「21 時～21 時半」が 35.0%と最も多く、次いで「21 時半～22 時」が 29.3%、「22 時～23 時」が 19.2%となっています。

前回と比較すると、「21 時～21 時半」が 2.7 ポイント増加し、「22 時～23 時」が 2.5 ポイント減少しています。

(5) 朝起きる時間は何時ですか。(1つだけ○)

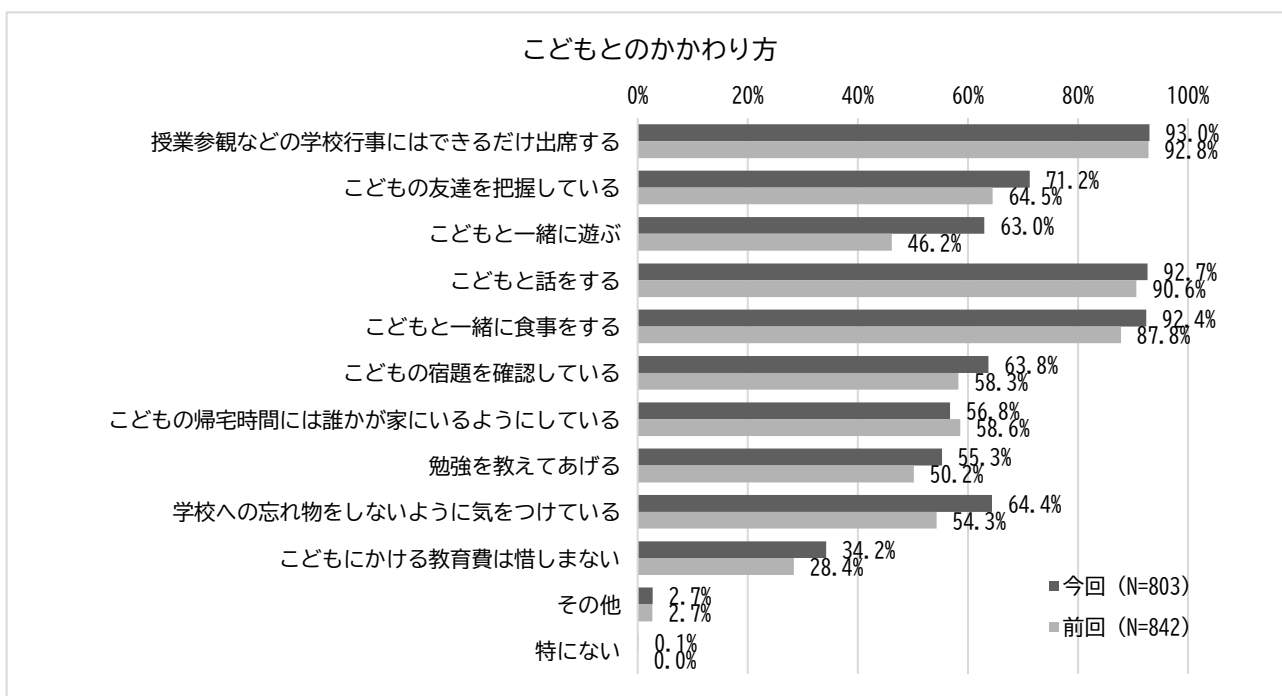
「6時半～7時」が 48.8%と最も多く、次いで「7時～7時半」が 25.8%、「6時～6時半」が 19.9%となっています。



問 25 ふだんの生活の中で、お子さんとどのようにかかわっていますか。(あてはまるものすべてに○)

「授業参観などの学校行事にはできるだけ出席する」が 93.0%と最も多く、次いで「こどもと話をする」が 92.7%、「こどもと一緒に食事をする」が 92.4%となっています。

前回と比較すると、「こどもと一緒に遊ぶ」が 16.8 ポイント増加しています。



問 26 学校でこどもの発達について、何らかの指摘を受けたことがありますか。

「1. ある」に○をつけた方は、「指摘を受けた後の対応」であてはまるものすべてに○をつけてください。

発達について指摘されたことの有無

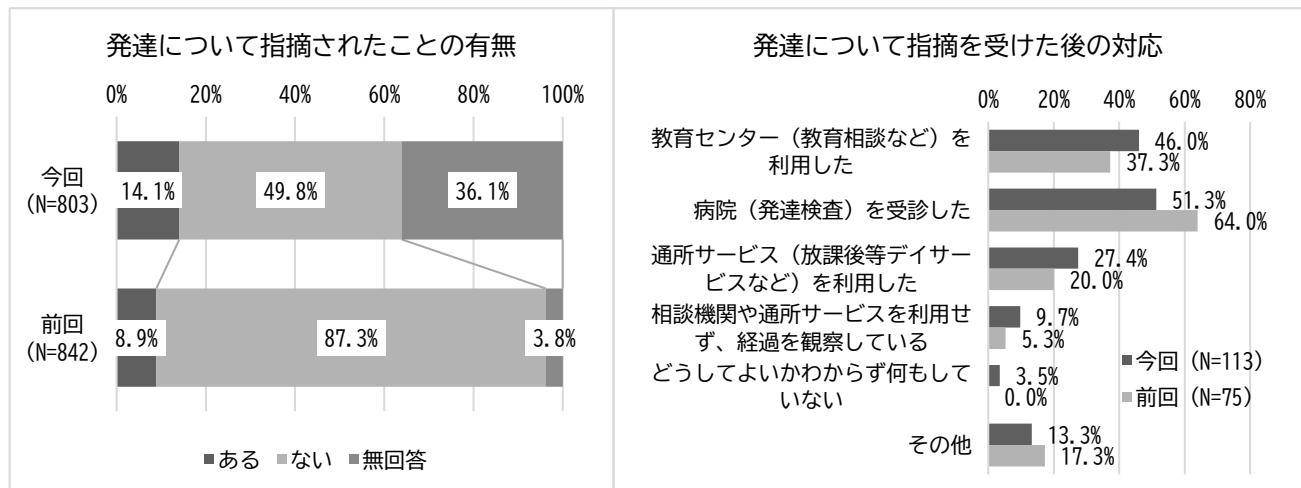
「ない」が49.8%、「ある」が14.1%となっています。

前回と比較すると、「ある」が5.5ポイント増加し、「ない」が37.5ポイント減少しています。

発達について指摘を受けた後の対応

「病院（発達検査）を受診した」が51.3%と最も多く、次いで「教育センター（教育相談など）を利用した」が46.0%、「通所サービス（放課後デイサービスなど）を利用した」が27.4%となっています。

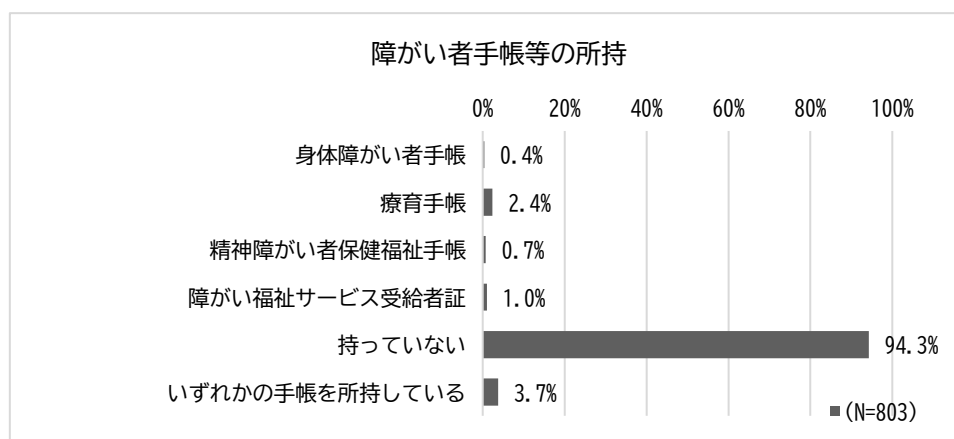
前回と比較すると、「教育センター（教育相談など）を利用した」が8.7ポイント増加し、「病院（発達検査）を受診した」が12.7ポイント減少しています。



問 27 あて名のお子さんは障がい者手帳等を所持していますか。

（あてはまるものすべてに○）

障がい者手帳等の所持では「療育手帳」が2.4%最も多く、「持っていない」は94.3%となっています。また、いずれかの手帳を所持している児童は3.7%となっています。



8. 子育てに関する経済的なことについて

子育てに関する経済的なことについておうかがいします。

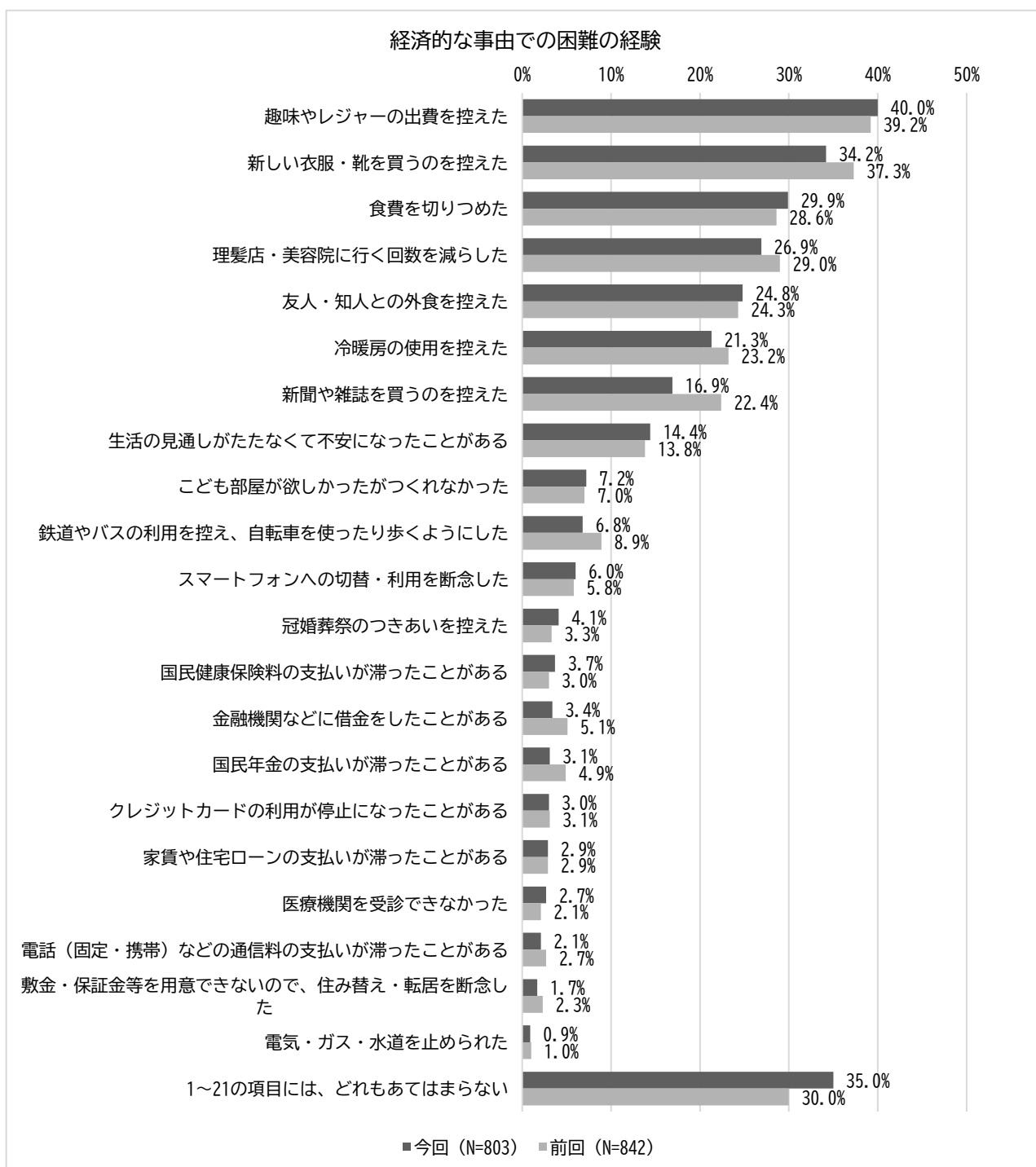
問 28 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

概ね 1 年の間でお考えください。(あてはまるものすべてに○)

経済的な事由での困難の経験

「趣味やレジャーの出費を減らした」が 40.0%と最も多く、次いで「1～21 の項目には、どれにもあてはまらない」が 35.0%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 34.2%となっています。

前回と比較すると、「1～21 の項目には、どれにもあてはまらない」が 5.0 ポイント増加し、「新聞や雑誌を買うのを控えた」5.5 ポイント減少しています。



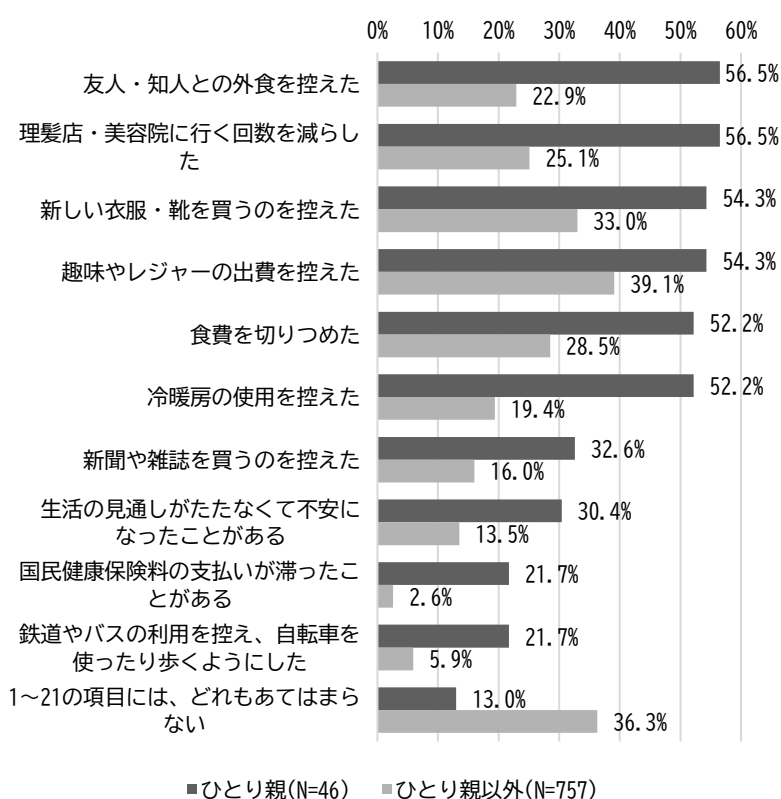
ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親では「友人・知人との外食を控えた」「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が 56.5%と最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」「趣味やレジャーの出費を控えた」が 54.3%。「食費を切りつめた」「冷暖房の使用を控えた」が 52.2%となっています。

ひとり親以外と比較すると、「友人・知人との外食を控えた」が 33.6 ポイント、「冷暖房の使用を控えた」が 32.8 ポイント、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が 31.4 ポイント、「食費を切りつめた」が 23.7%ポイント、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 21.3 ポイント上回っています。

また「どれもあてはまらない」はひとり親が 13.0%に対し、ひとり親以外が 36.3%と、ひとり親が 23.3 ポイント下回っています。

経済的な理由による困難の経験
ひとり親とひとり親以外の比較

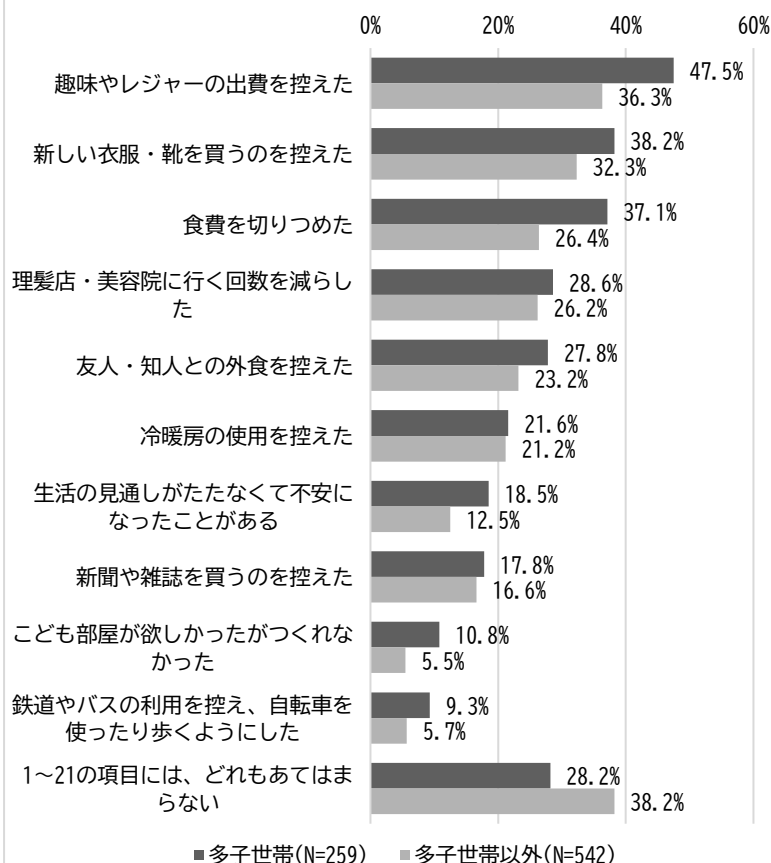


多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「趣味やレジャーの出費を控えた」が 47.5%と最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 38.2%、「食費を切りつめた」が 37.1%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が 28.6%、「友人・知人との外食を控えた」が 27.8%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「趣味やレジャーの出費を控えた」が 11.2 ポイント、「食費を切りつめた」が 10.7 ポイント上回っています。

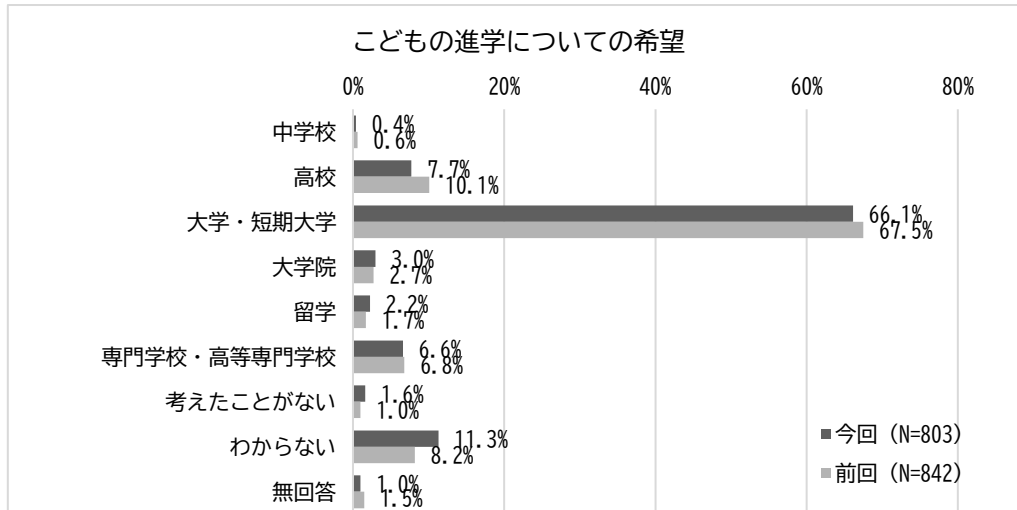
経済的な理由による経験
多子世帯と多子世帯以外の比較



問 29 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(1つだけ○)

こどもの進学についての希望

「大学・短期大学」が66.1%と最も多く、次いで「わからない」が11.3%、「高校」が7.7%となっています。
前回と比較すると、「わからない」が3.1ポイント増加し、「高校」が2.4ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外との比較

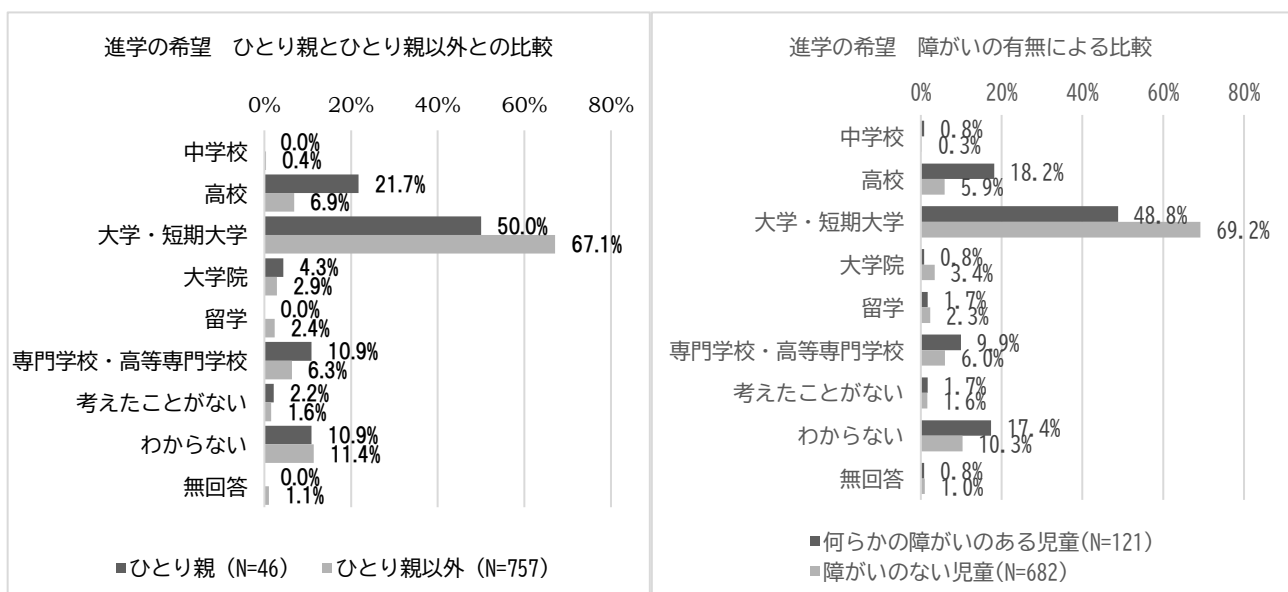
ひとり親では「大学・短期大学」が50.0%最も多く、次いで「高校」が21.7%、「専門学校・高等専門学校」が10.9%となっています。

ひとり親以外と比較すると、「高校」が14.8%、「専門学校・高等専門学校」が4.6ポイント上回り、「大学・短期大学」が17.1ポイント下回っています。

障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童では「大学・短期大学」が48.8%と最も多く、次いで「高校」が18.2%、「専門学校・高等専門学校」が9.9%となっています。

障がいのない児童と比較すると、「高校」が12.3ポイント上回り、「大学・短期大学」が20.4ポイント下回っています。



問 30 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(1つだけ○)

こども将来のための貯蓄

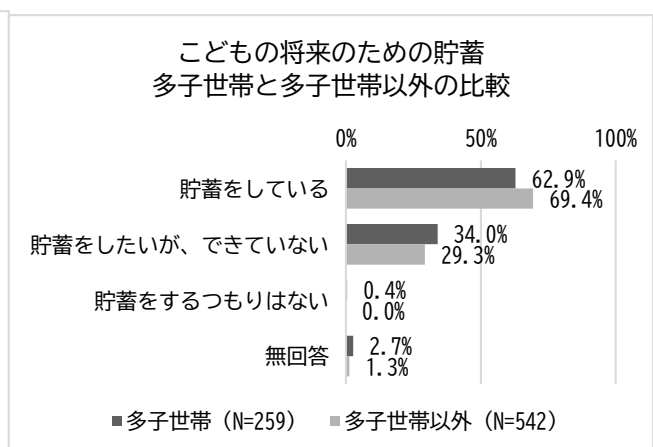
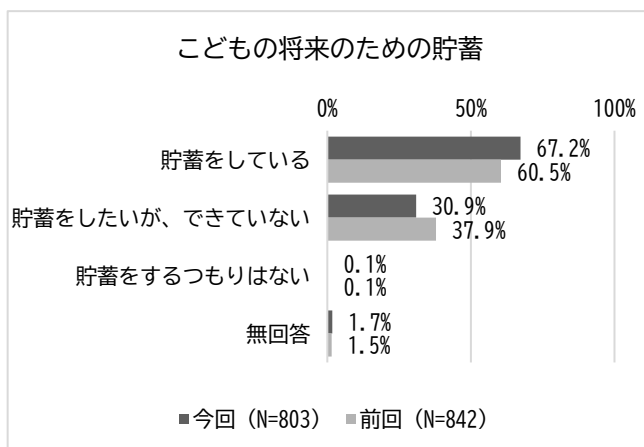
「貯蓄をしている」が67.2%と最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が30.9%となっています。

前回と比較すると、「貯蓄をしている」が6.7ポイント増加し、「貯蓄をしたいが、できていない」が7.0ポイント減少しています。

多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「貯蓄をしている」が62.9%と最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が34.0%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「貯蓄をしている」が6.5ポイント下回り、「貯蓄をしたいが、できていない」が4.7ポイント上回っています。

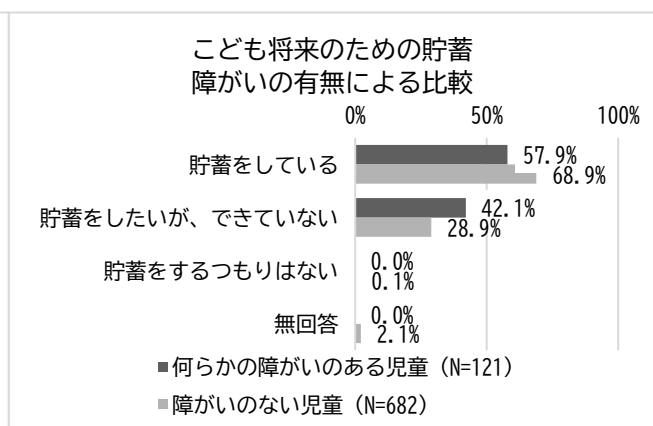
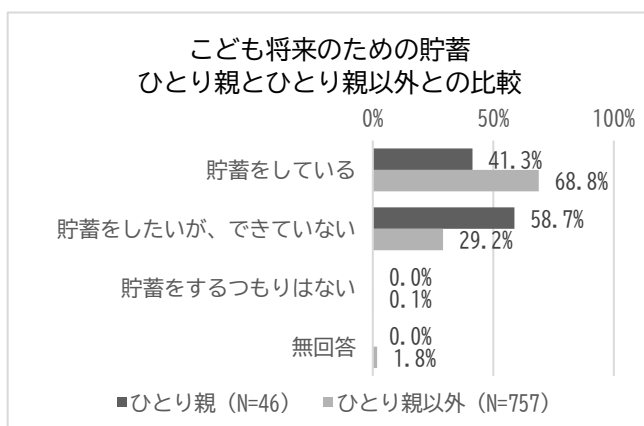


ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親では「貯蓄をしている」が41.3%、「貯蓄をしたいが、できていない」が58.7%となっており、ひとり親以外と比較すると、「貯蓄をしている」が27.5ポイント下回り、「貯蓄をしたいが、できていない」が29.5ポイント上回っています。

障がいの有無による比較

何らかの障がいのある児童では「貯蓄をしている」が57.9%、「貯蓄をしたいが、できていない」が42.1%となっており、障がいのない児童と比較すると、「貯蓄をしている」が11.1ポイント下回り、「貯蓄をしたいが、できていない」が13.2ポイント上回っています。



9. 子育てに対して感じることについて

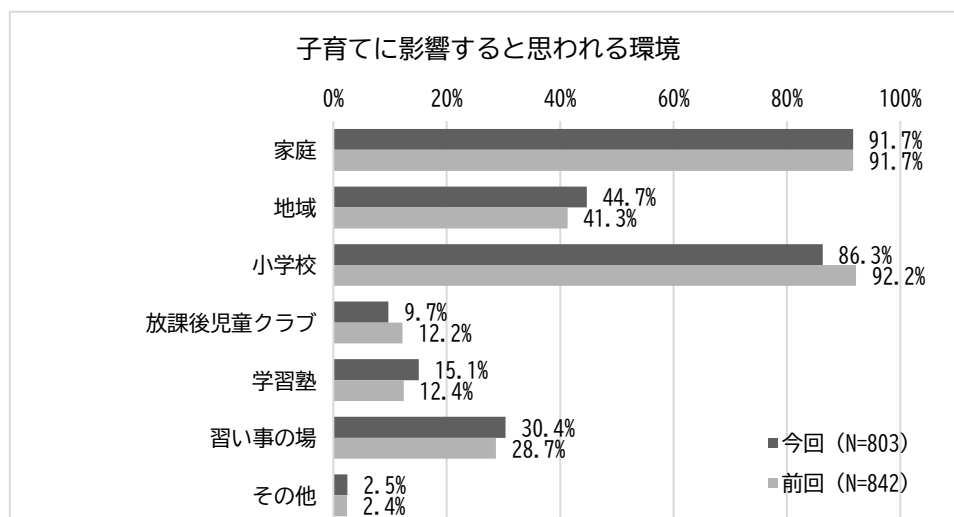
子育てに対して感じることについておうかがいします。

問 31 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに影響すると思われる環境

「家庭」が91.7%と最も多く、次いで「小学校」が86.3%、「地域」が44.7%となっています。

前回と比較すると、「地域」が3.4ポイント増加し、「小学校」が5.9ポイント減少しています。

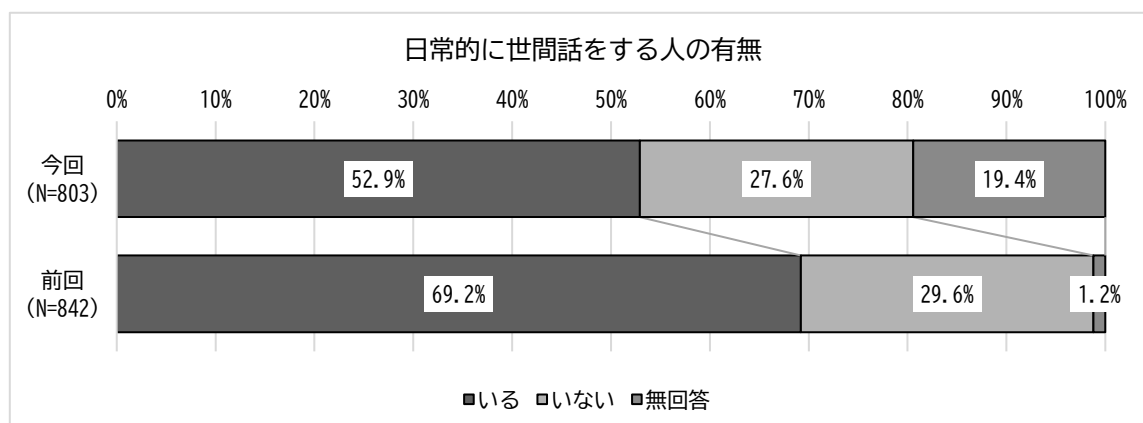


問 32 お住まいの近くで日常的にちょっとしたこどもの世話や世間話をする人はいますか。(どちらかに○)

世間話をする人の有無

「いる」が52.9%、「いない」が27.6%となっています。

前回と比較すると、「いる」が16.3ポイント減少しています。

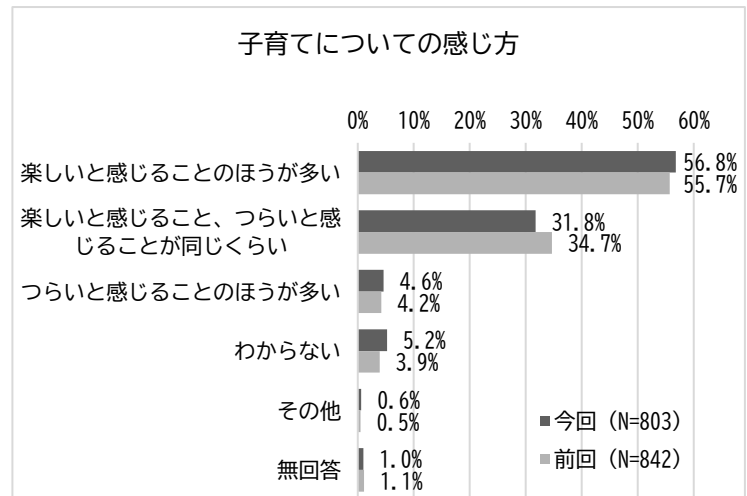


問 33 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じていることが多いですか。
(1つだけ○)

子育てについての感じ方

「楽しいと感じることのほうが多い」が55.7%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が34.7%となっています。

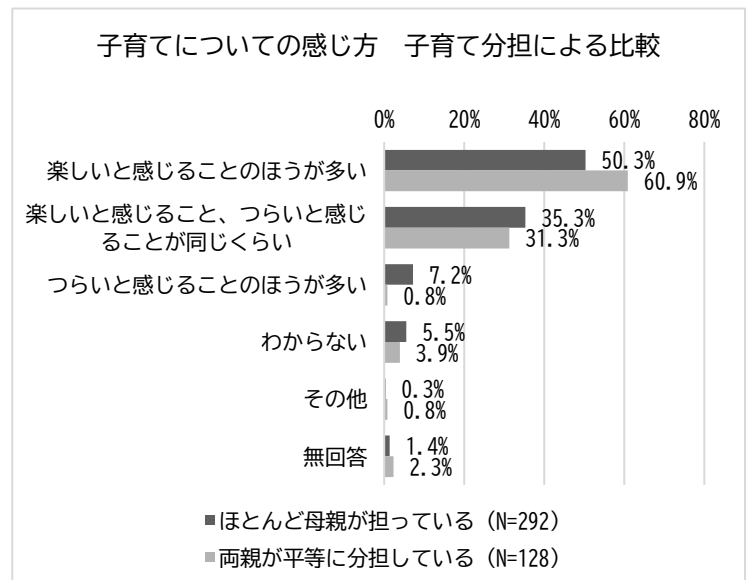
前回と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が1.1ポイント増加し、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が2.9ポイント減少しています。



子育て分担による比較

「両親が平等に分担している」は「楽しいと感じることのほうが多い」が60.9%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が31.3%となっています。

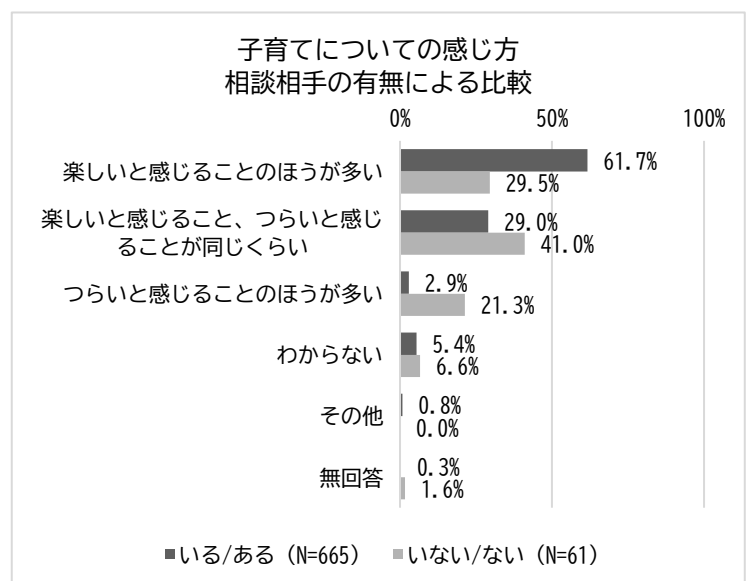
「ほとんど母親が担っている」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が10.6ポイント上回り、「つらいと感じることのほうが多い」が6.4ポイント下回っています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いる/ある」は「楽しいと感じることのほうが多い」が61.7%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が29.0%となっています。

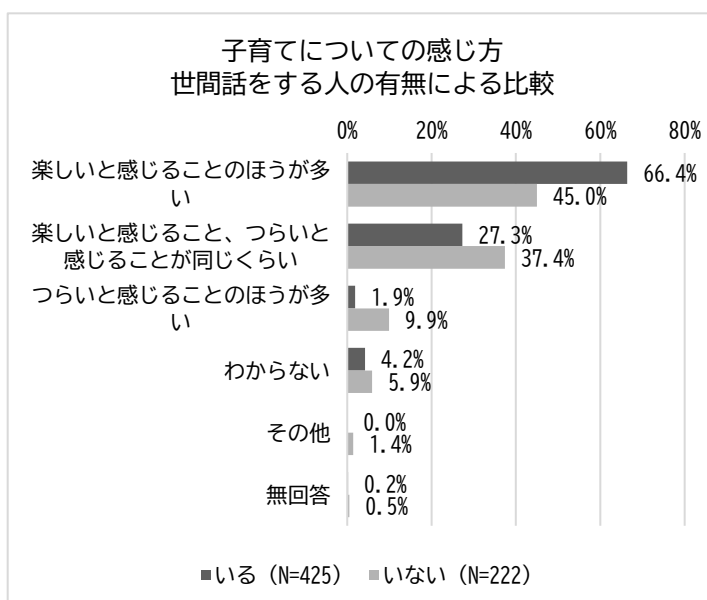
相談相手が「いない/ない」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が32.2ポイント上回り、「つらいと感じることのほうが多い」が18.4ポイント下回っています。



世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いる」は「楽しいと感じることのほうが多い」が66.4%と最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が27.3%となっています。

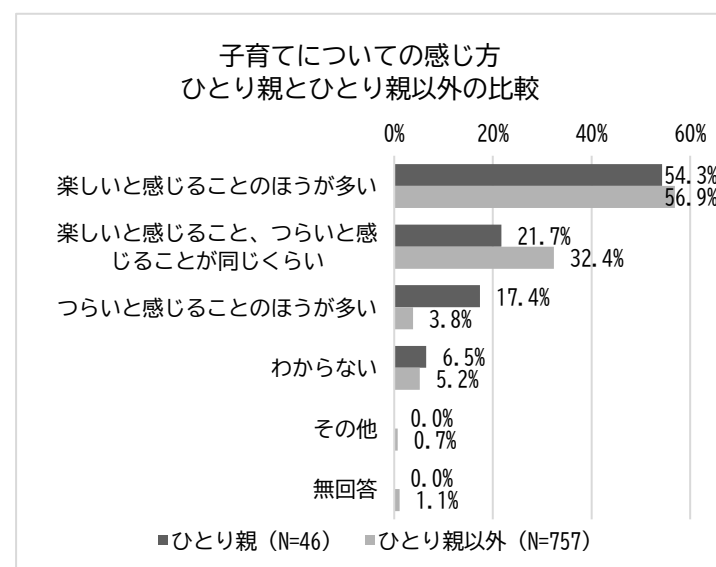
世間話をする人が「いない」と比較すると、「楽しいと感じることのほうが多い」が21.4ポイント上回り、「つらいと感じることのほうが多い」が10.1ポイント下回っています。



ひとり親とひとり親以外の比較

「ひとり親」は「楽しいと感じることのほうが多い」が54.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が21.7%となっています。

「ひとり親以外」と比較すると、「つらいと感じることのほうが多い」が13.6ポイント上回り、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が10.7ポイント下回っています。



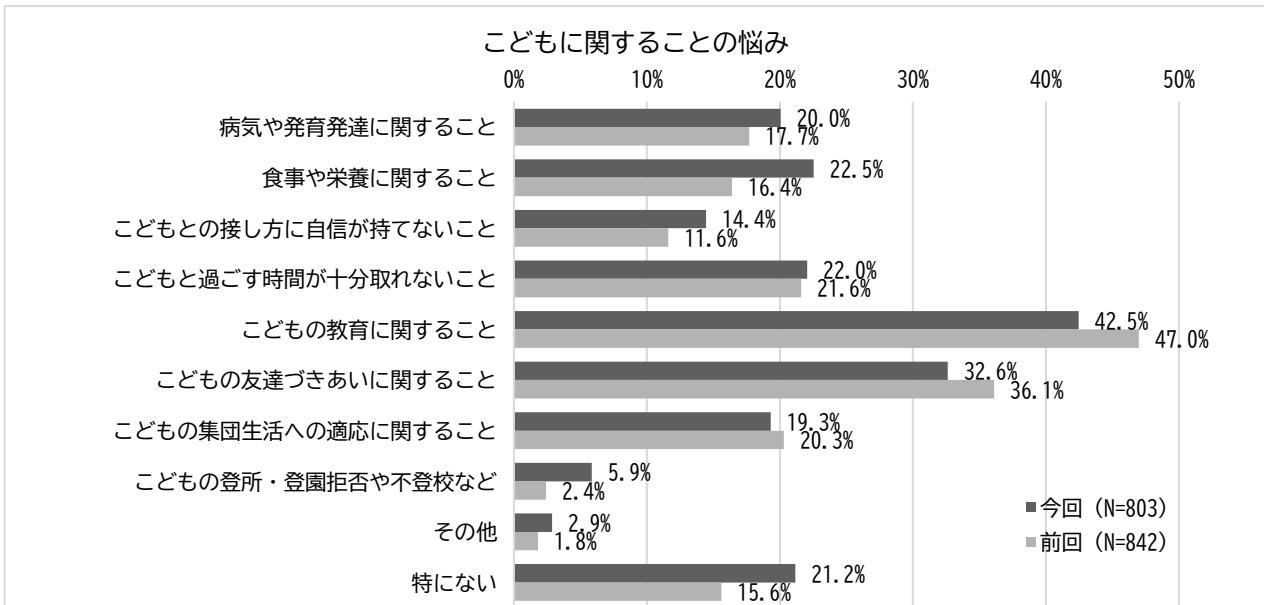
問 34 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) こどもに関することの悩み

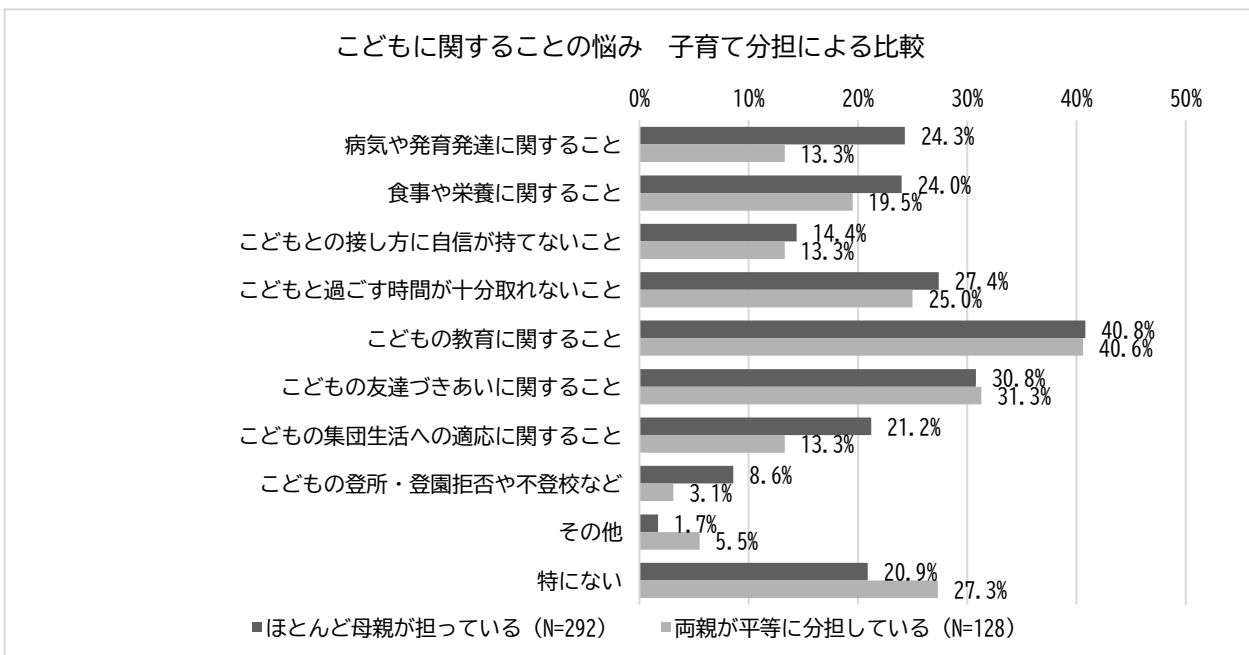
「こどもの教育に関すること」が 42.5%と最も多く、次いで「こどもの友達づきあいに関すること」が 32.6%、「食事や栄養に関すること」が 22.5%となっています。

前回と比較すると、「食事や栄養に関すること」が 6.1 ポイント増加しています。



子育て分担による比較

「ほとんど母親が担っている」は「両親が平等に分担している」に比較して、「病気や発育発達に関すること」が 11.0 ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が 7.9 ポイント、「こどもの登所・登園拒否や不登校など」が 5.5 ばい上回っています。

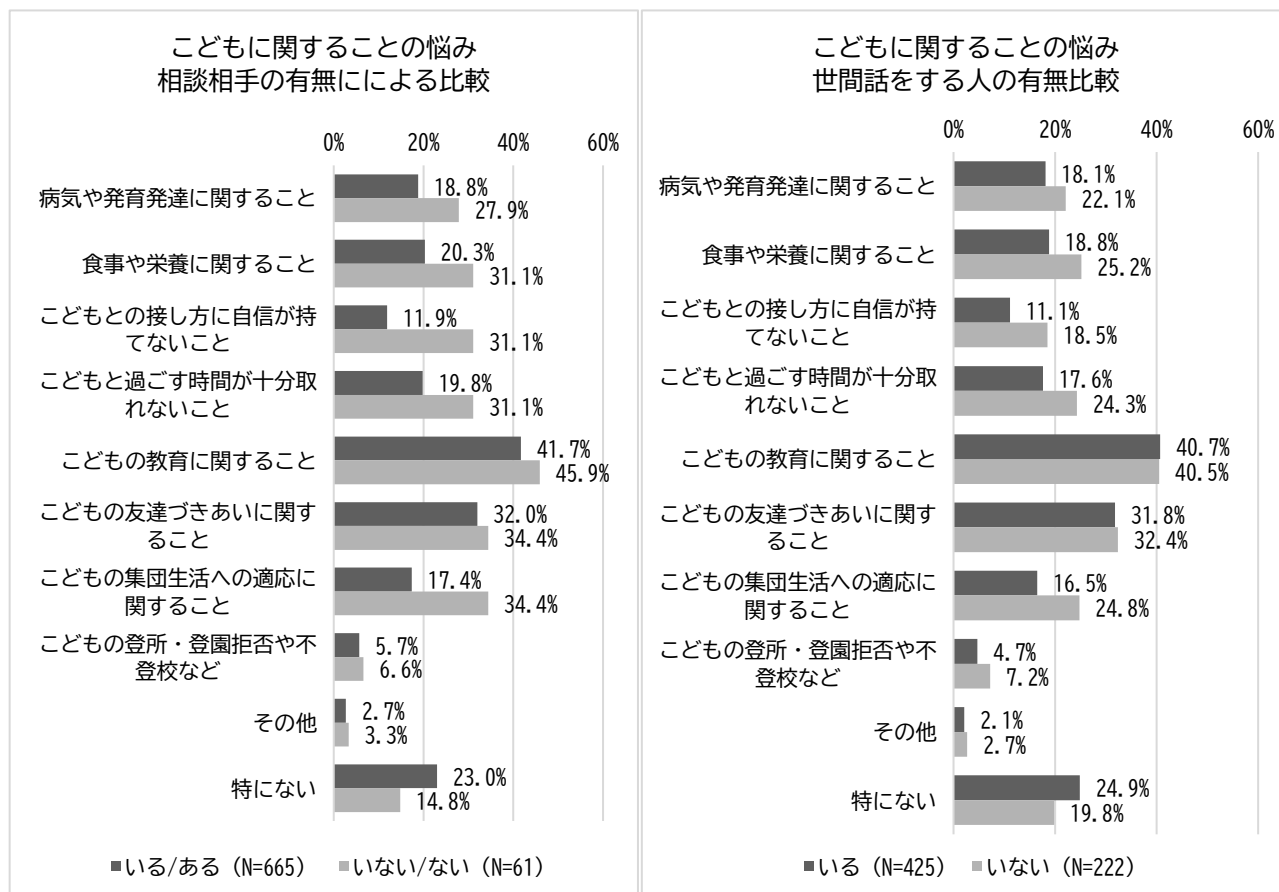


相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は「いる/ある」に比較して、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」が19.2ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が17.0ポイント、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が11.3ポイント上回っています。

世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いない」は「いる」に比較して、「こどもの集団生活への適応に関すること」が8.3ポイント、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」が7.4ポイント、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が6.7ポイント上回っています。

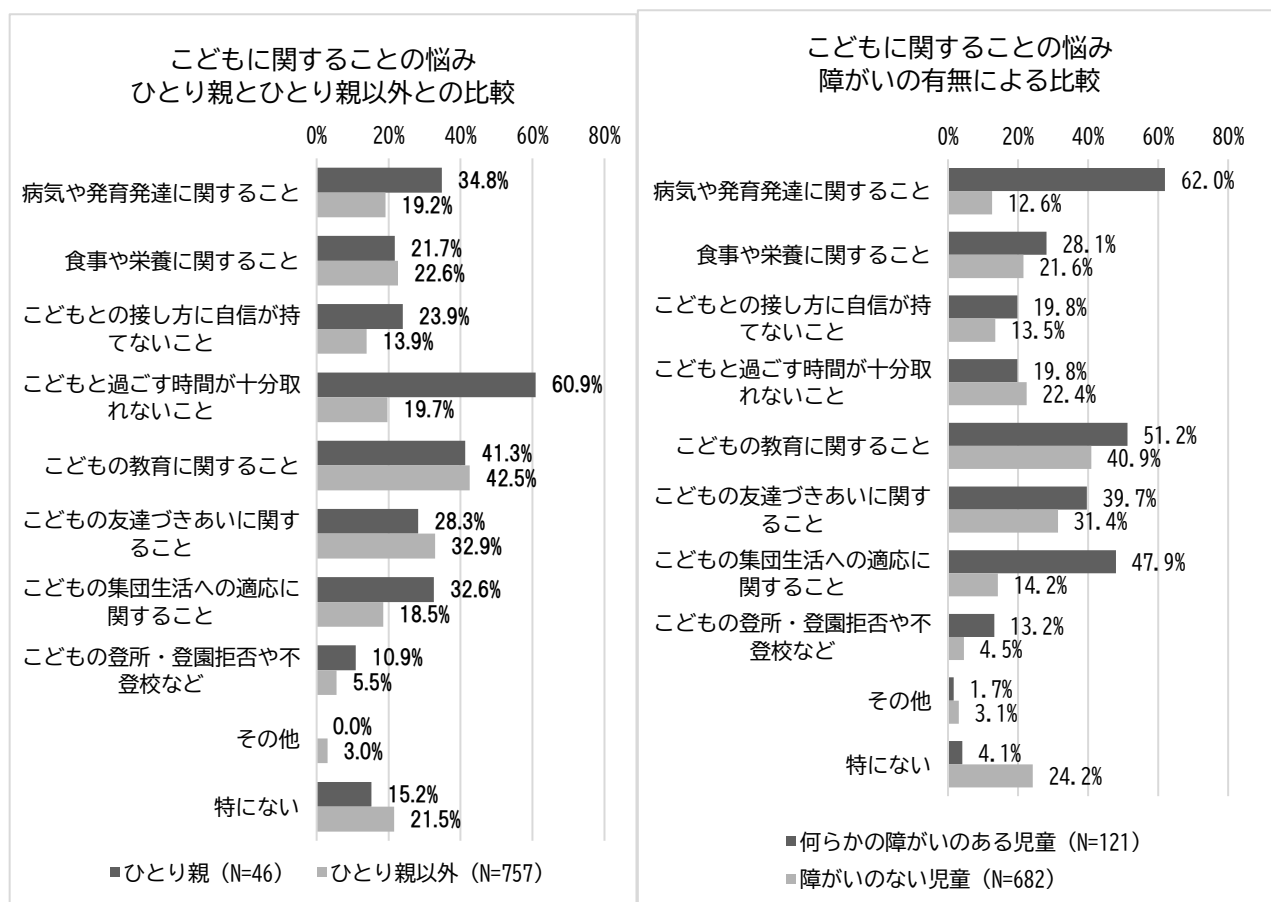


ひとり親とひとり親以外との比較

「ひとり親」は「ひとり親以外」と比較して、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が41.2ポイント、「病気や発育発達に関すること」が15.6ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が14.1ポイント、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」が10.0ポイント上回っています。

障がいの有無による比較

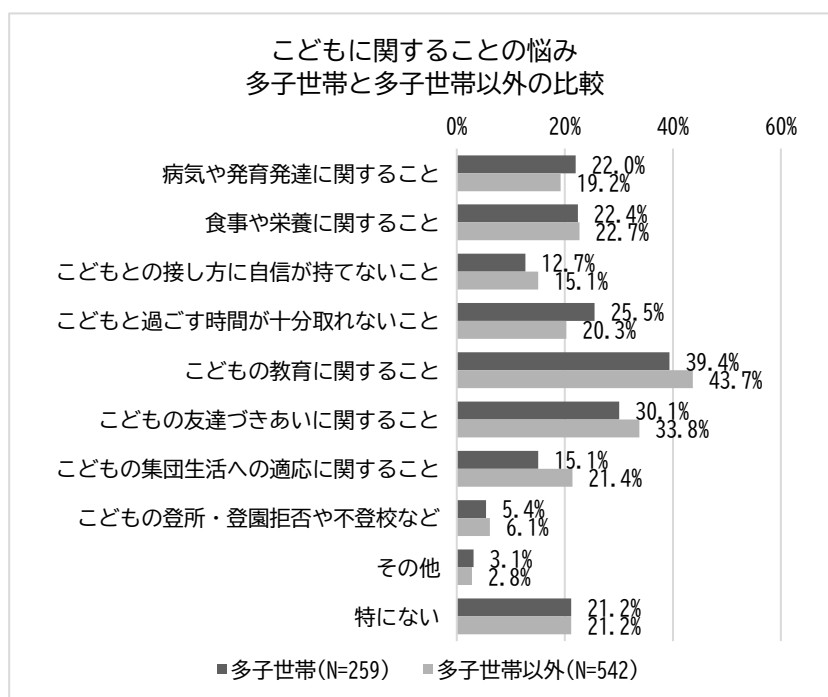
「何らかの障がいがある児童」は「障がいのない児童」に比較して、「病気や発育発達に関すること」が49.4ポイント、「こどもの集団生活への適応に関すること」が33.7ポイント、「こどもの教育に関すること」が10.3ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「こどもの教育に関すること」が39.4%と最も多く、次いで「こどもの友達づきあいに関すること」が30.1%、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が25.5%となっています。

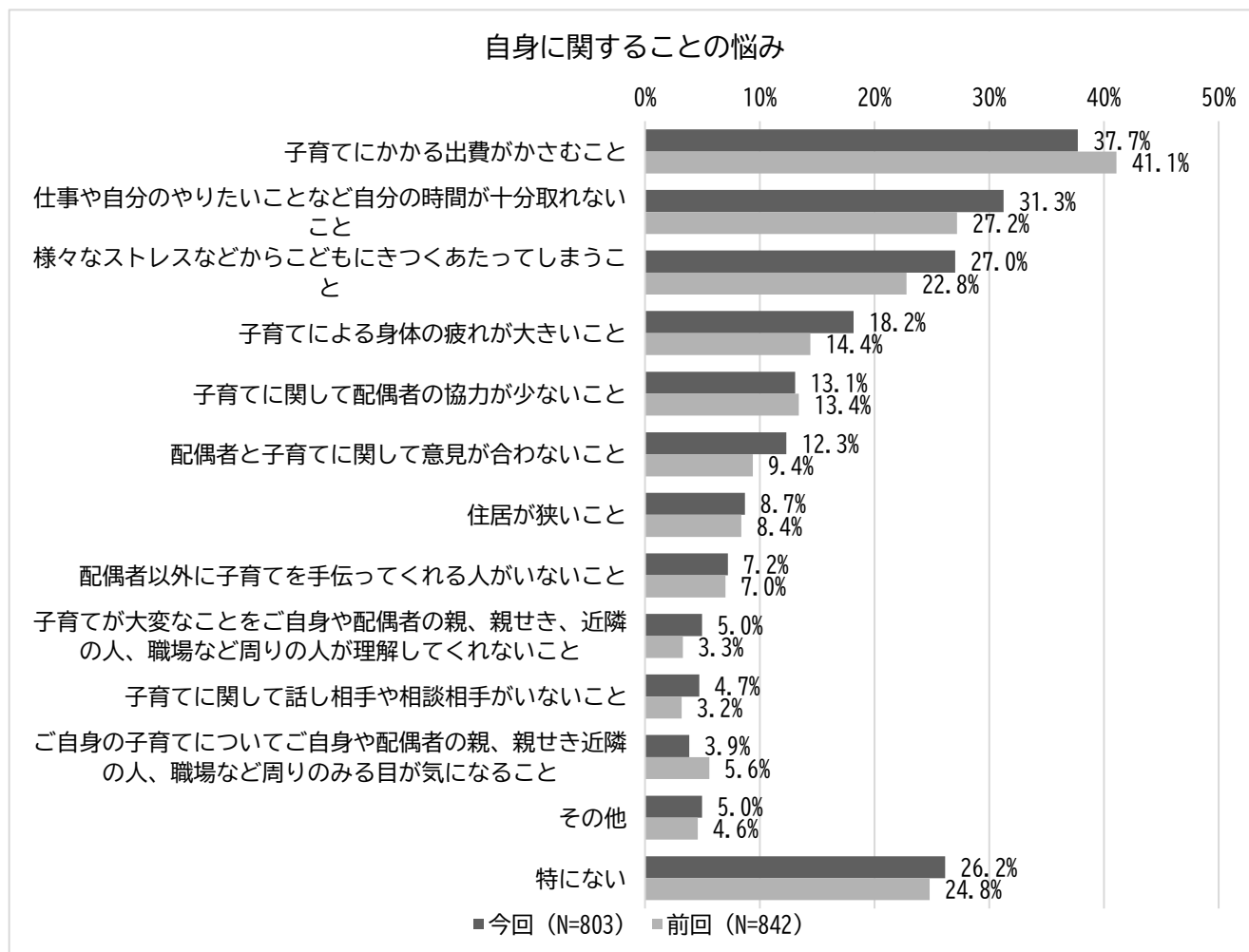
多子世帯以外と比較すると、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」が5.2ポイント上回り、「こどもの集団生活への適応に関すること」が6.3ポイント下回っています。



(2)自身に関することの悩み

「子育てにかかる出費がかさむこと」が 37.7%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 31.3%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 27.0%となっています。

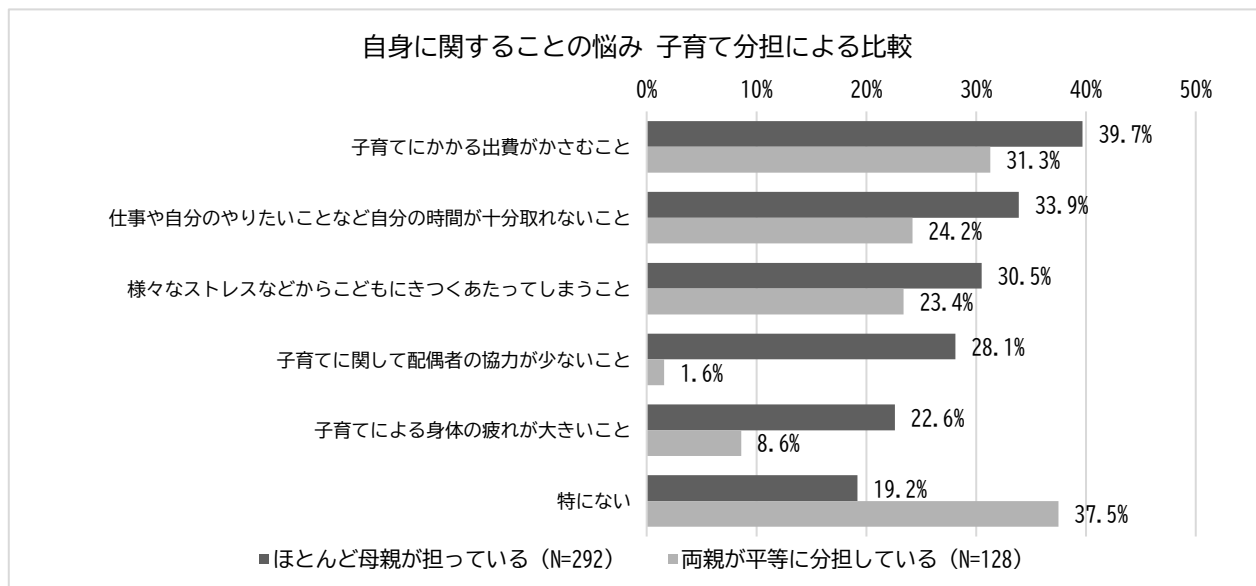
前回と比較すると、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 4.2 ポイント増加し、「子育てに費用がかさむこと」が 3.4 ポイント減少しています。



子育て分担による比較

「ほとんど母親が担っている」は「子育てにかかる出費がかさむこと」が 39.7%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 33.9%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 30.5%となっています。

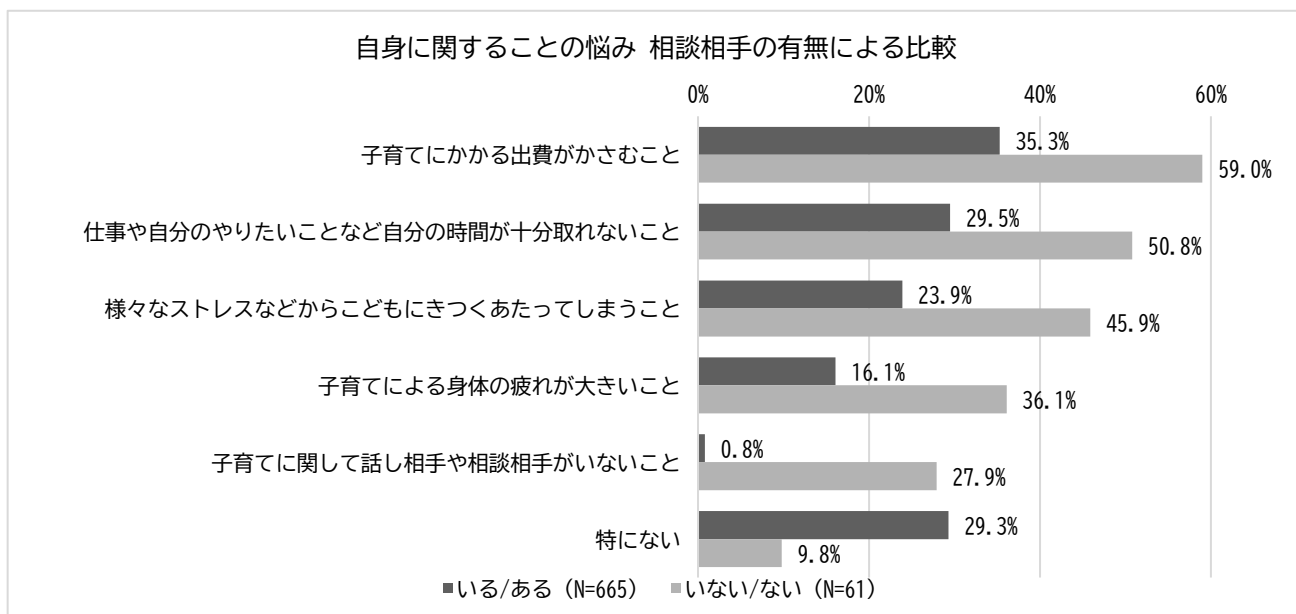
「両親が平等に分担している」と比較すると、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」が 26.5 ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 14.0 ポイント、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 9.7 ポイント上回っています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いない/ない」は「子育てにかかる出費がかさむこと」が 35.3%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 29.5%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 23.9%となっています。

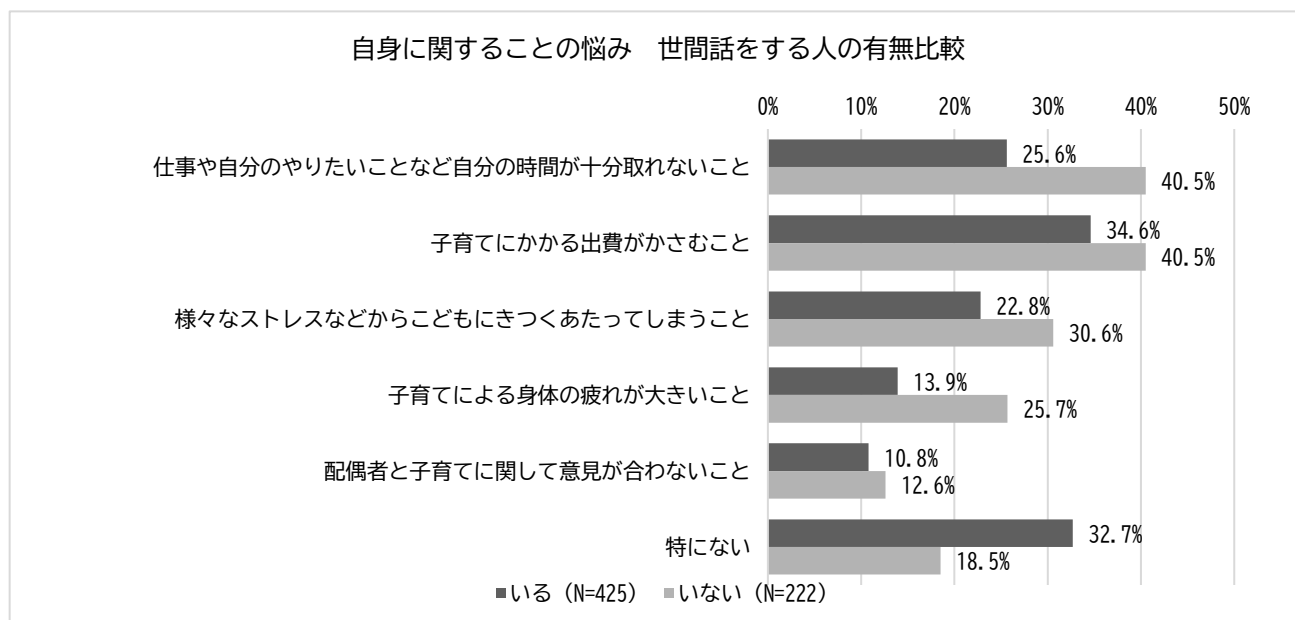
「いる/ある」と比較すると、「子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと」が 27.1 ポイント、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 23.7 ポイント、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 22.0 ポイント上回っています。



世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いない」は「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」「子育てにかかる出費がかさむこと」が共に 40.5%と最も多く、次いで「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 30.6%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 25.7%となっています。

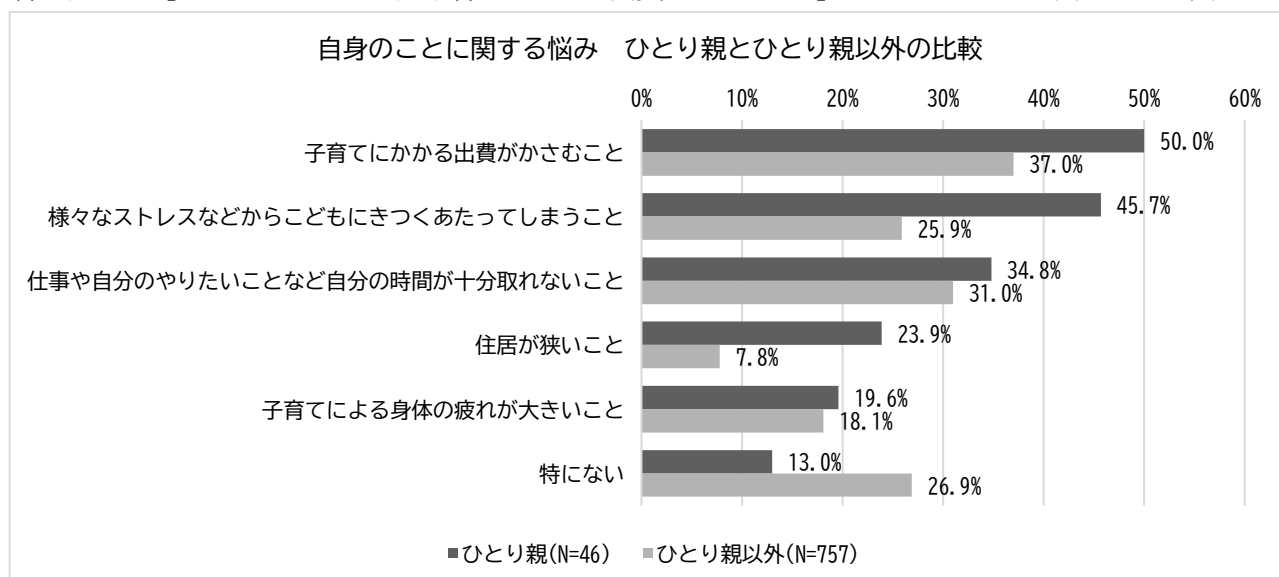
「いる」と比較すると、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 14.9 ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 11.8 ポイント、「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」が 8.2 ポイント上回っています。



ひとり親とひとり親以外との比較

ひとり親は「子育てにかかる出費がかさむこと」が 50.0%と最も多く、次いで「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 45.7%、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 34.8%となっています。

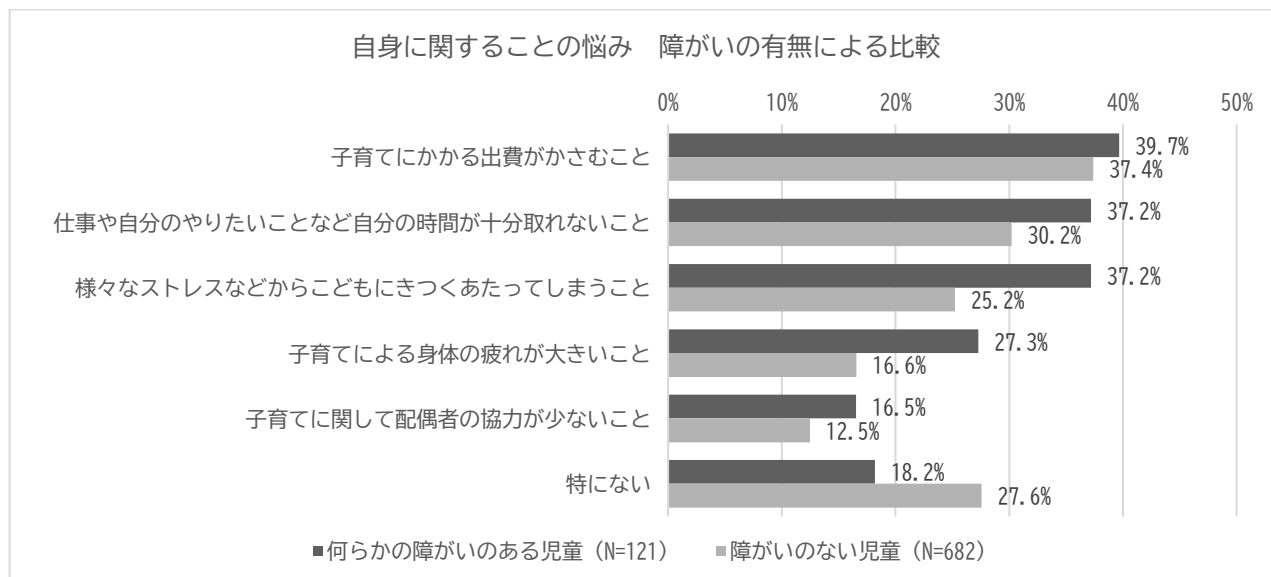
ひとり親以外と比較すると、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 19.8 ポイント、「住居が狭いこと」が 16.1%ポイント、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 13.0 ポイント上回っています。



障がいの有無による比較

「何らかの障がいのある児童」は「子育てにかかる出費がかさむこと」が39.7%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が37.2%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が27.3%となっています。

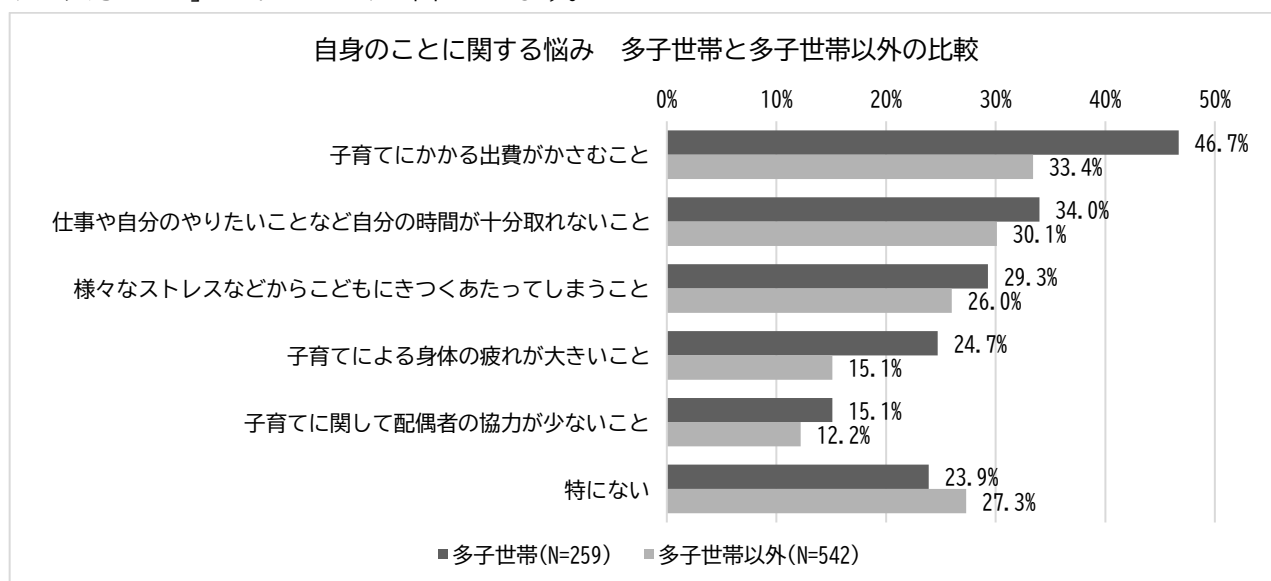
「障がいのない児童」と比較すると、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が12.0ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が10.7ポイント、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が7.0ポイント上回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「子育てにかかる出費がかさむこと」が46.7%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が34.0%、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が29.3%となっています。

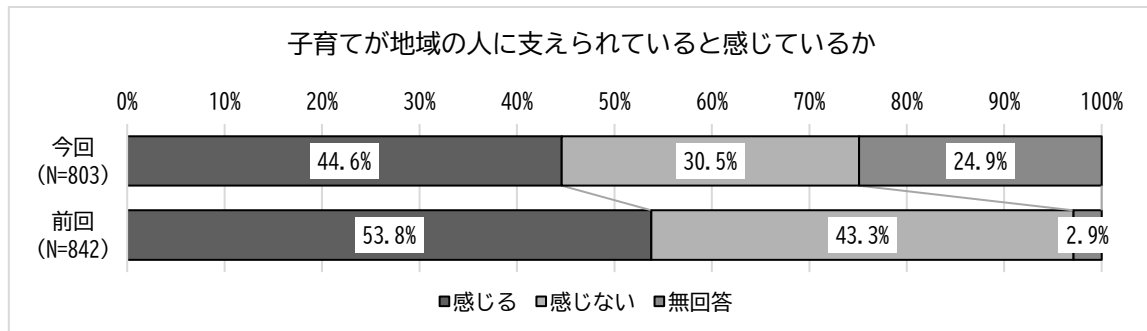
多子世帯以外と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」が13.3ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が9.6ポイント上回っています。



問 35 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(どちらかに○)

「感じる」が 44.6%、「感じない」が 30.5%となっています。

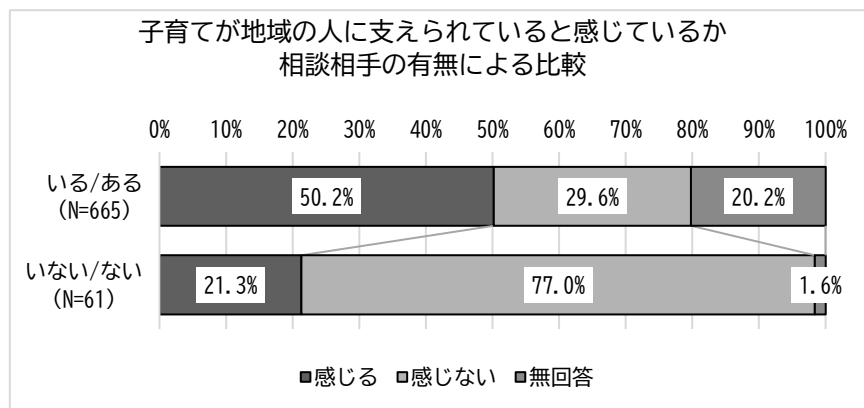
前回と比較すると、「感じない」が 12.8 ポイント減少しています。



相談相手の有無による比較

相談相手が「いる/ある」は「感じる」が 50.2%、「感じない」が 29.6%となっています。

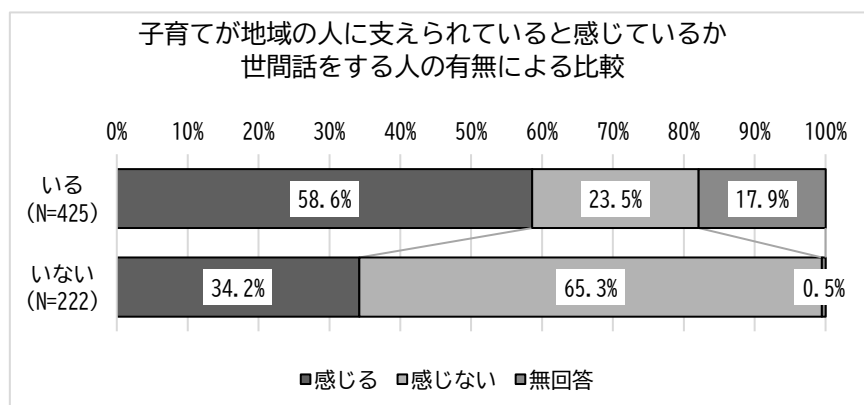
相談相手が「いない/ない」と比較すると、「感じる」が 28.9 ポイント、「感じない」が 47.4 ポイント下回っています。



世間話をする人の有無による比較

世間話をする人が「いる」は「感じる」が 58.6%、「感じない」が 23.5%となっています。

世間話をする人が「いない」と比較すると、「感じる」が 24.4%ポイント、「感じない」が 41.8 ポイント下回っています。



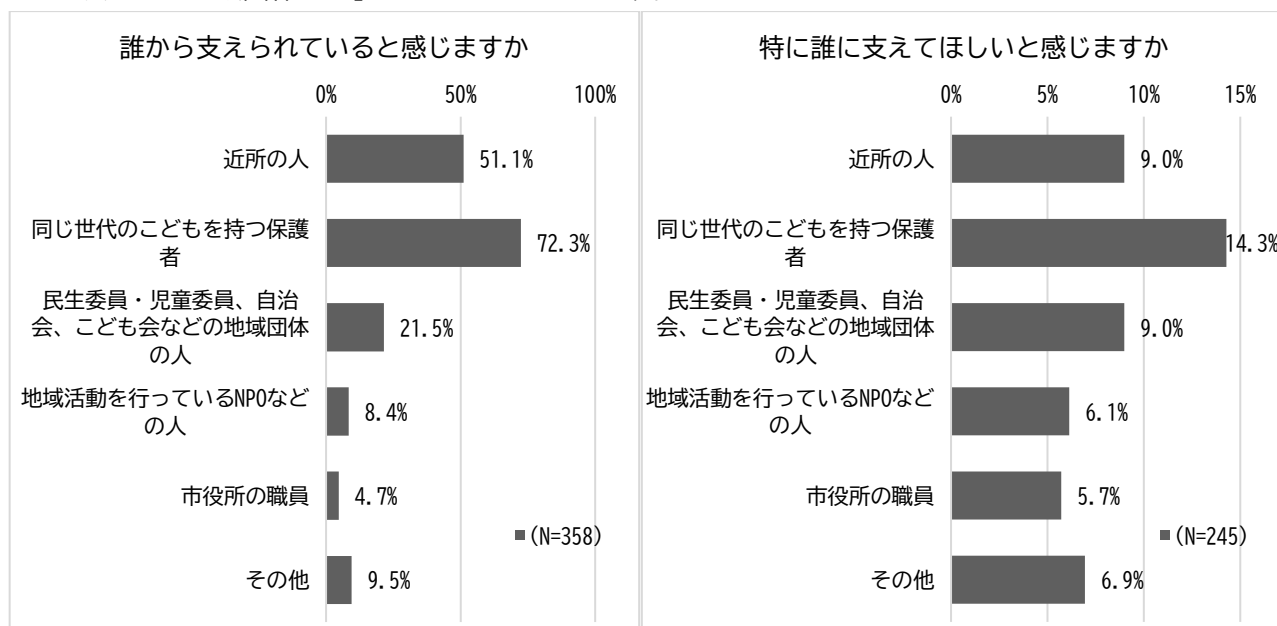
問 35-1 問 35 で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の人に支えられていると感じている人が、誰から支えられていると感じているか

「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 72.3%と最も多く、次いで「近所の人」が 51.1%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が 21.5%となっています。

地域の人に支えられていると感じていない人が、特に誰に支えてほしいと感じているか

「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 14.3%と最も多く、次いで「近所の人」「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が 9.0%となっています。

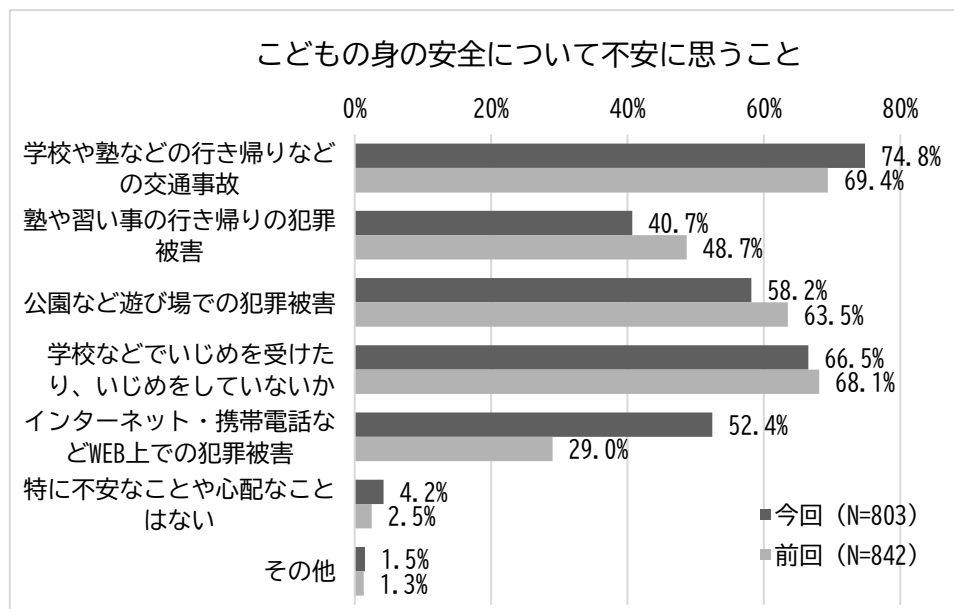


問 36 こどもの身の安全について、不安に思うことや心配なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「学校や塾などの行き帰りなどの交通事故」が 74.8%と最も多く、次いで「学校などでいじめを受けたり、いじめをしていないか」が 66.5%、「公園など遊び場での犯罪被害」が 58.2%となっています。

前回と比較すると、「インターネット・携帯電話など WEB 上での犯罪被害」が 23.4 ポイント増加し、「塾や習い事の行き交えりの犯罪被害」が 8.0 ポイント減少しています。



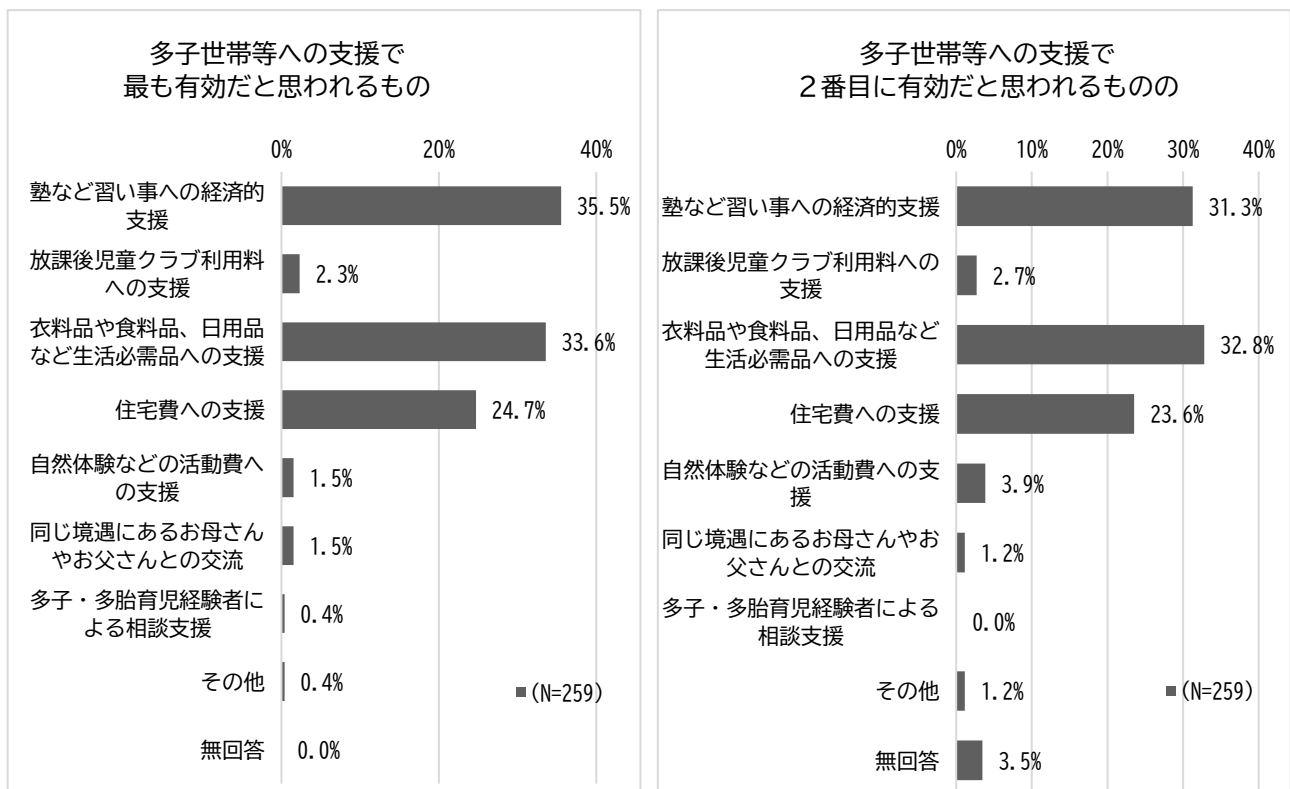
問 37 お子さんが3人以上、もしくは双子や三つ子の方におうかがいします。該当しない方は問 38 へお進みください。どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。

多子世帯等への支援で最も有効だと思われるもの

「塾など習い事への経済的支援」が 35.5%と最も多く、次いで「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」が 33.6%、「住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)」が 24.7%となっています。

多子世帯等への支援で2番目に有効だと思われるもの

「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」が 32.8%と最も多く、次いで「塾など習い事への経済的支援」が 31.3%、「住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)」が 23.6%となっています。

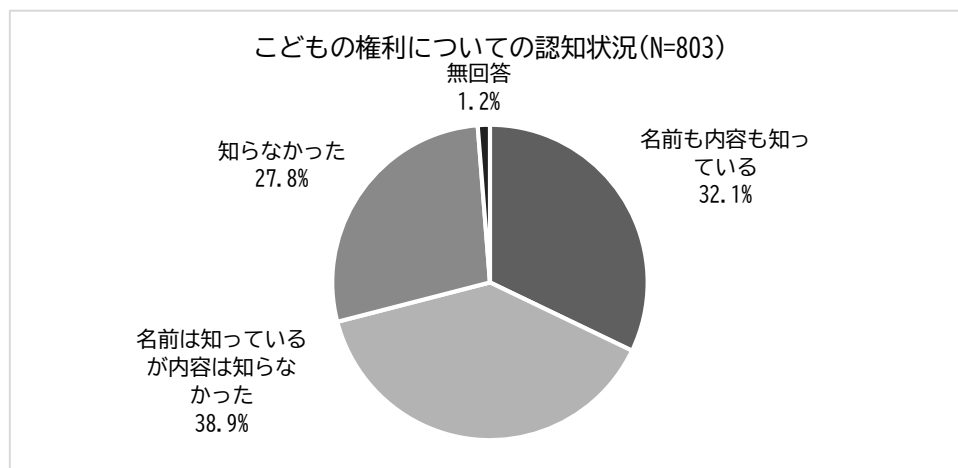


10. こどもの権利について

こどもの権利についておうかがいします。

問 38 あなたは、『こどもの権利』を知っていますか。(1つだけ○)

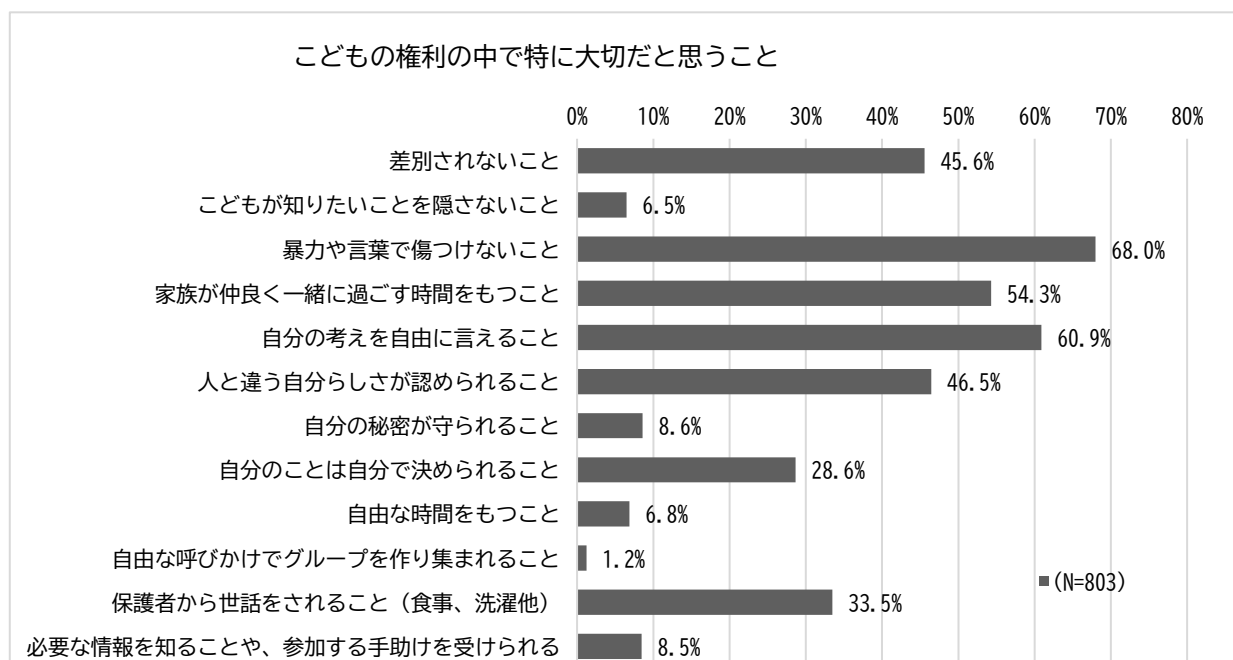
「名前は知っているが内容は知らなかった」が 38.9%と最も多く、次いで「名前も内容も知っている」が 32.1%、「知らなかった」が 27.8%となっています。



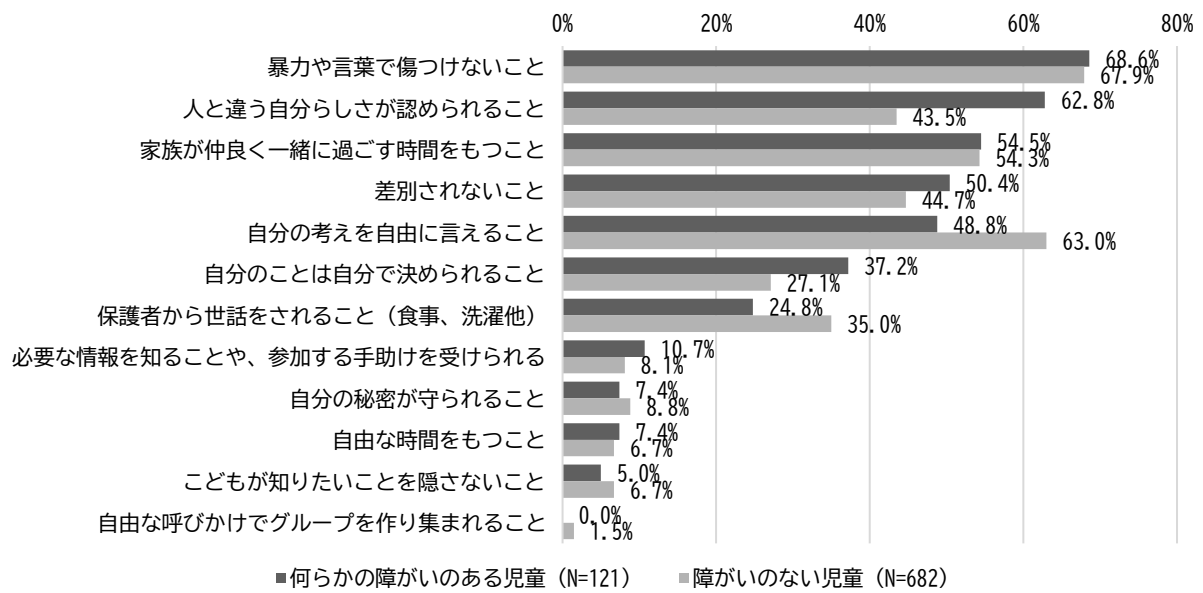
問 39 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。

(特に大切と思うもの 4 つまでに○)

「暴力や言葉で傷つけないこと」が 68.0%と最も多く、次いで「自分の考えを自由に言えること」が 60.9%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が 54.3%となっています。

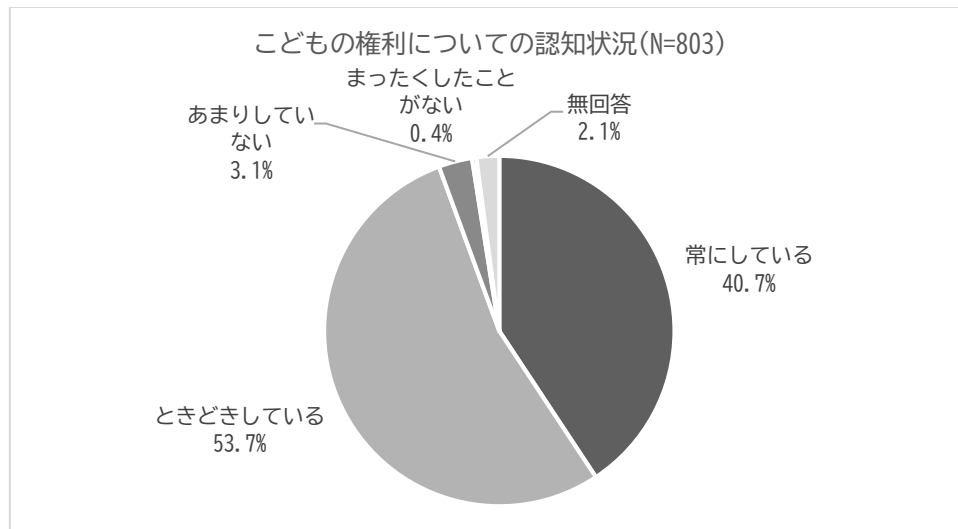


こどもの権利の中で特に大切だと思うこと 障がいの有無による比較



問 40 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。(1つだけ○)

「ときどきしている」が53.7%と最も多く、次いで「常にしている」が40.7%となっています。



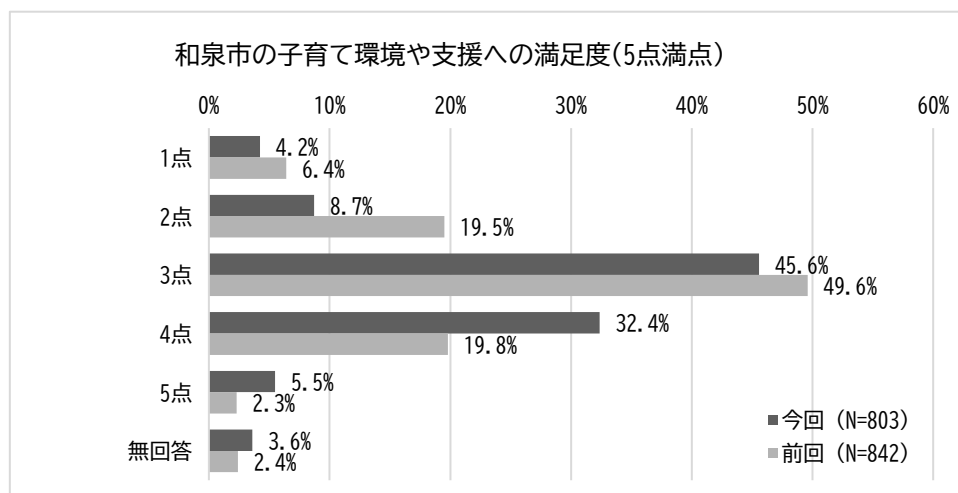
11. 子育て環境や支援制度について

子育て環境や支援制度についておうかがいします。

問 41 和泉市の子育て環境や支援への満足度は、5段階評価だと何点くらいですか。(1つだけ○)

「3」が45.6%と最も多く、次いで「4」が32.4%、「2」が8.7%となっています。

前回と比較すると、「4点」が12.6ポイント増加し、「2点」が10.8ポイント減少しています。

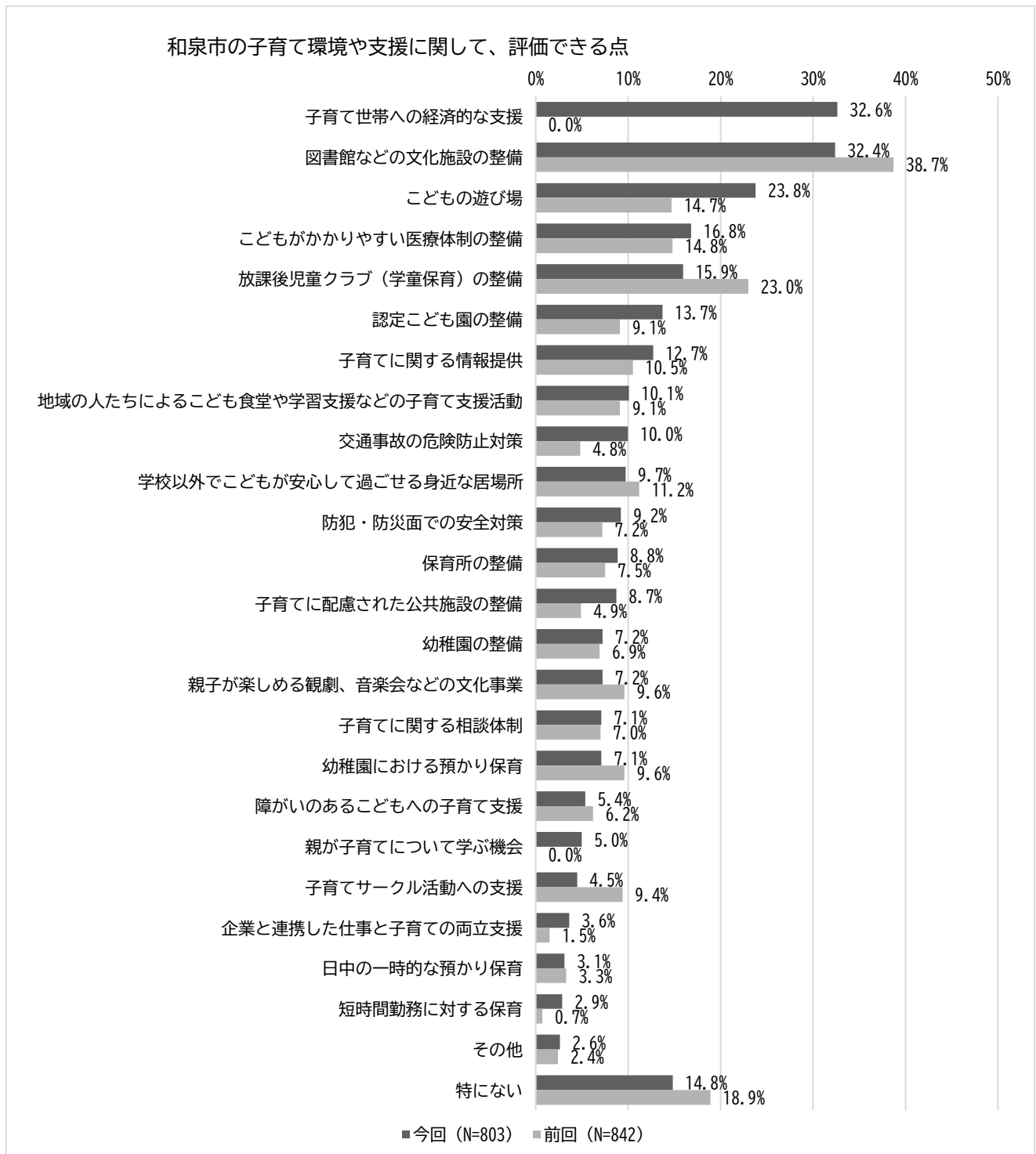


問 42 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。

(1) 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点(あてはまるものすべてに○)

「子育て世帯への経済的な支援」が 32.6%と最も多く、次いで「図書館などの文化施設の整備」が 32.4%、「こどもの遊び場」が 23.8%となっています。

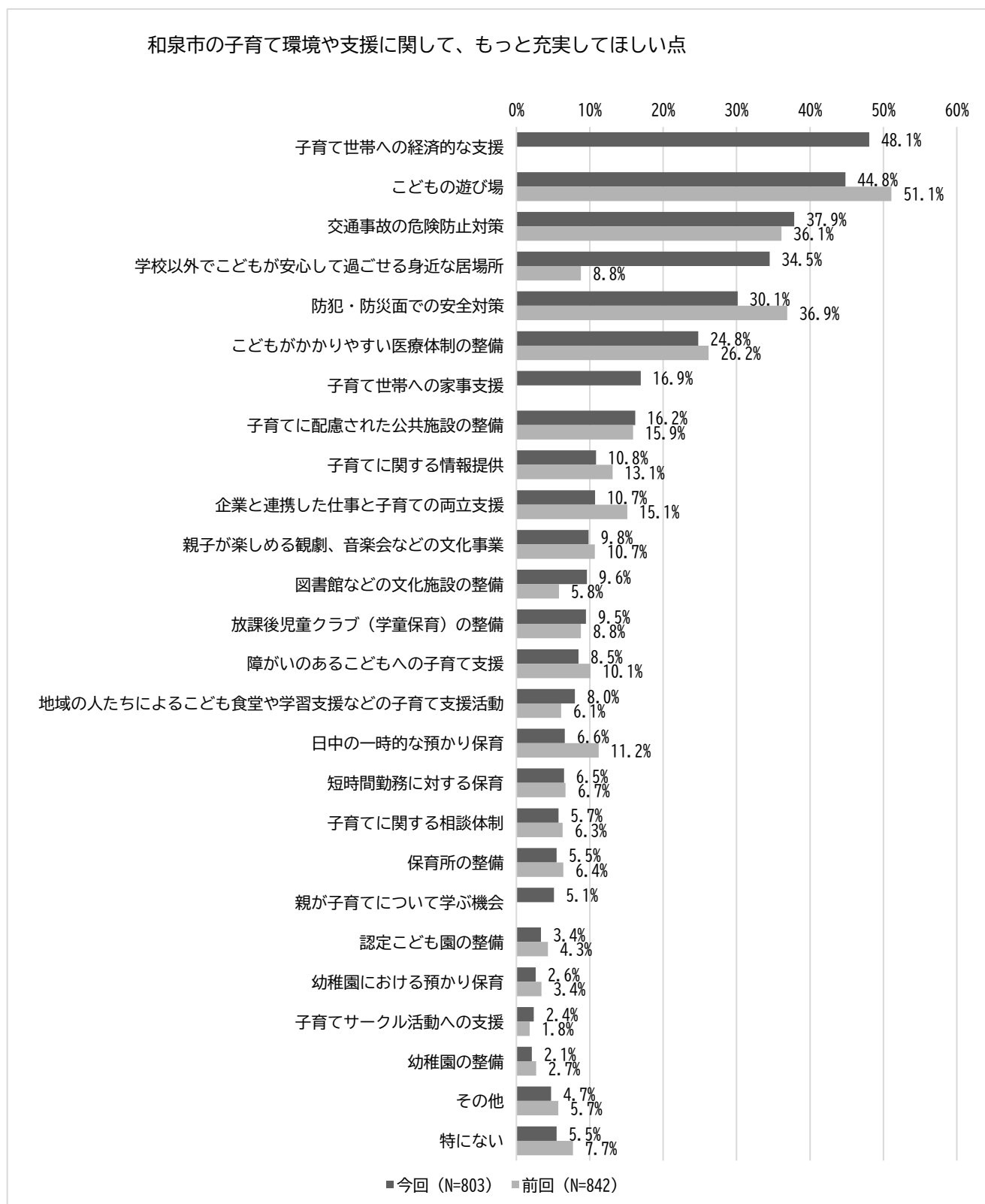
前回と比較すると、「子育て世帯への経済的な支援」が 32.6 ポイント増加し、「放課後児童クラブ(学童保育)」が 7.1 ポイント減少しています。



(2) 和泉市の子育て環境や支援に関して、もっと充実してほしい点(あてはまるものすべてに○)

「子育て世帯への経済的な支援」が 48.1%と最も多く、次いで「こどもの遊び場」が 44.8%、「交通事故の危険防止対策」が 37.9%となっています。

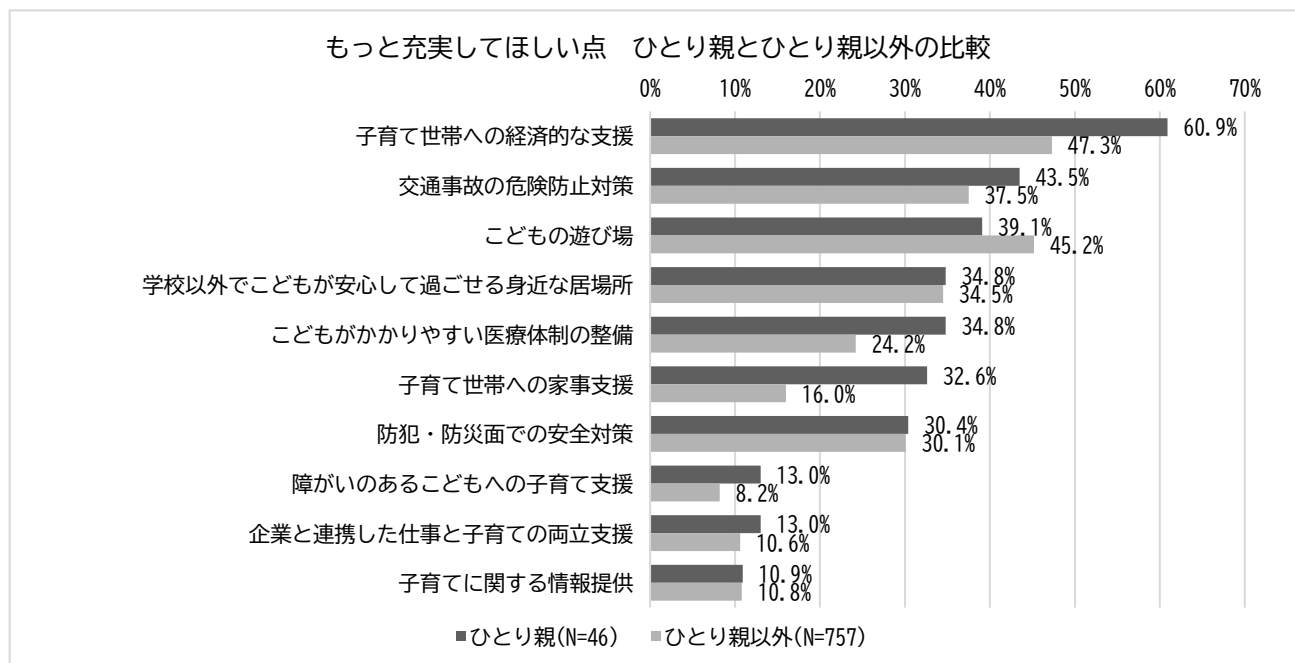
前回と比較すると、「子育て世帯への経済的な支援」が 48.1 ポイント増加し、「こどもの遊び場」が 6.3 ポイント減少しています。



ひとり親とひとり親以外の比較

「ひとり親」は「子育て世帯への経済的な支援」が 60.9%と最も多く、次いで「交通事故の危険防止対策」が 43.5%、「こどもの遊び場」が 39.1%、「学校以外でこどもが安心して過ごせる身近な居場所」が 34.8%、「こどもがかかりやすい医療体制の整備」が 34.8%となっています。

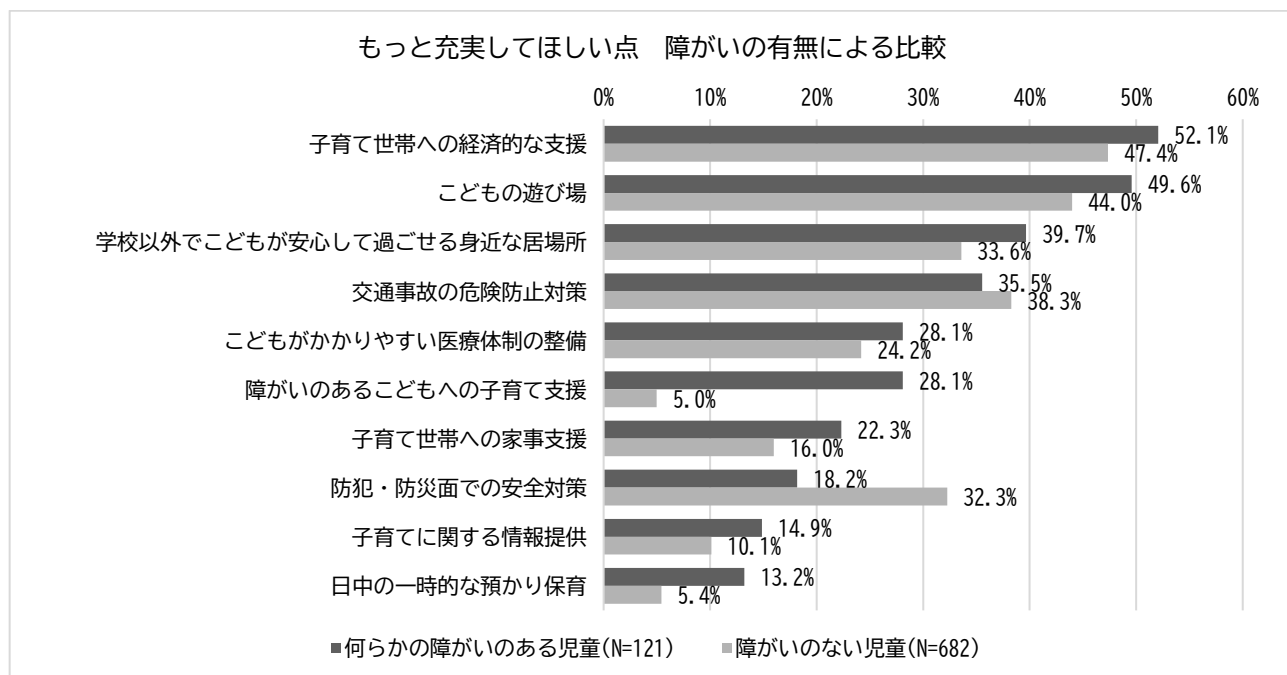
「ひとり親以外」と比較すると、「子育て世帯への家事支援」が 16.6 ポイント、「子育て世帯への経済的な支援」が 13.6 ポイント、「こどもがかかりやすい医療体制の整備」が 10.6 ポイント上回っています。



障がいの有無による比較

「何らかの障がいのある児童」は「子育て世帯への経済的な支援」が 52.1%と最も多く、次いで「こどもの遊び場」が 49.6%、「学校以外でこどもが安心して過ごせる身近な居場所」が 39.7%。「交通事故の危険防止対策」が 35.5%となっています。

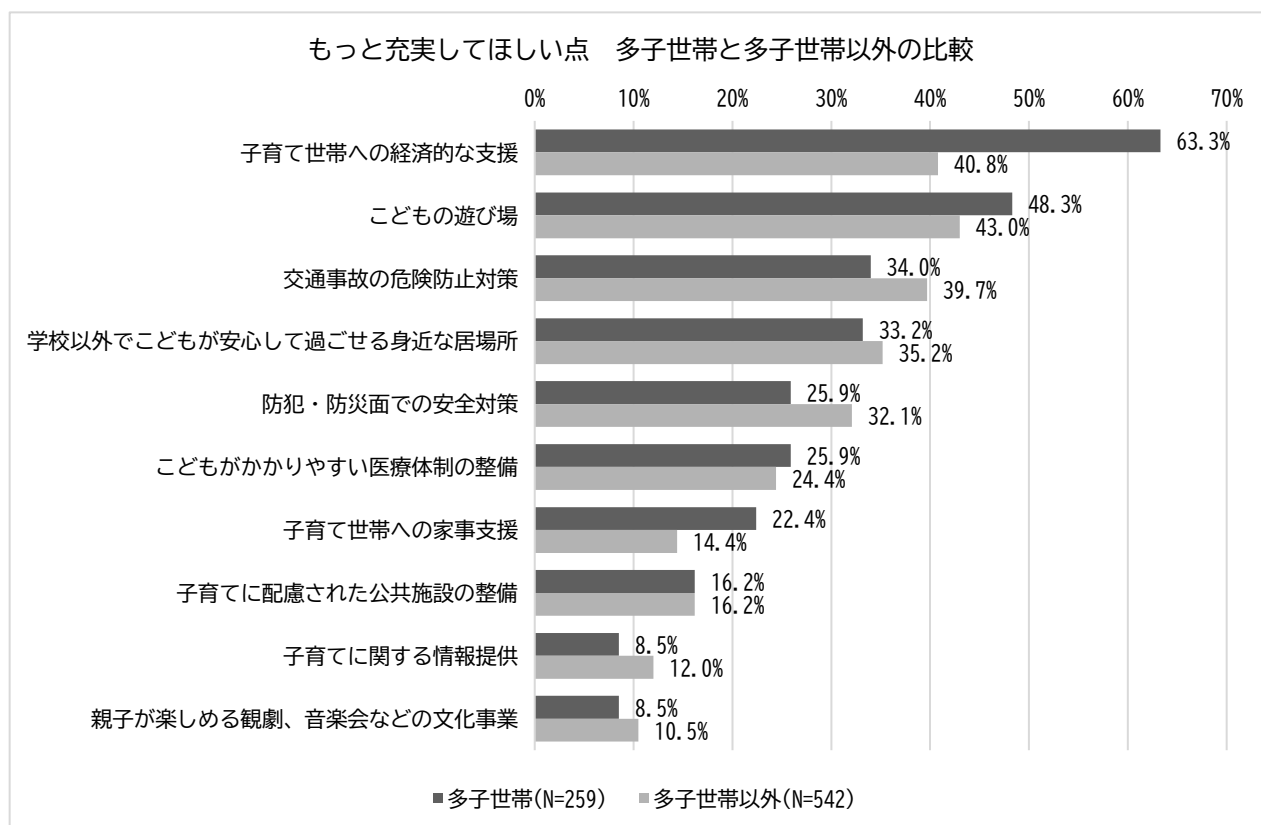
「障がいのない児童」と比較すると、「障がいのあるこどもへの子育て支援」が 23.1 ポイント上回り、「防犯・防災面での安全対策」が 14.1 ポイント下回っています。



多子世帯と多子世帯以外の比較

多子世帯は「子育て世帯への経済的な支援」が63.3%と最も多く、次いで「こどもの遊び場」が48.3%、「交通事故の危険防止対策」が34.0%、「学校以外でこどもが安心して過ごせる身近な居場所」が33.2%となっています。

多子世帯以外と比較すると、「子育て世帯への経済的な支援」が22.5ポイント、「子育て世帯への家事支援」が8.0ポイント上回っています。



12. お子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についての意見

小学生のお子さんの教育に対する要望や子育て支援についてたずねたところ、184 件のご意見をいただきました。項目別の件数は以下のとおりです。

項目	件数
1 保育・教育サービスについて	12 件
2 こどもの健康について	2 件
3 こどもの安全の確保について	10 件
4 生活環境の整備について	10 件
5 学校や地域について	13 件
6 仕事と子育ての両立について	2 件
7 行政サービスの充実について	81 件
8 その他	54 件
	合計 184 件

項目ごとの主なご意見は以下のとおりです。

1 保育・教育サービスについて

①保育所(園)・幼稚園・こども園について

○公立の保育所を減らさず運営してほしい。娘は、私立の幼稚園に一年通ったが、働きながら預けるには精神的にしんどく転園した。公立の保育所に行ってから、先生方のサポートがありこどもも毎日楽しく通えている。

②児童館について

○小学生以上の子の放課後の居場所が公園以外にない点がとても残念です。児童館のような場所があると助かると思います。

③病児保育について

○平日に風邪で学校を休んでしまうとパート先に迷惑がかかる。そういう時に預ける場所がほしい。

④学童保育について

○保育園が無償化されていても小学校に上がると学校諸費に加えて放課後児童クラブに費用が必要になり、小学校の未修学児の時より費用がかかるので、放課後児童クラブの無償化をしてほしい。

○堺市のように、学童が保護者の仕事の有無に限らず格安で利用できる時間があればいいのと思います。

○学童保育について、夏休みなどの長期休暇のみ利用しやすくしてほしいと思っていました。都度都度の手続きや、1 か月単位での費用の発生がかなり利用しにくく、パートタイマーで働きたい場合は、働きにくいです。

○なかよしを利用しないと仕事に行けないのですが、なかよしが楽しくないらしく行き渋りをし、困っていま

す。時間を決めて、勉強の時間、映画の時間、外遊び、工作など、楽しく通えるようにしてもらえると大変助かります。

○仲良しクラブの夏、冬、春季休(長期休)の預かりの費用。現在は利用が2ヶ月にまたがる場合、2ヶ月分の費用がかかるが、学校が長期休みの利用の場合は別途設定してほしい。特に冬休み、春休みは各月に1週間ずつぐらいの利用なのに費用は2ヶ月分かかるので利用を躊躇してしまう。

○学童に通っている時、一時宅配弁当があって、毎日の早起きの弁当作りは大変なのでたまに利用してました。働いているお母さんは大変なので、また宅配弁当があれば助かると思います。もう少しお手頃なお値段がいいのですが。

2 こどもの健康について

①医療費の助成について

○医療費は18歳まで無料！未就園児ばかり無料にするのではなく中学高校大学が1番お金がかかります。

②病院等について

○夜間の小児救急が日によって違い、りんくうまで体調不良のこどもをつれていくのが辛い。堺市の小児救急の方が近いのですが…。堺市も利用できるようにはならないでしょうか。

3 こどもの安全の確保について

①通学路について

○通学路の整備がいつで経ってもなされていない。学校を通して横断歩道の整備の依頼をして5年経っても、まだ未整備のままである。

○「伯太」交差点の信号が朝の登校時晴れていると光で全く見えない時があります。「伯太」～「和泉中学校前」交差点の横断歩道には「歩行者信号」が設置されました。「伯太」交差点にもぜひ設置してほしいです。車からも見えにくいようです。「伯太」交差点から伯太小学校までの歩道が狭く坂道なため、自転車の方にヒヤッとすることも多々あります。こども達にも「車」「自転車・バイク」に気を付けるように言っていますが、限界があります。歩道がもう少し歩きやすくなると良いと思います。

○通学路に危険な箇所が多いです。(歩道もガードレールもない、道路が狭いのにスピードを出す車が多いなど)保護者、こども、学校でそれを共有できればいいと思いますし、その内容をすぐ市役所の方にお伝えできるような体制になるとありがたいです。

○光明台北小学校は、松源和田店から小学校への道は広いですが、松源和田店までの歩道があまり綺麗に整備されておらず、また、コスパテニスの前の信号は、カーブしてすぐのところであり、何度も赤信号で停まらない車を見かけており、とても危ないです。ハザードマップで崩れる危険がある場所の整備も全てしておらず、それも通学路なので心配です。実際に朝の時間帯に見て頂き、改善していただけたら嬉しいです。

②犯罪防止について

○塾帰りなど夜は灯りが少なく暗いため危ない。

○子育て支援とは異なることかと思いますが、和泉市町中野ゴミのポイ捨てが非常に多く、落書きや不法投棄、歩道での排泄をよく見かけます。路上のごみを放置している町は、ゴミに関して誰も注意を払っていない

い、さらにゴミが捨てられます。路上のゴミをさらに捨てられ、そのような環境の中では「少しくらいルールを破っても誰も気にしない」という心理が芽生え、犯罪が起りやすくなるという理論もあります。不審者情報も多く、こどもを育てる環境として不安に思っています。

○仕事でなかなか親が立てないので、登下校の見守りを増やしてもらいたいです。小学校の先生が少なくクラスが減ってしまったので、先生の確保をして、こども達をしっかり見てもらいたいです。

4 生活環境の整備について

①公園等について

- 理想は地域のサービス(遊具や施設等)の偏りを少しずつでも整える事。
- こども達が野球やサッカーを出来るよう、公園の柵を高くしてほしい。
- 遊具が充実した広い公園、公園のトイレの整備。
- 学校以外でこどもが楽しく安心して遊べる場所がもっとあると思う。
- こどもが自転車で行ける距離に、こども食堂、図書館などの施設があってほしい。
- 暑さ対策のために公園に屋根をつけたり、ウォータースプラッシュのような水で遊べるような場所があると嬉しい。また、雨の日でも公園のように思い切り自体を動かすことができる場所があれば助かります。
- 家の中でゲームして遊ぶより外で遊んでほしいと思っていますが、近所の公園ではボール遊びができず、遊ぶ場所が少なく思います。スケボーが好きな次男はどこでスケボーしていても怒られ、スケボーを持っているだけで悪く見られることが多く、すぐ通報されたりするので大人に対する不信感がつのっているようです。こどもたちが安心して遊べる場所、大きな声で話していても怒られない場所など、昔のようにあればいいと思います。和泉市にもスケボーのパーク、作ってほしいです。

5 学校や地域について

①学校・教育について

- 小学校 PTA 役員の仕事に夜開催の会議が何度もあり、大きな負担です。18:30~20:00 など。夫の帰宅が遅く預け先がないが、3 人のこどもを家に置いていくことも会議へ連れていくことも出来ない(大騒ぎするので)。せめてオンラインで参加できるようにしてほしい。誰のための PTA なのだろうと思います。改善してほしいです。よろしくお願いします。
- 小学生中学生に SNS の怖さ使い方、そこからいじめに繋がるなど携帯の使い方、言葉の使い方を教えてほしい。
- 地域の学校の格差が気になる。また、学校によって方針が大きく変わるので、中で働く職員・先生方が転勤しても同じ方針で働ける環境にしてほしい。
- 学校の先生が熱心でない。親に対して傷つくようなことをいうから教育をしてほしい。
- 小学校の登校時間を午前 7:00 から可能にしていきたい。
- 小学校の運動場の開放を再開できるように検討してもらいたい。
- 小学校の1クラスの人数の定員を減らしてほしい。1クラスの人数が多すぎて対応しきれているのか正直不安です。そして現場の先生方の負担も大きすぎると思います。小・中学校間の学力の差を少しでもなくすような取組。夏・冬休みの宿題の内容や量があまりにも違いすぎて困惑しています。

6 仕事と子育ての両立について

○こどもが多いので、平等に習い事をさせてあげたいと思うと仕事に出る時間が増えてしまうし、こどもとゆっくりとれる時間が減る。「こどものため」に働いているのにいつも忙しくしていてゆっくりできないなあとは思ってます。こどもとも向き合いたいし、こどもたちに様々な経験や「やりたいこと」が見つかるよう、色々させてあげたいです。和泉市が実施されている塾などもとても興味深いです。いつもありがとうございます。和泉市に住んで良かったと思っています。

○市役所などは関係ないのかもしれませんが、育てていくためにフルで仕事をしないとご飯を食べさせてあげられないため、こどもたちとの時間がなかなかとってあげられないのが心苦しいです。もっと時短で働ける仕組みや週休完全3日制などがあつたらいいのになあとたまに思います。

7 行政サービスの充実について

①負担の軽減

○習い事の助成金。

○学費(給食費等)など、体操服、上靴等も、全員が平等に支給されたり免除されるべきである!

○経済的支援の継続を希望します。

○市の認定資格での家事代行または子育て支援サービスの充実に加えてお年寄りの働き手の増加と子育て世代への負担軽減の為に低価格設定にできるような仕組み。

○初めての子育ての時はわからない事ばかりで、必死だったように思います。働いていた為に近所付き合いも少なく、こどもと2人の時間に追われていて、歯医者に行きたくても預けられず、中々行けませんでした。大人も歯医者さんの定期検診の補助などあれば嬉しいです。

○先日も10,000万円分のギフトカードをもらえたこといいのですが、その申請に必要なコード等をわざわざこどもひとりにつき一枚の書面と封筒が届いた事は資源や経費の無駄だと感じました。ギフトカードも使ったが端数は使えないとか、以前もクオカード Pay がもらえたときこんな店、どこにあんねんというような普段使わない店ばかりが対象であつたりと本当にこどものための経済的な支援をするつもりなのであれば、もともと子育て支援の振込み口座を役所では把握しているのだから、申請だ、カードだ、ではなく現金を振り込んでほしいです。

②情報提供

○子育てについて経験、知識共に豊かで信頼できる人から具体的な解決策を教えてもらいたい。

○どのようなサポート(行政の支援・療育などの情報提供)があるか知りたいけど知れない(どこに掲載されているか探しづらい)事があるので利用者側から見つけやすい、探しやすい方法を検討してほしいです。例えば、保育園や小学校などで期の初めや終わりにこどもにそういった内容のプリントを持たせるなどをタイミングによって困りごとが変わるので定期的に発信していただきたいです。

○発達障がいのある児童や、発達に不安を感じる親に対して十分な相談機関や施設などがない。実際、市役所の期間に電話相談した時に冷たくあしらわれ、心理の先生に見てもらえるのも半年先になると言われ、不安が増した。実際、助けを求めているのにすぐに対応してもらえず、相談できる相手もいずに行き場がなかった。市として、もっと情報提供してほしいし、迅速に動いてほしい。悩んでいる親はたくさんいると思います。

③行政サービスの充実について

○気軽に話ができて、何かあつたら頼れる方がいたら嬉しい。

- 日中ではなく、夜間や休日にオンラインでも気軽に相談できるような AI チャットなどがあれば助かります。
- 意見投稿をスマホででき、対処された内容がスマホで確認できる。
- グレーゾーンのこどもへの発達支援をもっと充実させてほしいです。
- 保育園内にある子育て広場だけでなく、未就園、未就学児対象の子育て広場やサロンなど気軽に行ける場所がもっと身近にあればいいなと思っていた。
- 子育てに関する相談をする相談員さんがみんな親身になって考えてくれる様な方だったら良いなと思う。現在は人によって当り外れがあるように感じる。
- こどもが夏休みなどの長期の休みの時に、習い事などの送り迎えをお願いできるようなサポートがあれば嬉しい。仕事が休みを取れないことがあるので。
- 地域の学習塾と連携して、バスでの送迎等、交通機関を充実させてほしい。
- 子育て全般で困った時にここに相談すればいいというわかりやすい窓口があればよいと思う。
- 同じ世代のママ同士の交流の場が小学生、中学生、高校生のこどもを持つ世代でもあればいいなと思う。(赤ちゃん連れの場合が多いので)実際仕事に出たりでなかなか参加が難しいとは思うけど、同じ世代だと同じような悩みを持っていて話すだけでリフレッシュできると思うので。
- 家族の(心や体)調子がよくない人のケアはありますが、一緒にきょうだい、大人もしんどくなり、心の調子悪い人のそばにいるきょうだいの心の不調等もなにかケアされるといいなと思います。
- 学校との話し合い間に入ってほしい。
- 河内長野の「あいっく」のような室内施設を作してほしい

④講座やイベントについて

- 和泉市内に問わず、公共施設や、水族館などの入場割引券があれば、家族で出かけやすいと思う。青少年センターでは、長期休暇に色んな体験が出来るようだが、遠すぎて行く気にならない。山側に住んでいる人にも参加しやすい場所で開催してほしい。
- 以前に、図書館のイベントで、親子で参加できる絵本作り等に参加したのですが、こういったこどもと参加できるイベントを増やしてほしいです。また、すでにあるのでしたら、それをもっと目に付くように知らせしてほしいです。
- 問合せをしないとわからないことが多いので「こんなんあるよ」と発信してくれると嬉しいです。住んでいるエリアに市主催のイベントなどが少なく、車がなくてはいけなかったりこどもだけでは行ける所も少ないのでエリアの偏りがあるように感じます。こっちのエリアでやってもらえると嬉しいです。
- こども食堂が近くにないので増やしてほしい。小学生が楽しめるイベントを増やしてほしい。走り方教室、サッカー、バスケ教室(一日限定)など

8 その他

①その他、混合した意見

- こども、母親の気持ちを取り持ってほしい。精神的な病を持つ母親には特に気にかけてほしい。
- 今は特にはないです。困ったら相談させてもらいます。市の職員さんが増えたらいいなと思います。
- 平日、家族旅行へ行ける制度(欠席日数のカウント)(物価などが上がり、レジャー費の見直しをしなければならず、休日のレジャー施設の価格が高い・予約が取れない)今後(高校・大学)への学費への不安があり、今を自由に金銭面で遊べない。
- こどもが3人いても、年が離れているので、あまり支援に当てはまらない。

